

サービス部品取替手順動画一覧

機種	内 容	動 画	内 容	動 画	内 容	動 画	内 容	動 画
FZ	リップゴム交換		ベース組交換 取替手順説明 P200		ボールタップ交換 (手洗付き)		ボールタップ交換 (手洗なし)	
	ボールタップ スピンドル交換		ボールタップ ストレーナー 掃除		バルブエレメント 交換 取替手順説明 P201		ヒンジボルト組 交換	
	ノズル取替え		ロータンク 手洗付きから 手洗なしへ交換		ロータンク 手洗なしから 手洗付きへ交換			
F8	バルブケース表組 取替え (F8-DG) 取替手順説明 P201		ストレーナー 掃除 (F8-DG)		起動弁掃除 (F8-DG)			
	ベース組交換 取替手順説明 P202		フラッシュバルブ 交換 (F8・J8・GT)					
	洗浄便座取替え							

ホームページでも動画をご覧頂けます。

<http://www.daiwakasei.co.jp/products/toilet/repair/>



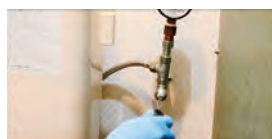
取替手順説明

FZシリーズ ベース組交換(A90212 ベース組新タイプ)

- | | | | | | |
|---|---|---|--|---|--|
|  | <p>1</p> <p>止水栓を閉めます。</p> |  | <p>11</p> <p>便器本体を外します。</p> |  | <p>21</p> <p>10mmボックスを使いナットを均等に締めていきます。</p> |
|  | <p>2</p> <p>モンキースパナを使いナットを緩め配管を外します。</p> |  | <p>12</p> <p>マイナスドライバー2本を使い広げるようにしてEピンを外します。</p> |  | <p>22</p> <p>ロッドを取り付けEピンを仮止め後、ラジオベンチを使いEピンを取り付けます。</p> |
|  | <p>3</p> <p>ロータンのフタを外します。
※手洗付きのフタの外し方は「ロータンク手洗付きから手洗なしへ交換」の動画をご確認ください。</p> |  | <p>13</p> <p>10mmボックスを使いベースを固定しているナット3ヶ所を外します。</p> |  | <p>23</p> <p>便器本体固定のボルトが通るように便器本体を置きます。</p> |
|  | <p>4</p> <p>オーバーフロー管を外しタンク内の水を抜きます。</p> |  | <p>14</p> <p>ドライバーの柄を使い、こじるようにしてベースを取り外します。</p> |  | <p>24</p> <p>ワッシャーとナットを取り付け、13mmスパナを使いナットを増し締めします(便器両側)</p> |
|  | <p>5</p> <p>タンクを固定している蝶ナットを緩めて外します(便器両側)</p> |  | <p>15</p> <p>ラジオベンチを使いガスケットを取り外します。</p> |  | <p>25</p> <p>継ぎ足し管を差し込みます。</p> |
|  | <p>6</p> <p>割りピンを抜きロッドを外します。</p> |  | <p>16</p> <p>ボルト3ヶ所を取り外します。</p> |  | <p>26</p> <p>ロータンク本体を取り付け蝶ナットを締めてロータンクを固定します(便器両側)</p> |
|  | <p>7</p> <p>ロータンク本体を外します。</p> |  | <p>17</p> <p>カッターの刃を使い削るようにしてシリコンを除去します。</p> |  | <p>27</p> <p>割りピンを通しロッドを固定します。</p> |
|  | <p>8</p> <p>便座を外します。
※取り外し方法は各説明書に従ってください。</p> |  | <p>18</p> <p>新たにシリコンを塗布します。</p> |  | <p>28</p> <p>パッキンを入れナットを締め、モンキースパナを使いナットを増し締めして配管を固定します。</p> |
|  | <p>9</p> <p>13mmスパナを使いナットを外します(便器両側)</p> |  | <p>19</p> <p>溝に引っ掛けるようにしてボルト3ヶ所を取り付けます。</p> |  | <p>29</p> <p>タンクのフタを取り付け、止水栓を開きます。</p> |
|  | <p>10</p> <p>継ぎ足し管を外します。</p> |  | <p>20</p> <p>ボルト位置に合わせて新しいベースを置き、ワッシャーとナットを取り付けます。</p> |  | <p>30</p> <p>便座を取り付けます。
※取り付け方法は各説明書に従ってください。</p> |

取替手順説明

FZシリーズ バルブエレメント交換(A96011)



1

止水栓を閉めます。



2

ロータンクのフタを開けます。
手洗のレバーを回しボールタップから
水が出ていない事を確認して下さい。



3

オーバーフロー管を外しタンク内の水を
抜きます。



4

タンクの底に付いているバルブを取り外
します。



5

バルブエレメントを鎖から外し、新しい
バルブエレメントを鎖に取り付けます。



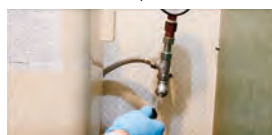
6

バルブとオーバーフロー管を取付けま
す。



7

タンクのフタを元の位置に戻し閉じます。



8

止水栓を開きます。

取替手順説明

F8-DG バルブケース表組取替(A96601)



1

止水栓を閉めます。



2

プラスドライバーを使ってバルブケース
両サイドのネジを外します。



3

表組部分を外します。



4

コネクタを外します。



5

新しい表組のコネクタを取り付けます。



6

表組をかぶせます。



7

プラスドライバーを使ってネジを締めま
す。



8

止水栓を開けます。



9

ボタンを押して水が流れるか確認しま
す。

取替手順説明

F8 ベース組交換 (A90210)



1

止水を閉めます。



2

モンキースパナを使いナットをゆるめて配管を外します。



3

13mmスパナを使いナットをはずします。(便器両側)



4

便座を外します。
※取り外し方法は各説明書に従ってください。



5

便器本体を取り外します。



6

10mmボックスを使いベースを固定しているナット(3ヶ所)とワッシャーを取り外します。



7

ドライバーの柄を使いこじるようにしてベースを取り外します。



8

便器にシリコンを塗付し新しいベース組を取り付け、10mmボックスを使いナットを均等に締めていきます。



9

便器本体固定のボルトが通るように便器本体を置きます。



10

ワッシャーとナットを取りつけ13mmスパナを使いナットを増し締めします。(便器両側)



11

パッキンを入れナットをしめます。



12

モンキースパナを使いナットを増し締めして配管を固定します。



13

便座を取り付けます。
※取り付け方法は各説明書に従ってください。



14

止水栓を開けます。

施工説明書

FP (FRP浴槽)	P200
DSP-75T	P202
RTN-3	P206
RTN3-BR200S (RTN-3用壁固定金具)	P207
FGR	P208
どこでもトイレ2ℓ 便器	P216
どこでもトイレ2ℓ	P219
DAP-AC3	P225
FZ500、FZ400、FZ300、FZ50T	P230
FZに他社製便座を取付ける場合	P236
FA-5T	P237
F8-DG	P243
F8-CFG、F8-CF	P247
GT-5、GT-3、GT-2	P249
JZ、J8-DG	P251
JT	P255
J8-CFG、J8-CF	P257
FC7	P259
ロータンクフタ固定金具	P261
HW-5、HW-3	P261
APH-Z80	P264
APH-Z81	P264
BCV24	P265
BCV25	P266
APH-Z71	P267
便槽施工上の注意事項 (共通)	P268
NV-R、VE-R	P269
TS、TS-G	P270
TF	P272
TRG	P273

取扱説明書

FP (FRP浴槽)	P274
DSP-75H	P275
RTN (雨水槽)	P281
FGR	P282
FZ500、FZ400、FZ300、FZ50T	P289
FA-5T	P294
F8-DG	P299
F8-CFG、F8-CF	P304
S-7、SW-7	P305
GT-5、GT-3、GT-2	P307
JZ、J8-DG	P308
JT	P313
J8-CFG、J8-CF	P315
FC7	P316
HW-5、HW-3	P317
洗浄ガン	P319

図面

FP-1280W	P321
FP-1280	P322
FP-1280Y	P323
FP-1480W	P324
FP-1480	P325
FP-1476	P326
FP-1482	P327
FP-1612	P328
FP-2016	P329
FP-2016N	P330
GFP-2816	P331
DSP-75T	P332
RTN-3B、RTN-8B	P332
RTN-20B、RTN-40B、RTN-60B	P333
DP-5S	P333
DP-7S	P334
FGR	P334
DKB5、DKB4、DAP-AC3、DAP-SP	P335
FZ500、FZ400	P336
FZ300	P337
FZ50T、FA-5T	P337
F8-DG、F8-CFG、F8-CF	P338
S-7、SW-7	P338
DCW-KB31、DCW-KA31	P338
DCW-KB32、DCW-EA24A	P339
GT-5、GT-3	P339
JZ	P339
JT	P340
J8-DG、J8-CFG、J8-CF	P340
FC7	P340
GT-2	P341
DC-166、GU-5、GU-3	P341
HW-5、HW-3	P341
APH-Z80、APH-Z81	P342
BCV24、BCV25	P342
AP-200、AP-210	P342
AP-201、AP-211	P343
NV-R (共通)	P343
VE-R66、VE-R80	P343
VE-R100	P344
TS、TS-G (共通)	P344
TF-800、TF-1000、TF-1500、TF-2000	P344
TF浮上防止ワイヤー推奨位置	P345
TRG浮上防止ワイヤー推奨位置	P346
ZFRP (共通)	P346
NP-R6	P346

ホームページでも資料を
ご覧頂けます。



<https://www.daiwakasei.co.jp/download/manual>

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工上の注意点をあげております。
施工前に、よくお読みのうえ正しく施工してください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語及び記号の説明



注意 …… 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。



……「してはいけません」
(一般的な禁止記号)



……「指示通りにしない」
(一般的な行動指示記号)

注意

浴槽を運ぶ時は、すべり止め等の付いた手袋を着用し、フランジ部を持って運んでください。 浴槽は重量物の為、素手で持ち運ぶと思わぬケガをする恐れがあります。	階段設置の場合は、床の防水工事を必ず行ってください。 漏水すると、家財を濡らす原因となります。
浴槽に穴あけした後、切り口のエッジやバリには、素手でさわらないでください。 素手でさわると、ケガをする恐れがあります。	浴槽をモルタルやタイルに直接埋め込まないでください。 浴槽は熱により膨張・収縮する為、直接埋込むとタイルや浴槽に割れが発生する恐れがあります。

このようなこともご注意ください

浴槽を運ぶ時、ブロックや壁に当たり、引きずらないでください。 浴槽が割れる恐れがあります。	土足で浴槽に乗ったり、脚立等を浴槽内に立てたりしないでください。 浴槽表面に傷がつく恐れがあります。
浴槽に金づち・ドライバ等の工事道具を落とさないでください。 浴槽表面に傷がつく恐れがあります。	浴槽にモルタルやタイルのくず、ベンジン・シンナー等の有機溶剤を付着させないでください。 浴槽をいためる恐れがあります。
浴槽に溶接の火花やトーチランプの火、火のついたタバコ等を当てないでください。 浴槽表面にこげ跡がつく恐れがあります。	2穴式自然循環風呂釜、高温追い焚き釜、高温差し湯式給湯機、貯湯式電気温水機は使用を避けてください。 80℃以上の湯を直接注入すると、浴槽をいためる恐れがあります。

施工の前に

■ 浴槽の穴あけ・据付を行う前に必ず次のことを確認してください。

- 浴槽に傷が入っていないか確認してください。
- 排水金具等がしっかり締まっているか確認してください。
- 必ず搬入経路を確保してください。

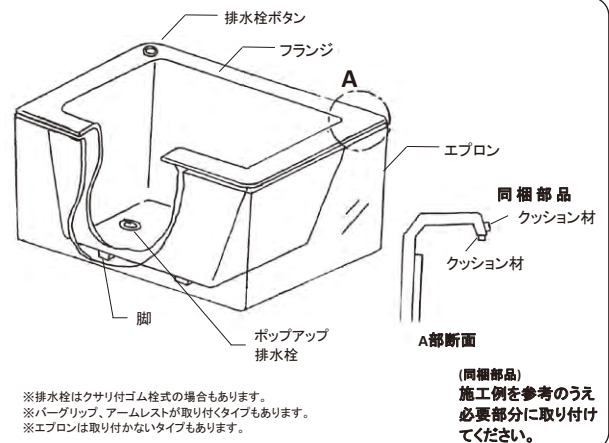
■ 工事が完了するまで、浴槽全体を段ボール等で十分保護し、浴槽表面に貼ってある保護フィルムは工事完了まで絶対にはがさないでください。

■ 浴槽とエプロンは固定した状態で出荷し、取り外しはできません。

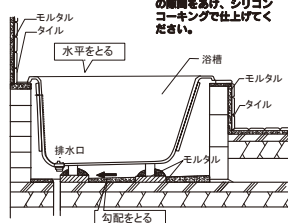
■ FRP浴槽を処分する場合、許可を受けている処理業者に依頼するか、粉砕のうえ許可された処理場にて処理してください。

■ 浴槽の交換等では、浴槽の材質をご確認ください。

■ 各部の名称

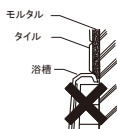


■ 施工例



注意

浴槽本体・フランジ部をモルタルやタイルに埋め込まないでください。
あとでタイルや浴槽に割れを生じたり、浴槽の交換・修理ができなくなります。

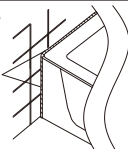


【注意】浴槽フランジ部の壁埋め込み及び壁ペタ付け施工をしないでください。
また、浴槽フランジ部の切断は絶対にしないでください。
浴槽の変形・割れの原因となります。

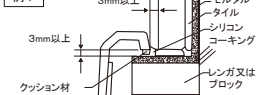


●エプロン付きの場合

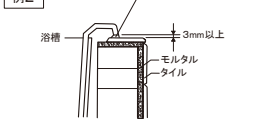
壁と浴槽との隙間は3～5mmとり、
全周シリコンコーキングにて埋める。



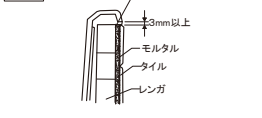
例1



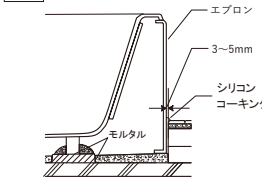
例2



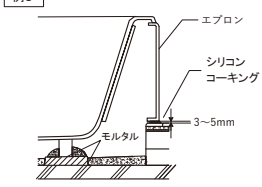
例3



例4



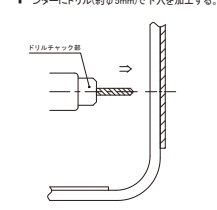
例5



■ 穴あけ要領 (風呂釜の接続が必要な場合)

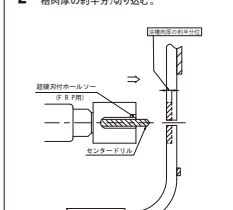
※浴槽本体の穴あけは、手順1～4に従い、必ず両面から加工してください。
(片面から無理に加工すると、浴槽本体にカケや割れが発生することがあります)
※ホールソーは、FRP用超硬刃付で、よく切れるものを使用してください。

1 浴槽に穴あけ位置の重出しを行い、穴のセンターにドリル(約φ5mm)で下穴を加工する。



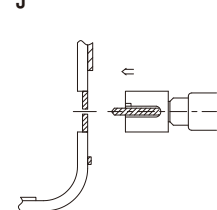
【注意】●下穴は、浴槽面に垂直に加工してください。(下穴が斜めになると、ホールソーでの加工時に無理な力が加わり、浴槽のカケや割れが発生することがあります)
●穴貫通の瞬間にドリルチャック部で浴槽に衝撃が加わらないよう慎重に行ってください。

2 浴槽の内側からホールソーで約5mm(浴槽肉厚の約半分)切り込む。



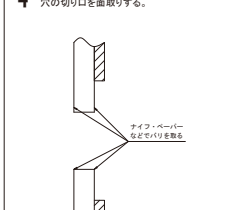
【注意】●センタードリル貫通の瞬間にホールソー部で浴槽に衝撃が加わらないよう慎重に行ってください。
浴槽の表面部はカケが発生しやすいので、特に注意してください。

3 外側からホールソーで貫通穴をあける。



【注意】●穴の周囲がカケないように、あまり強く押しつせず、ゆっくり行ってください。

4 ナイフ・ペーパーなどで加工部のバリを取り、穴の切り口を面取りする。



【注意】●配管後の水漏れを防止するため、器具バッキン当たり面のバリや保温材のカスは完全に取り除いてください。

【注意】●切粉で肌がかぶれることがありますので、肌の弱い方は手袋等で保護してください。

■ 施工の手順



1 浴槽の下地づくり

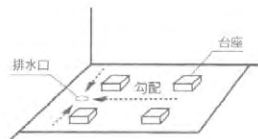
●浴槽据付床は、必ず排水勾配をとってください。

●浴槽脚部はコンクリートブロックやモルタル等で台座を設けてください。
台座の位置は、寸法図の脚位置を参照してください。

●台座は上面が水平で、全て同じレベルになるように固定してください。

●コンクリートブロックの空洞は、モルタルで埋めてください。

●排水は間接排水とし、排水口はφ75mm以上の穴を設けてください。



⚠ 注意

2階以上の階に施工する場合は、床の防水工事を必ず行ってください。
漏水すると、家財を濡らす原因となります。

2 浴槽の穴あけ

※浴槽への穴あけは、穴あけ要領をよく読み、慎重に行ってください。
※風呂釜使用の場合は1穴強制循環タイプが標準です。

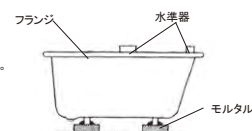
●穴あけ位置は、寸法図の穴あけ範囲内で行ってください。
穴あけ位置が曲面部にかかると、水漏れの原因となります。



●空焚き防止のため、できるだけ穴あけ範囲内の下方に穴をあけてください。

3 浴槽の据付

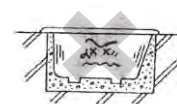
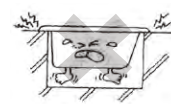
- 水準器を使用し、浴槽フランジ面が水平になるように設置してください。
- 浴槽の脚部は、モルタルでしっかりと固定してください。



[注意]

1) フランジ部だけで支える施工は絶対にしないでください。

2) 浴槽周囲にモルタル・砂などを絶対に詰めないでください。



4 洗い場・壁面の仕上

※洗い場・壁面のタイル仕上は、施工例1-5をご覧ください。

⚠ 注意

浴槽とタイルが接触する部分は、少なくとも3mmの隙間をあけ、シリコンコーキングで仕上ってください。
隙間をあけないと、浴槽が熱により膨張したときにタイルや浴槽が割れることがあります。

5 完成

- 配管工事後は釜や水道配管から鉄分が流出しますので十分水洗いしてください。
- 浴槽と循環金具の接続部から水漏れの無いことを確認してください。
- 工事完了後、中性洗剤で十分水洗いしてください。
水洗い後、乾いた布で拭き、水分は完全に取り除いてください。

工事完了後
取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

ディスポーザー DSP-75T 型 施工説明書

警告

この説明書を読んで理解するまでは、ディスポーザの据付けおよび試運転を行わないでください。

この説明書は、ディスポーザの操作または保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

保証の限定

- 保証期間中、正常なご使用にもかかわらず、ダイワ化成（株）が納入した機械の設計、または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合に限り、その部分について無償で修理または交換をします。
- 前項による補償範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害は補償しません。
- 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
 - (1) 故障、破損が当社の納入していない機器が原因で発生した場合
 - (2) 保証期間経過後の故障、破損
 - (3) 火災、天災地震等の災害および不可抗力による故障、破損
 - (4) 当社に承諾なしで実施された修理、改造による故障、破損
 - (5) 指定品以外の部品をご使用された場合の故障、破損
- ディスポーザの誤用や乱用が原因で発生した損害についての責任は全く無いものとします。また、このことによる技術員の派遣費用は有償とさせていただきます。
- 不具合の原因が不明確な場合は協議の上、処置を決定することとします。

1. 安全について

1. 1 警告用語の種類と意味

据付説明書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。
以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負うかもしれません。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽症を負う場合または機器・装置が損傷する場合に使用されます。

1. 2 安全に関する順守事項

	順守事項
 警告	- 据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると漏電・感電・火災の原因になります。 - 据付けは、据付説明書に従って確実に行ってください。据付けが不完全な場合は、感電・火災・故障の原因になります。 - 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および据付説明書に従って、電気工事士などの有資格者が施工してください。 - ケーブル類に無理な力をかけたり、加工したりしないでください。漏電・感電・火災の原因になります。 - アース線の接続を必ず行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアースに接続しないでください。感電の原因になります。 - ディスポーザ本体や制御盤をぬらさないでください。漏電・感電の原因になります。 - ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。

警告

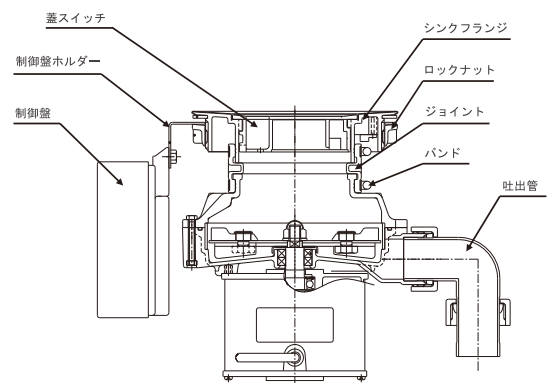
- ディスポーザ内部に手を入れるときは、下記に従ってください。
 - ①電源プラグをコンセントから抜く。
 - ②運転が停止していることを確認する。
 - ③厚手の手袋を着用する。
- 設置終了後は、設置・配線が確実にできているか確認してください。設置が不完全な場合は、本体の落下などによるけがや、火災・感電・水漏れなどの原因になります。

注意

- シンクには40℃以上のお湯を連続的に流さないでください。配管の変形・劣化により水漏れの原因になります。
- ディスポーザの蓋は乱暴に扱わないでください。また落とすと破損することがあります。
- 配管内にゴミを残さないでください。配管の詰まりの原因になります。
- 電源供給元には、必ず漏電遮断器を設置してください。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。
- 通水後は、必ず各部の水漏れ確認をしてください。

2. ディスポーザの構成

2. 1 各部の名称



3. 据付け

ディスボーズ本体の据付けは以下の手順で行ってください。

3. 1 準備する工具

(1) ロックナット締付工具

推奨品：丸一株式会社 [2640] 日K締め具 樹脂（ナチュラル）・・・品目番号 524662

(2) プラスドライバー

(3) ウエス

(4) 毛布などの養生シート

3. 2 シンクフランジの取り付け

(1) ジョイントの下側のバンドを緩めて、ディスボーズ本体からシンクフランジとジョイントを取り外してください。

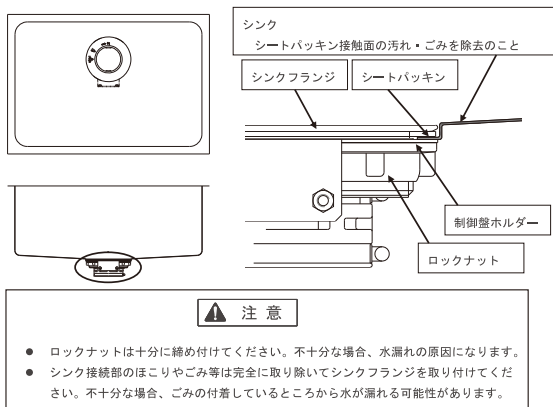
(2) シンクの汚れやごみをウエス等で拭き取ってください。

(3) シンクフランジからロックナットを取り外してください。

(4) シンクフランジにシートパッキンが付いていることを確認し、シンク排水口に差し込んでください。

(5) シンク下からシンクフランジのねじ部に制御盤ホルダーを入れて、ロックナットをねじ込んでください。（制御盤ホルダーはシンクとロックナットで挟み込む）

(6) シンクフランジの「ON」の印がシンク正面奥、制御盤ホルダーの取付部が手前を向くように調整し、ロックナットをロックナット締付工具で締め付けてください。

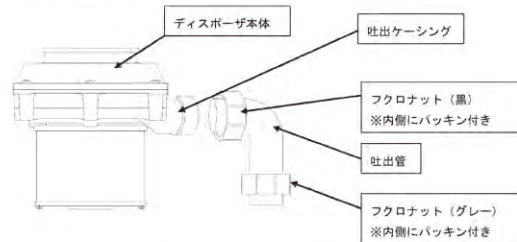


6

3. 3 吐出管の取付け

(1) 吐出管のフクロナット内にパッキンが入っていることを確認してください。

(2) 吐出管（黒色ナットが付いている方）をディスボーズ本体の吐出ケーシングに挿し込み、フクロナットを手締めで固定してください。



▲ 注意

吐出管のフクロナット内にパッキンが入っていることを目視確認してください。パッキンが入っていない場合、水漏れの原因になります。

3. 4 本体の取付け

(1) ディスボーズ本体をシンクフランジ裏下から持ち上げ、吸込ケーシングをジョイント部に差し込んでください。

このとき下図の○印の突起部がはまるように取付け、吸込ケーシングとジョイントに隙間ができないようにしてください。

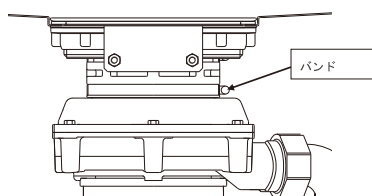


▲ 注意

本体は、シンクフランジの裏下から持ち上げてください。また無理に力を加えると、シンクが破損する恐れがあります。

7

(2) 吐出管の向きを決めて、バンドを締付けてください。
このとき、バンドが全周ジョイントの溝に入っていることを確認してください。



▲ 注意

バンドは確実にジョイントの溝に入れてください。
入っていない場合、水漏れ又は本体が落下する危険性があります。

8

3. 5 トラップの取付け

3. 5. 1 Sトラップの場合

(1) ゴムフレキを排水管（VP40A）に差し込んでください。

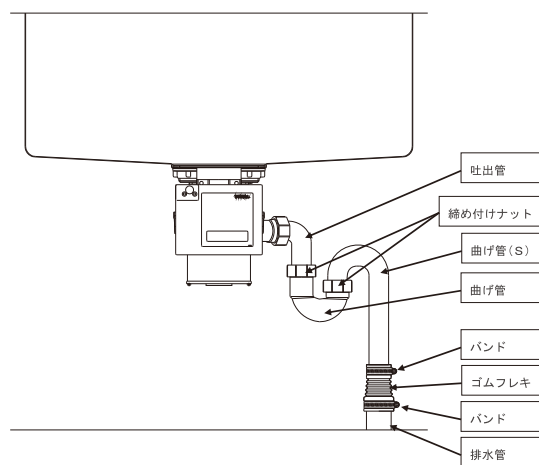
(2) トラップの曲げ管（S）をゴムフレキに差し込んでください。

(3) ディスボーズの吐出管にトラップの曲げ管を差し込み、締め付けナットをかける固定してください。

(4) トラップの曲げ管と曲げ管（S）を接続し、締め付けナットをかける固定してください。

(5) ディスボーズ、配管に無理な力がかからないように向きを調整して、締め付けナットをしっかり締め付けてください。

(6) ゴムフレキのバンド（トラップ接続側、排水管接続側）を締め付けてください。

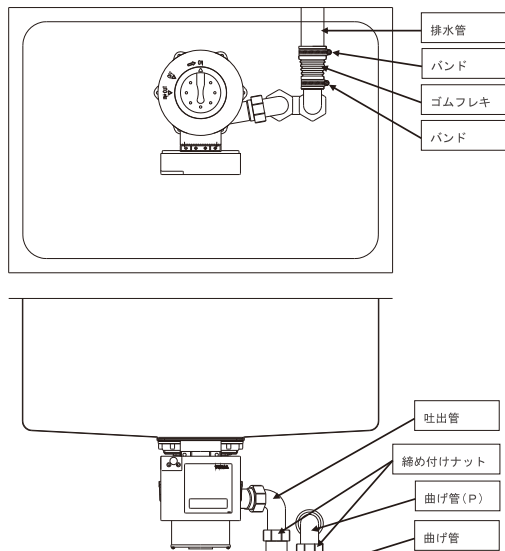


Sトラップの取付け例

9

3. 5. 2 Pトラップの場合

- (1) ゴムフレキを排水管（VP40A）に差し込んでください。
- (2) トラップの曲げ管（P）をゴムフレキに差し込んでください。
- (3) ディスボーズの吐出管にトラップの曲げ管を差し込み、締め付けナットをかるく固定してください。
- (4) トラップの曲げ管と曲げ管（P）を接続し、締め付けナットをかるく固定してください。
- (5) ディスボーズ、配管に無理な力がかからないよう向きを調整して、締め付けナットをしっかり締め付けてください。
- (6) ゴムフレキのバンド（トラップ接続側、排水管接続側）を締め付けてください。

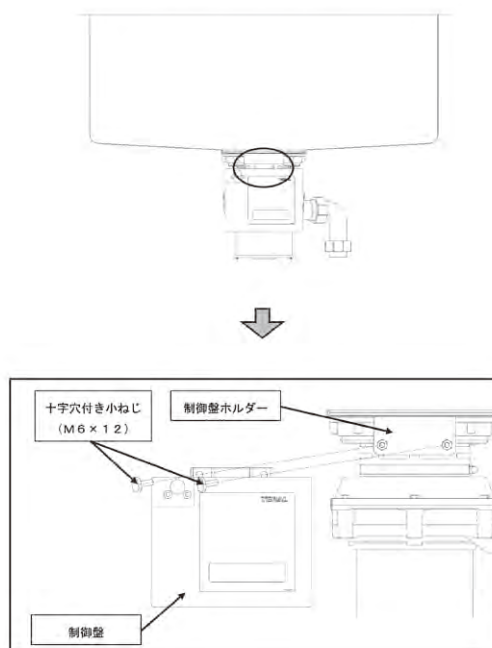


Pトラップの取付け例

10

3. 6 制御盤の取付け

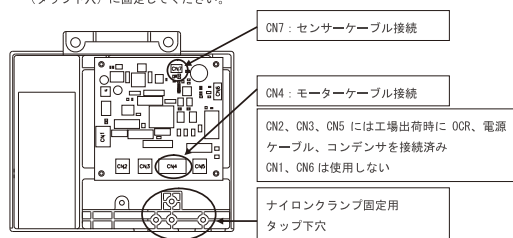
- (1) 下図のように、シンクに固定された制御盤ホルダーに付属の十字穴付き小ねじ（M6×12）を用いて制御盤を取付けてください。



11

3. 7 配線の接続

- (1) センサーケーブルの接続
制御盤カバーを外し、センサーケーブルのコネクタを、基板のコネクタ（CN7）に差し込んでください。
- (2) モーターケーブルの接続
モーターケーブルのコネクタを基板のコネクタ（CN4）に差し込んでください。
- (3) ケーブルの固定
コネクタに接続後、各ケーブルをナイロンランブとタッピングネジで制御盤ホルダー（タップ下穴）に固定してください。



警告

- ・制御盤カバーを外す際は、コンセントは抜いておいてください。
感電の恐れがあります。
- ・配線は確実に行ってください。
不十分な場合、製品の破損、火災等の恐れがあります。

- (5) 制御盤カバーの取付け
制御盤カバーを、付属のビスで固定してください。ネジ締めは確実に行ってください。
ただし締めすぎると、制御盤カバーが破損する恐れがあります。
また、制御盤カバーを閉める時にケーブルを挟まないで、カバーがきちんとはまるよう気をつけてください。

- (6) アース線の接続
電動機から出ているアース線は、アース付コンセントに接続して下さい。

12

4. 試運転

4. 1 試運転前の確認

- (1) ディスボーズ内部に異物が入っていないことを確認してください。
- (2) アース線が接続されていることを確認してください。
- (3) ロックナット、バンド、吐出管のボルト、トラップの締め付けナットがしっかり締まっていることを確認してください。
- (4) 本体に傾き、緩み、がたつき等ないこと、破損、傷等がないことを確認してください。

注意

工事が終わりましたら、必ず試運転を行ってください。この時、据付け、配管工事、配線工事が「据付説明書」通りになっているか確認のうえ実施してください。

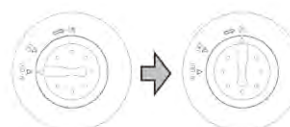
4. 2 試運転方法

- (1) ディスボーズの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
アース線の接続前に電源プラグをコンセントに差し込みますと、感電の原因になります。
- (2) ディスボーズを運転させて以下のことを確認してください。

- ① 蓋を『IN・OUT』位置に入れる。
この時は運転しない。

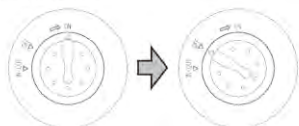


- ② 蓋を『ON』位置に合わせるとブザー音が2回鳴り、運転を開始する。

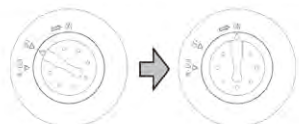


13

- ③ 運転中に蓋を『OFF』位置に回すと停止する。
停止時、ブザー音が3回鳴る。



- ④ 再度蓋を『ON』位置に合わせるとブザー音が2回鳴り、運転を開始する。

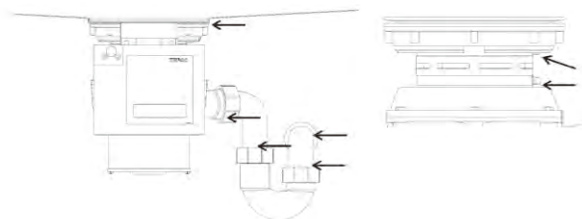


- ⑤ 運転を始めて1分間で自動的に停止する。
停止時、ブザー音が3回鳴る。

- ⑥ 運転中に異常音・異常振動がない。

〈3〉 次の方法で水漏れのないことを確認してください。

- ① 平ゴム等で排水口をふさぎシンクに10cmほど水を溜め5分以上保持する。
排水後、下図の矢印周辺から水漏れがないことを確認する。
- ② 水を流しながらディスボアを運転し、シンクフランジ接続部、ジョイント接続部、吐出管接続部、トラップ接続部から水漏れがないことを確認する。



雨水槽RTN-3 施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語及び明記の説明

警告 守らないと、火災や重症を負うことがあります。
注意 守らないと、火災や重症を負うことがあります。怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。
「禁止」「してはいけません。」「遵守」「指示通りしてください。」「

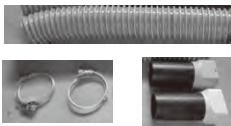
注意

槽本体の据付は専用の基礎を設けてください。水準器等で基礎の水平を確認し、槽本体にガタツキが無いようにしてください。	槽本体は別売り部品の固定金具で固定するか、転倒防止を行なって下さい。
これを怠ると槽本体転倒事故を生ずる恐れがあります。	これを怠ると槽本体転倒事故を生ずる恐れがあります。
水の溜まるような場所へのポンプの設置は避けてください。	散水用として使用される場合は誤って飲用しないように表示を行ってください。
漏電・火災の原因となります	飲用に用いると健康を損なう恐れがあります。
水道水給水管は凍結防止の保温材を設けてください。	ポンプの基礎は本体のスラブにつなげないでください。又、寝室等の近くには設置しないでください。
冬季に凍結破損の恐れがあります。	騒音が気になる事があります。
ポールタップへの水道水給水管の接続や既存水配管の盛管は管工事士の資格を有する専門業者に委託してください。	トイレ洗浄水として使用する場合、温水洗浄便座配管には接続しないでください。(温水洗浄便座には水道水を使用ください) 温水洗浄便座一体式便器には使用しないでください。
法律に反します。	
オーバーフロー配管は雨水配水管に接続してください。汚水配管へは接続しないでください。	ポンプ、切替弁、フロート等の分解、改造は行わないでください。
法律に反します。	発火して火災や感電の原因となります。また故障の原因となります。

施工手順

1.外観検査

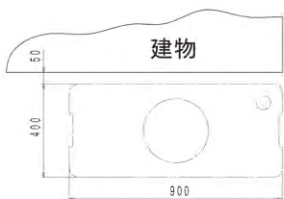
工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がない十分に確認してください。工場出荷時には製品検査を十分にしていますが搬送中の衝撃等でも亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。



ジャバラホースφ60×L50 1本
角トイ継ぎ手2種類 2個
ホースバンド 2個
雨樋短管(φ60×L10) 2本

2.設置場所選定

取水する雨樋縦管を選定して、設置する場所を決定してください。雨水槽は壁や建物から50mm以上離して設置ください。次に同梱された接続部品が雨樋のサイズと合うかを確認ください。φ60の丸トイの場合は接続ジャバラ、角トイの場合は2種類の角トイ継ぎ手になります。その他の特殊な形状、寸法の場合は弊社並びに設備店に御相談ください。また、ポンプ等の設置は寝室等、騒音の気になる場所は避けてください。



※下記のような場所への設置は避けてください

- ・ぬかるみや地盤の柔らかい場所
- ・地盤が平坦でない場所
- ・水が溜まるような場所
- ・芝生、落ち葉などの上
- ・(芝生、落ち葉を除去してください)
- ・フットデッキ等、構造物の上
- ・玉砂利、敷石の敷かれている上
- ・インターロッキングの上
- ・勾配の急な場所。

このような場所は、設置工事が困難なうえ、雨水槽の転倒や、傾き等が生じ、危険です。安全・快適にご使用いただくため、設置場所の選定にはご考慮ください。

Wタイプ、Aタイプはポンプの電源が必要です。(100V)
設置場所付近に電源がない場合は専門の業者に依頼して電源を設けてください。

警告・注意

据付工事に際して槽本体の急激な吊り上げ、吊り下ろしは絶対に行わないでください。	可燃物の近くにポンプを設置しないでください。
破損し、傷害事故、家財の破損が生ずる恐れがあります。	引火して火災や感電の原因となります。
工事の際、素手で本体に触れないでください。	槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。
思わぬ怪我をすることがあります。	槽が陥没したり、槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。
槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には立ち入らないようにしてください。	ポンプの電源は屋外型の防水コンセントを用いてください。また、電源工事は電気工事事務所に委託してください。
槽本体の落下による事故の生ずる恐れがあります。	

施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- ・設置場所は地盤強度：長期許容耐力0.5t以上保持していることを確認してください。
- ・設置場所はトイレや散水栓とできるだけ最短距離で維持管理の容易な場所を選定してください。屋内や床下等は避けてください。
- ・建屋雨樋からの雨水配水管の末端に配置するように配管勾配等をレイアウトしてください。
- ・各雨水配管と雨水槽本体及び、オーバーフロー接続先の配管レイアウト及び配管勾配を考慮してください。
- ・設置場所は槽本体の搬入、残土搬出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。

●特殊埋設工事の場合

次のような場所に設置する場合は特殊埋設工事となりますので弊社にお問い合わせください。

- ・軟弱地盤の地域、地盤が水位より低い地域

●製品、部品の確認

- ・施工前に必ず梱包内容を確認してください。
- 槽本体 (1基)、ポンプ(H、W、Aタイプ)、接続ジャバラ管×1本、角トイ継手(三菱)×1、角トイ継手(タキロン)×1、ホースバンド×2、丸トイ短管×2 (槽本体同梱部品：施工説明書、使用説明書)

●別途にご用意していただくもの

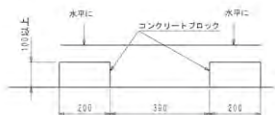
- ・コンクリートブロック(高さ100mm以上)
- ・塩ビ配管 VP20(ポンプオーバーフロー配管) VP13(給水配管)、同継手類・塩ビ接着剤

●必要な工具

- ・スコップ、ツルハシ等の掘削工具
- ・スケール、水準器等の測定工具
- ・水桶き用ホースリール
- ・プラスチックバレー、モンキレンチ、カッター、鋸
- ・電動ドリル、ドリル刃(φ6mm)

3.ブロック敷設

- ・雨水槽設置位置にブロックを設置してください。
- 下図の寸法で、ブロックの上面が水平になるように設置してください。



必ず確認してください

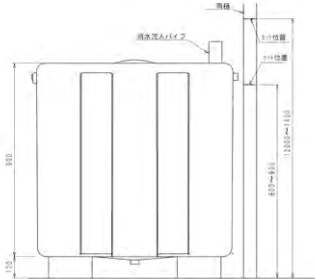
- ・ブロックのレベルは水準器等で正確に確認してください。
- ・砂地や泥地などの地盤が不安定な場所への設置は避けてください。

4.雨トイの切断

取水する雨樋のカット位置を決定したら、次に雨樋の切断位置を右図のようにマーキングします。

上側は雨水槽を設置する場所の地上面より1000～1400mmの範囲でカット位置を書き、下側は立上りが本体のオーバーフロー位置より100～200mm下で書き、

マーキングが済みましたら雨樋を塩ビ用の鋸でカットしてください。カットする際は雨樋が振動しないように手でしっかり固定してください。



5.雨水槽の据付

- ・ブロック上に雨水槽本体を据付し、設置位置を決定します。
- 流入管、放流管、オーバーフロー管、ポンプ配管等の接続が可能か、十分にご確認ください。
- 据付時、雨水槽本体にガタツキがないことを確認してください。
- 据付完了しましたら、同梱の取水蛇口を本体の蛇口取り付け部に取り付けてください。
- 取り付け時は蛇口のネジ部にシールテープを巻きつけておねじ込んでください。

雨水槽本体をブロック上に据付しましたら、本体の安定と、設置場所の地盤の確認のため、雨水槽内に水を入れてください。本体の3分の1程度まで、雨水槽内に水を貯めたら、再度、本体のガタツキが無い事を確認してください。

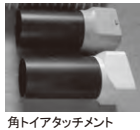
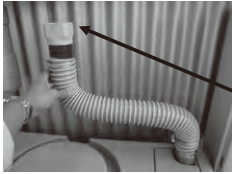
必ず確認してください

- ・ブロック上に小石等の異物がないことを確認してください。
- ・槽を据付の際、本体を引きずったり、ぶつけたり、衝撃を与えたりしないでください。

6、配管接続

雨樋継ぎの接続

槽本体の流入パイプ部に付属のジャバラホースの一端を差込み、ホースバンドで固定します。
雨樋がφ60mmの丸太であれば、ジャバラホースのもう一端を雨樋に差込み、ホースバンドで固定します。
雨樋が角太の場合は付属の7タッチメントをジャバラホースにさし込み、ホースバンドで固定してから元の雨樋に接着してください。
※雨樋によっては付属の7タッチメントで接続できない場合があります。その場合は弊社までご相談ください。



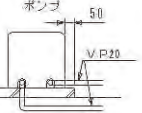
角太イアタッチメント

水道水給水管の接続(Aタイプのみ)

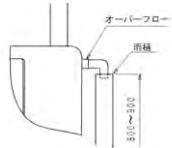
本体の接続口に給水バルブソケット、もしくは給水バルブエルボを取り付けてから、槽本体の給水接続口(13A)に水道水配管を接続します。
給水管はHVP13を使用してください。
※槽本体の接続前に止水バルブ(13A)を開けてください。
※接続した配管に凍結防止のための保温材を取り付けてください。

送水ポンプ設置・接続(Aタイプのみ)

ポンプは通気、防湿、騒音等を考慮した場所で雨水槽より3メートル以内になるように設置してください。
振動防止の為、コンクリート基礎を打ち、機器の重量や振動に耐える構造としてください。
また建物基礎や雨水槽本体の上部スラブと直接つなげることなく、GLより100mm以上高く、機器類の外形より50mm大きくしてください。
本体の接続口(20A)にポンプ吸込側配管を接続します。HVP20を使用してください。
※ポンプの吸込側、送水側に止水バルブ(20A)を設けることをお勧めします。
※配管に凍結防止のための保温材を取り付けてください。



オーバーフローの接続

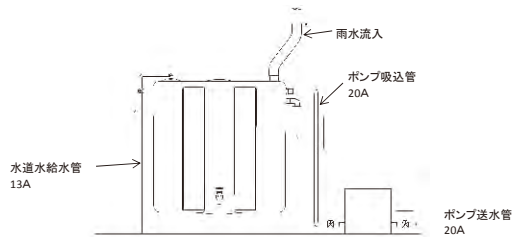


オーバーフロー接続口(20A)も必要であれば配管を接続します。配管はVP20(別途)を使用してください。
カットした雨樋の下側部分に20Aの配管が入り込むように配管しますと、オーバーフローした雨水は雨樋を通じて排水されます。
接続しない場合は降雨時に、オーバーフロー部からオーバーフローした雨水が流出しますが、機能上、問題はありません。

必ず確認してください

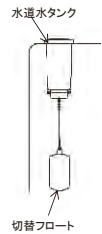
- ・ポンプは運転時に熱を持つ為カバーをかぶせたり風通しの悪い場所や可燃物、危険物の近くへの設置は避けてください。
- ・屋根からの雨水がかからないようにしてください。
- ・第三種設置工事(アース工事)を行ってください。電気工事は有資格の専門業者に依頼してください。

設置配管例(RTN-3A)



7、部品取り付け

- ・本体の点検口より梱包部品の切替フロートをセットします。切替フロートを水道水タンク下のチェーンに、吊り下げるようにセットしてください。出荷時に切替フロートの鎖は調整してありますので、鎖の長さは調整不要です。



8、試運転

- ・雨水槽本体に水をため、本体の漏水がないか、オーバーフローやドレンの排水に異常はないかを確認します。
- ・雨水槽に水を溜めます。
- ・ポンプに呼水を入れます。(Aタイプのみ)
- ・水中ポンプ、ポンプの電源を入れます。(W、Aタイプのみ)
- ・散水栓、トイレへの給水が正常に行われているかを確認します。
- ・槽本体の水位低下時に水道水切替タンクから槽本体に水道水が給水されることを確認します。(Aタイプのみ)
- ・設置完了時には別紙工事竣工チェックリストで竣工検査を行ってください。

9、竣工検査

- ・工事完了後は、下記の工事竣工チェックリストで検査確認を行ってください。

チェック内容		結果	
1	槽本体の据付けにガタツキはないか	無	有
2	使用先(トイレ、散水等)へ確実に配管されているか	良	否
3	雨水流入パイプへの接続は確実にされているか	良	否
4	出口から確実に水が出るか	良	否
5	手動ポンプ作動に異常はないか(Hタイプ)	無	有
6	雨水槽から手動ポンプの接続に異常はないか(Hタイプ)	無	有
7	水中ポンプのスイッチを入れたとき水中ポンプが正常に作動するか(Wタイプ)	良	否
8	スイッチの作動に異常はないか(Wタイプ)	無	有
9	雨水槽から加圧ポンプへの配管接続に異常はないか(Aタイプ)	無	有
10	加圧ポンプの作動に異常はないか(Aタイプ)	良	否
11	水道水配管の接続に異常はないか(Aタイプ)	無	有
12	ポンプの取り付けにガタツキはないか(W、Aタイプ)	無	有
13	ポンプの運転音が気にならないか(W、Aタイプ)	無	有
14	ポンプ電源は屋外用防水コンセントになっているか(W、Aタイプ)	良	否

10、引渡し

- ・検査完了後、設置者に取扱説明書、保証書を手渡し、使用方法や注意事項を説明してください。

雨水槽RTN-3固定金具設置要領

雨水槽RTN-3固定金具の取付にあたって

- ・雨水槽施工の際に雨水槽の壁からの距離を30~120mm以内としてください
この範囲以外だと金具が雨水槽本体に取りつかない可能性があります。

雨水槽RTN-3固定金具設置要領

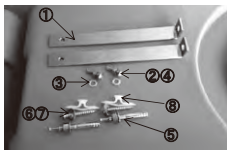
- ・雨水槽の壁からの距離が30~130mm以内であることを確認してください。

1.部品の確認

- ・施工の前に部品の確認、工具の準備を行います。

雨水槽RTN-3本体固定金具部品
セット内容

	部品名	
1	固定金具本体	2
2		2
3	本体固定ボルト類	2
4		2
5	コンクリート用	2
6	壁固定	2
7	ボルト類	2
8	ボード用	2

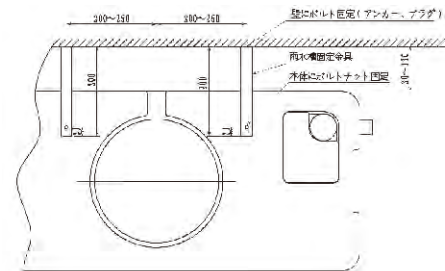


必要な工具

電動ドリル・ドライバー、コンクリートドリルキリφ6.5、ドリルキリφ6.5、φ8ハンマー、プラスドライバー、モンキーレンチ

2.金具取付位置の決定

- ・雨水槽の壁からの距離が30~130mm以内であることを確認してください。
- ・雨水槽の中心から200~250mmの位置に固定金具本体を配置し、壁の状態を確認してください。加工取付の障害となるものがないか、壁の強度に問題がないか確認してください。



- ・金具の位置が決まったら、雨水槽本体と壁に固定金具の穴位置をマーキングしてください。

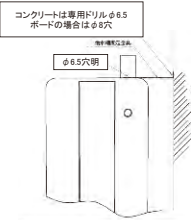
取付穴加工

- ・雨水槽本体に取付穴を開けます。
マーキングした位置に穴明け加工を行います。
ドリル径は6.5mmをご使用ください。

建物壁に取付穴を開けます。
マーキングした位置に穴明け加工を行います。

壁がコンクリートの場合は専用の工具で穴明け加工を行います。
ドリル径は6.5mmをご使用ください。

壁がボードの場合はφ8mmで穴明け加工を行います。



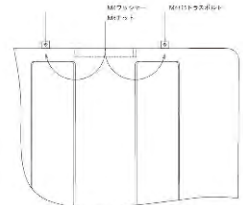
金具取り付け

- ・雨水槽本体に固定金具を取り付けます。

本体に開けた取り付け穴に固定金具を合わせ、
②M6×25(5)mm ボルトを上から差し込みます。

本体の点検蓋を開け雨水槽内側より③M6ワッシャーと④M6ナットを②M6×25(5)mm ボルトに取り付けます。

取り付け付けたボルト、ナットを締め上げて固定します。



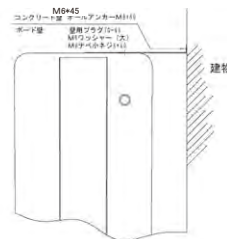
- ・固定金具を壁に取り付けます。

○ 壁がコンクリートの場合

固定金具と壁の取り付け穴に⑤M6×45オールアンカーを差し込みます。
オールアンカーをハンマーで叩き入れ固定します。

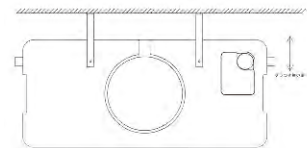
○ 壁がボード等の場合

壁の取り付け穴に⑥プラグT G95を差し込みます。
プラグは2つ折りにして差し込みます。
固定金具を壁の取付穴に合わせ、⑦M6ワッシャー(大)を通して⑧ナベ小ネジφ6×40を差し込み電動ドライバー等で固定します。



固定確認

- ・雨水槽本体が固定金具で壁にグラツキ無くしっかり固定されているか確認します。



特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明	
	警告 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。
	注意 守らないと、けがをしたり家財に損害を与えることがあります。
	禁止 禁止を示す記号です。
	必ず実行 必ず行うことを示す記号です。



禁止

- 電源プラグ(アダプター)をぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。
- 電源プラグ(アダプター)を水につけたり、水をかけたりしないでください。
火災や故障の原因となります。
- 電源プラグ(アダプター)のコードに以下のようなことはしないでください。
 - ・重い物を載せたり、挟み込んだりすること
 - ・加工や破壊、傷つけたりすること
 - ・無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねること火災や感電の原因となります。
- この施工説明書以外の改造や修理はしないでください。
火災や感電、故障や漏水の原因となります。
- 浴室や洗面に水滴が出る湿気の多い場所では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。
- 便器は割れものです。施工前に運送破壊の確認と施工時での破壊がないかを点検してください。
破損部でけがをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。
- オーバーフロー配管は絶対に便槽に接続しないでください。
便槽があふれる恐れがあります。



必ず実行

- AC100Vに接続して使用してください。
火災や故障の原因となります。
- 電源プラグ(アダプター)は、
 - ・コードを持って抜かないでください。
 - ・相元まで確実に差し込んでください。
 - ・差込み部とコンセントは、定期的にホコリを取り除いてください。火災や感電の原因となります。
- 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
資格のない人が電気工事をすることは法的に認められていません。
- 便器設置部の床面は、水平にしてください。
便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
また、洗浄力が弱くなる恐れがあります。
- 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。
- オーバーフロー配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の
防臭対策をしてください。
但し、凍結の恐れのある場所ではトラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して
施工してください。
- オーバーフロー用排水は、塩ビ管 VU40 又は VP30 で必ず配管してください。
オーバーフロー用排水の内径が 20mm より小さいと、便器が故障して給水が止まらないときに
排水しきれず、水浸しになり家財を濡らす原因となります。
- 施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。
漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
- 上水道を使用してください。
井戸水や地下水は、機器不良の原因となりますので使わないでください。保証対象外となります。
- 給水(水道)は、下記の給水条件の範囲で使用してください。
 - ・給水条件
 - ・最低必要水圧: 0.15MPa (流動時)
 - ・最高水圧: 0.75MPa (静止時)
 - ・給水温度: 40℃以下水圧不足は洗浄力が悪くなり、水圧が高いと機器の故障の原因となります。
- 凍結の恐れがあるときは、バルブの水抜きを行ってください。水抜き栓を開いて完全に水を抜いて
ください。または、室内暖房など適切な処置を行ってください。
凍結による破壊で漏水し、家財を濡らす原因となります。
- 温水洗浄便座等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。
- 製品を持ち上げるときは便器本体を持ってください。
部品がはずれ、故障やけがの原因となります。
- 直射日光が当たらないようにしてください。
センサーが誤動作したり、プラスチック部が変色することがあります。
- 床に便器を埋め込まないでください。
修理できなくなります。

詳細は取扱説明書P14▶

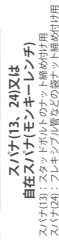
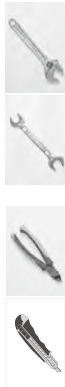
施工の前に

梱包内容をお確かめください。



必要な工具、別途必要なもの

三
上
冊



■ 部材



コンセント

交流100Vのアース付き2口コンセントが必要です。
ACアダプターのコード長さは1.5mです。
これが届く位置にコンセントを設けてください。



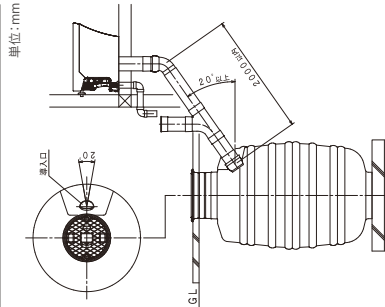
配管上の注意事項

- 配管材料は、JS K6741に準じた硬質塩化ビニル管（塩ビ管）を使用してください。
- 肉厚・導入管・導入短管・・・2mm以上（プロ－品類手類1.6mm以上）
- 奥突管・・・1.5mm以上（プロ－成形品線手類1.2mm以上）
- 導入管・導入短管は、VU100を使用してください。また、それに使用する継手は、汚水の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
- 段差で汚物が引つ掛かるような継手は使用しないでください。
- 横引きの導入管途中には、絶対にエルボを使用しないでください。
- 奥突管**
- 次の場合は必ず奥突を設置してください。
- ① 2階配管など汚水管の長さか1.5m 以上の場合
- ② 小便器を設置する場合
- 奥突管の先端には、排気トップ（奥突ファン等）を設けてください。
- 排気トップは、防臭機能に支障をきたさない性能のものを使用してください。
- 排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm 以上の高さに取り付けください。
- 配管の接合部には確実に接着し、十分な耐久性と気密性を確保してください。
- 配管工事完了後、約10^{1/2}の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- オーバーフロー－屋外配管からの臭気上りについて（製造物責任法を考慮した注意書きについて）
- オーバーフロー－配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。
- 但し、凍結の恐れのある場所では、トラップ内の水やオーバーフロー－管先端の凍結に十分注意して施工してください。
- また、凍結の恐れのある配管は絶対に凍結に接触しないでください。凍結があればあります。
- 上水道を使用してください。井戸水や地下水は、機器不良の原因になりますので使わないでください。
- もし使用する場合、保証対象外となります。
- 水道配管**
- 水道配管工事は、各自治体水道局の指定店で行ってください。
- 給水条件**
- 最低必要水圧：0.15MPa（流動時）、最高水圧：0.75MPa（静止時）、給水温度：40℃以下、この範囲で使用してください。
- 水道配管はしっかりと固定してください。水撃作用（ウォーターハンマー）の原因となります。
- 2階以上や地下室のある1階に設置する場合 万一のことを考えトイレ－ル－ムの防水や床に排水口の設置をお勧めします。

標準施工図

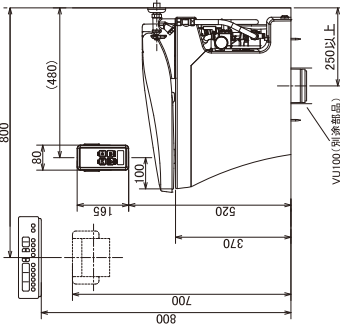
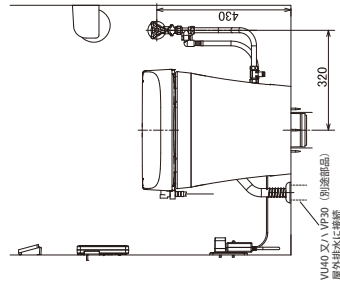
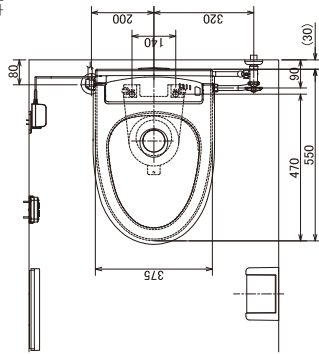
■便槽の容量

1人当たり1ヶ月で約100～150リットルで計画ください。
但し、来客や家族数が増えること、今後、洗浄便座を取り付けることを考えて少し大きめのものをご使用ください。
最低でも500リットル以上の容量のものをご使用ください。



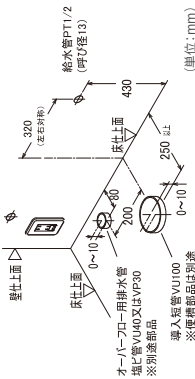
寸法図

単位: mm

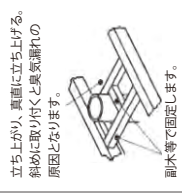


1. 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



便器設置部の床面は、斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。
仕上げてください。
平らでない便器のカタツキの原因となります。



2. 止水栓の取付

どちらかの部品が付属しています。



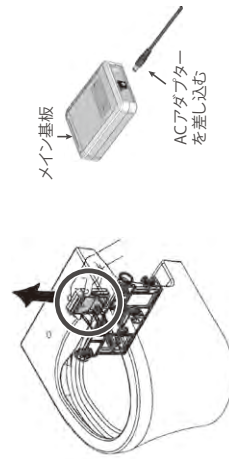
止水栓取付後、製品を接続する前にバケツ一杯分の水を排出し、配管中の異物やサビを洗い流してください。
製品内部に入ると漏水の恐れがあります。
配管を洗い流した後、ストレーナーの清掃を行ってください。

詳細はP8 7.給水管の接続 ▶

3. ACアダプターの差し込みと便器給水配管の方向確認

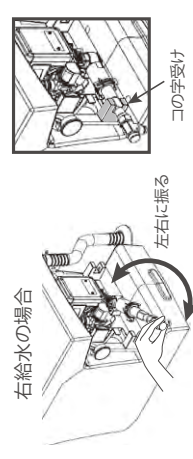
① ACアダプターの差し込み

便器背面に取り付けてあるメイン基板ケースに、ACアダプターを差し込んでください。



② 便器給水配管の方向確認

便器給水配管を左右に振り、壁の給水管の方へ向けてください。便器給水配管はコの字の受けで固定してください。
便器設置後では、壁と干渉する可能性があります。
(図は右給水の場合)

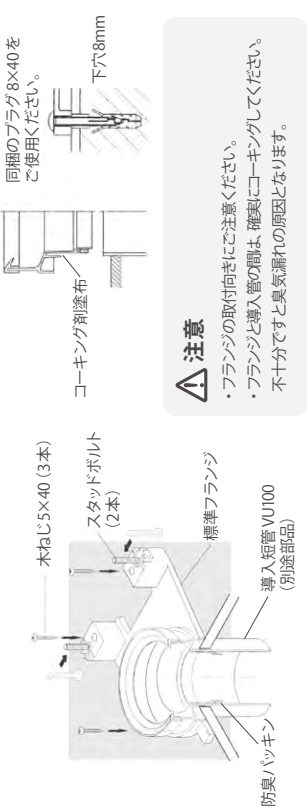


施工の手順

- | | | | |
|-----------------------------|------|--|-------|
| 1. 給排水管の位置決め | ▶ P6 | 8. リモコンの取付 | ▶ P9 |
| 2. 止水栓の取付 | ▶ P6 | 9. 電源の接続 | ▶ P10 |
| 3. ACアダプターの差し込みと便器給水配管の方向確認 | ▶ P6 | 10. 洗浄水量調整
(洗浄するまでの時間設定、前洗浄(補水)と流水洗浄(後洗浄)の設定) | ▶ P11 |
| 4. 床フランジの取付 | ▶ P7 | 11. 自動洗浄の設定方法 | ▶ P13 |
| 5. 便器本体の据付 | ▶ P7 | 12. 便座の取付 | ▶ P14 |
| 6. オーバーフロー管の接続 | ▶ P7 | 13. 点検・試運転 | ▶ P15 |
| 7. 給水管の接続 | ▶ P8 | 14. 人感センサーのテストモードによる感知距離の調整 | ▶ P16 |

4. 床フランジの取付

床フランジ、又は改造フランジを床に取り付けてください。



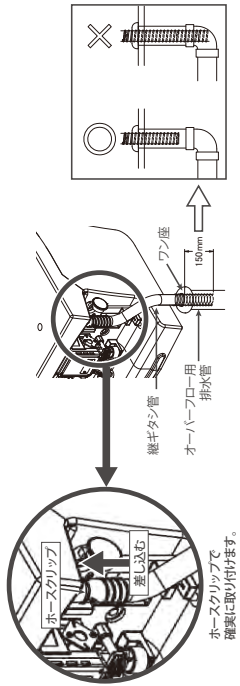
5. 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付けてください。



6. オーバーフロー用排水管の接続

- ① 継ギタシ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。
- ② 継ギタシ管を必要な長さに切断し、ワン座を入れてオーバーフロー用排水管を差し込んでください。



7. 給水管の接続

止水栓を取り付け、フレキシブル管で接続してください。



マイナスイライバーを使用して、ストレーナーを取り外してください。

■止水栓のストレーナーの場合



止水栓の下にあるストレーナーは手で回すと取り外せます。

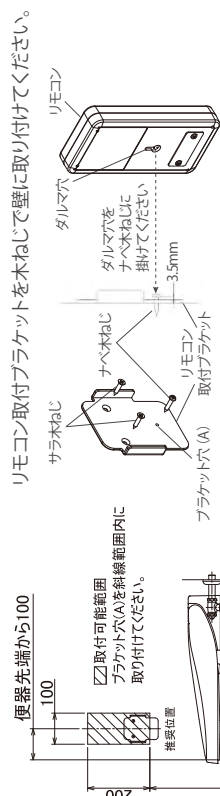
！必ず実行

ストレーナーを確認してください。
止水栓を開け何度か試運転して通水したあと、ストレーナーを掃除してください。

8. リモコンの取付

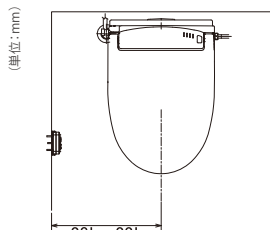
リモコン取付ブラケットを便座に座って右側の壁に取り付けてください。
左側の壁に取り付ける場合はスイッチ切替が必要です。【詳細はP13 11.自動洗浄の設定方法 ▶】

！ 必ず実行
リモコンの取付位置が決まっています。周りに手すり等の障害物がないことを確認し、必ず取付範囲内に取り付けてください。
リモコンで動かなかったり、自動洗浄が誤動作する原因となります。



注意

- 現場環境により、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、**リモコンボタンを押しても動かない**ことがあります。
下記の場合は、**同梱のリモコン接続ケーブル(有線)**を使用してください。
 - ・床や壁が黒又は暗い色のとき
 - ・リモコンが施工取付範囲外になるとき(自動洗浄も使えません)
 - ・リモコンの下にペーパーホルダーや手すりなど、物がある場合
 - ・壁から便器中心までの距離が400～450mm以外の寸法るとき
 - ・ひとつのトイレブース内複数台設置するとき(配線の可能性がありますが)
- 壁から便器中心までの距離が450mmを超えると、自動洗浄が反応しない場合があります。その場合、リモコンの押しボタンで操作してください。
- DCWK31など便座本体右側に操作部がある場合、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなります。その場合、リモコン接続ケーブルを使用するか、左壁にリモコンを取り付けてください。



● 斜線範囲内に掃除用具などを置かないでください。

● リモコンの下にペーパーホルダーや手すり、棚などを取り付けないでください。矢印方向にセンサーが出ています。

リモコン接続ケーブル(有線)を使用する場合

リモコン接続ケーブル(有線)を取り付けてください。乾電池は不要になります。床や壁の色が暗い色の場合や所定の位置にリモコンを取り付けられない場合、リモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。但し、所定の位置にリモコンを取り付けられない場合は自動洗浄の有感センサーが反応しないため、自動洗浄 OFF でご使用ください。

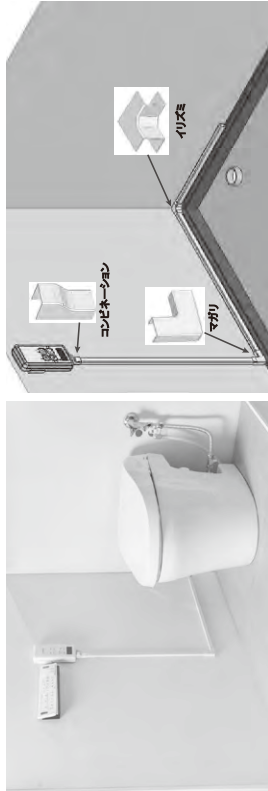
リモコン



メイン基板ケース



モールの使用方法



リモコン接続ケーブルを壁面に沿って配線し、図のようにモールで固定してください。モールはリモコン取付位置に合わせ、適切な長さでカットしてください。モールは内径 6mm 以上のものであれば、別メーカー品も使用可能です。

乾電池(無線)を使用する場合

付属の単三アルカリ乾電池4本を入れてください。リモコン接続ケーブル(有線)を使用する場合は、乾電池不要です。



注意

新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
正しく入れないと、回路基板が故障する恐れがあります。

9. 電源の接続

付属のACアダプターをコンセントに接続してください。通電すると、フラッパー弁(排出弁)が「回開閉」して通電したことをお知らせします。
それ以外の動作をしたときは、配線が外れている可能性がありますので確認してください。

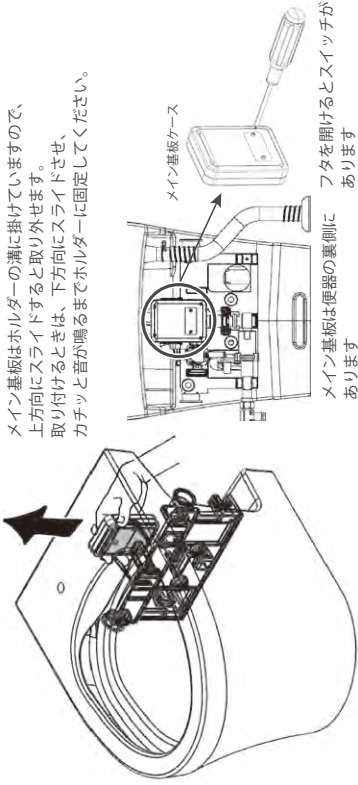


10. 洗浄水量調整 (洗浄するまでの時間設定、前洗浄 (補水) と溜水洗浄 (後洗浄) の設定)

■ 水量調整初期設定

洗浄水量は、以下のよう設定しています。(流水時 (動水圧) が0.2MPa以上のとき)

	工場出荷時設定	
	ボリューム	水量
大洗浄	3	500cc
小洗浄	2	350cc
前洗浄	4	500cc



■ 洗浄水量を増減したいとき

前洗浄 (補水) 小洗浄 大洗浄 洗浄するまでの時間

セレレクトスイッチ (SS)

切り替え不可

SS	前洗浄 (補水)	溜水洗浄 (後洗浄)
OFF	工場出荷	工場出荷
ON	工場出荷	工場出荷
ボリューム	4	-
ONにした時の水量	500cc	200cc (固定)

増やしたいとき 時計回り
減らしたいとき 反時計回り

■ 洗浄水量のボリューム表

流水時 (動水圧): 0.2MPa以上 または、静止時 (静水圧): 0.25MPa以上

流水時(動水圧):0.2MPa以上 または、静止時(静水圧):0.25MPa以上												工場出荷時
ボリューム	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
大洗浄	200cc	280cc	350cc	500cc	580cc	650cc	760cc	880cc	980cc	1,100cc	1,110cc	
小洗浄	200cc	280cc	350cc	500cc	580cc	650cc	760cc	880cc	980cc	1,100cc	1,110cc	
前洗浄	0cc	70cc	280cc	360cc	500cc	590cc	730cc	860cc	980cc	1,090cc	1,110cc	
後洗浄	200cc											

流水時 (動水圧): 0.15~0.2MPa未満のとき、以下の設定にしてください。

	小洗浄	前洗浄
4	3	5

ボリューム	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大洗浄	130cc	190cc	280cc	360cc	450cc	520cc	610cc	700cc	780cc	890cc	900cc
小洗浄	130cc	190cc	280cc	360cc	450cc	520cc	610cc	700cc	780cc	890cc	900cc
前洗浄	0cc	60cc	200cc	290cc	400cc	490cc	610cc	710cc	790cc	890cc	990cc
後洗浄	150cc										

■ 洗浄するまでの時間

立ち上がったから洗浄するまでの時間

ボリューム	洗浄するまでの時間
1	3秒
3	5秒
5	8秒
7	11秒
10	15秒

← 工場出荷時

■ 自動洗浄の動作

便座に座って

6秒以下	洗浄しません
6秒~30秒	小洗浄
30秒以上	大洗浄



「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。その時は工場出荷時のボリュームに戻してください。

■ コードの格納

便器背面のメイン基板ケースから出ているコードを便器内部に押し込んでください。出たままにすると、リモコンのセンサーが反応しないことがあります。

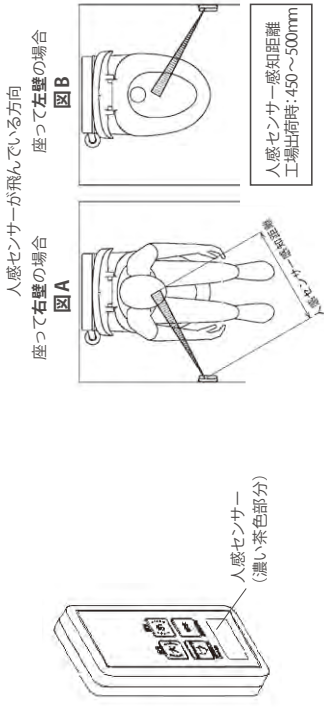


11. 自動洗浄の設定方法

自動洗浄にする場合は、下記の手順で設定を行ってください。

① 左右壁取付位置の確認

工場出荷時は、便座に座って右壁取付 (図A) で設定しています。



② 左壁取付の切り替え

便座に座って左壁取付 (図B) の場合、切り替えスイッチを左側に切り替えてください。



ねじを2本外して裏フタを外してください

注意

スイッチを左右に切り替える場合は、確実に切り替えてください。センサーが反応しない恐れがあります。

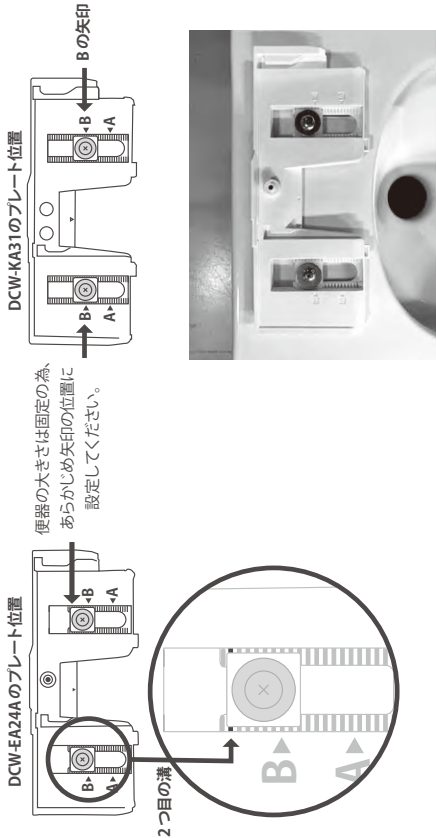
■ 便器自動洗浄の切り替えスイッチ			
便器自動洗浄	ON 左壁	OFF -	ON 右壁
壁取付位置			
スイッチの位置			

注意

本製品は、精密機械につき使用環境によっては誤動作が生じることがあります。誤動作が生じないよう、取付前に必ず確認してください。

- 自動洗浄で誤動作がある場合、自動洗浄をOFFにしてご使用ください。
- 照い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しない場合があります。そのときは押しボタンで操作してください。
- 人感センサー感知距離範囲内に障害物がないようにしてください。
- トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、誤動作（誰もいないのに動く）することがあります。そのときは、窓をカーテンやブラインドなどで遮光するなど自動洗浄をOFFにしてください。
- リモコン取付けの反対壁がタイルなど反射しやすい素材のときは、自動洗浄を「OFF」にしてください。
- 人感センサーの濃い茶色部分を傷つけたり汚したりしないでください。
- 水がかかるとような場所には設置しないでください。
- 人感センサーが感知したままの状態が長く、乾電池の消耗が早くなります。
- ドアの閉閉で自動洗浄することがあります。そのときは、リモコンの取付位置や感知距離調整を行ってください。それでも解消しないときは、自動洗浄をOFFにして押しボタンで使用してください。

12. 便座の取付

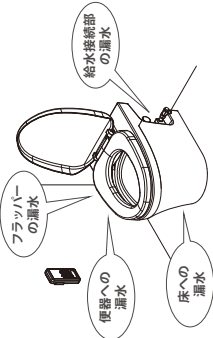


便器本体に DCW-EA24A 用の
固定プレートを取り付けた様子

13. 点検・試運転

止水栓（元栓）を開き、リモコンの各ボタンを操作してフラッパーの開閉や洗浄水の流れ、各部の漏水の有無を点検してください。

通水後 1 回目の洗浄の際、配管内の空気が抜け、大きな音が鳴りますが、異常ではありません。



① 自動洗浄設定の場合は、便座に座って下表の動作を確認してください。

便座に座って

6秒以下	洗浄しません
6秒～30秒	小洗浄
30秒以上	大洗浄

便座から立ち上がった後洗浄するまでの時間は、工場出荷時 11 秒に設定しています。
変更するときは、P12の「洗浄するまでの時間」の調整を行ってください。

⚠ 注意

「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。
その時は工場出荷時のボリュームに戻してください。



⚠ 注意

連続でボタンを押しても反応しません。
5秒程度間隔を空けてボタンを押してください。

❗ 必ず実行

施工後、お客様へ下記の説明をお願いします。
「薄い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しない場合があります。その場合は手動ボタンで操作してください。」
凍結する地域の方は、取扱説明書の「凍結のおそれがあるとき/水抜き」の水抜きの説明をお願いします。

■ トイレ洗浄用ラベル

洗浄便座のリモコンと区別するため、「トイレ洗浄用」のラベルを同梱しています。必要な方は見えやすい位置に貼ってください。



⚠ 注意

正常に動かないとき

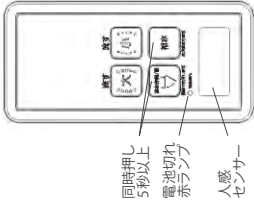
リモコンボタンを押しても動かないときや異常な動作をしたときはACアダプターの電源を抜いて5秒後に電源を入れてください。リセットされて正常に戻ります。

14. 人感センサーのテストモードによる感知距離の調整

壁から便器中心までの距離が400～450mmの場合、自動洗浄の人感センサー感知距離の調整は不要です。
自動洗浄が正常に作動しないとき、テストモードにして調整ください。

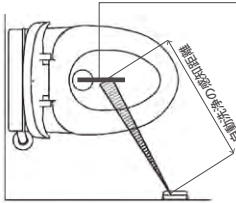
① テストモードの入り方

リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しするとテストモードに入ります。
同時押しなので、排水弁開/閉が補水のどちらかが動作しますが、問題ありません。
テストモードに入り、人感センサーが感知すると「電池切れ」赤ランプが点灯します。



② 人感センサー感知距離の確認と調整方法

白紙(A4サイズ程度)を人感センサーの10cm程度前のところにかざして赤ランプが点灯することを確認してください。
点灯しないときは、テストモードに入っていないか、自動洗浄切替スイッチがOFFになっています。
人感センサーは右図のように、斜め方向に出ています。
その方向の便器中心付近に白紙を当て前後に移動しながら赤ランプを見てください。



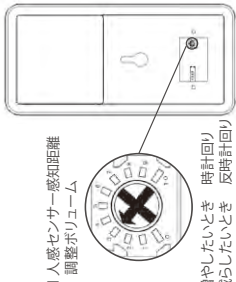
白紙を当て赤ランプが点灯・消灯するところが感知距離です。

赤ランプが切れる場所が感知距離になります。
調整後、便座に座り上半身を動かして「電池切れ」赤ランプが点灯しているか確認してください。
テストモード中は、リモコンボタン操作はできません。

③ テストモードの解除方法

以下のいずれかの方法で解除できます。

- ・リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しする。
- ・5分以上経過すると、自動解除します。
- ・無線の場合、乾電池を外して入れ直す。
- ・有線の場合、有線ケーブルを抜く。



時計回り
減らしたいとき
反時計回り

❗ 必ず実行

工事完了後、取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

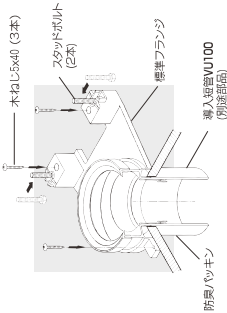


本社営業部 福岡市中央区白金 1-13-1
〒810-0012 TEL092 (521) 1800
サービス 福岡県太宰府市大字北谷 1123
〒818-0014 TEL092 (921) 7888

2 床フランジの取付

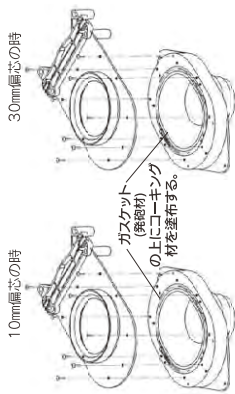
標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

標準フランジ



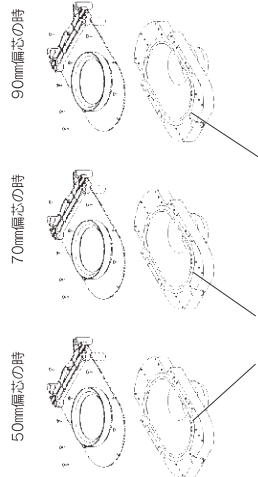
改造フランジ13 品番:APH-Z80

改造フランジの偏心量を決めてください。
偏心量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材（シリコーンシーラント）を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

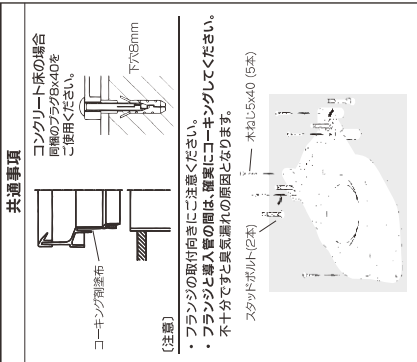


改造フランジ579 品番:APH-Z81

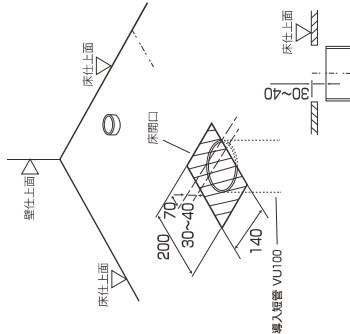
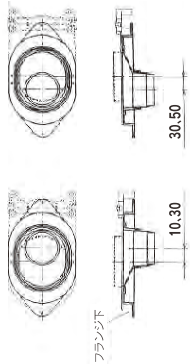
改造フランジの偏心量を決めてください。
偏心量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材（シリコーンシーラント）を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



注) 改造フランジ579は、改造フランジ13のように反転できません。

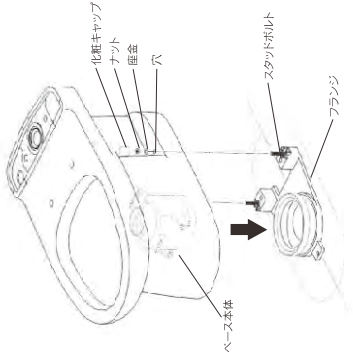


改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば逆方向にも偏転できます。



3 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。
便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。

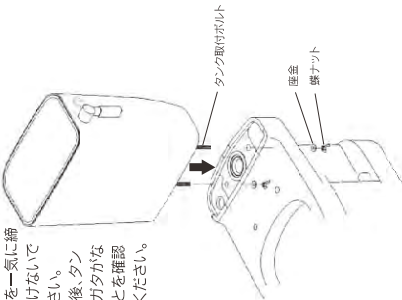


【注意】

- ・ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。
不十分ですと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ベース本体とフランジを接合したリ、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- ・メンテナン스가できなくなります。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
陶器が割れる恐れがあります。

4 ロータンクの取付

- ①便器にタンクをのせてください。
- ②緩ナットと座金で締め付けてください。



- ③締め付け後、タンクにガタがないことを確認してください。

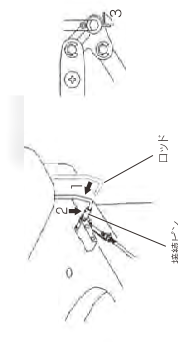
【注意】

- ・タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが弱いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れるのでご注意ください。
- ・ロータンクの取付ボルトを便器に差し込むとき、ボルトを便器に当てないようにゆづくりと差し込んでください。
陶器が破損する恐れがあります。

5 ロッドの接続

接続ピンと穴とロッドの穴を合わせながらロッドを接続ピンに差し込み、割ピンを穴に入れて抜けないように先を広げてください。

- ①ロッドと接続ピンの穴を合わせてください。
- ②割りピンを穴に差し込んでください。
- ③割りピンの先端をプライヤー等で広げてください。



【注意】

- ・必ず、ロッドが抜けないことを確認してください。
抜けると、レバーハンドルを操作してもフラップ・バルブが開きません。

継ぎタシ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。

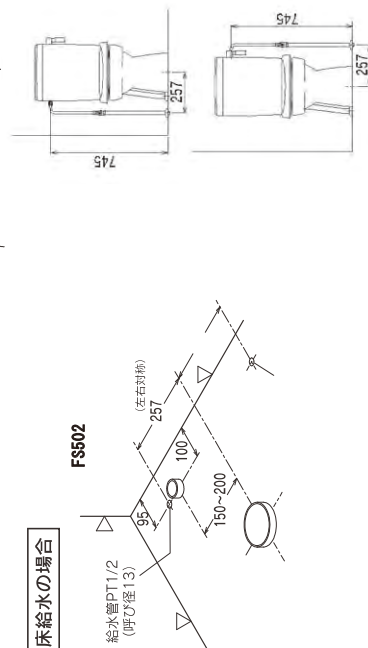
次に、継ぎダン管を必要な長さに切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。



塩ビ管VP30
φ40ホルソーで壁に
穴を貫通してください。



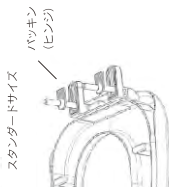
アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。



8 普通便座・暖房便座の取付

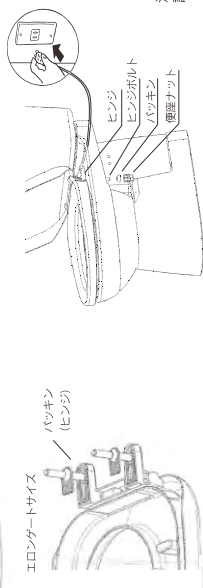
1 便座の取り付け

- ①エロンゲートサイズ（ヒンジ）の向きを180度変えてください。
 - ②バッキン（ヒンジ）とヒンジの凹点を合わせてください。
 - ③便座の便座取付穴にボルト部を差し込んでください。
 - ④下からバッキンを入れ、便座アダプドで締めてください。
- ※締め付けは、スナバ（19）でヒンジが動かない程度に締めてください。



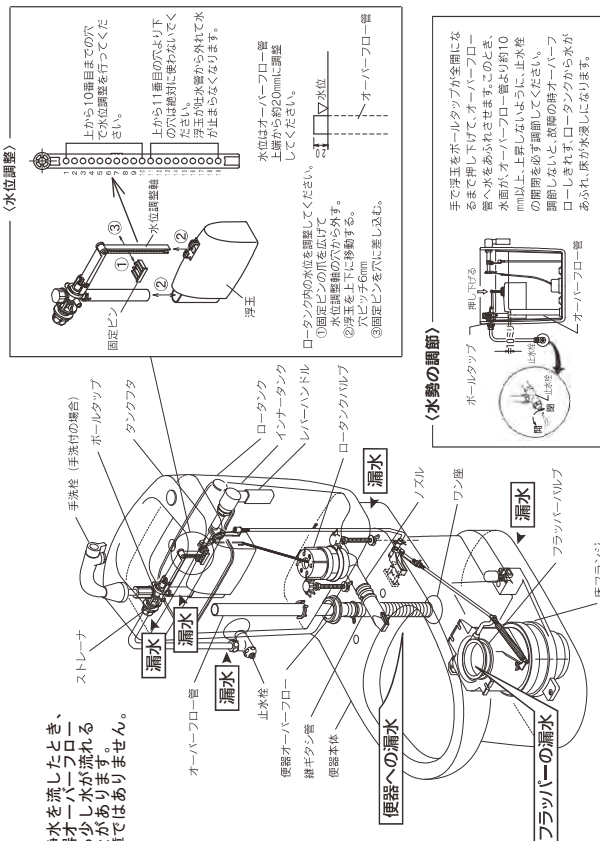
2 電源プラグを差し込む

- △ 警告 (SW-7のみ) 交流100V0のコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



9 調整と点検

ボルトタップの水勢調整、止水栓でボールタップの水勢調整を行ってください。
レバーハンドルを操作し、フラッパーの開閉や洗浄水の流れ状態、各部の漏水の有無を点検してください。



工完了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

Daikin Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市東区東門外1-1-1 DCCビル
10F 1001号室 電話 092(581)1234
工場 福岡市東区東門外1-1-1 2F 201号室
TEL 092(581)7888

どこでもトイレ2XL

施工手順書

はじめに

この冊は本製品をお買い求めいただきまして、図にありかたごさいます。
施工前には必ずこの説明書をよくお読みください。この説明書の内容にそって正しく取付けしてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

- △ 警告 電気の取り扱いをするとき、人が電線または電線を傷つける可能性があります。必ず電線を傷つけないでください。
- △ 注意 電気の取り扱いをするとき、人が電線または電線を傷つける可能性があります。必ず電線を傷つけないでください。

△ 警告

絶対に分解したり、修理・改造を行わない
火災や感電、けがの原因になります。

△ 注意

本製品は屋内設置用です。屋外および種類の異なるような壁面や床面、振動の激しい場所には取り付けない

△ 注意

電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する
給排水管及び吐出ホースの真下にコンセントを設置したり、給排水管及び吐出ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない
給排水管と吐出ホース、排水管接続部を接触させない
上下水道の管が通入して壁面に電線が露出する可能性があります。

△ 注意

専門業者以外の人による施工を行わない
水漏れ、故障、けがの原因になります。
吐出ホースを濡らさないで、壁面に曲げたりしない
ポンプから汚水が逆流して汚水を吸い上げる可能性があります。

△ 注意

施工は施工説明書に従って厳密に行う
正しく取り付けられないと、火災や感電の原因になります。
吐出配管は、汚水、排水、排水立て管、浄化槽等の汚水系統に接続する
吐出配管を別のポンプユニット製品に接続したり、別のポンプユニット製品に追加しない

本製品を設置する前に、必ず配管が所定の条件で施工されていることを確認する
水漏れや故障の原因になります。

必ず同梱の部品を使用し、正しく所定の位置に取り付ける
正しく取り付けられないと、火災や感電の原因になります。

電源はAC100Vのコンセントを使用し、アース工事（接地工事）を行う
火災や感電の原因になります。

水を流して清掃するトイレ、屋外など水がかかったり湿度の高い場所には設置しない
製品に水や洗剤をかけない
火災や感電、けがの原因になります。

消費電力に合った適切な配線を行う
(専用配線をおすすめします。)
電線が破損したり、電線が熱くなる原因になります。

電源プラグは柄元まで確実に差し込む
プラグを抜き差しで電源に差し込まないで、火災や感電の原因になります。

吐出ホースと電源コードは人が通らない場所に設置する
人が通る場所に設置すると、電源コードに引っかかるおそれがあります。

工事完了後、本製品に接続し、本製品に接続されている本製品の水を5回以上流し、本製品が正常に作動し、排水の排水が毎回正しく排出されることを確認する
またその際、本製品の吐出部材・吐出配管の接続部、便器と本製品を接続している配管、ゴムジョイントから水漏れ等の異常がないかを確認する

本製品に大便器以外の水まわり器具が接続されている場合は、全ての水まわり器具に十分水を流し、本製品が正常に作動して器具の排水が正しく排出されることを確認する
またその際、器具と本製品を接続している配管、配管接続部から水漏れ等の異常がないかを確認する
確認が完了したら、排水の排水が正しく排出されることを確認する。

施工上の注意

○上方、水平圧送距離を確認してください。
全体施工図(4ページ)をご覧ください。

H	L
7mの時	最大 90m
6mの時	最大 80m
5mの時	最大 70m
4mの時	最大 60m
3mの時	最大 50m
2mの時	最大 40m
1mの時	最大 30m

(例) 圧送ポンプから5m上げ、そこから

横引きする場合は最大70mまで

○排水配管は、土中埋設、露出配管できます。
「便器」「小便器」「洗面化粧台」「手洗器」の排水です。
台所排水を流すと、油分が多いため故障の原因となります。
浴室排水を流すと、大量の排水で圧送ポンプが連続運転となり
温度が上昇しポンプが停止するため流さないでください。

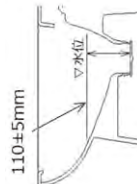
○接続できる排水は、
「便器」「小便器」「洗面化粧台」「手洗器」の排水です。
台所排水を流すと、油分が多いため故障の原因となります。
浴室排水を流すと、大量の排水で圧送ポンプが連続運転となり
温度が上昇しポンプが停止するため流さないでください。



○電源プラグ
単相100Vの50Hzまたは60HzのAC電源が必要です。
2極アース付きプラグ、アース付きコンセントをご準備ください。
アースターミナル付きコンセントに接続の際は、変換アダプタが
必要です。
コンセントに届く位置にしてください。
電源は専用回路で漏電ブレーカーを付けてください。
電源コードの長さは1.5mです。コンセントは本体コード出口から
1.5m以内の壁面に設けてください。



○便器の水量調整(20便器のみ)
どこでも2L便器の洗浄水量を確認してください。
ロット接続しない状態で1回のレバー操作をしたとき、ボール面
に溜まる水位が110mm±5になっているか確認してください。
ロータンの水位が低いと洗浄水量が少なくボール面に溜まる
水位も低くなります。ロータンの水位を確認してください。

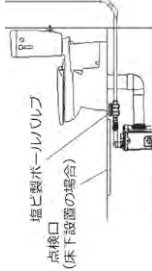


○「簡易水洗便器」は、接続できません。
必ず、どこでもトイレ20用便器を使用してください。
○圧送ポンプ1台と便器1台の組み合わせで施工してください。
便器2台以上は、配管の詰りの原因となります。

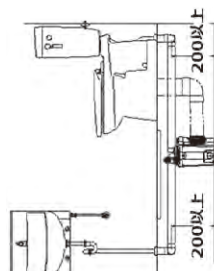
○屋外に設置する場合
カバーを取り付けてください。
①直射日光に当たらないようにしてください。
②雨に濡れたり、凍結の恐れがある場合は、カバーで囲って
ください。



○床下に設置する場合
圧送ポンプは、メンテナンスできるように設置してください。
漏って流してはいけない物を流したりして詰った場合、圧送ポ
ンプをメンテナンスする必要があります。
圧送ポンプは、取り出せるように設置してください。
排水配管の圧送ポンプから出たところに止水できるボールバル
ブを付けてください。

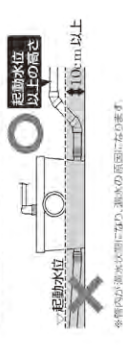


○手洗器や小便器を設置する場合
雑排水流入口からの配管40Aと手洗器やオーバードレー配管
などを接続するとき、接続部高さを200mm以上にしてください。
200mm以下になると、排水が悪くなり、詰りの原因になります。
どこでも2L便器を設置して便槽に溜める場合、オーバードレー
や手洗の排水を圧送ポンプに接続して便槽に入れると、器具
が故障して水が止まらなくなるとき、便槽が重く一杯になり
ます。
そのときは、圧送ポンプに接続せず、一般的な簡易水洗便器と
同じようにオーバードレーや手洗の排水は屋外の側溝などに
流してください。



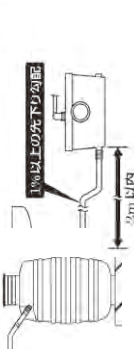
○流入に関する注意

- 水まわり器具から本製品への流入配管には、適切な
勾配が必要です。(1%以上の先下り勾配)
- 本製品様の流入口を使用する場合は、横引き配管の
高さを起動水位以上の高さとしてください。



●水まわり器具と本製品の接続距離が2mを超えない
ようにしてください。

※排水の流れる方向は、排水口の位置によって異なります。
排水口の位置が2m以内の場合は、排水口の位置に
注意する必要があります。



同梱部品



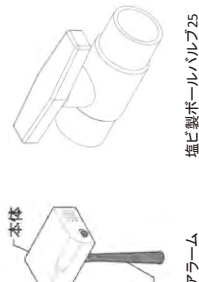
必要な工具



※床固定用のビス(2本)は同梱されていません。
(床材質にあわせてご用意ください。)

別途必要なもの

- 塩ビ用接着剤 ○ 塩ビパイプVP25 (VP20)
- 塩ビ継手 45度エルボ VP25 (VP20)



ゴムチューブ(黒)
本体に取り付けています

アラーメ 塩ビ製ボールバルブ 25

全体施工図

【施工上の注意】

接続できる排水は、

- ・便器
- ・小便器
- ・洗面化粧台
- ・手洗器の排水です。

台所排水を流すと、油分が多いため故障の原因となります。
浴室排水を流すと、大量の排水で圧送ポンプが連続運転となり
温度が上昇しポンプが停止 するため流さないでください。

「簡易水洗便器」は、接続できません。
必ず、どこでもトイレ®用便器を使用してください。

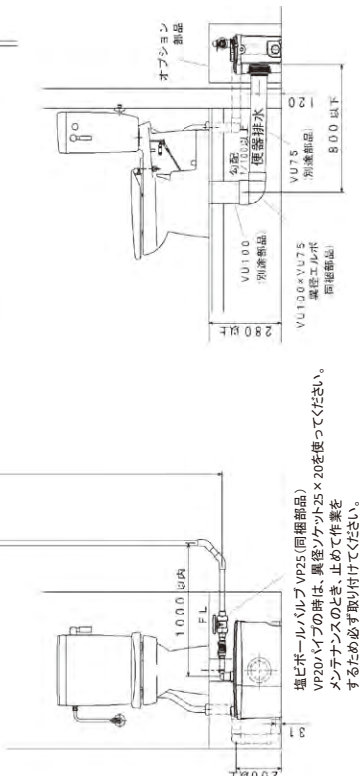
上方、水平圧送距離

事前に確認してください。

	H	L
7m の時	最大 50m	
6m の時	最大 60m	
5m の時	最大 70m	
4m の時	最大 80m	
3m の時	最大 90m	
2m の時	最大 100m	
1m の時	最大 110m	

(例) 圧送ポンプから5m上げ、そこから
機引きする場合最大70mまで

VP25 (別途部品)
必要長さをご用意ください。
VP20Iにもできます。



塩ビボールバルブ VP25 (同梱部品)
VP20Iタイプの時は、真径ソケット25×20を使ってください。
メンテナンスのとき、止めて作業を
するため必ず取り付けてください。

施工の手順

1 便器の施工

20便器の施工説明書をお読みください。

2 便器から圧送ポンプへの配管

全体施工図(4ページ)を見て、便器から圧送ポンプ
への配管をしてください。

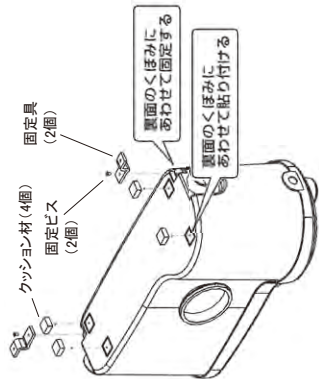
20便器は、オーバーフロー排水を配管してください。

【注意】 20の洗浄水量を確保してください。

3 クッション材、固定具の取り付け

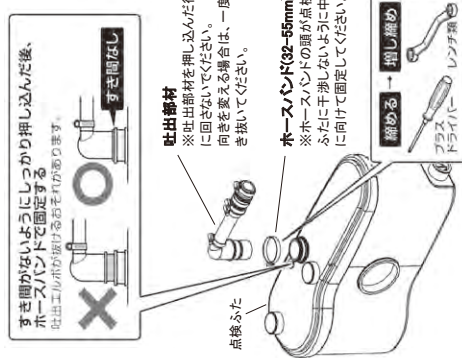
① クッション材の剥離紙をはがし、貼り付ける。

② 固定具を図の向きにビスで本体に固定する。



7 吐出部材の取り付け

吐出部材の向きを接続する配管の方向に応じてきめ、押し込む。



8 雑排水流入口の処理をする (横・2カ所)

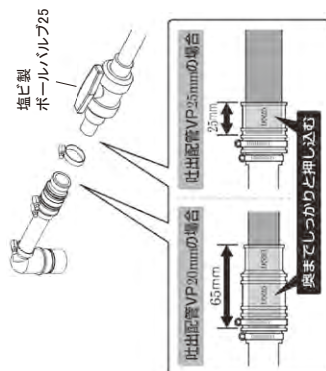
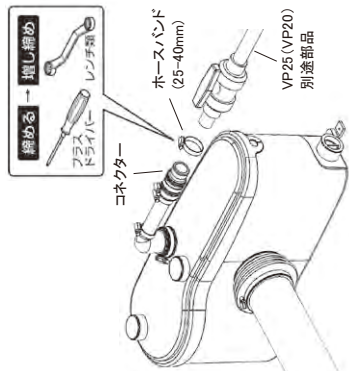
雑排水を接続しない流入口の処理

使用しない雑排水流入口にプラグを押し込み、90度
回し閉止する。

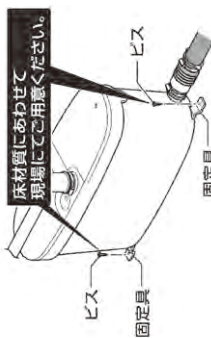


10 配管接続

コネクターに配管を差し込み、ホースバンド(25-40mm)で固定する。
※吐出ホースは屈曲しない範囲で曲けても構いません。



9 ポンプの床固定



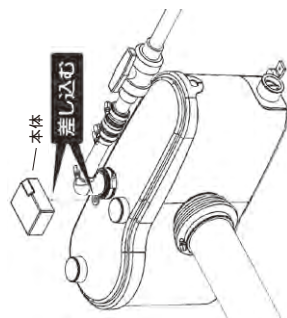
11 警報装置(アラーム)の取り付け

停電、故障時等に排水の吐出に不具合が生じた場合や注水排水量が過多となってポンプ内水位が異常に上昇した場合に警報でお知らせします。

裏面のネジをゆるめてカバーを外し、単四電池を二本入れる。



アラーム本体の突起部分をゴムチューブ(ツバ部分)に差し込む。



側面のスイッチをONにする。
(その際、秒間警報が鳴れば正常です)



【注意】
塩ビ製ボールバルブは、必ず付けてください。
メンテナンスのとき、必要となります。

【注意】
・側面のスイッチは必ずONの状態でお使いください。
・電圧は1年に1回交換してください。
・警報が鳴った場合は、圧送ポンプに接続されている大便器を含む全ての器具の使用をやめ、速やかに中止してください。

DAP-AC3 施工説明書 取扱説明書

※どこでも水流便器、DAP-AC3-SET にはサニアームを取り付けて出荷します

圧送ポンプ

取扱説明書

施工終了後、点検で切り取り、お客様（ご使用者様）へお渡ください。

使用上のご注意

- ・本製品を接続した便器に排泄物・トイレペーパー以外のものを絶対に流さないでください。それらを流すと本製品が故障し、便器と水まわり器具が使用できなくなる場合があります。
- ・ディッシュスポンジ、ウェットティッシュ、トイレ掃除用シート、乳幼児のおしりふき、便座除菌シート、ペーパータオル、使い捨ておしりふき、スポンジ、カーゼ、生埋用品、オムツ、たばこの吸い殻なども投入しないでください。トイレに流さないで、ゴミとして処分してください。
- ・同梱されている「異物の投入禁止」のステッカーをトイレ内の目立つところに貼ってください。
- ・本製品に接続されているシンク・手洗器などには、30度以上のお湯・油脂分が多い排水を流さないでください。上記器具の排水口には必ず目皿等を設置し、大きな固形物が本製品に流入しないようにしてください。
- ・本製品に電気が供給されていない状態では、接続されている器具は使用できません。停電時等は速やかに使用を中止してください。本製品及び接続器具に何らかの異常が認められるときは、接続器具の使用を速やかに中止するとともに、本製品を電源プラグをコンセントから抜いて、電源を遮断してください。
- ・本製品を接続した便器内のお手入れは、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってふいてください。
- ・本製品自体のお手入れは、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってふいてください。

異常が発生した場合

下記のような状態が発生した場合は、本製品に接続されている水便器を全ての水まわり器具の使用を速やかに中止するとともに、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、電源を遮断し、サービス窓口 までご連絡ください。

- トイレが流れない、水があふれている
- 配管や本製品から水漏れしている
- 本製品が作動しない
- 本製品から異音が出る
- 本製品が異常に熱くなっている
- 本製品から煙が出ている
- 本製品が動き続けて止まらない
- 警報音が鳴り続けている

長期間使用しない場合

注意

数回便器洗浄を行い本製品に、通水した後、便器の排水管の止水栓を開けるとともに安全のため本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、数か月に1回は便器洗浄を行い便器の密封が蒸発してしまわないようにしてください。便器の水がなくなると、異音が発生する場合があります。また、便器洗浄を行う際は必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

絶対に分解しない

本製品にはカッターなどが入り込んでいます。内部に傷つけることにより、人体に被害が及ぶ可能性があります。



はじめに

この度は本製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。施工前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告

誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

誤った取り扱いをすると、「人が怪傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。

給表示の例

してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行していただく「強制」の内容です。



絶対に分解したり、修理・改造は行わない
火災や感電、けがの原因になります。



本製品は屋内設置用です。屋外および傾斜のあるような壁面や床面、振動の激しい場所には取り付けない
車輦・船舶など、移動体への設置はしない



消費電力に合った適切な配線を必ず行う
(専用配線をおすすめします。)
たゞ定電源などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込み、プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。

注意



専門業者以外の人は、施工を行わない
水漏れ、故障、けがの原因になります。

吐出ホースを曲げたり、無理に曲げたりしない
ポンプから汚水があふれて悪臭を放つ原因になります。



施工は施工説明書に従って確実に行う
正しく取り付けられないと水漏れ、感電、火災の原因になります。

吐出配管は、汚水、排水立て管、浄化槽等の汚水系統に接続する
吐出配管を別のポンプユニット製品に接続した、別のポンプ製品の排水を本製品に流入させない

本製品を設置する前に、必ず配管が所定の条件で施工されていることを確認する
水漏れや故障の原因になります。

必ず同梱の部品を使用し、正しく所定の位置に取り付ける
正しく取り付けられないと水漏れ、故障の原因になります。



吐出ホースと電源コードは人が通らない場所に設置する
人が通る場所に設置すると、転倒などにより、けがをすることがあります。

工事完了後、本製品に通電し、本製品に接続されている大便器の水を5回以上流し、本製品が正常に作動し便器の排水が毎回正しく排出されることを確認する

またその際、本製品の吐出部材・吐出配管の接合部、便器と本製品を接続している蛇腹・ゴムジョイントから水漏れ等の異常がないか確認する

本製品に大便器以外の水まわり器具が接続されている場合は、全ての水まわり器具に十分水を流し、本製品が正常に作動し、器具の排水が正しく排出されることを確認する

またその際、器具と本製品を接続している配管・配管接合部から水漏れ等の異常がないか確認する

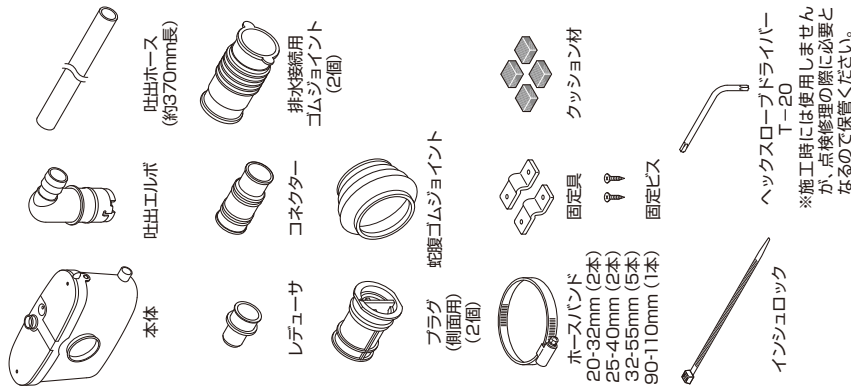
確認せずには使用すると、浸水による物的損害の原因になります。

施工上のご注意

- ・本製品の設置検討に当たってはP.8-9「設計施工ガイド」をご一読ください。
- ・本製品を付けた大便器は、便器の引出距離が通常の場合と比べて少なくとも50mm～250mm大きくなります。トイレスペースの確保、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。また、メンテナンスが必要な場合に備え、本製品は隠蔽しないでください。
- ・本製品は接続先の設備と同一空間内、メンテナンスのスペースを考慮して、設置してください。
- ・本製品の内部および配管内の排水が凍結するおそれがある場所では、凍結防止措置が必要です。
- ・単相100Vの50Hzまたは60HzのAC電源を必要とします。
- ・2極アース付コンセントをご用意ください。その回路は漏電ブレーカーで保護される必要があります。本製品を設置する場所は、コンセントに届く位置でなければなりません。電源は専用回路を推奨します。
- ・電源コードの長さは1.5mです。コンセントは本体コード出口から1.5m以内の壁面に設けてください。
- ・排水を浄化槽に流し込む場合は、その水量や水質の規定に従って、浄化槽メーカーまたは販売業者に確認していただき、その指示に従ってください。
- ・大便器の洗浄水量や汚水と雑排水の合流方法、排水管の設計方法は各自治体の指定に従ってください。

本製品には、壁排水・排水高さ155mmの大便器をお選びください。
それ以外のタイプの大便器には、接続できません。

同梱部品



必要工具



3

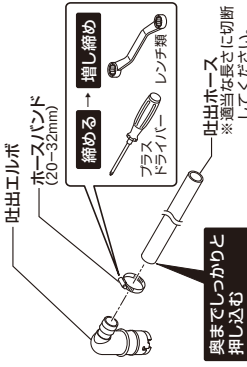
取り付けかた

1 吐出口材の組立て

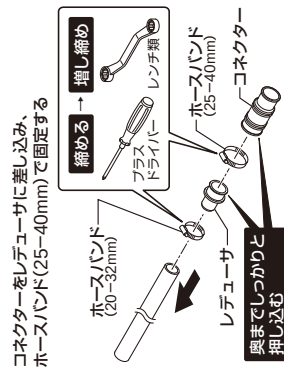
吐出配管がVP20mmかVP25mmかで該当する方をいずれが行ってください。

吐出配管 VP20mm の場合

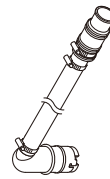
- 1 吐出ホースを吐出エルボにしっかり差し込み、ホースバンド(20～32mm)で固定する
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。



- 2 レデュースを吐出ホースにしっかり差し込み、ホースバンド(20～32mm)で固定する
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。

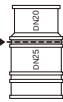


完成した吐出部材

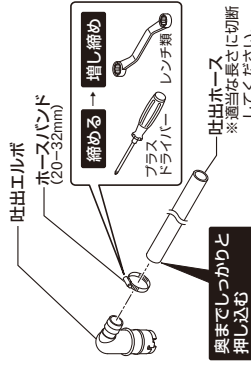


吐出配管 VP25mm の場合

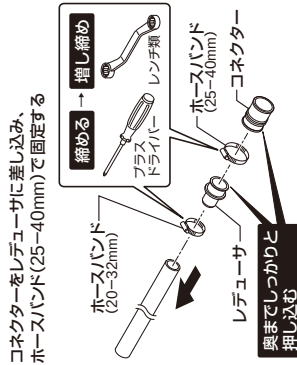
- 1 コネクターを
図の位置でカットする



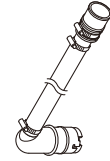
- 2 吐出ホースを吐出エルボにしっかり差し込み、ホースバンド(20～32mm)で固定する
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。



- 3 レデュースを吐出ホースにしっかり差し込み、ホースバンド(20～32mm)で固定する
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。



完成した吐出部材



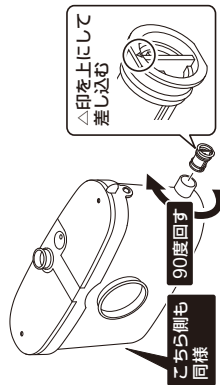
4

取り付けかた (つづき)

2 雑排水流入口の処理をする (横:2カ所)

雑排水を接続しない流入口の処理

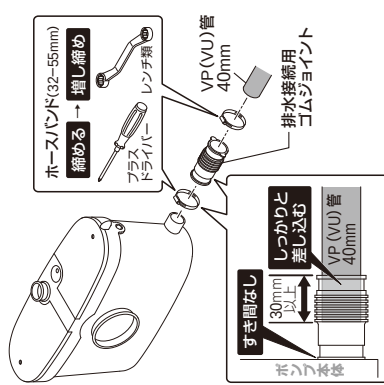
使用しない雑排水流入口にプラグを押し込み、90度回し閉止する



こちら側も
同様

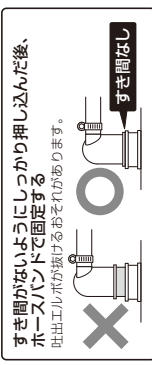
手洗器等の雑排水を接続する流入口の処理

雑排水流入口に排水接続用ゴムジョイントをかぶせ、VP (VU) 管40mmの配管を差し込み、ホースバンド (32-55mm) で固定する



3 吐出部材の取り付け

吐出部材の向きを接続する配管の方向にに応じて決め、押し込む



吐出部材の向きを
決めて押し込む

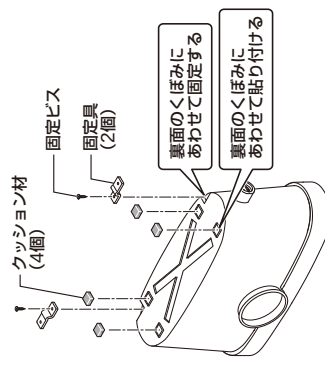
※吐出部材を押し込んだ後に
回さないでください。
向きを変える場合は、
一度引き抜いてください。

※ホースバンド (32-55mm)
点検ふたに干渉しないように
中央に向けて固定してください。



4 クッション材、固定具の取り付け

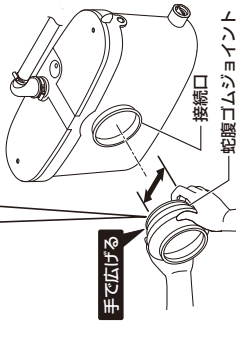
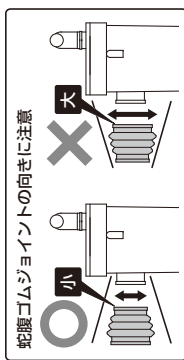
- クッション材の剥離紙をはがし、貼り付ける
- 固定具を図の向きにビスで本体に固定する



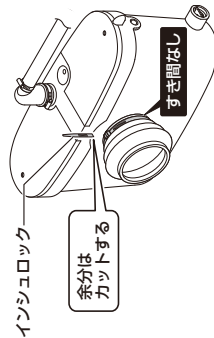
取り付けかた (つづき)

5 蛇腹ゴムジョイントの取り付け

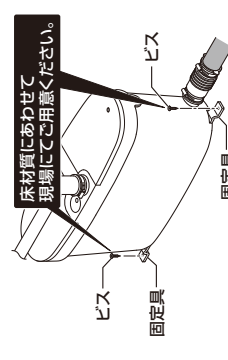
1 蛇腹ゴムジョイントの径の小さい方を手しっかりと広げポンプの口にかぶせる



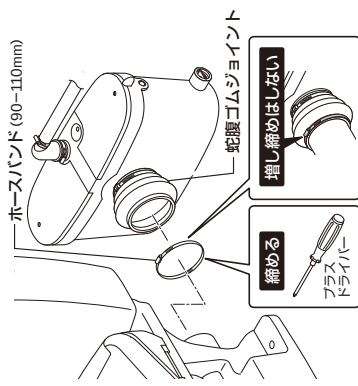
2 インシュロックで締め付ける
インシュロックの余分な部分はカットする



6 ポンプの床固定



7 便器との接続

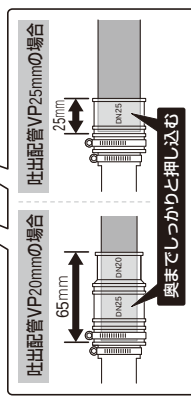
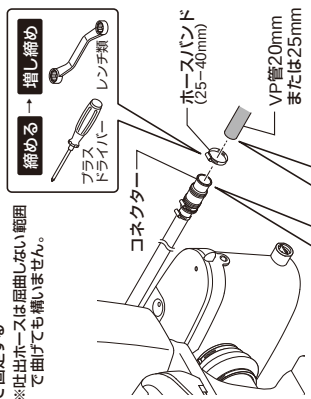


△注意

1 ホースバンド (90-110mm) を締めすぎない
便器が割れるおそれがあります。

8 配管接続

コネクターに配管を差し込み、ホースバンド (25-40mm) で固定する
※吐出ホースは屈曲しない範囲
で曲けても構いません。



試運転

- 本製品に通電し、本製品に接続されている大便器の水を5回以上流し、本製品が正常に作動し便器の排水が毎回正しく排出されること、本製品の吐出部材・吐出配管の接合部から水漏れ等の異常がないか必ず確認してください。また、本製品に大便器以外の水まわり器具が接続されている場合は、それらに十分水を流し、排水が正常に行われているか、接合部から水漏れ等の異常がないか確認してください。
- 本製品に同梱されている「異物投入禁止」のステッカーをトイレ内の長く見える場所に貼ってください。

【重要】サニアラーム(オプション警報装置)について

サニアラームはサニアクセス3に後付けで設置可能な警報装置です。
停電、故障時等に排水の吐出に不具合が生じた場合や流入排水量が過多などによってポンプ内水位が異常に上昇した場合に警報でお知らせします。
万が一の場合に備えて、あわせてご用意されることをおすすめします。

サニアラームは、オプション品です。
サニアクセス3を購入しても付属していません。
必要な場合は別途購入してください。

製品名	サニアラーム
品番	SAL-1
寸法	本体幅83×奥行61×高さ33mm ゴムチューブ(黒)長さ100mm

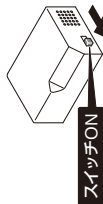
取り付け方法

(詳細は、サニアラームに同梱されている説明書をご確認ください)

- 1 裏面のネジをゆるめてカバーを外し、単四電池を二本入れる。(電池は別途ご用意ください)

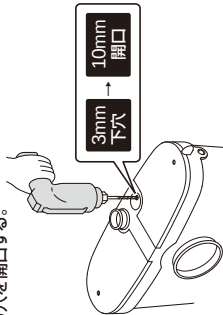


- 2 側面のスイッチをONにする。
(その際3秒間警報が鳴れば正常です)



- 3 カバーを戻し、ネジを締める。

- 4 サニアクセス3の上ふたの“くほみ”の位置に、電動ドリルで最初に3mm程度の下穴を開けた後、10mm後の穴を開く。



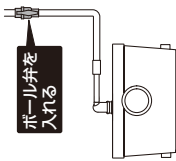
- ・側面のスイッチは必ずONの状態でお使いください。
- ・電池は1年に1回交換してください。
- ・警報が鳴った場合は、サニアクセス3に接続されている大便器を含む全ての器具の使用を速やかに中止してください。

7

設計施工ガイド

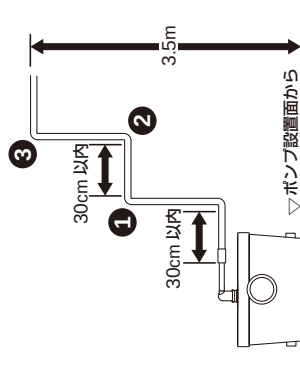
吐出配管に関する注意

- 1 吐出管になるべく近い位置にボール弁を入れ、メンテナンス・修理時に排水の逆流を防止するためです。

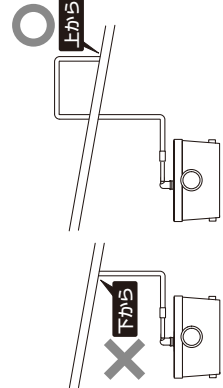


- 3 ●吐出管立ち上げ過程での曲がりは、1曲がりにつき各ポンプの最大揚程から50cmずつ減衰します。(但し曲がりは3回まで)

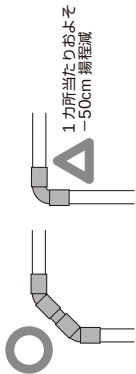
- ポンプの最大揚程は、P.10にてご確認ください。
- 最大揚程－(減衰50cm×曲がりの数)＝立ち上げ可能距離
例：5m－(50cm×3曲がり)＝3.5m
3.5mまで垂直に立ち上げることができます。



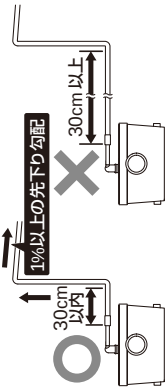
- 6 落水による逆流防止のため、吐出管は排水主管上部に接続してください。



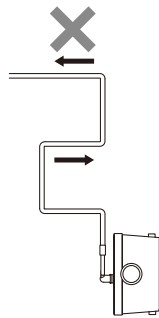
- 2 適用配管はVP管です。
エルボは45度曲がりのものを推奨します。



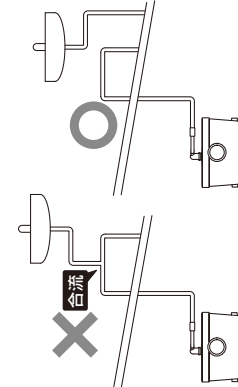
- 4 ●吐出管立ち上げ後、横引きする場合は、逆流防止のため、1%以上の先下り勾配を付けてください。
●吐出後の横引きは30cm以内に納めてください。



- 5 一度下げた配管は再び立ち上げることができません。
※逆流配管不可。



- 7 破封・逆流防止のため、他の衛生器具との合流は禁止です。



8

サニアクセス3 取扱説明書

施工終了後、点線で切り取り、お客様(ご使用者様)へお渡しください。

使用上の注意

- 本製品を接続した便器に非排水物・トイレ以外のものを接続しに流さないでください。それらを流すと本製品が故障し、便器と水まわり器具が使用できなくなるおそれがあります。
- ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、トイレ用除菌シート、乳幼児のおしりふき、便座除菌シート、ペーパータオル（使い捨ておしぼり）、スポンキング、ガーゼ、生理用品、オムツ、たばこの吸い殻なども投入しないでください。トイレに流せる」と案内されているものも、詰まりの原因となりますので、流さないでください。
- 同梱されている「異物の投入禁止」のステッカーをトイレ内の目立つところに貼ってください。
- 本製品に接続されているシンク・手洗器などは、35度以上のお湯・油脂が多い排水を流さないでください。上記器具の排水口には必ず目皿等を設置し大きな固形物が排水口へ流入しないようにしてください。それらを流すと本製品が故障し、器具が使用できなくなるおそれがあります。
- 本製品に電気が供給されていない状態で、接続されている器具は使用できません。停電時等は速やかに使用を中止し、本製品と接続されている器具の電源プラグをコンセントから抜いて、電源を遮断してください。
- 本製品を接続した便器内のお手入れにはトイレ用中性洗剤をお使いください。
- 本製品自体のお手入れは水で濡らした、柔らかい布をよく絞ってふいてください。
- 別売の「排水圧送ポンプ専用洗剤」を使って定期的に本製品を洗浄することによって、カルキ成分・尿石が本製品内部へ付着し蓄積することを低減することができます。

異常が発生した場合

下記のような異常が発生した場合は、本製品に接続されている大機器を含む全ての水まわり器具の使用を速やかに中止するとともに、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、電源を遮断し、SFA Japan までご連絡ください。

- トイレが流れない、水があふれている
- 配管や本製品から水漏れしている
- 本製品が作動しない
- 本製品から異音が生ずる
- 本製品が異常に熱くなっている
- 本製品から煙が出ています
- 本製品が動き続けて止まらない
- 警報音が鳴り続けている

警告



絶対に分解しない
本製品にはカッター刃が



内部に触れることにより人体に障害がおこる可能性があります。

異常時の連絡先

03-5623-3151

長期使用しない場合

注意

- 必ず守る**
- 数回便器洗浄を行い、本製品に流通した後、便器の給水管の止水栓を開けるとともに安全のため本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- また、毎月1回は便器洗浄を行い、便器の封材が劣化してなくならないよう定期的に便器の封材を交換する場合があります。
- また、便器洗浄を行う際は必ず本製品の電源プラグをコンセントに差し込んでから動作させるよう行ってください。

保証

と検修理が必要な場合は、SFA Japan 認定作業者を派遣致します。
本製品は弊社製品保証規定に基づき保証します。

※非住宅（商業施設、公共施設、工場など）での使用 1年間

非生物性トキシントリプルヘンチン以外の真物（マッシュシェーパー、ウレタン型シート、ペーパータオル、使い捨ておしぼり、ストッキング、ガーゼシート、ペーパータオル）は、乳幼児以外のお子様にも本製品の故障および生損品、オムツなどの吸い殻などによる本製品の故障や、溶剤・強酸・強アルカリ溶液、その他化学薬品の使用、および一般生活排水以外の特殊な成分が含まれる排水に起因する本製品（部品）の故障および損傷については保証期間においても有料修理となります。

また、本製品の故障および損傷については保証期間においても有料修理の故障および損傷のみです。

と書いていただいたい。

お客様に事故のないよう、施工前に、必ず、この説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明

- △ **警告** 守らないと、人身を傷めることがあります。
- ▽ **注意** 「禁止しない」ことをいいます。家財・損害を与えることがあります。
- **強制** 「しなければならない」といいます。
- ① **遵守** 「指示通りしてください。」
- ⓧ **危険** シヤワーなどの水廻りの使用禁止!

△ 警告

浴室内の水のかかる場所から排水口へ水滴が生じるような運気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は、暖房便座や温水洗浄便座にしてください。

火災や感電の原因となります。

△ 注意

便器の汚水配管は、必ず便槽に接続ください。

簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。

この施工説明書以外の改造はしないでください。

施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを品検してくだい。

通水すると、床が水浸しになり家財が濡らす原因となります。

給水管の接続、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。

給水管の接続やボールタップを締める時、ボールタップが回りすぎて浮きかたやチェーンの当り具合が狂ってしまう場合があります。カーブオーバーフロว์一用排水管は、漏れを確認する必要となります。

オナーバルフロー一用排水管は、便槽に接続しないでください。

便器が効かないで、給水が止まらないと便槽があふれる恐れがあります。

オナーバルフロー一用排水管は、増圧VU40またはVP30で必ず配管してください。

オナーバルフロー一用排水管内の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらなくなり排水量も減ります。床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

破損は割れもないかを点検して下さい。

破損部でカガリが出たら、事前に家財を濡らす原因となります。

床に便器を埋め込めないでください。

修理できなくなりましたら、本水落切箇所できなくします。

止水栓からロータンクのボールタップまでの給水管は、揺らしても漏水がないよう慎重に設置してください。特に、アングラ止止水栓で配管されること。給水管(管サライ管)のツッパのない止水栓の接続には注意しなさい。

原因がかつている場合、給水管の止水栓は、場合、家財を濡らす原因となります。また、給水管の止水栓の選定が少ないと配管が壊れ、家財を濡らす原因となります。

便器設備との床面は水平にしてください。

便器が傾くと、オナーバルフローが排水しきれず、床に漏水し、家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるときは、注意してください。

凍結防止ヒーターの取付、ロータンクの水抜き、室内暖房など適切な処理を行ってください。

電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。

資格のない人が電気工事をするときは法的に認められていません。

温水洗浄便座、暖房便座、凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

書明說明施工

施工の前に

- 梱包内容をお確かめください



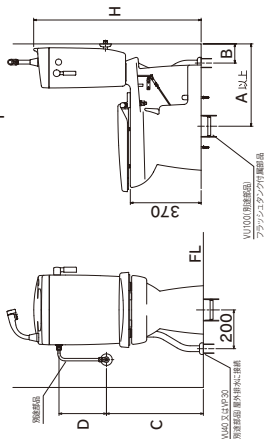
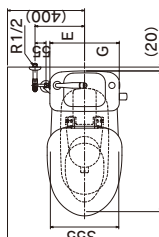
■必要な工具、別途必要なもの

工 具	工 具 名	工 具 の 用 途
	(a) ドライバー	ネジの締め付け、緩め、穴のあけ
	ノコギリ	木材の切断、金属の切断、パイプの切断、外周の切断
	スライバ	止動の調整
	プライヤ	ワイヤの切断、ワイヤの曲げ、ワイヤの締め付け
	コンクリートドリル(8インチ、電圧5ドル)	コンクリート、ブロック、レンガの穴あけ、壁の穴あけ
	スライバ(13)	スライバ(13)は調整スライバ(モンキーレンチ)とスライバ(13)の調整スライバ
	スライバ(27)	スライバ(27)は調整スライバ(モンキーレンチ)とスライバ(27)の調整スライバ
	スライバ(24)	スライバ(24)は調整スライバ(モンキーレンチ)とスライバ(24)の調整スライバ
	スライバ(27)	スライバ(27)は調整スライバ(モンキーレンチ)とスライバ(27)の調整スライバ

材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、沖縄、離島は別途見積り） ※V100 (110) のときと異なれば、お見積り Price						
材	現貨在庫数量 ※在庫がなくなり次第終了 ※価格が変動する場合があります ※送料は別途見積り（北海道、						

図表 1

	A	B	C	D	E	F	G	H
FZ500	460	100	500	245	257	760	360	875
FZ501								
FZ400	430	100	500	245	257	730	360	875
FZ401								
FZ300	410	80	400	260	274	712	380	795



配管上の注意事項

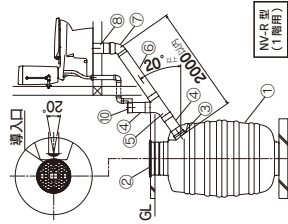
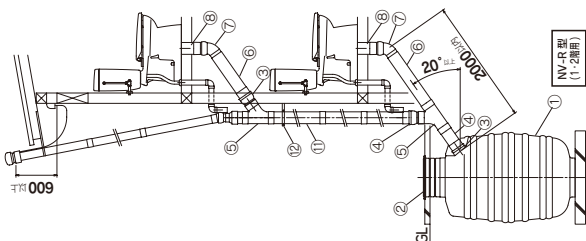
- [illegible]

圖
標
施
工
標
準

■便槽の容量
1人1ヶ月で約100～150ℓで計画ください。
但し、来客や家族数が増えることや先で洗浄便座を取り付けることを考えて少し大きめのものをご使用ください。

※最低でも500型以上の容量のものをご使用ください。

品名	品名	品名	1箱用(12月)
① 本体	BM340VR		1
② 本体 360型/360型ケーブル			1
③ 本体 400型/400型ケーブル	BS1403R (1)	2+1	(1)
④ 本体 420型 S/F 107 (R)	BS1002R 2		
⑤ 本体 420型 S/F 112 (R)	BS1004R 1	2	
⑥ 本体 420型 S/F 114 (R)	BS1004R 1	2	
⑦ 本体 420型 S/F 115 (R)	BS1004R 1	2	
⑧ 本体 420型 S/F 116 (R)	BS1004R 1	2	
⑨ 本体 420型 S/F 117 (R)	BS1004R 1	2	
⑩ 本体 420型 S/F 118 (R)	BS1004R 1	2	
⑪ 本体 420型 S/F 119 (R)	BS1004R 1	2	
⑫ 本体 420型 S/F 120 (R)	BS1004R 1	2	
⑬ 本体 420型 S/F 121 (R)	BS1004R 1	2	
⑭ 本体 420型 S/F 122 (R)	BS1004R 1	2	
⑮ 本体 420型 S/F 123 (R)	BS1004R 1	2	
⑯ 本体 420型 S/F 124 (R)	BS1004R 1	2	
⑰ 本体 420型 S/F 125 (R)	BS1004R 1	2	
⑱ 本体 420型 S/F 126 (R)	BS1004R 1	2	
⑲ 本体 420型 S/F 127 (R)	BS1004R 1	2	
⑳ 本体 420型 S/F 128 (R)	BS1004R 1	2	
㉑ 本体 420型 S/F 129 (R)	BS1004R 1	2	
㉒ 本体 420型 S/F 130 (R)	BS1004R 1	2	
㉓ 本体 420型 S/F 131 (R)	BS1004R 1	2	
㉔ 本体 420型 S/F 132 (R)	BS1004R 1	2	
㉕ 本体 420型 S/F 133 (R)	BS1004R 1	2	
㉖ 本体 420型 S/F 134 (R)	BS1004R 1	2	
㉗ 本体 420型 S/F 135 (R)	BS1004R 1	2	
㉘ 本体 420型 S/F 136 (R)	BS1004R 1	2	
㉙ 本体 420型 S/F 137 (R)	BS1004R 1	2	
㉚ 本体 420型 S/F 138 (R)	BS1004R 1	2	
㉛ 本体 420型 S/F 139 (R)	BS1004R 1	2	
㉜ 本体 420型 S/F 140 (R)	BS1004R 1	2	
㉝ 本体 420型 S/F 141 (R)	BS1004R 1	2	
㉞ 本体 420型 S/F 142 (R)	BS1004R 1	2	
㉟ 本体 420型 S/F 143 (R)	BS1004R 1	2	
㊱ 本体 420型 S/F 144 (R)	BS1004R 1	2	
㊲ 本体 420型 S/F 145 (R)	BS1004R 1	2	
㊳ 本体 420型 S/F 146 (R)	BS1004R 1	2	
㊴ 本体 420型 S/F 147 (R)	BS1004R 1	2	
㊵ 本体 420型 S/F 148 (R)	BS1004R 1	2	
㊶ 本体 420型 S/F 149 (R)	BS1004R 1	2	
㊷ 本体 420型 S/F 150 (R)	BS1004R 1	2	
㊸ 本体 420型 S/F 151 (R)	BS1004R 1	2	
㊹ 本体 420型 S/F 152 (R)	BS1004R 1	2	
㊺ 本体 420型 S/F 153 (R)	BS1004R 1	2	
㊻ 本体 420型 S/F 154 (R)	BS1004R 1	2	
㊼ 本体 420型 S/F 155 (R)	BS1004R 1	2	
㊽ 本体 420型 S/F 156 (R)	BS1004R 1	2	
㊾ 本体 420型 S/F 157 (R)	BS1004R 1	2	
㊿ 本体 420型 S/F 158 (R)	BS1004R 1	2	
㊸ 本体 420型 S/F 159 (R)	BS1004R 1	2	
㊹ 本体 420型 S/F 160 (R)	BS1004R 1	2	
㊺ 本体 420型 S/F 161 (R)	BS1004R 1	2	
㊻ 本体 420型 S/F 162 (R)	BS1004R 1	2	
㊼ 本体 420型 S/F 163 (R)	BS1004R 1	2	
㊽ 本体 420型 S/F 164 (R)	BS1004R 1	2	
㊾ 本体 420型 S/F 165 (R)	BS1004R 1	2	
㊿ 本体 420型 S/F 166 (R)	BS1004R 1	2	
㊸ 本体 420型 S/F 167 (R)	BS1004R 1	2	
㊹ 本体 420型 S/F 168 (R)	BS1004R 1	2	
㊺ 本体 420型 S/F 169 (R)	BS1004R 1	2	
㊻ 本体 420型 S/F 170 (R)	BS1004R 1	2	
㊼ 本体 420型 S/F 171 (R)	BS1004R 1	2	
㊽ 本体 420型 S/F 172 (R)	BS1004R 1	2	
㊾ 本体 420型 S/F 173 (R)	BS1004R 1	2	
㊿ 本体 420型 S/F 174 (R)	BS1004R 1	2	
㊸ 本体 420型 S/F 175 (R)	BS1004R 1	2	
㊹ 本体 420型 S/F 176 (R)	BS1004R 1	2	
㊺ 本体 420型 S/F 177 (R)	BS1004R 1	2	
㊻ 本体 420型 S/F 178 (R)	BS1004R 1	2	
㊼ 本体 420型 S/F 179 (R)	BS1004R 1	2	
㊽ 本体 420型 S/F 180 (R)	BS1004R 1	2	
㊾ 本体 420型 S/F 181 (R)	BS1004R 1	2	
㊿ 本体 420型 S/F 182 (R)	BS1004R 1	2	
㊸ 本体 420型 S/F 183 (R)	BS1004R 1	2	
㊹ 本体 420型 S/F 184 (R)	BS1004R 1	2	
㊺ 本体 420型 S/F 185 (R)	BS1004R 1	2	
㊻ 本体 420型 S/F 186 (R)	BS1004R 1	2	
㊼ 本体 420型 S/F 187 (R)	BS1004R 1	2	
㊽ 本体 420型 S/F 188 (R)	BS1004R 1	2	
㊾ 本体 420型 S/F 189 (R)	BS1004R 1	2	
㊿ 本体 420型 S/F 190 (R)			



■ 施工手順の流れ

施工の種類によって下記の施工手順の流れに沿って施工してください。

既設の洋式簡易水洗便器を取り替え
導入短管の位置がそのまま施工できる場合

$$1 \triangle 2-1 \triangle 3 \triangle 4 \dots$$

既設の洋式簡易水洗便器を取り替えて、**短管の位置が合わない場合**

$$\begin{array}{c} \vdots \\ \boxed{4} \\ \boxed{3} \\ \boxed{2-2} \\ \boxed{1} \end{array}$$

新築や増築で新たに配管する場合

2-3
3
4
...

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1

1111

1 2.5 3 4 ...

既設の和式水洗便器を取り替える場合

1 2-6 3 4 ...

施工の手順

1 既設便器の撤去 洋式便器のリフォームの場合

リフトオームの場合、既設便器を取り外してください。



床フランジの取り外し方

設置器の床フランジが接着されていてそのまま取り外せないとき、次の方法で外してください。

- ②塩ビ管内径カッター（インナーカッター）をお持ちの方は、塩ビ管の内径から床フランジを床面で切断してください。塩ビ管の内径に残った部分は、④の手順で取り除いてください。



①で外れない又は②をお持ちでない方は、以下の手順で行ってください。

③機種やメーカーによって取り外し方が異なります。横からノコギリで床フランジを切断します。

クリーンフラスコ F2-F5 他製品	マイナードライヤーをフラスコの下に入れ、 持ち上げようとして押し下げます。 (注意) 床をキズ付けないように注意してく ださい。 
クリーンフラスコ F18-F300-FX40-FX-F16- FX200-FX170-F16X-H80G-F8CAG	
クリーンフラスコ F18-F16-F8-F8C-IBF18- IBEX-F16	

④塩ビ管(VU100)の内側にある残材をマイナスドライバーとハンマーで取り外します。



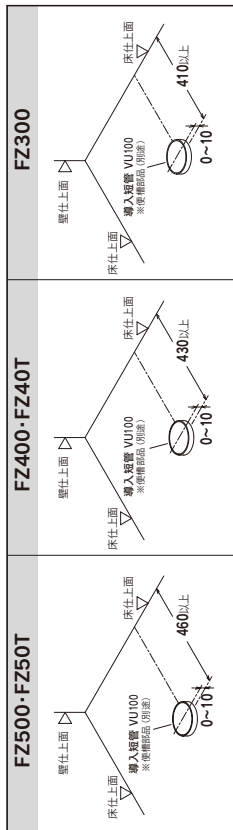
※既設の便器が和式の場合、2-4又は2-6から行ってください。

2 導入短管の位置決め

該当する手順に沿って施工してください。

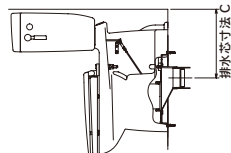
2-1 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え 導入短管の位置がそのままで施工できる場合

導入短管立上り位置を確認してください。



2-2 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え 導入短管の位置が合わない場合

- ①②のいずれかを測定してください。
- ①壁から導入短管立上り中心までの寸法(排水芯寸法C)が合わないとき、オプション部品の改造フランジを使うと導入短管立上り位置をそのままで施工できます。
 - ②便槽からの導入管(横引き管VU100)をカットし延長してください。



排水芯寸法C (壁から導入短管中心までの寸法)			
床フランジの種類	標準フランジ	FZ500-FZ50T	FZ400-FZ40T
標準フランジ	0	450以上	430以上
	10	450以上	410以上
改造フランジ13	APH-Z80	420以上	400以上
	30	430以上	400以上
改造フランジ13 (反転して使用)	-30	490以上	460以上
	-50	510以上	480以上
改造フランジ579	50	410以上	380以上
	70	390以上	360以上
改造フランジ281	90	370以上	340以上
			320以上

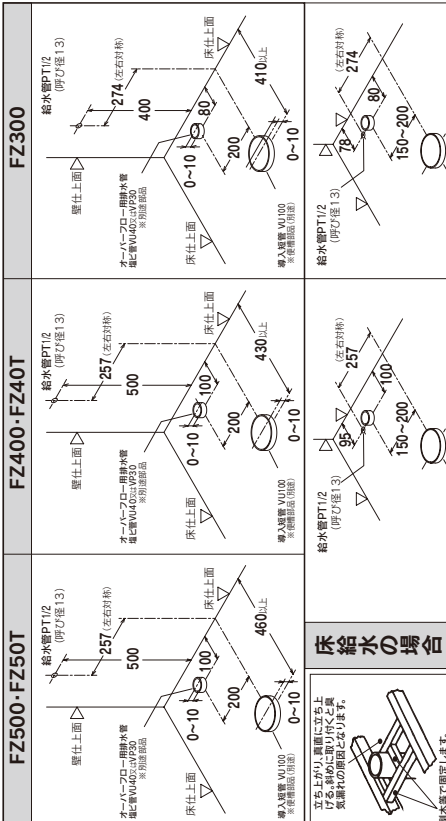
標準フランジは、同梱しています。
改造フランジは、別売です。

- 例 1) 既設の排水芯寸法が 400mm の場合
OFZ500 を設置するには、改造フランジ579 を使って 70mm 偏芯させて取り付けます。
OFZ400 を設置するには、改造フランジ13 を使って 30mm 偏芯させて取り付けます。
OFZ300 を設置するには、改造フランジ13 を使って 10mm 偏芯させて取り付けます。
- 例 2) 既設の排水芯寸法が 500mm、そのまま便器を設置するとロータンクと壁との間が大きく開き、手前が狭くなる場合、OFZ500 を設置するには、改造フランジ13 を反転して使用し、-30mm 偏芯させて取り付けます。
OFZ400 を設置するには、改造フランジ13 を反転して使用し、-50mm 偏芯させて取り付けます。
- 注) 1. 改造フランジをご使用になった場合、本水洗への切替を行う際には配管位置変更の工事が必要になります。
2. 改造フランジ579は、反転できません。
3. 改造フランジ579をコンクリート床に使用する場合、床を打つ必要があります。詳しくは 8 ページをお読みください。

標準フランジ	改造フランジ13 APH-Z80	改造フランジ579 APH-Z81
		
	30・50mm	50・70・90mm

2-3 新築や増築で新たに配管する場合

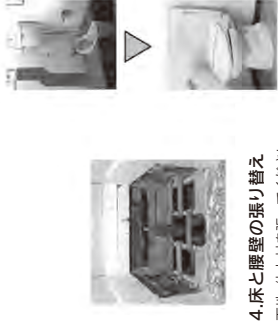
導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。



2-4 既設の和式簡易水洗便器を取り替える場合

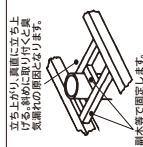
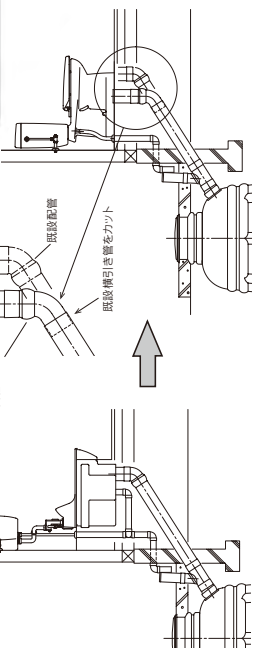
下記の手順で施工を行ってください。

1. 既設便器の撤去
①給水管を取り外してください。
②ロータンクの水を抜いてください。
③洗排水管を取り外してください。
④ロータンクを取り外してください。
⑤便器を取り外してください。
2. 床と腰壁の撤去
①床と腰壁を撤去してください。
②施工体のフランジと導入短管の接合を外してください。
③施工体を取り外してください。
3. 配管工事
①導入短管の立上り位置と高さを確認してください。
壁から導入短管中心位置(排水芯寸法)の確認
排水芯寸法に合わせて横引き管をカットし立上げ直してください。
・床仕り面からの導入短管立上り高さの確認
0~10ミリ以上、10ミリ以上の場合は床仕り後にカットする。
②オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
③給水管位置の確認を行ってください。



4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。



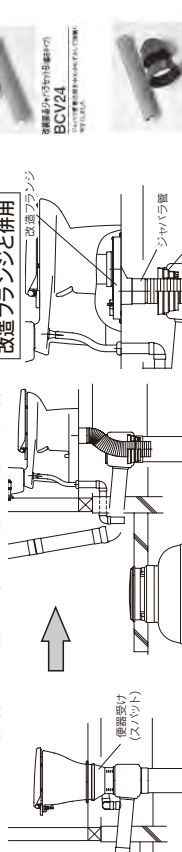
2-5 既設の洋式非水洗便器を取り替える場合

1. 既設便器の撤去

- ①便器を取り外してください。
- ②便器受け(スナバット)を取り外してください。

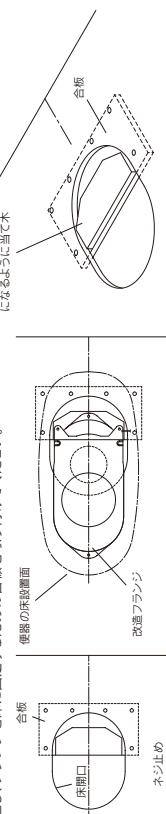
2. 汚水配管

改裝部品ジャバラセットB又は改裝部品ジャバラセットCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改裝フランジと併用することで備置量が少なくなり施工しやすくなります。



3. 床の工事

床の除去、取り替える行ってください。
又は、FZ500は、洋式非水洗便器の床開口が便器内に隠れます。
床開口の位置によっては、改裝フランジを使えば床工事が不要になります。
但し、フランジを床に固定するための合板を取り付けてください。



2-6 既設の和式非水洗便器を取り替える場合

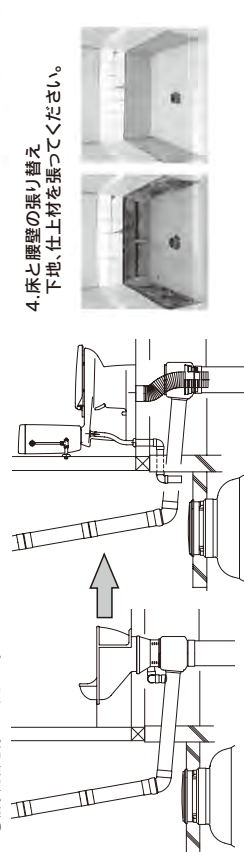
1. 既設便器の撤去

- ①便器を取り外してください。
- ②便器受け(スナバット)を取り外してください。

2. 床と腰壁を撤去してください。

3. 給排水配管

- ①汚水配管
改裝部品ジャバラセットB又はCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改裝フランジと併用することで備置量が少なくなり施工しやすくなります。
- ②オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- ③給水配管を行ってください。



4. 床と腰壁の張り替え 下地、仕上材を張ってください。



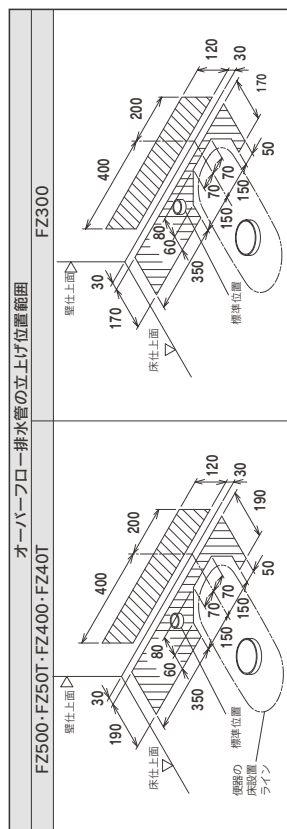
3 オーバーフロー排水管の位置決め

該当する手順に沿って、オーバーフロー排水管の位置を決めて施工してください。

3-1 既設の簡易水洗便器を取り替え オーバーフロー排水管の位置がそのまま施工できる場合

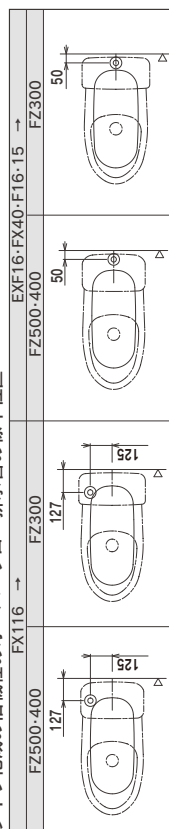
オーバーフロー排水管の位置を確認してください。

下図の斜線部の範囲内にオーバーフロー排水管の中心があれば、そのまま施工できます。
オーバーフロー排水管：埋込管VU40(外径φ48 内径φ44)又はVP30(外径φ38 内径φ31)



既設のオーバーフロー排水管の通じ管サイズが、VP25(外径φ32 内径φ25)やVP20(外径φ26 内径φ20)のとき、付属の接続パイプで施工してください。

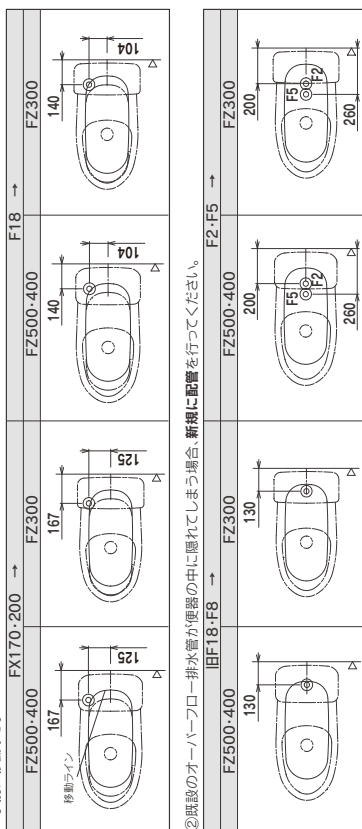
ダイワ化成の旧機種オーバーフロー排水管の標準位置



3-2 既設の簡易水洗便器を取り替え オーバーフロー排水管の位置が合わない場合

下記のいずれかを測定してください。

- ①既設のオーバーフロー排水管壁が便器に当たる場合、「改通フランジ」を使って便器を手前に移動する。
- ②既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、新機に設置を行ってください。

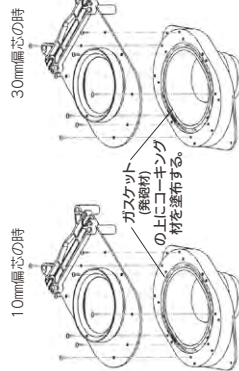


床フランジの取付

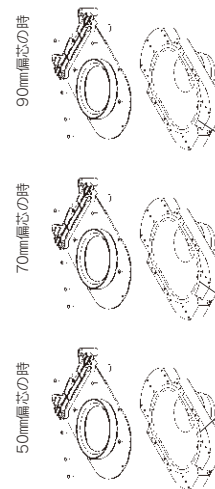
This exploded view diagram illustrates the components of the front cover assembly. The parts are labeled as follows:

- 木ねじ5x40 (3本)**: Three 5x40 wood screws.
- スタッドボルト (2本)**: Two stud bolts.
- 前扉フランジ**: Front door flange.
- 導入短管VJ100 (別途部品)**: VJ100 introduction short pipe (separate part).
- ピン**: Pin.

改造フランジの偏芯量を決めてください。
偏芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材（シリコーンシーラント）を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



改造フランジの偏芯量を決めてください。
偏芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材（シリコーンシーラント）を充填してからネジを止めてください。



ガasket(発砲材)の上にコーキング材を塗布する。

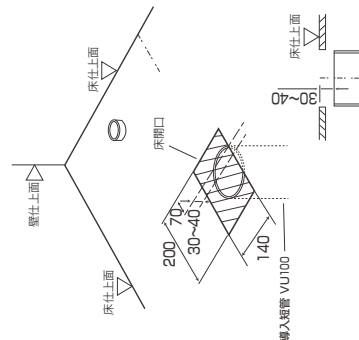
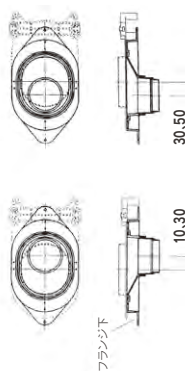
(注) 改造フランチ579は、改造フランチ13のように反転できません。

「總共」

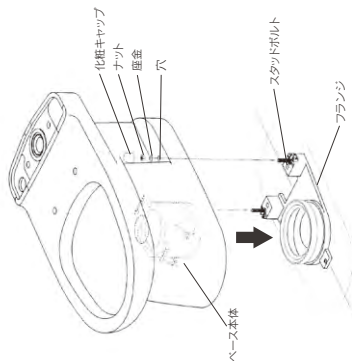
- ・フランジの取付向きにご注意ください。
- ・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。
不十分ですと臭気漏れの原因となります。



改造フランチ13は、フランチ下を反転すれば逆方向にも偏芯できます。



スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。
便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



- ・ベース本体を確実にフレンジに差し込んでください。
- ・十分にガスと臭い漏れや便器のガツキの原因となります。
- ・ベース本体とフレンジを接続したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- ・メンテナンスができなくなります。ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
- ・便器が割れる恐れがあります。

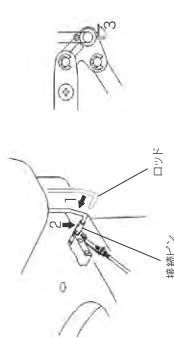
〔養生〕

- ・タンクの締め付けは、ロータリングを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが強いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れますのでご注意ください。
- ・ロータリングの取付ボルトを便器に差し込むとき、ボルトを便器に当てていないようにゆっくりと差し込んでください。陶器が破損する恐れがあります。

世界銀行

①ロッドと接続ピンを合わせてください。

- ②割リヒンを八に差し込んでください。
③割リピンの先端をブライヤー等で広げてください。



【注意】

・必ず、**□ツド**が抜けないことを確認してください。

抜けると、レバーハンドルを操作してもフラッグパーバル
ブが開きません。

【注意】 FZ300

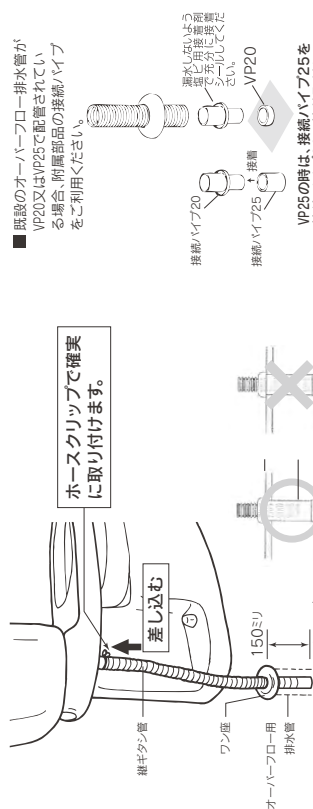
・ 取付後、必ずフタにガタツキがないことを確認してください。
蝶ナットの締め付け過ぎによってタンクがゆがみ、フタが合わなくなります。

[注意]

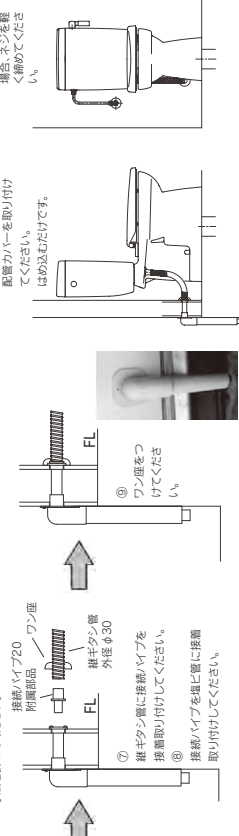
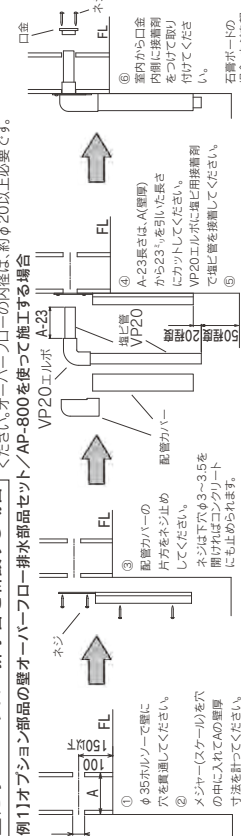
蝶ナットの締め付け過ぎによってタンクがゆがみ、フタが合わなくなります。

8 オーバーフロー管の接続

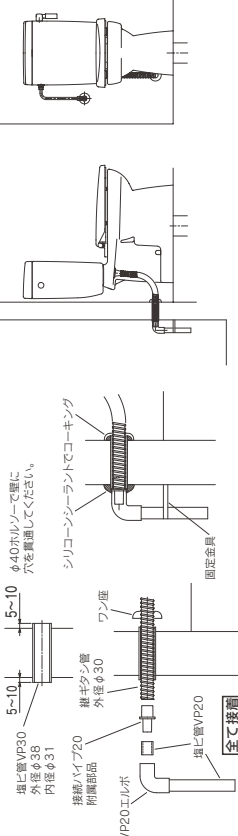
継ぎタンシ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。
次に、継ぎタンシ管を必要な長さに切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。



壁にオーバーフロー排水管を新設する場合

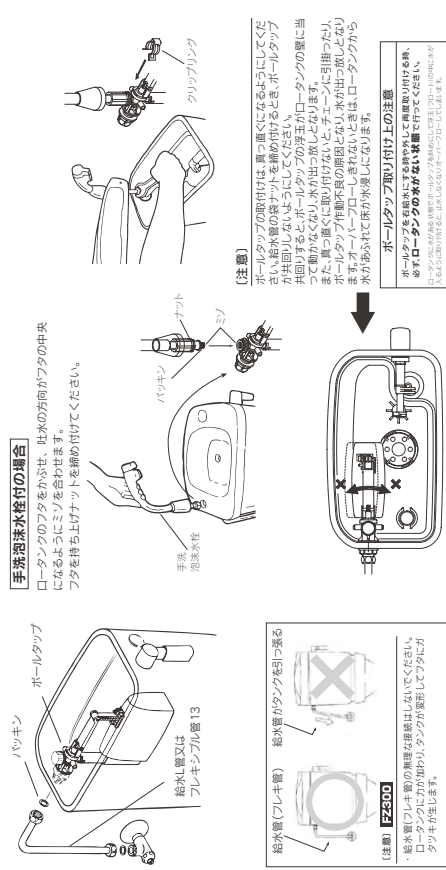


【例1】壁を露出配管して施工する場合

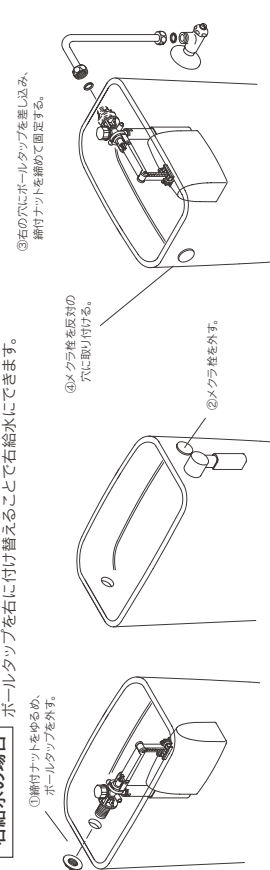


9 給水管の接続

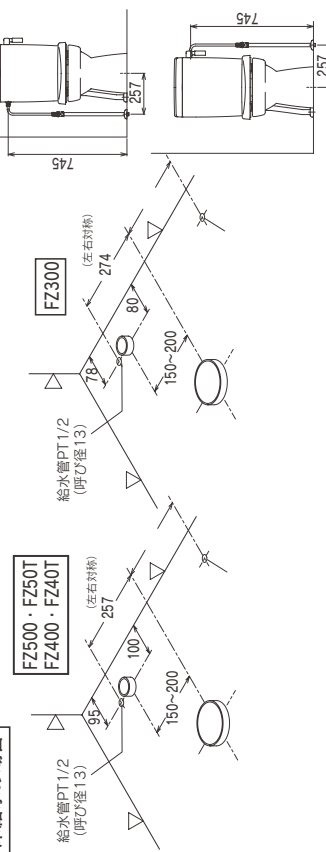
アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。



右給水の場合

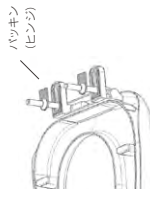


床給水の場合



10 普通便座・暖房便座の取付

スタンダードサイズ

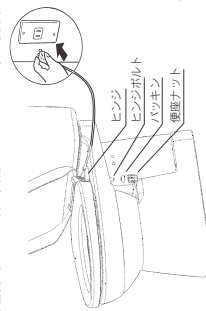


1 便座の取り付け

- ①エロンゲートサイズのときはバックキン(ヒンジ)の向きを180度変えてください。
 - ②バックキン(ヒンジ)とヒンジの凹凸を合わせてください。
 - ③便座の便座取付穴にボルト頭を差し込みてください。
 - ④下からバックキンを入れ、便座アジャスターで締め付けてください。
- ※締め付けは、スバア(19)でヒンジが動かない程度に締め付けてください。
- スタンダードサイズ (FZ300・FZ400・FZ401・F8DG・F8CFG)
エロンゲートサイズ (FZ500・FZ501)

2 電源プラグを差し込む

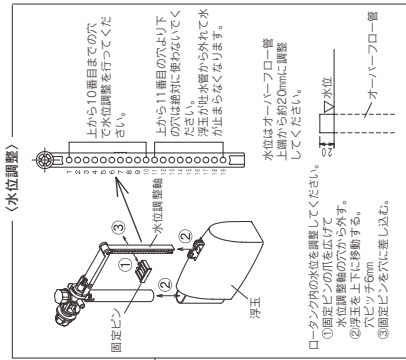
- △ 警告 (SW-7のみ) 交流100Vのコンセントに確実に差し込んでください。



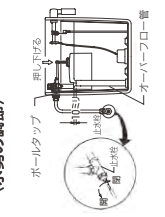
温水洗浄便座の場合は、製品についている説明書を読んで取り付けてください。

11 調整と点検

ボールタップの水勢調整、止水栓でボールタップの水勢調整を行ってください。レバーハンドルを操作し、各部の漏水の有無を点検してください。



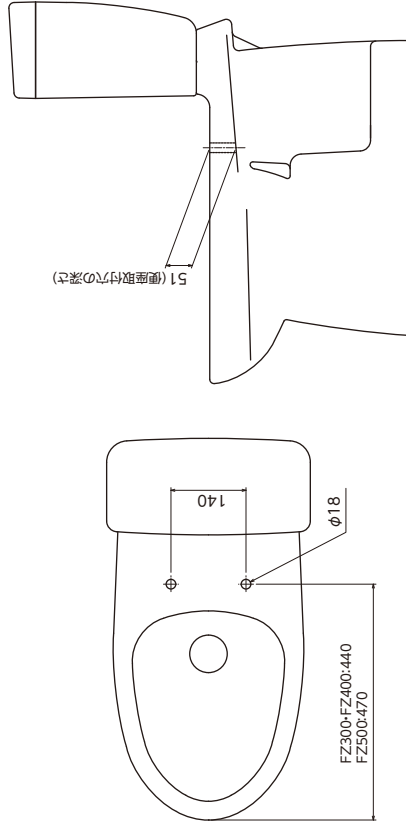
(水勢の調節)



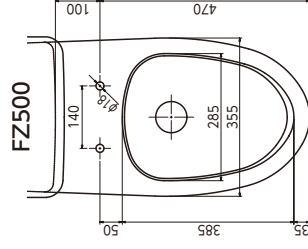
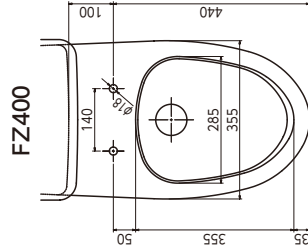
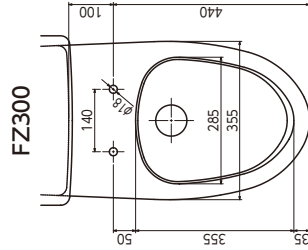
手で浮玉をボールタップが全開になるまで押し下げて、オーバーフロー管へ水をあられさせます。このとき、水面がオーバーフロー管より10mm以上、上昇しないように、止水栓の開閉を必ず確認してください。調節しないと、故障の時オーバーフローし、水が、トイレタンクから水が、あられ、床が水浸しになります。

FZシリーズへ他社製洗浄便座をお取り付けをお考えのお客様へ

FZシリーズは便座のナット取付部分が厚い為、洗浄便座に付属の取付ボルトではお取付できない場合があります。下記の図面寸法を参考に洗浄便座のメーカーにお問合せください。



■ FZ便器寸法 (詳細)



工事完了後

取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。

保証書は必要事項を記入してお渡しください。

Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社

〒160-8502 東京都千代田区千代田1-12-3
工場 東京都千代田区千代田1-12-3
TEL 03-5621-7888

1608 A66028

施工の手順

1 既設便器の撤去

リフォームの場合、既設便器を取り外してください。



止水栓を止めてください。



便座とタンクアタチを外してください。
ロータングの床を抜いてください。



給水管を外し、ロータングを外してください。
ロータングの床を抜いてください。
プラスチック製のロータングは、取り外さなくても作業できます。



便座を外してください。



床フランジを外してください。

洋式便器のリフォームの場合

床フランジの取り外し方

既設便器の床フランジが設置されていてそのまま取り外せないとき、次の方法で外してください。

①マイナストライバーやバーベルを床フランジと床の間に差し込んで床フランジを持ち上げるようにしてください。
それでも、外れないときは、ハンマーで回転方向に叩いて外してください。



①で外れない又は②をお持ちでない方は、以下の手順で行ってください。

③機種やメーカーによって取り外し方が異なります。備からノコギリで床フランジを切断します。



④塩ビ管 (VU100) の内側にある材料をマイナストライバーとハンマーで取り外します。



塩ビ管が欠けたり割れたりした場合、漏水や臭気漏れしないように補修してください。

⑤新しい床フランジにシリコンシーラントを塗布して取り付けてください。塗布量は、太さ5～10ミリ程度



※既設の便器が和式の場合、2-4又は2-6から行ってください。

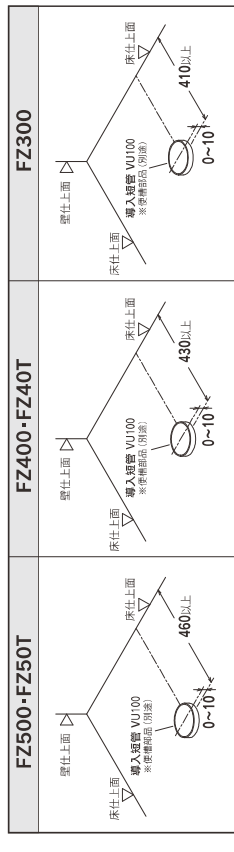
2 導入短管の位置決め

該当する手順に沿って施工してください。

2-1 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え

導入短管の位置がそのまま施工できる場合

導入短管立上り位置を確認してください。



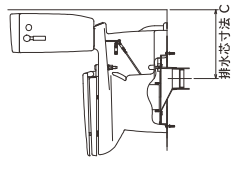
FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

2-2 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え

導入短管の位置が合わない場合

①②のいずれかを満足してください。

①壁から導入短管立上り中心までの寸法(排水芯寸法C)が合わないとき、オプション部品の改造フランジJ13を使うと導入短管立上り位置をそのまま施工できます。
②便槽からの導入管(横引き管VU100)をカットし延長してください。



排水芯寸法C (壁から導入短管中心までの寸法)

床フランジの種類	FZ500・FZ50T	FZ400・FZ40T	FZ300
標準フランジ	0	450以上 410以上	410以上
改造フランジ13	10	450以上 420以上	400以上
APH-Z80	30	430以上 400以上	380以上
改造フランジ13	~30	490以上 460以上	440以上
(反転して使用)	-50	510以上 480以上	460以上
改造フランジ579	50	410以上 380以上	360以上
APH-Z81	70	390以上 360以上	340以上
	90	370以上	320以上

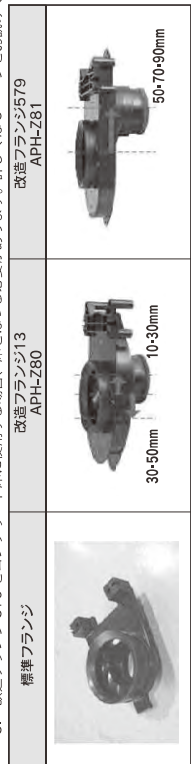
標準フランジは、同梱しています。
FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400
FA-3はFZ300を参照してください。

例 1) 既設の排水芯寸法が 400mm の場合

OFZ500 を設置するには、改造フランジ 579 を使って 70mm 偏芯させて取り付けます。
OFZ400 を設置するには、改造フランジ 13 を使って 30mm 偏芯させて取り付けます。
OFZ300 を設置するには、改造フランジ 13 を使って 10mm 偏芯させて取り付けます。

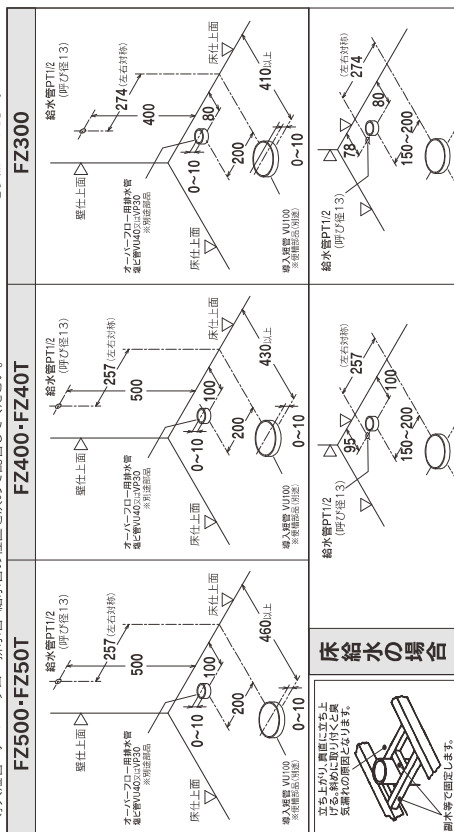
例 2) 既設の排水芯寸法が 500mm、そのまま便器を設置するとロータングと壁との間が大きくなり、手前が狭くなる場合、OFZ500 を設置するには、改造フランジ 13 を反転して使用し-30mm 偏芯させて取り付けます。
OFZ400 を設置するには、改造フランジ 13 を反転して使用し-50mm 偏芯させて取り付けます。

注 1) 改造フランジをご使用になった場合、本水洗への切替を行う際には配管位置変更の工事が必要になります。
2) 改造フランジ 579 は、反転できません。
3) 改造フランジ 579 をコンクリート床に使用する場合、床をはつる必要があります。詳しくは 8 ページをお読みください。



2-3 新築や増築で新たに配管する場合

導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。



2-4 既設の和式簡易水洗便器を取り替える場合

下記の手順で施工を行ってください。

1. 既設便器の撤去

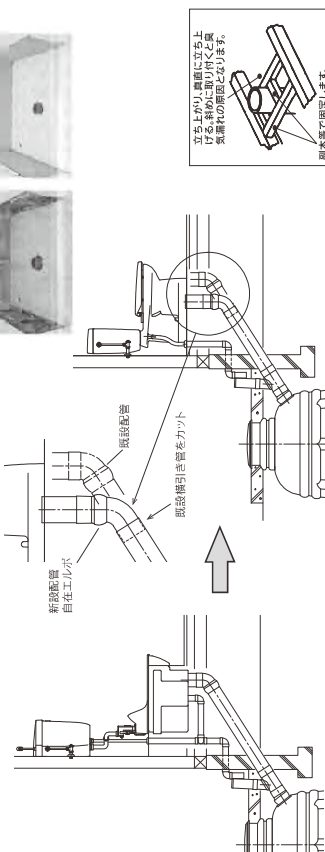
- ① 給水管を取り外してください。
- ② ローリングの板を掛けてください。
- ③ 洗浄管を取り外してください。
- ④ ローリングを取り外してください。
- ⑤ 便器を取り外してください。

2. 床と腰壁の撤去

- ① 床と腰壁を撤去してください。
- ② 施工時のフランジと導入短管の接続を外してください。
- ③ 施工管を取り外してください。

3. 配管工事

- ① 導入短管の立上り位置と向きを確認してください。
・壁から導入短管中心位置(排水芯寸法)の確認。
・排水芯寸法に合わせて開口(引き管)をカットし立上げ直してください。
・床下り面からの導入短管立上り高さの確認
0~10ミリ以上、10ミリ以上の場合は床仕上げ後にカットする。
- ② オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- ③ 給水管位置の確認をしてください。



5

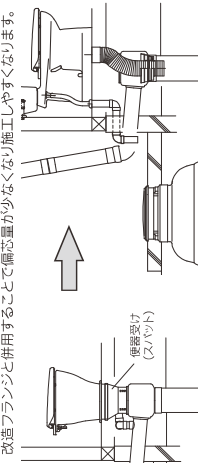
2-5 既設の洋式非水洗便器を取り替える場合

1. 既設便器の撤去

- ① 便器を取り外してください。
- ② 便器受け(スバット)を取り外してください。

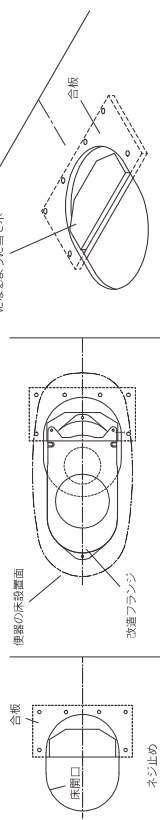
2. 汚水配管

改築部品ジャバラセットB又は改築部品ジャバラセットCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。



3. 床の工事

床の撤去、張り替えを行ってください。
又は FZ500は、洋式非水洗便器の床開口が便器内に隠れます。
床開口の位置によっては、改築フランジを使えば床工事が不要になります。
但し、フランジを床に固定するための合板を取り付けてください。



2-6 既設の和式非水洗便器を取り替える場合

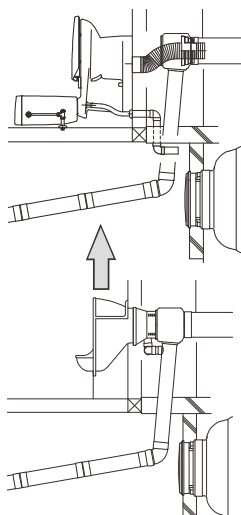
1. 既設便器の撤去

- ① 便器を取り外してください。
- ② 便器受け(スバット)を取り外してください。

2. 床と腰壁の撤去

3. 給排水配管

- ① 汚水配管
改築部品ジャバラセットB又はCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改築フランジと併用することで備量量が少なくなり施工しやすくなります。
- ② オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- ③ 給水配管を行ってください。



4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。



6

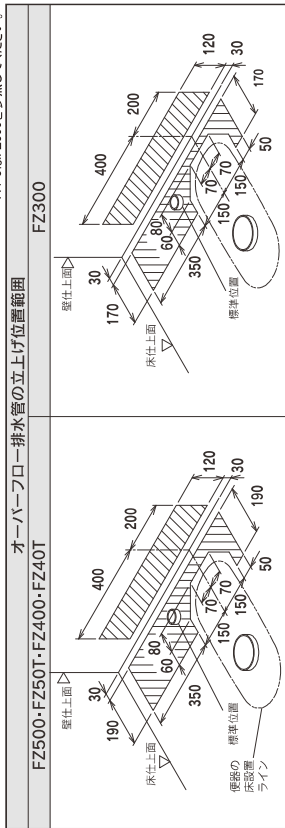
3 オーバーフロー排水管の位置決め

該当する手順に沿って、オーバーフロー排水管の位置を決めて施工してください。

3-1 既設の簡易洗便器を取り替え

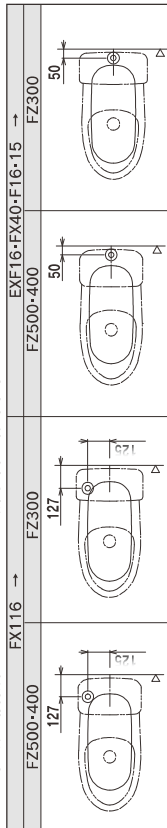
オーバーフロー排水管の位置を確認してください。

下図の斜線部の範囲内にオーバーフロー排水管の中心がなければ、そのまま施工できます。
 FA-5・FA-4・FA-3はFZ400
 FA-3はFZ300を参照してください。



既設のオーバーフロー排水管の径と管サイズが、VP25(外径φ32 内径φ25)やVP20(外径φ26 内径φ20)のとき、付属の接続パイプを施工してください。

ダイワ化成の旧機種種のオーバーフロー排水管の標準位置



FA-5・FA-4・FA-3はFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

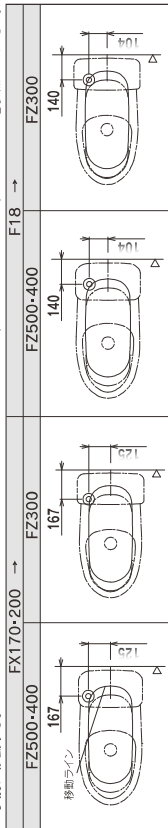
3-2 既設の簡易水洗便器を取り替え

オーバーフロー排水管の位置が合わない場合

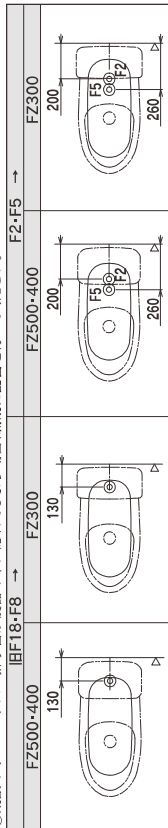
下記のいずれかを決定してください。

①既設のオーバーフロー排水管が便器に当る場合、「改造フランジ」を使って便器を手前に移動する。

FA-5・FA-4・FA-3はFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。



②既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、新規に配管を行ってください。



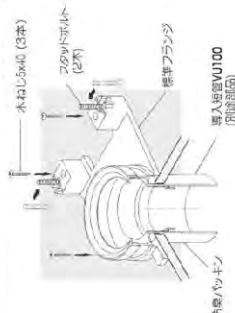
FA-5・FA-4・FA-3はFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

7

4 床フランジの取付

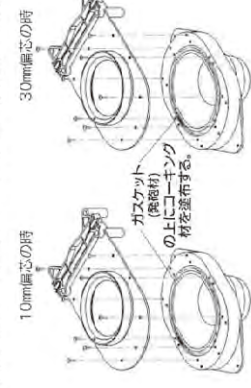
標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

標準フランジ



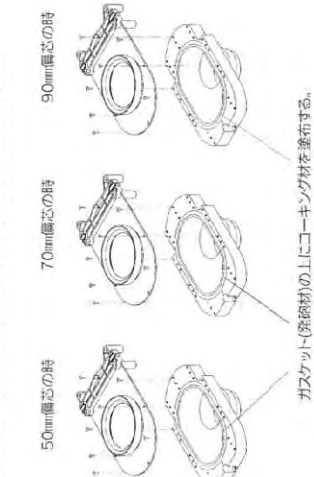
改造フランジ13 品番:APH-Z80

改造フランジの備え置を決めてください。
 備え置を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコーンシーラント)を充填してからネジを締めてください。
 床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



改造フランジ679 品番:APH-Z81

改造フランジの備え置を決めてください。
 備え置を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコーンシーラント)を充填してからネジを締めてください。
 床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

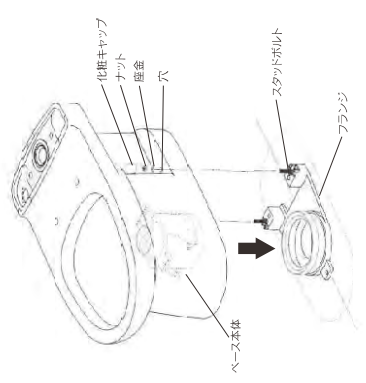


注) 改造フランジ679は、改造フランジ13のように反転できません。

8

5 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。
便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



【注意】

- ・ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。
不十分ですと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ベース本体とフランジを接合した際、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- ・メンテナン스가できなくなります。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
陶器が割れる恐れがあります。

6 ロータンクの取付

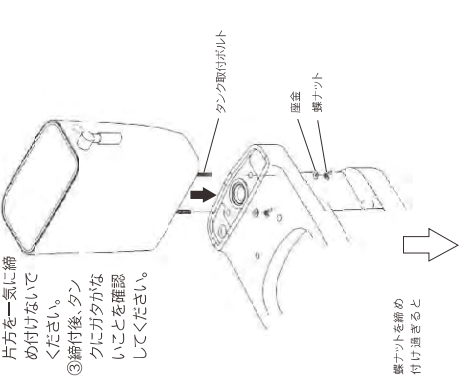
- ①便器にタンクをのせてください。
- ②蝶ナットと座金を締め付けてください。

片方を一気に締め付けしないでください。

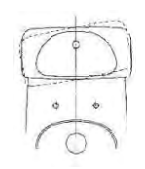
- ③締め付け後、タンクにガタがないことを確認してください。

【注意】

- ・タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが弱いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れますのでご注意ください。
- ・ロータンクの取付ボルトを便器に差し込みとき、ボルトを便器に当てないようにつづくりを差し込んでください。
陶器が破損する恐れがあります。



蝶ナットを締め付け過ぎると

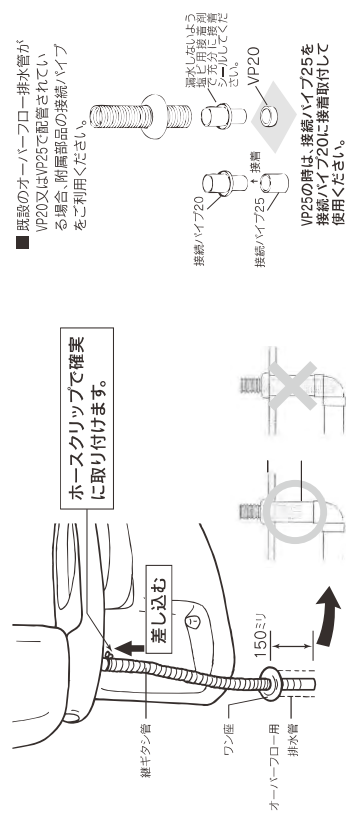


【注意】 FZ300

- ・取付後、必ずフタにガタツキがないことを確認してください。
蝶ナットの締め付け過ぎによってタンクがゆがみ、フタが合わなくなります。

7 オーバーフロー管の接続

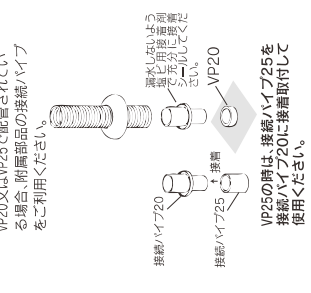
継ギタング管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。
次に、継ギタング管を必要な長さに切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。



ホースクリップで確実に
に取り付けます。

差し込む。

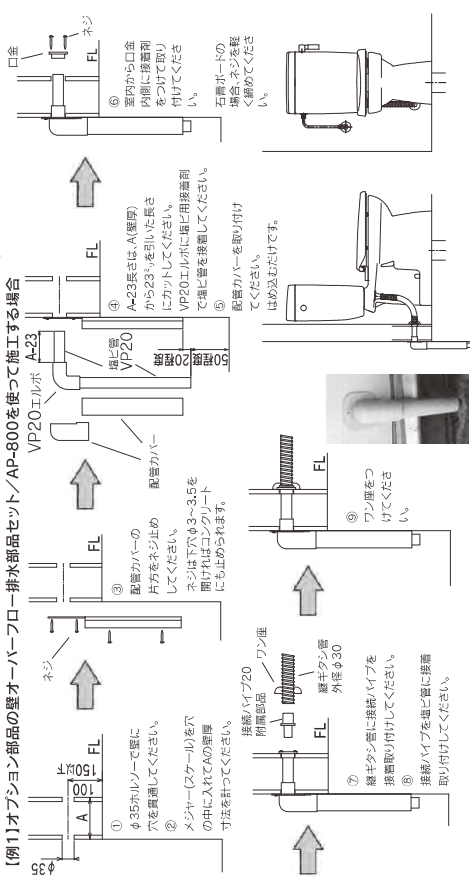
- 既設のオーバーフロー排水管がVP20又はVP25で配管されている場合、付属部品の接続パイプをご利用ください。



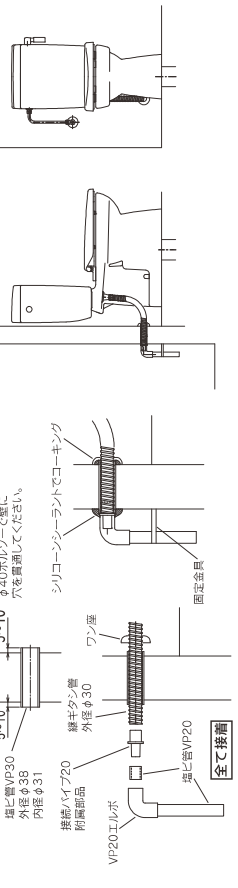
VP25の時は、接続パイプ25を
接続パイプ20に接続取付して
使用ください。

既設のオーバーフロー排水管が使えないとき、屋外に面した壁に設けてください。オーバーフローの内径は、約φ20以上必要です。

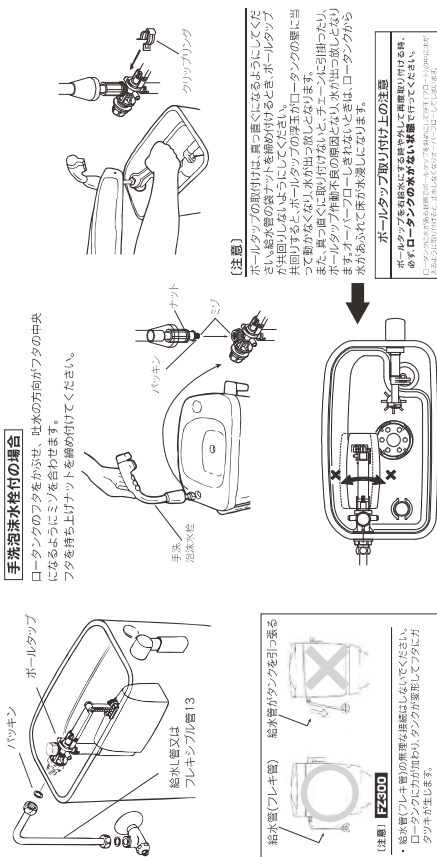
【例1】オプション部品の壁オーバーフロー排水管新設する場合



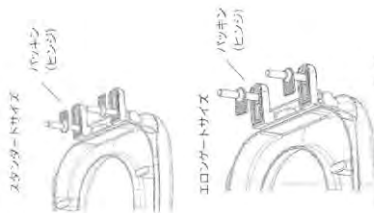
【例2】壁ビ管を露出配管して施工する場合



給水管の接続

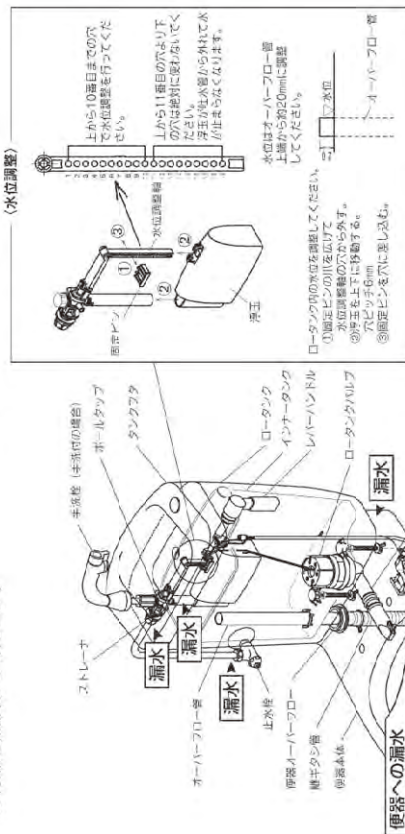


の取付
1便座の取付付け



調整と点検

温水洗浄便座の場合は、製品についている説明書を読んで取り付けてください。



FA-5・FA-5TはFZ500
FA-4・FA-4TはFZ400
FA-3はFZ300を参照してください。

Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 東京都中央区1-12-1 DIXEW
4F 03-5561-1122 TEL:03(5561)1122
工場 東京都西多摩市三木1-2-3
TEL:0426-87-2999 FAX:0426-87-2998

工事元「取
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

21

2012

簡易水洗便器 F8-DG 施工説明書

電磁バルブ式・洗浄ガン付

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工上の注意事項をあげております。
施工前に、よくお読みのうえ正しく施工してください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明	
 …… 「してはいけません」 (一般的な禁止記号)	
 警告 …… 守らないと、重傷を負うことがあります。	
 注意 …… 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。	

 警告	
浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。 火災や感電の原因となります。	

 注意	
便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。 便槽に接続する前段で建設大仕の認可を受けています。	電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。 資格がない人が電気工事をすることは法的に認められていません。
最後に、便器や水道配管からの漏水がないことを点検してください。 漏水すると、床が水浸しになり腐敗を招く原因となります。	浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。 電磁バルブが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。

温水洗浄便座、暖房便座を取り付ける場合は、各々の説明書をよくお読みください。

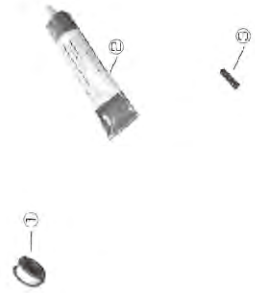
施工の前に

■ 梱包内容を確認してください



品名	個数
① 便器本体	1
② 電磁バルブ	1
③ 床フランジ	1
④ 木ねじ 8×63	4
⑤ スタッドボルト、ナット、座立	各2
⑥ 化粧キャップ	2
⑦ 洗浄ガン	1
⑧ フレキシブル管 (80mm)	1
⑨ 止水栓 (フレキシブル管300mm付)	1
⑩ ベーパーホルダー	1
⑪ 単3アルカリ乾電池	4
⑫ サドルバンド	2
⑬ 木ねじ 4.5×30	8
⑭ カールプラグ 8×40	8
⑮ 水量調整ドライバー	1
⑯ 施工説明書	1
⑰ 取扱説明書・保証書	1

■ 別途に用意していただくもの



品名	用途
① ジェルテープ	水道管と止水栓の接続用
② コーキング材 (シリコーンシーラント)	床フランジと導入配管のコーキング用
③ カールプラグ #14	床がタイル又はコンクリートの場合に使用

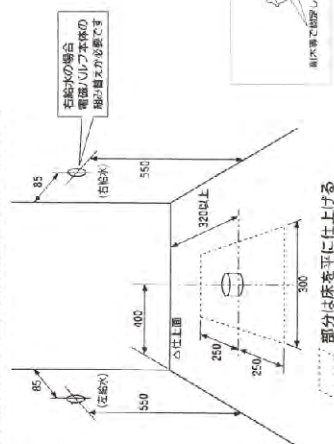
必要な工具

- ドライバー (+)
- ノコギリ
- パイプレンチ
- 自在スパン (モンキーレンチ)
- スパナ (13)
- コンクリート用ドリル (8ミリ電気ドリル)
- 床フランジ取付木ねじ締め付け用、電磁バルブの取付用
- 塩ビ管切断用
- 止水栓と水道管の締め付け用
- 各部の袋ナット締め付け用
- スタッドボルト、ナット締め付け用
- カールプラグ #14、8×40を使用する場合

施工の手順

1 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



(注意)
・便器設置部の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。
平らでないで便器のカタツキの原因となります。



2 床フランジの取付

床フランジの導入短管達部にたっぷりとコーキング剤を塗りつけて床フランジを取り付けてください。



コンクリート床の場合



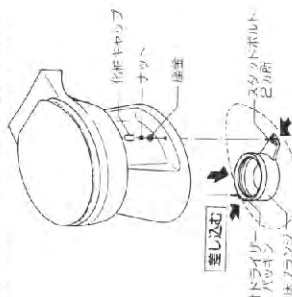
カーブルラグ#14
(下穴6mm)

(注意)

- ・床フランジの取付向きにご注意ください。
- ・床フランジと導入短管の間は、確実にコーキングしてください。
不十分ですと臭気漏れの原因となります。

3 便器本体の据付

スタットボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。
便器が確実に据え付けられたことを確認してから底金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



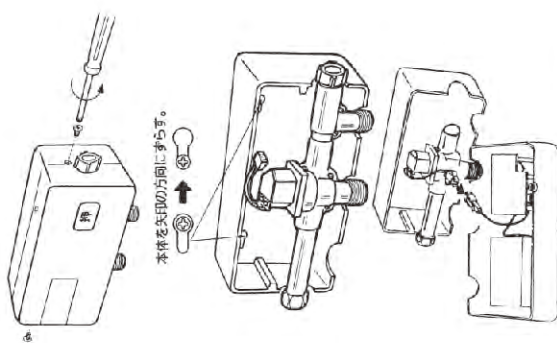
(注意)

- ・ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
- ・臭気漏れや便器のカタツキの原因となります。
- ・ベース本体と床フランジを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- ・メンテナンスができません。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
- ・陶器が割れる恐れがあります。

4 電磁バルブの取付

電磁バルブを壁に取り付けて下さい。

- ①ナドライバーで左右2本のねじを外して、カバーを開いてください。

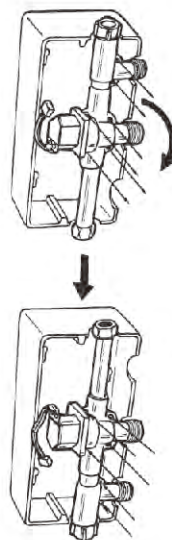


- ②電磁バルブを壁に木ねじで取り付けてください。
取り付ける位置に電磁バルブを付けてマジック等で木ねじの位置に印を付け、先に木ねじ4本を3分の2位ねじ込んでおきます。次に、電磁バルブの穴を木ねじに通して右にずらした後、木ねじを完全に締め付けてください。

- ③底金と電磁弁の配線を接続して、カバーを取り付け左右2本のねじを付けてください。接続の際、差し込む方向が異なりますのでご注意ください。

石給水の場合

バルブ本体を固定している6本のねじを外し、バルブ本体を反転してねじを締め付けてください。

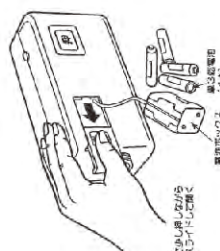


(注意)

タップピンがねじのため、ねじが
変形しないようご注意ください。

5 乾電池のセット

付属の単3アルカリ乾電池×4本を入れてください。



- ①電池フタを親指で少し押しながら横にスライドして開いてください。

- ②電池ボックスを手前に引き出してください。

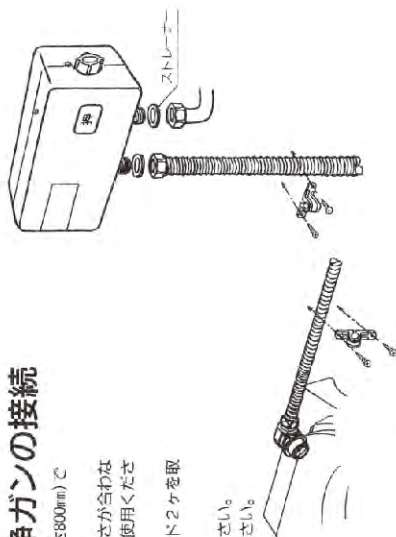
- ③付属のアルカリ乾電池4本を電池ボックスに入れてください。

(注意)

- ・新しい乾電池に使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池の(+)・(-)を確実に確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、はれついたりする恐れがあります。
- また、便器への水が放出しになることがあります。

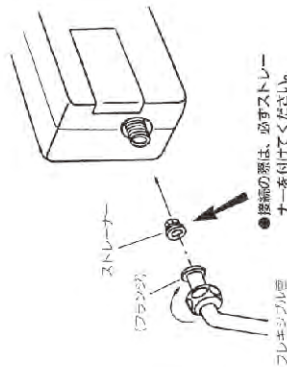
6 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

- ①電磁バルブと便器をフレキシブル管(長さ800mm)で接続してください。
給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。
- ②フレキシブル管の漏れ防止にサドルバンド2ヶを取り付けてください。
- ③電磁バルブに洗浄ガンを取り付けてください。
その時、必ずストレーナーを入れてください。



7 止水栓とフレキシブル管の接続

- ①止水栓にシールテープを巻いて水道配管の給水口に取り付けてください。
- ②止水栓と電磁バルブをフレキシブル管(300mm)で接続してください。
給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。



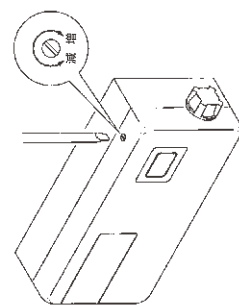
(注意)
電磁バルブとフレキシブル管の間に必ずストレーナーを入れてください。

8 水量の調節

電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り : 増
反時計回り : 減

【注意】
ドライバーで強く押したり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。

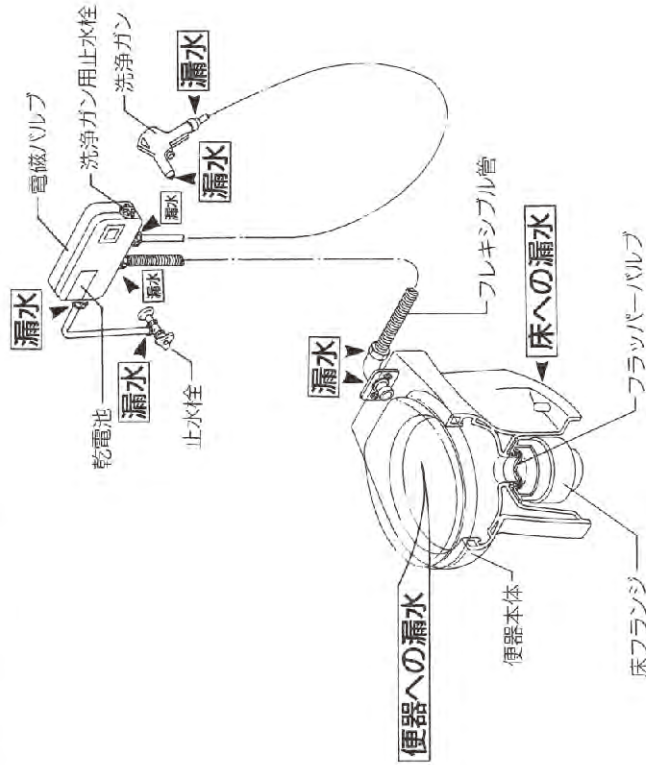


9 点検

取付完了後、次の点検を行ってください。

- 電磁バルブの押しボタンを押して
 - ①フラッパーの開閉状態
 - ②便器への洗浄水の流れ状態
 - ③各部の漏水の有無
- 洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して
 - ①洗浄ガンの水の出力
 - ②各部の温水の有無

※点検後、洗浄ガン用止水栓を必ず閉めてください。



工事完了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白糸1-13-1
TEL 092 (521) 1800

簡易水洗便器 F8-CFG(洗浄ガン付) フラッシュバルブ式 F8-CF (洗浄ガン無)

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明

△ 警告	守らないと、重傷を負うことがあります。
▲ 注意	守らないと、ケガをしたり、家財に損傷を与えます。

△ 注意

- ① 浴室内の水のかかる場所や壁面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーターや電熱バルブ等の電気器具は設置しないでください。
- ② 火災や感電の原因となります。また、電熱バルブが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。
- ③ 便座の冷水配管は、必ず便槽に接続してください。
- ④ 簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。
- ⑤ 施工後、便座や給排水配管からの漏れがないことを点検してください。
- ⑥ 漏水すると、床が水浸しになり腐敗を招く原因となります。
- ⑦ 凍結の恐れのあるときは、注意してください。
- ⑧ 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
- ⑨ 室内設備など適切な処理を行ってください。
- ⑩ 資格のない人が電気工事をすることは法的に認められていません。
- ⑪ 便座は割れものです。施工前に運送振動の衝撃と施工時の破損がないかを点検してください。
- ⑫ 破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。

温水洗浄便座、暖房便座等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください。



※F8-CFは、⑥洗浄ガンと⑦分岐栓はありません。

■ 別途に用意していただくもの

① シールテープ	水道管の給水口接続用
② コーキング材 (シリコンシーラント)	床フランジと導入短管のコーキング用
③ カールブラグ#14	床がタイルやコンクリートの場合に使用

■ 必要な工具

ドライバー (+)、電動ドライパー
スバサ(13)
自在スバサ(モンキーレンチ)
パイプレンチ
コンクリート用ドリル(8mm)、電気ドリル

■ 配管上の注意事項

- 配管の材質、形状、材質は、JIS K8741に準じた通気強化ビニル管を使用してください。
- 肉厚：冷水管(導入管)・・・2mm以上フロア成形品標準肉厚(6mm以上)
- 排水管(臭気管)・・・1.5mm以上フロア成形品標準肉厚(2mm以上)
- 冷水管(導入管) 長さ：1.5m以内(標準は1m) 勾配：25°以上(標準は30°～40°)
- 排水管(臭気管) 管径：呼び径100以上
- 冷水管(導入管)に使用する継手は、汚水の落下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
- 排水管(臭気管)に使用する継手は、汚水の落下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
- 配管の接合部には確実に接合し、十分な耐久性及び気密性を確保してください。
- 排水管(臭気管) 排水管は必ず臭突を設置してください。
- 次の場合は必ず臭突の長さが1.5m以上の場合

- ① 2階配管など汚水管の長さが1.5m以上の場合
- ② 小便器を設置する場合

排水管の先端に排気トップ(臭突ファン、ベンチレーター等)を設けてください。

臭突ファンの流量は、70m³/h以下のもの(当社臭突ファン)を使用してください。

それ以上の物を使用すると、フラッシュが閉塞する恐れがあります。

排気トップは、防臭機能に支障のない性能のものを使用してください。

排水トップの下端は、建築物の出入口、窓、換気口等の上面から600mm以上の高さに取り付けてください。

● 排水管の完了後、約10分間の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。

● 排水管の完了後、約10分間の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。

● 水道設備の取付けを行う場合は、別途取付部品セットをお使いになることが便利です。

● 最低必要水压：0.15MPa(1.3L/分以下流動時)

● 0.07～0.15MPa(1.3L/分以下流動時)は、便座の洗浄が速くなくなり、特に豪雨ポンプを使用すると、ポンプから便器の距離が遠かったり、他の蛇口を開いたりした場合に流量が少なくなります。

● そのときは、洗浄ガンを使用するようお客様にご説明をお願いします。

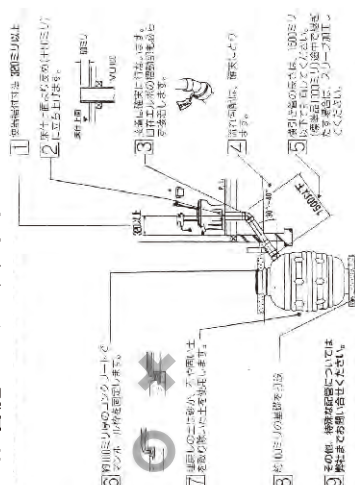
● 最高水压：0.75MPa(静水压)

● 水圧が0.75MPa以上では器具の破損や故障の原因となります。

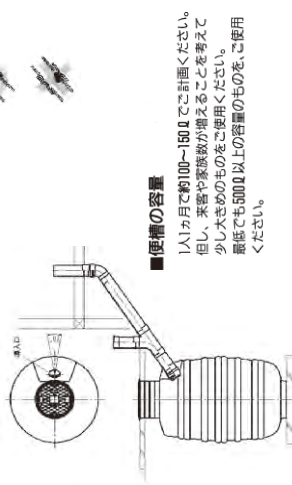
● 井戸水の使用の注意

● 井戸水の汚染防止のためには、フラッシュバルブ内部が腐食して故障することがあります。保証の対象外となります。

■ 配管施工のチェックポイント



■ 便槽施工図



■ 便槽の容量

1人1ヶ月で約100～150Lで計画ください。

但し、茶室や家庭が異なることを考慮して、少し大きなものをご使用ください。

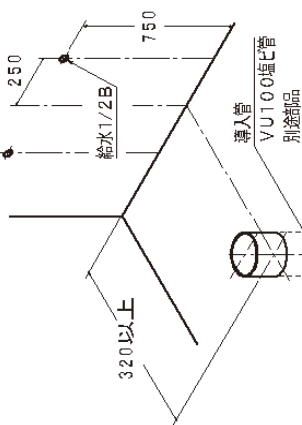
最低でも500L以上の容量のものを、ご使用ください。

施工の手順

1 給排水管の位置決めと床フランジの取付

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。

【お給水の場合（左右対称）】



（注意）
・便器設置部の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。
平らでないいと便器のガタツキの原因となります。



2 床フランジの取付

床フランジの導入短管差込部にたつぷりとコーキング材を取り付けてください。

木ねじ 4本
($\phi 5.8 \times 63$)
デイトライナーパッキン
導入短管の立上り10～15ミリがなく、0（ゼロ）のときは、コーキングをたっぷり塗って確実に防臭と固定をしてください。



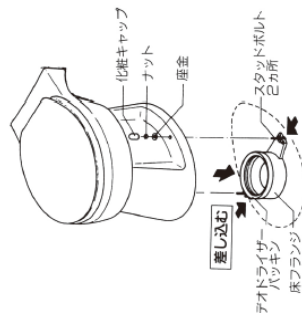
コンクリート床の場合
カールプラグ#14
(下穴8mm)

（注意）

- ・床フランジの取付向きにご注意ください。
- ・床フランジと導入短管の間は、確実にコーキングしてください。不十分ですと臭気漏れの原因となります。

3 便器本体の据付

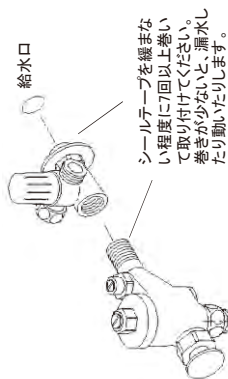
スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



（注意）
・ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
・ベース本体と床フランジを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
・メンテナスがでにくくなります。
・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
・便器が割れる恐れがあります。

4 分岐栓とフラッシュバルブの取付

分岐栓とフラッシュバルブにシールテープを巻いて取り付けてください。



5 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

フラッシュバルブと便器をフレキシブル管（600 ϕ ）で接続してください。

フラッシュバルブの取付位置の関係で長さが合わない場合、長さにあった市販のものをご用意ください。

フレキシブル管をサドルバンド2箇所で固定してください。

洗浄ガンを取り付けてください。

その時、必ずストレーナーとパッキンを入れてください。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

注）ストレーナーとパッキンは両方とも使用してください。

片方だけではネジが締り上らず漏水します。

工事完了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書には必ずお客様の記入をお願いします。

Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社 東京都 品川区 日吉 1-13-1
TEL 03(571) 1000

2024.04

施工説明書

ストール小便器 GT-5(中型)・3(小型)・2(幼児用)

特に注意していただきたいこと
お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語および記号の説明

- △ **警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
 △ **注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
 ○ 「禁止」「してはいけません。」
 ○ 「遵守」「指示通りしてください。」
 ○ 「風品、シャワーなどの水場での使用禁止」

△ 注意

浴室内の水のかかる場所や壁面に水漏れが生じるとなると湿気の多い場所では、**凍結防止ヒーターや電熱ケーブル等の電気器具は設置しないでください。** 電熱ケーブルが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。

簡易水洗小便器の汚水配管は、必ず壁面に接続してください。
 簡易水洗小便器は、便槽に接続する便器です。
 本水洗小便器の汚水配管は、必ず下水道か合併処理浄化槽に接続してください。

この施工説明書以外の改造はしないでください。
 故障や漏水の原因となります。

施工後、小便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。
 漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

① 凍結の恐れのあるときは、注意してください。
 室内暖房など適切な処理を行ってください。

■ 配管上の注意事項

- 使用水圧
フラッシュバルブ式 : 0.07(流動圧)～0.75MPa
電熱バルブ式 : 0.04～0.7MPa
センサー式 : 0.04～0.7MPa
カラ式 : 0.04MPa以下
この範囲内で使用すると止水不良の原因となります。
水圧0.1MPa以下では洗浄力が弱くなります。
- 水道配管内の砂やゴミは取り除いてください。
バルブの止水不良の原因となります。
- 水道配管は、しっかり固定してください。
水撃作用(ウォーターハンマー)の原因となります。
- 配管の接合部は、確実に接続し充分な耐久性と気密性を確保してください。
- 臭気の原因をお勧めします。
配管工事完了後、約10分の水を流して配管接合部からの漏水がないかを確認してください。
- 井戸水をご使用の注意
井戸水の水质によっては、バルブ内部が腐食して故障することがあります。保証対象外となります。

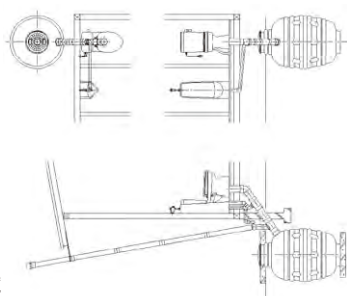
■ 梱包内容の確認

品名	数	品名	数
① 小便器本体	1	⑤ 電熱バルブ	1
② 排水トラップ	1	⑥ フラッシュバルブ	1
③ 目皿	1	⑦ センサー式自動水栓	1
④ 床フランジ(パッキン付)	1	⑧ カラン	1
		⑨ 木ねじ、カールプラグ	8

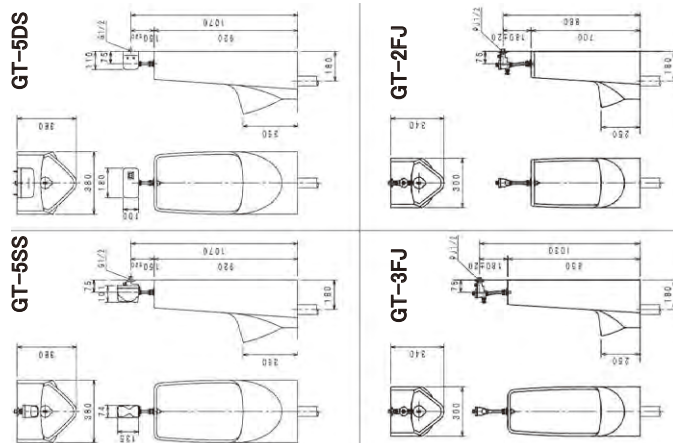
■ 別途に用意していただくもの

シールテープ、塩ビ接着剤、小便管セメント

■ 標準施工



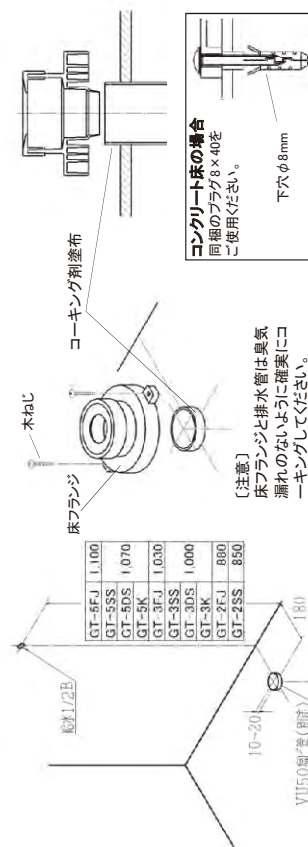
■ 寸法図



施工の手順

① 給排水管の位置決めと床フランジの取付

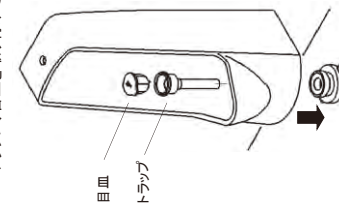
下図に従って、給排水管の位置を決めてください。
排水管にコーキング剤をたっぷり塗って床フランジを取り付けてください。



排水管VU50・VU100・VU75・VU65・VSS1*54が接続できる床フランジになっています。

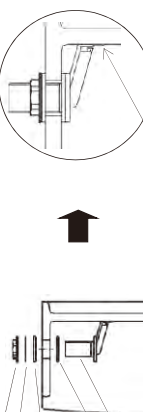
② 小便器の据付

床フランジに差し込みように小便器を据え付けてください。
トラップ、目皿を取り付けてください。



③ ノズルの取付

ノズルを取り付けてください。



ノズルの先端を壁面に押し付けるように当てて取り付けてください。
残水がありますので、壁面に当たっていないと残水が水滴となって垂れます。

⑤ 点検、洗浄時間の調節

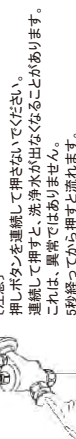
バルブを操作し、各部の漏れの有無を点検をしてください。
水量調節ネジで水量を調整してください。
水量調節ネジで水の勢いを調整してください。
特に洗浄水が小便器から外に飛び出すときは出ないように調整してください。

工場出荷時は排水設定の水圧0.4MPaにて水量300cc
本水洗時は、水量調節ネジを調節してください。

出荷時設定	洗浄時間
GT	1秒



⑥ ストレーナー



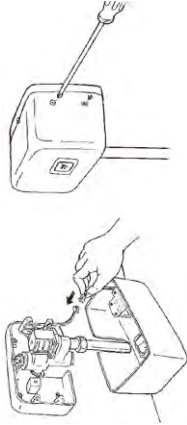
【カラ式】 洗浄水が小便器から飛び出すときは元栓を飛び出さないように調整するか、飛び出さないように回してお使いください。

1 バルブ本体の取付

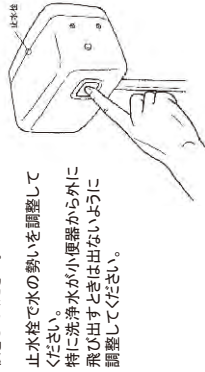
＋ドライバーで左右4本のねじを外して、パルプケースの表と裏を開けてください。



基板と電磁弁の配線を接続してバルブケース表を取り付けてください。



洗浄ボタンを押して洗浄水を流し、各部の漏れの有無を点検をしてください。



ダイワ化成株式会社

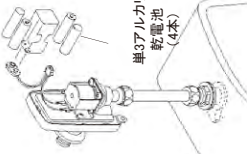
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
TEL 092-521-1800

TEL 092-521-1800

施工前の注意

- ・誤動作が発生しないよう、取付時に必ず確認してください。
- ・センサーが感知距離範囲内に障害物を反しようにしてください。
- ・センサー正面がステンレス、鏡面、反射しやすい場所では避けてください。
- ・直射日光が当たる場所は避けてください。
- ・他の光電センサーと対向しないようにしてください。
- ・センサーの黒線レンズ部を傷ついたり汚したりしないでください。
- ・水がかかるような場所には設置しないでください。

付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしますので、確認してください。



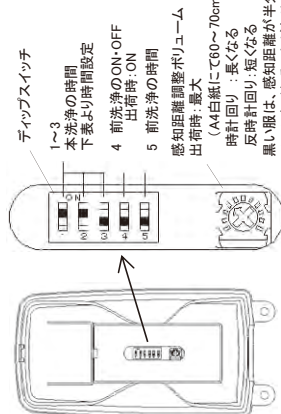
乾電池の(+) (一)を確認して正しく入れています。乾電池が間違えて逆に入ると乾電池が漏れたり、破裂したりする恐れがあります。

また小便器の水が放出しなくなることがあります。

新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。

以上は、回路基板を壊す恐れがありますので、注意してください。

工場出荷時は、洗浄時間を下記の時間に設定しています。
必要に応じて変更してください。



出荷時設定		
洗浄時間	前洗浄	本洗浄
GT	0.5秒	1秒

ON: OFF

洗淨時間(秒)		0.5	1	1.5	2	3	4	6	8
洗淨水量(G)	水圧0.2MPa時	105	200	280	350	500	690	1000	1300
	水圧0.4MPa時	190	300	420	540	780	1000	1500	2000
	水圧0.75MPa時	140	220	320	400	560	750	1100	1430

前洗浄の切り替え	OFF	ON	前洗浄の洗浄時間(秒)	0.5	1
ディップスイッチの番号	4	5	ディップスイッチの番号	5	

ねじ部にシールテープを巻いて給水管に取り付けてください。
小便ヘリューズ管のツバ付の方を上にして、ツバがない方を
必要な長さに切断して取り付けてください。



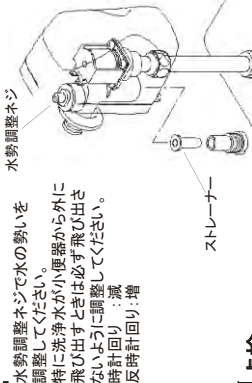
コネクタを差し込んで接続して

ください。
注)配線を無理に引っ張らない
でください。

バルブケース表をねじ2本で軽く締め付けて取り付けてください。

水勢調整ネジで水の勢いを調整してください。

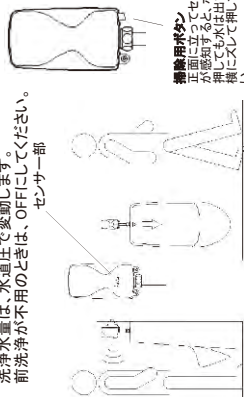
特に洗浄水が小便器から外へ飛び出すときは必ず飛び出さないように調整してください。



動作の確認と各部からの漏水の有無を点検してください。
40cm以内に立ち、センサーが人を感じてから2秒以内に本洗浄
を流し、5～7秒後に本洗浄を自動で流します。

その前に離れると洗浄水は流れません。
 洗浄時間と感知距離を確認し、必要であれば調節してください。
 洗浄水量は、水道圧で変動します。

前洗浄が不用のときは、OFFにしてください。



掃除用ボタン
正面に立ってセンサが感知すると、ボタンを押しても水は出ません。横にズレて押してください。

工場出荷時は、洗浄時間を最小の0.5秒に設定しています。
水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは、小さな（ード）ライバーで回して調節してください。
本水洗の時は、最大の5秒に設定してください。

【注意】
ドライバーで強く押したり、回し過ぎると調節ねじが破損
しますので、軽く回してください。

出荷時設定	洗浄時間
GT	0.5秒



乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。
間違えて逆に入れる乾電池が液漏れしたり、破裂したりする恐れがあります。また、便器への水が放出になることがあります。
新しい乾電池と使用済乾電池を使い分け乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。



簡易水洗便器 和風 JZ クリーンフラッシュ

施工説明書

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語および記号の説明

- △ **警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
- △ **注意** 守らないと、ケガをしたり、物に損害を与えることがあります。
- ⓪ **禁止** 「してはいけません。」
- ① **遵守** 「指定通りしてください。」
- ⓧ **風風** シャワーなどの水場での使用禁止

△ **警告**
浴室内の水のかかる場所や洗面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しない
ください。

火災や感電の原因となります。

⓪ **注意**
便器の汚水配管は、必ず便器に接続ください。
簡易水洗便器は、便器に接続する便器です。

この施工説明書以外の改造はしないでください。

⓪ 故障や漏れの原因となります。

施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。

漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

給排水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。(JZ)

給排水管の浮玉が動くと、ボールタップが回転して浮玉がタンク内に入り動きがなくなると、水が出なくなり、水が止まります。カー、オーバーフローしきいときは、家財を濡らす原因となります。

⓪ **オーバーフロー用排水管は、便器に接続しないでください。**
便器が破損して、給水が止まらないうちに使用がなくなる恐れがあります。

⓪ **オーバーフロー用排水管は、床と管VU40またはVP30で必ず配管してください。(JZ)**
給排水管の内径が90mmより小さいと、便器が破損して水が漏れ出す原因となります。

⓪ **陶器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。**
破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。

⓪ **床に便器を埋め込まないでください。**
修理できなくなります。

⓪ **止水栓からロータックのボールタップまでの給水管は、掘らしても漏水がないよう確実に配管してください。特に、アングル止水栓で配管されるとき、給水し管(プライ管)のツバのない止水栓側の接続には注意してください。**
掘りかけられている水道配管のため、掘りかけるとき、家財を濡らす原因となります。また、給水し管の止水栓側のネジが少ないと配管が抜け、家財を濡らす原因となります。

⓪ **便器設置部の床面は水平にしてください。**
便器が傾くと、オーバーフローで排水しきれず、床に漏水し、家財を濡らす原因となります。

⓪ **凍結の恐れのあるときは、注意してください。**
凍結防止ヒーター利用しない場合は、ロータックの水抜き、室内配管所など適切な処理を行ってください。

⓪ **電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。**
資格のない人が電気工事を行うことは法的に認められていません。

⓪ **浴室内の水のかかる所や洗面に水滴が生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。(J8-DG)**
電線バレルが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。

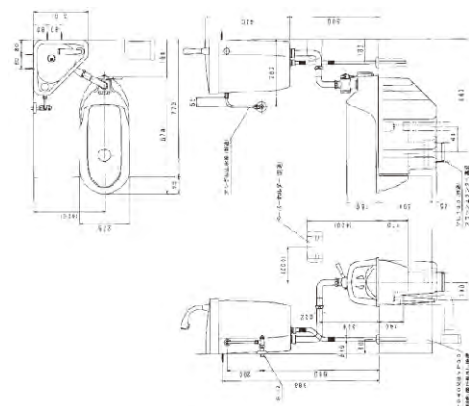
凍結防止ヒーター等を取り付けるときは、各々の説明書をお読みください。

■ 施工の前に

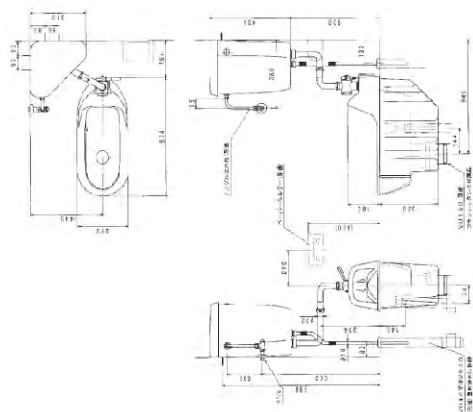
■ 梱包内容をお確かめください



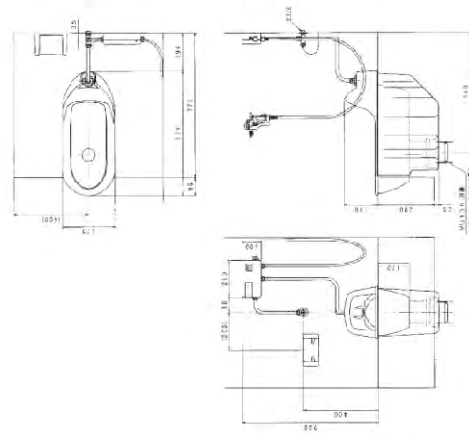
JZ-K 兼用式



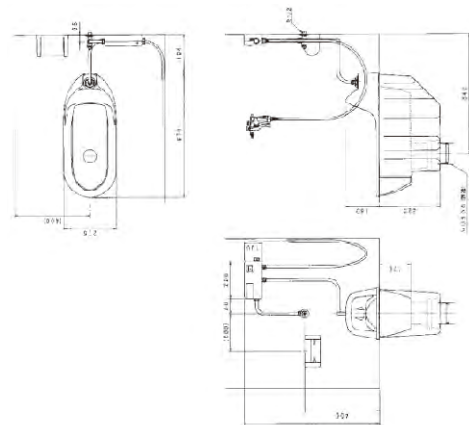
JZ-N 平床式



J8-DG 兼用式



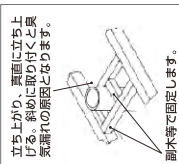
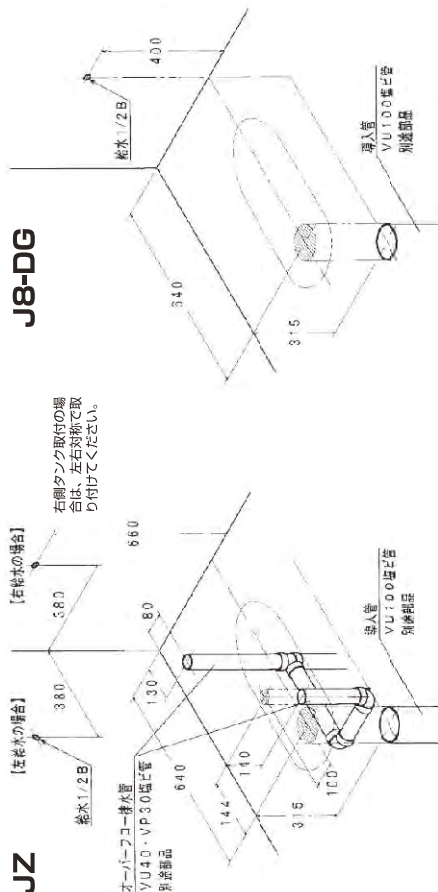
J8-DG 平床式



施工の手順

1 給排水管の位置決め

導水管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。



【注意】
便器設置部の床面は水平にしてください。
便器のガタンキや洗浄不良の原因となります。

2 施工枠の取付

排水管の位置と高さを確認して施工枠を取り付けてください。

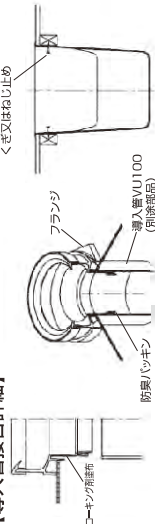
【兼用式の場合】
前カバーの一部（兼用式切断線）より
金ノコ等で切断してください。

同梱の変形防止さん木をはめ込んで間隔を
確保してください。

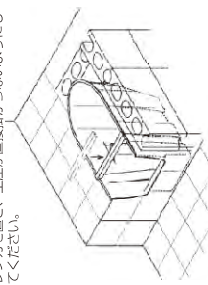


【平床式の場合】
そのまま取り付けてください。

【導水管接合詳細】



【土盛施工の場合】
床下土盛りの場合、施工枠周囲にブロック又は
レンガを敷き、土柱が直接接しないようにし
てください。



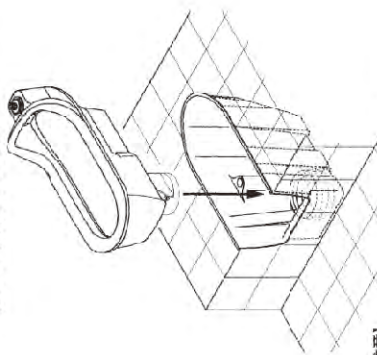
〈注意〉

- ・フランジと導水管の間は、確実にコーキング
してください。
- ・施工枠上面のツバは床仕上にのせるように
施工してください。

J8-DG

3 便器本体の据付

ベース本体を床フランジに差し込んで便器本体を施工州へ挿入してください。



【注意】

- ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。臭気漏れや便器のガタツキの原因になります。
- ベース本体と床フランジを接合したり、電器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- メンテナンスができません。

5 乾電池のセット

- 付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしていただきますので、確認してください。
- ①右にスライドして電池フタを開けてください。
 - ②電池ボックスを手前に引き出してください。
 - ③単3アルカリ乾電池が4本とも(+)(-)が間違っていないかを確認してください。



【注意】

- ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・乾電池の(+)(-)を誤認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、破裂したりする恐れがあります。
- また、便器への水が放出しないこととなります。

4 電磁バルブの取付

電磁バルブを壁に取り付けてください。

- ①ドライバーで左右2本のねじを外して、カバーを開いてください。
- ②電磁バルブを壁にねじで取り付けてください。取り付ける位置に電磁バルブを付けてマジック等で木ねじの位置に印を付け、先に木ねじ×本を3分2位ねじ込んでおきます。次に電磁バルブの穴を木ねじに挿して右にずらした後、木ねじを完全に締め付けてください。
- ③接続と電磁弁の配線を接続して、カバーを取り付け左右2本のねじを付けてください。接続の際、差し込む方向が正しいかどうか注意してください。

右給水の場合

バルブ本体を固定している6本のネジを、タッピングナゲしのため、締め過ぎでねじが変形しないよう注意してください。



6 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

- ①電磁バルブと便器をフレキシブル管(長さ800mm)で接続してください。給水位置等の条件でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さにあった市販のものをご使用ください。
- ②フレキシブル管の締め防止にサドルバンド2ヶ所を取り付けてください。
- ③電磁バルブに洗浄ガンを取り付けてください。その時、必ずストレーナーを入れてください。



7 止水栓とフレキシブル管の接続

- ①止水栓にシャトルテーパーを巻いて水道配管の給水口に取り付けてください。
- ②止水栓と電磁バルブをフレキシブル管(300mm)で接続してください。給水位置等の条件でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さにあった市販のものをご使用ください。



【注意】

電磁バルブとフレキシブル管の間に必ずストレーナーを入れてください。

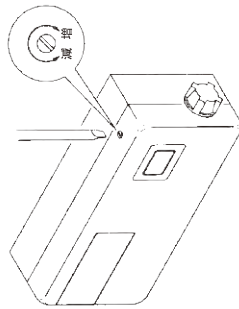
8 水量の調節

電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り：増
反時計回り：減

【注意】

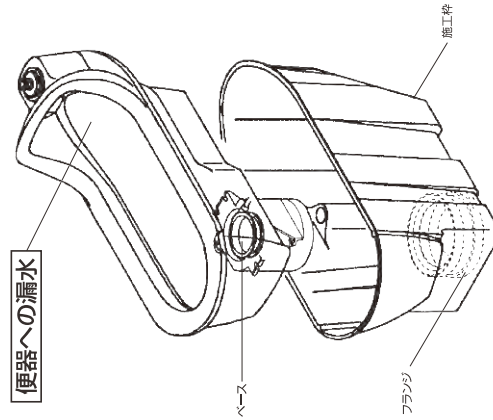
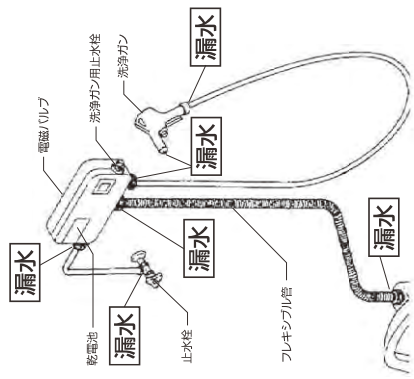
ドライバーで強く押ししたり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。



9 点検

取付完了後、次の点検を行ってください。

- 電磁バルブの開閉状態
 - ①フラッパーの開閉状態
 - ②便器への洗浄水の流れ状態
 - ③各部の漏水の有無
 - 洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して
 - ①洗浄ガンの水の出入
 - ②各部の漏水の有無
- ※点検後、洗浄ガン用止水栓を必ず閉めてください。



工事完了後
取扱説明書(保証書付)を必ずお客様にお渡し
ください。
保証書は必要事項を記入してお渡ください。

ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
TEL092-521-1800

和風簡易水洗便器 JT

施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

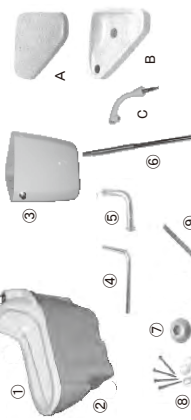
用語および記号の説明	
△ 警告	中らないと、重傷を負うことがあります。
△ 注意	中らないと、ケガをしたり、家財に損傷を与えます。
○	「禁止」「してはいけません。」
①	「遵守」「指示通りしてください。」
②	「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

△ 注意	
便器の排水配管は、必ず便槽に接続してください。	この施工説明書以外の改造はしないでください。
簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。	故障や漏水の原因となります。
施工後、便器や給排水管からの漏水がないことと点検してください。	電気配管は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
① 漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。	① 資格のない人が電気工事をするのは法的に認められていません。
② 床に便器を埋め込まないでください。	② 凍結の恐れのあるときは、注意してください。
③ 便器は覆れものです。施工前に凍結破壊の凍結と施工時の破壊がないかを点検してください。	③ 凍結防止ヒーターの利用、水抜き、室内暖房など適切な処理を行ってください。
給水管の凍結の恐れ、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。	④ 止水栓からロータックのボールタップまでの給水管は、漏らしても漏水がないよう凍結に配慮してください。特に、アングル止水栓で配管されたとき、給水管(サブライ管)のツバの無い止水栓の接続には注意してください。
給水管のボールタップを締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がタワークラスに当たり動かなくなると、水が出っ放しになります。万が一オーバーフローしきれないとき家財を濡らす原因となります。	⑤ 重圧がかかっている水道配管のため、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。また、給水管の止水栓側の差込がないと配管が抜け家財を濡らす原因となります。

温水洗浄便座、暖房便座、凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください。



品名	数	品名	数
① 便器本体	1	⑧ タンク取付ねじ、座金	4
② 施工枠	1	⑨ 施工枠変形防止さん木	1
③ ロータンク	1	A 手洗なし用フタ	(○)
④ 洗浄管	1	B 手洗付き用フタ	(○)
⑤ 洗浄管(差込み付)	1	C 手洗管	(○)
⑥ オーバーフロープレキ管	1	施工説明書	1
⑦ ワン座	1	取扱説明書(保証書付)	1

■ 別途に用意していただくもの

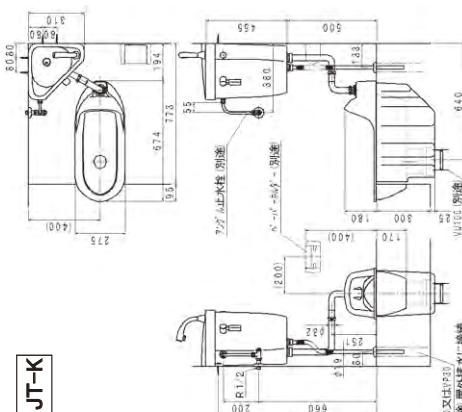
① シーレデブ材	水道管の給排水口接続用
② コーキング材	床フランジと導入短管のコーキング用
③ カールプラグ#14	床がタイルやコンクリートの場合に使用

■ 必要な工具

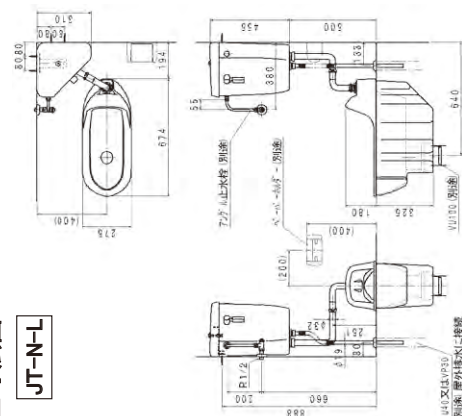
ドライバー(+/-)、電動ドライバー
スナナ(13)
自在スナバ(モンキーレンチ)
バイブレンチ
コンクリート用ドリル(8mm)、電気ドリル

■ 寸法図

JT-K



JT-N-L

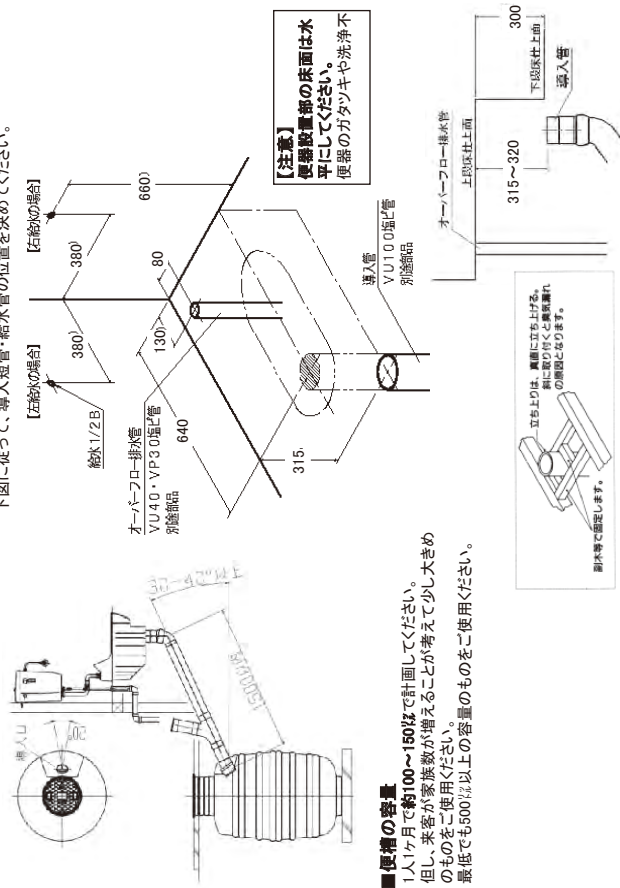


■ 標準施工図

施工の手順

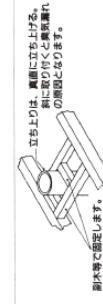
① 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



■ 便槽の容量

1人1ヶ月で約100～150ℓで計画してください。但し、来客が家族数が増えることが考えられ、最低でも500ℓ以上の容量のものをご使用ください。



2 施工枠の取付

排水管の位置と高さを確認して施工枠を取り付けてください。

【兼用式の場合】

前カバナー部分の「兼用式切断線」より、ノコ等で切断してください。



くき又はネジ止め

【土盛施工の場合】

床下土盛りの場合、施工枠周囲にブロック又はレンガを置き、土圧が直接かからないようにしてください。

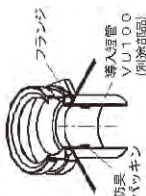


同様の形状防止さん木をはめ込んで間隔を確保してください。

【注意】

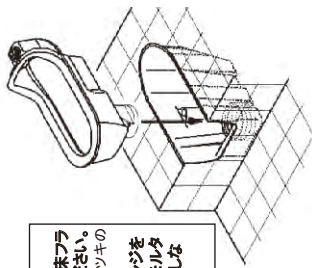
- ・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。
- ・施工枠上面のツバは、床仕上面にのせるように施工してください。

【導入管接続詳細】



3 便器本体の据付

スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから底金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。

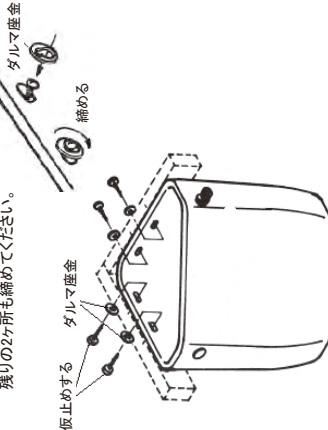


【注意】

- ・ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
- ・臭気漏れや便器のガタツキの原因になります。
- ・ベース本体と床フランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。

4 ロータンクの取付

ロータンクを壁に取り付けてください。木ネジを片側2ヶ所取止めし、ロータンクをかくてからタルマ座金をはめ、木ネジを締めてください。



5 洗浄管・オーバーフロー管の接続

取付寸法に合わせて洗浄管とオーバーフロー管を切断し、各袋ナットを締めて接続してください。洗浄管の横引き長さは、最大460mmです。長さが足りない場合は、片アジャスタパイプAPH-17を使用してください。

【注意】

- ・洗浄管は水平・垂直に取り付け、差込みは最低30mm確保してください。
- ・管切断後の切粉が管内に残らないように水洗い等してから取り付けてください。

【オーバーフロー管の取付】

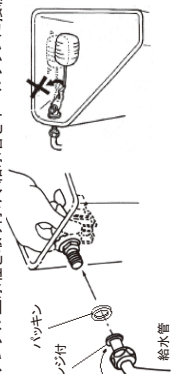


【注意】

- ・オーバーフロー管下端を排水管のエルボに突き当てないでください。
- ・オーバーフロー管の下端が凍結したり、排水しきれず圧にあらわれ家財を濡らす原因となります。

6 給水管・手洗の接続

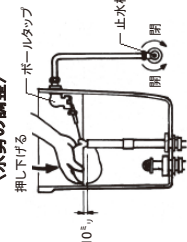
アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。



【注意】

給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。給水管の袋ナットを締め付けると、ボールタップが共回りして浮玉がタンク室に当たり動かなくなると、水が出づ放しとなります。オーバーフローしきれないとき家財を濡らす原因となります。

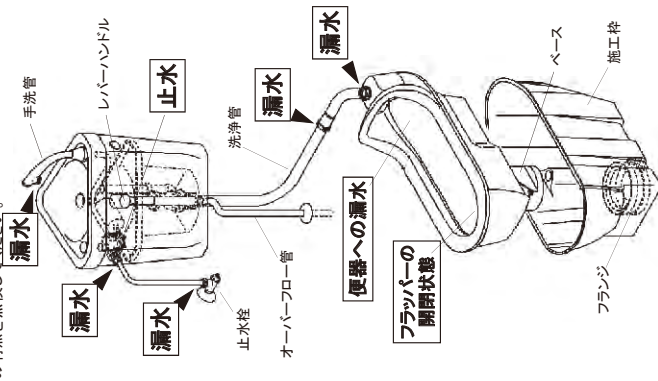
【水勢の調整】



ボールタップが全開に吐水するまで手で浮玉を押し下げてオーバーフロー管へ水をあふれさせます。この時、水面がオーバーフロー管より約10mm以上上に上昇しないよう止水栓を調節してください。故障のときオーバーフローしきれずロータンクから水があふれ床が水浸しになります。

7 点検

レバーハンドルを操作し、洗浄水の流れ状態や各部の漏水の有無を点検してください。



工事完了後、取扱説明書（保証書付）を必ずお客様にお渡しください。保証書に必要事項を記入してお渡しください。

Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社：東京都 墨田区 両国 1-1-1
TEL: 03-5621-1111

施工説明書

和風簡易水洗便器
フラッシュバルブ式

J8-CFG(洗浄ガン付)
J8-CF (洗浄ガン無)

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明

△ 警告	守らないと、重傷を負うことがあります。
△ 注意	守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えたりすることがあります。

- △ 注意
- 浴室内の水のかかる場所や壁面に水滴が生じるような配管の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーターや電熱バルブ等の電気器具は設置しないでください。
- 火災や感電の原因となります。また、電熱バルブが故障したり、乾電池が溢漏れする恐れがあります。
- 便座の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
- 簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。
- 施工後、便座や排水ホースからの漏水がないことを点検してください。
- 漏水すると、床が水浸しになり腐敗を招く原因となります。
- 凍結の恐れのあるときは、注意してください。
- 電気配線は、必ず専門の電気工事業者で行ってください。
- 資格のない人が電気工事をすることは法的に認められていません。
- 便器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。
- 室内暖房など適切な処理を行ってください。
- 破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。

温水洗浄便座、暖房便座を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください。

①	品名	個数
①	便器本体	1
②	施工枠	1
③	洗浄ガン	1
④	ペーパーホルダー	1
⑤	サドルバンド	2
⑥	木ねじ4.5×30	4
⑦	カールブラグ8×40	4
⑧	フラッシュバルブ	1
⑨	分岐栓	1
⑩	フレキシブル管800mm	1
⑪	施工枠変形防止さん木	1
⑫	施工説明書	1
⑬	取扱説明書(保証書付)	1



※ J8-CFは、③洗浄ガンと⑨分岐栓はありません。

別途に用意していただくもの

① シールテープ	水道管の給水口接続用
② コーキング材 (シリコンシーラント)	床フランジと導入短管のコーキング用
③ カールブラグ#14	床がタイルやコンクリートの場合に使用

必要な工具

ドライバー(+/-)、電動ドライバー
スパナ(13)
自在スパナ(モンキーレンチ)
パイプレンチ
コンクリート用ドリル(8mm)、電気ドリル

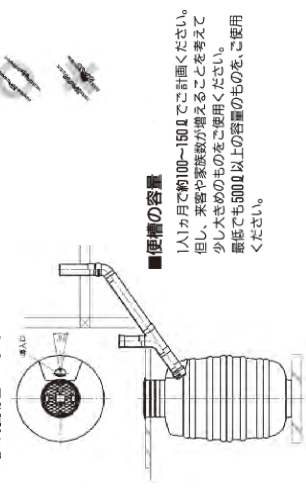
■ 配管上の注意事項

- 配管の外観、形状、材質は、JIS K6741に準じた硬質塩化ビニル管を使用してください。
肉厚：汚水管(導入管)・・・2mm以上(フロア成形品継手類1.6mm以上)
排水管(臭気管)・・・1.5mm以上(フロア成形品継手類1.2mm以上)
- 汚水管(導入管)
汚水管(導入引き管) 長さ：1.5m以内(標準は30°～40°) 勾配：30°～40° 以上(標準は30°～40°)
汚水管(導入立管) 管径：呼び径 100以上
汚水管(導入管)に使用する継手は、汚水の落下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
構造で汚物が引付く掛かるような継手は使用しないでください。
横置配管などには、絶対にエルボを使用しないでください。
配管の継合部は確実に接着し、充分な耐久性及び密着性を確保してください。
● 排水管(臭気管)
次の場合は必ず臭突を設置してください。
① 配管の長さ1.5m以上の場合
② 小電器を配置する場合
排水管の先端に排水トラップ(臭気ファン、ベンチレーター等)を付けてください。
臭気ファンの風量は、700cfm以下のもの、または臭気ファンを使用してください。
それ以上のものを使用するときは、フラッパーが閉まるものを使用してください。
排水トラップは、防臭機能に支障のない性能のものを使用してください。
排水トラップの下流は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けください。
● 配管工事完了後は、約10分の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
● 既存の暖気便槽に取り付ける場合は、別途取付部品セットをお使いになると便利です。
● 水道配管
最低必要水圧：0.15MPa以上(13L/分以下流動時)
0.07～0.15MPa(13L/分以下流動時)は、便器の洗浄が悪くなります。特に家庭用ポンプを使用している場合は、便器の洗浄が悪くなり、他の出口を開いた場合に流量が少なくなります。
そのときは、洗浄ガンを使用するようお客様にご説明をお願いします。
最高水圧：0.75MPa(静水圧)
水圧が0.75MPa以上では器具の破損や故障の原因となります。
● 井水水に使用の注意

■ 配管施工のチェックポイント

- 1 便器取り付け位置を20mm以上ずらす。
- 2 便器に接続する管径を1/2インチ以上にする。
- 3 排水管は必ず排水トラップを付ける。
- 4 排水管は必ず排水トラップを付ける。
- 5 排水管は必ず排水トラップを付ける。
- 6 排水管は必ず排水トラップを付ける。
- 7 排水管は必ず排水トラップを付ける。
- 8 排水管は必ず排水トラップを付ける。
- 9 排水管は必ず排水トラップを付ける。

■ 便槽施工図



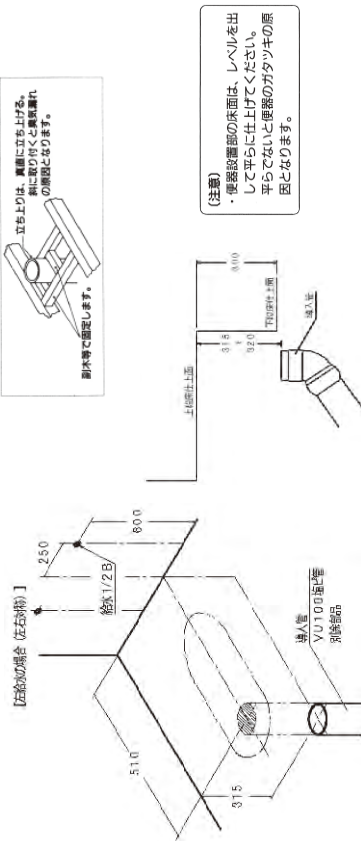
■ 便槽の容量

1人1回で約100～150Lまで貯水できます。
但し、洗濯や家庭用が溜まることを考えて、少し大さめのものをよく使ってください。
最低でも500L以上の容量のものを、ご使用ください。

施工の手順

1 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



2 施工枠の取付

排水管の位置と高さを確認して施工枠を取り付けてください。

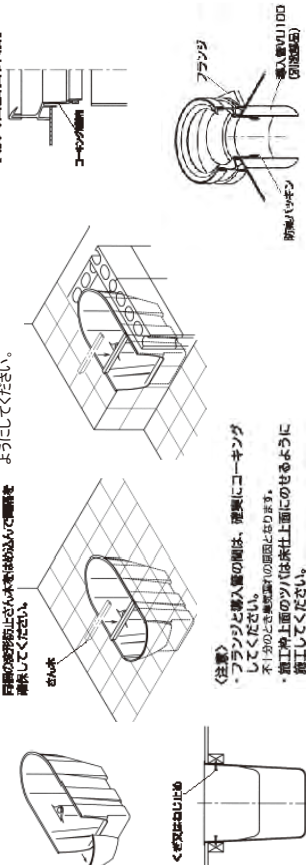
【合機式】
【平床式】

カバー部の「兼用式切斷線」そのまま取り付けてください。

【土盛施工の場合】

未下土盛りの場合、施工枠周囲にブロック又はレンガを置き、土圧が直接かからないようにしてください。

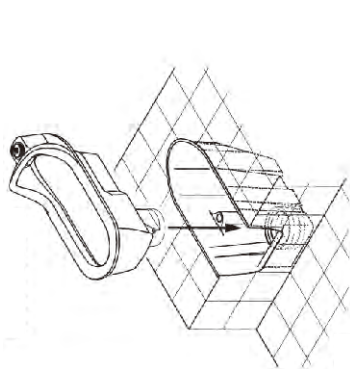
【導入管理台詳細】



3 便器本体の据付

スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。

便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。

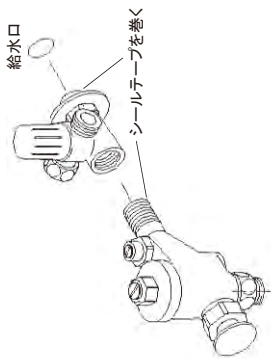


【備考】

- ペーパース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
良気漏れや便器のガタツキの原因になります。
- ペーパース本体と床フランジを密着したり、便器をモルタル等で埋め込んでもだいたいしないで大丈夫です。
メンテナン스가がさねくなります。

4 分岐栓とフラッシュバルブの取付

分岐栓とフラッシュバルブにシールテープを巻いて取り付けてください。



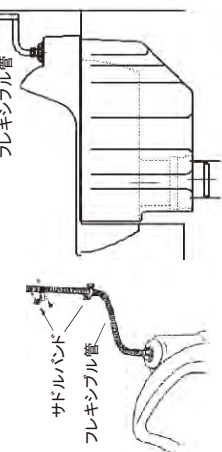
5 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

フラッシュバルブと便器をフレキシブル管(800^{mm})で接続してください。

フラッシュバルブの取付位置の関係で
長さが合わない場合、長さにあった市販
のものをご用意ください。

フレキシブル管をサドルバンド2
してください。

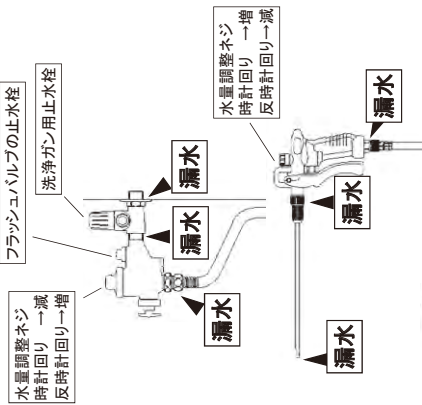
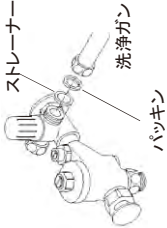
洗浄ガンを取り付けてください。
その時、必ずストレーナーとパッ
れてください。



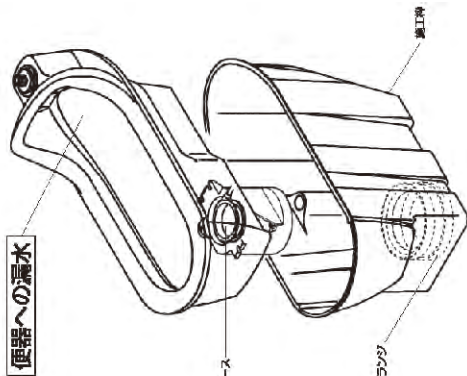
6 点検

取付完了後、次の点検と水量調節を行ってください。

- フラッシュバルブの押しボタンを押して
 - ①便器の洗浄の状態
 - ②各部の漏水点検
 - 洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンを操作して
 - ①洗浄ガンの水の流出
 - ②各部の漏水点検
- ※点検後、洗浄ガン用止水栓を閉めてください。



〔注意〕
押しボタンを連続して押さないで
連続して押すと、洗浄水が出なく
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。



工事完了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。

証書は必要事項を記入してお返しください。



Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
TEL 092 (521) 1800

幼児用 簡易水洗便器

FC7

施工説明書

特に注意していただきたいこと
お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

△ 警告

中らないと、重傷を負うことがあります。

△ 注意

中らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えること

「禁止」「してはいけません。」「

「遵守」「指示通りしてください。」「

「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

△ 注意

水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い

場所では、暖房使用、乾燥防止ヒーターや電熱バルブ等

の電気器具は設置しないでください。

電熱バルブが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。

便器の排水管は、必ず長機に接続してください。

電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。

資格がない人が電気工事をすることは法的に認められてい

ません。

この施工説明書以外の改造はしないでください。

故障や漏水の原因となります。

施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検

してください。

漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

※ 注意

室内暖房など適切な処理を行ってください。

■ 配管上の注意事項

● 使用水道圧：0.2～0.7MPa
この範囲内で使用すると止水不良の原因となります。

0.5MPa以上ある場合、ウォーターハンマーが出やすいため、オプション部品の減圧弁(AP-570)を止水栓に取り付けてください。

● 水道配管内の砂やゴミは取り除いてください。

バルブの止水不良の原因となります。

● 水道配管は、しっかりと固定してください。

水漏れの原因となります。

● 床フランジと排水配管の間は確実にシールしてください。

臭気漏れの原因となります。

● 汚水管(導入横引き管)は、長さ1.5m以内、勾配30～40度以上を確保してください。

● 配管の接合部は、確実に接合し充分な耐久性と気密性を確保してください。

● 汚水管(導入管)に使用する継手は、汚物の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。

段差で汚物が引っ掛かるような継手は、使用しないでください。

● 構造途中には、絶対にエルボを使用しないでください。

● 臭気を設置する場合は、風量70m³/h以下のものを使用してください。

● 配管工事完了後、約10%の水を流して配管接合部からの漏水がないかを確認してください。

■ 梱包内容の確認

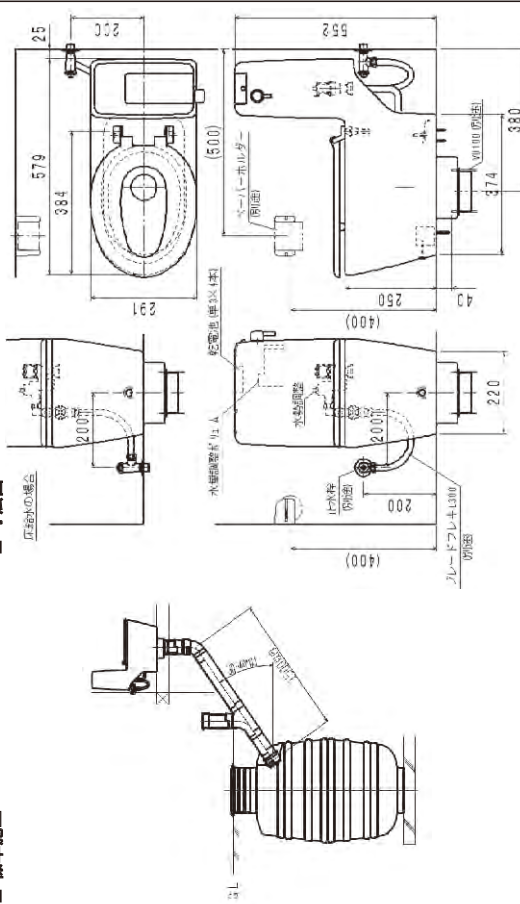
品名	数	品名	数
① タンク一体便器	1	⑤ カールプラグ8×40	6
② 便座	1	⑥ サラ木ねじM4×50	1
③ フランジ付き施工枠	1	⑦ 座金	1
④ 木ねじM5×40	6	⑧ キャップ	1

■ 別途に用意していただくもの

シールテープ 止水栓 フレートプラグ管L300 塩ビ用接着剤 コーキング材 ペーパーホルダー

■ 標準施工

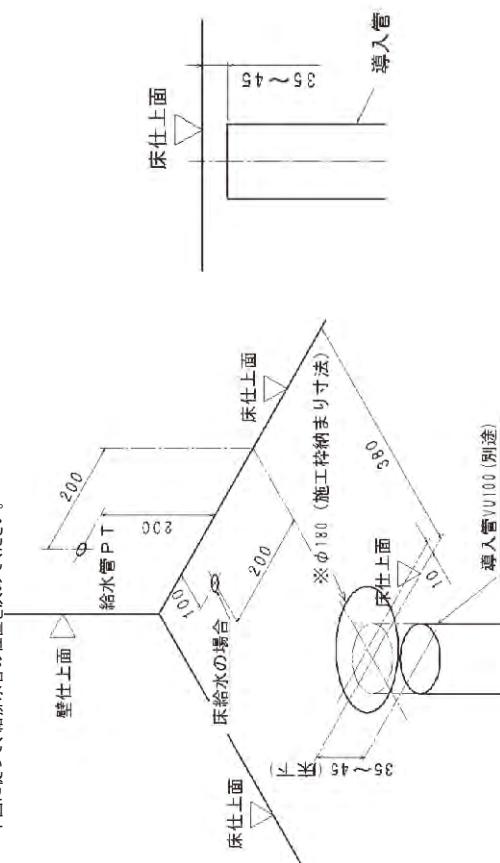
■ 寸法図



施工の手順

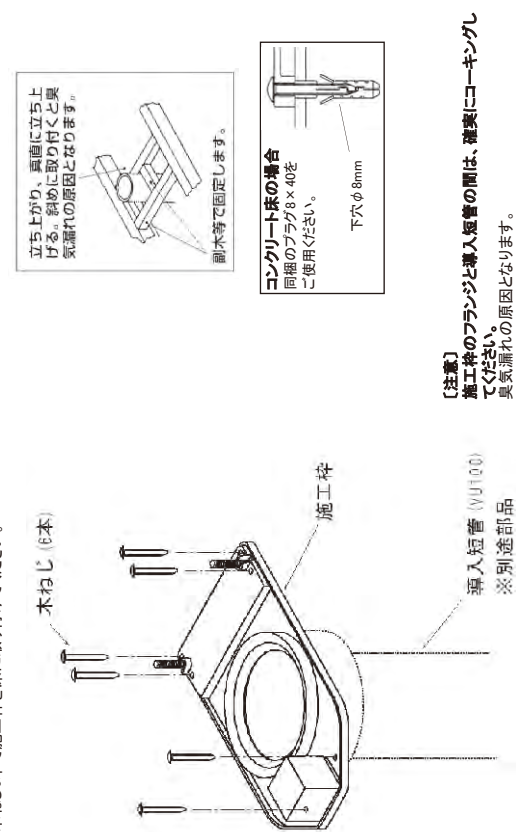
1 給排水管の位置決め

下図に従って、給排水管の位置を決めてください。



2 施工枠の取付

施工枠の導入短管差込部にたっぷりコーキング材を塗って導入短管と接続してください。
木ねじ6本で施工枠を床に取り付けてください。



【注意】
施工枠のフランジと導入短管の間は、確実にコーキングしてください。
臭気漏れの原因となります。

コンクリート床の場合

同梱のプラグ8×40を
ご使用ください。

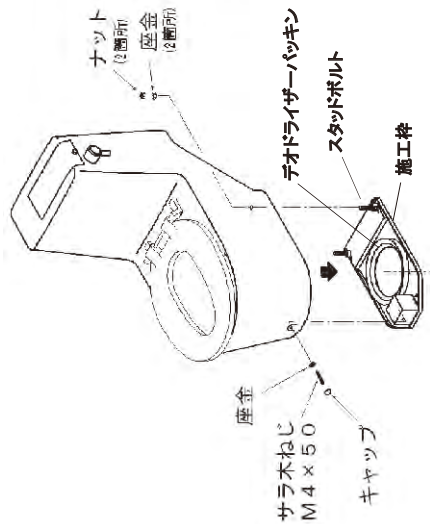
下穴φ8mm

立ち上がり、真直に立ち上げ、斜めに取付くと臭気漏れの原因となります。

副木等で固定します。

3 便器の据付

スタッドボルトと便器の穴を合わせながら、施工枠に便器を差し込んでください。
便器が確実に据え付けられていることを確認してから座金を入れ、ナットを締め付けてください。

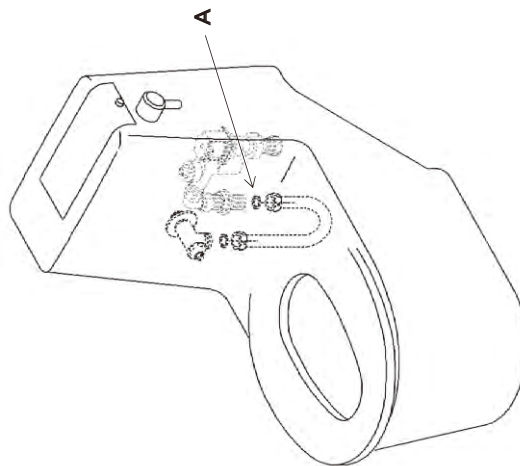


- 【注意】
- ・ベース本体を確実にデオドライザーパッキンに差し込んでください。
臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
 - ・ベース本体とデオドライザーパッキンを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んでしまわないでください。
メンテナンスができません。
 - ・ナットの締め過ぎに注意してください。
便器が割れる恐れがあります。

※A側の接続は便器の据付前に行ってください。
便器据付後は袋ナットが締め難くなります。

4 給水管の接続

止水栓と便器をブレードフレキ管(L300)で接続してください。



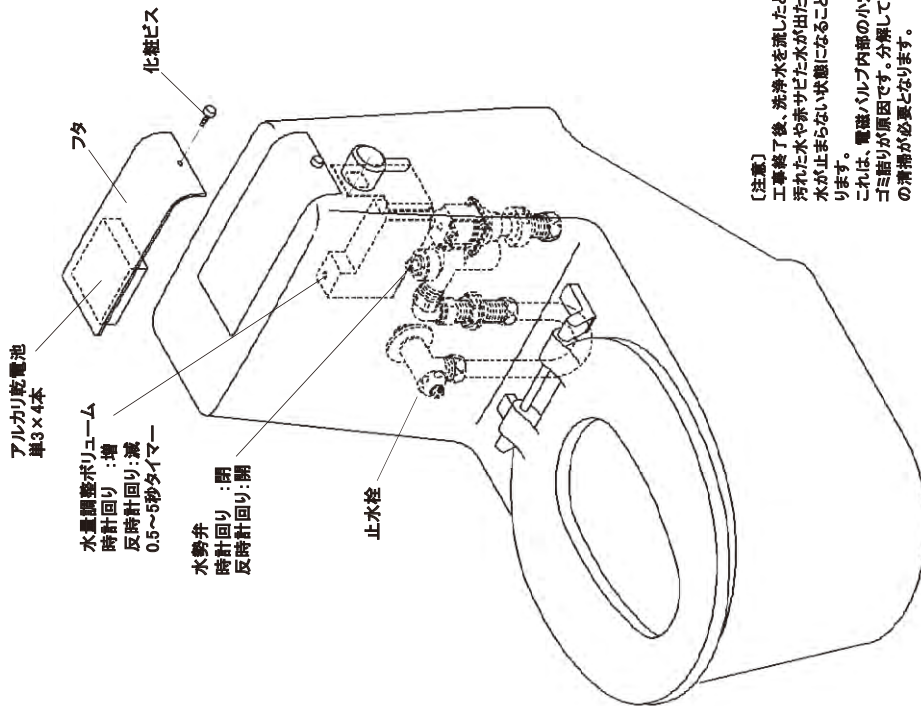
- 【注意】
- 給水管を接続する前に止水栓からの水をバケツ等で受け、充分に水道配管内の汚れやゴミを取り除いてから接続してください。
汚れた水や赤サビた水が出た場合、水が止まらない状態になることがあります。
これは、電磁バルブ内部の小穴のゴミ詰りが原因です。分解して小穴の清掃が必要です。

- 【注意】
- ・フレキ管はできる限り長さの短いブレードフレキ管を使用してください。
ウォーターハンマーの原因となります。
 - ・水圧が0.5MPa以上の場所等ではウォーターハンマーが発生しやすいため、オプション部品の減圧弁(AP-570)を止水栓に取り付けてください。

5 水量・水勢の調節及び点検

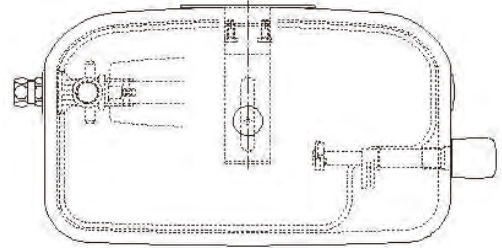
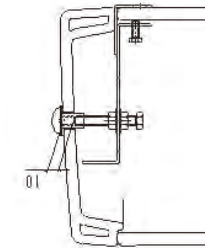
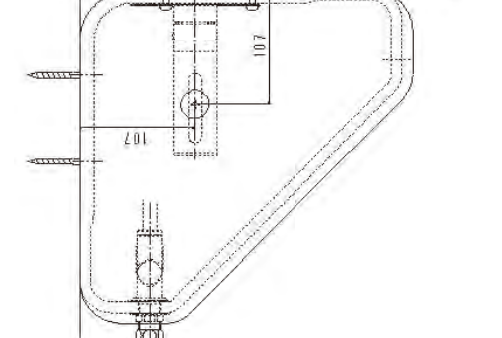
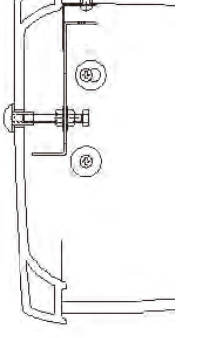
化粧ビスを外してフタを開け、マイナスイオン化浄水の水勢の調節をしてください。
レバーハンドルを約90度回転すると、電磁バルブのボタンを押して洗浄水が流れます。

- ウォーターハンマーが発生する場合は、いずれかの処置を行ってください。
- ①フラッパーの開閉状態
 - ②便器への洗浄水の流れ状態
 - ③各部の漏水の有無



- 【注意】
- 工事終了後、洗浄水を流したとき、汚れた水や赤サビた水が出た場合、水が止まらない状態になることがあります。
 - これは、電磁バルブ内部の小穴のゴミ詰りが原因です。分解して小穴の清掃が必要となります。

施工説明書 タンクフタ固定金具 FZ400・FZ500・JZ・JT用

FZ400・FZ500	JZ・JT
 	 
1. フタ固定は、ロータンクの施工後に行ってください。 2. 固定ブラケットをロータンク背面中央に置き、六角ボルト(M6)を締め付けて取り付けてください。 - 固定ブラケットが浮き上がらないように押えながら六角ボルトを締めてください。浮き上がるとフタも浮き上がります。 - 六角ボルトは無理に締め過ぎないでください。固定ブラケットが手で動かない程度 3. 固定六角ボルト(M8)がフタの穴中心にくるように、ナットで調節してください。 - 固定六角ボルト(M8)の上端がフタ上面より約10mm下で固定してください。 4. 固定ネジを(+ドライバー)で締め付けてフタを固定してください。	1. フタ固定は、ロータンクの施工後に行ってください。 2. ロータンク壁取付ネジの片方を外し、固定ブラケットをはさんで再度締め付けてください。 - 固定ブラケットは、左右どちらでも取付可能 3. 固定六角ボルト(M8)がフタの穴中心にくるように、ナットで調節してください。 - 固定六角ボルト(M8)の上端がフタ上面より約10mm下で固定してください。 4. 固定ネジを(+ドライバー)で締め付けてフタを固定してください。

壁掛式手洗器 HW-3・5

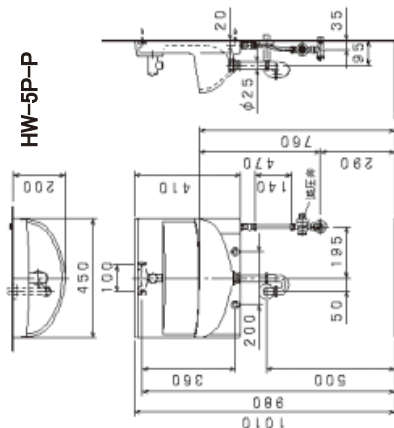
施工説明書

施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

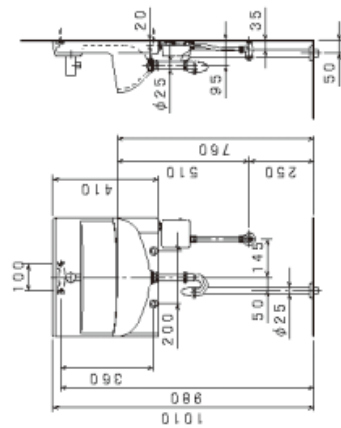
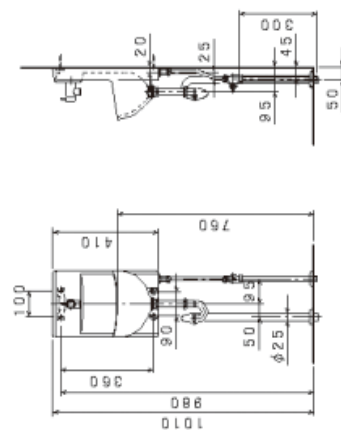
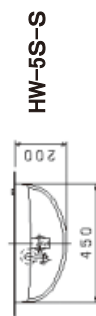
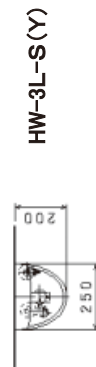
注意事項

■ 寸法図

1. 浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、センサー式自動水栓は設置しないでください。
- 火災や感電の原因となり、また電池ハルブが故障したり乾電池が液漏れする恐れがあります。
- 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
- 簡易水洗又は非水洗の場合、排水配管を便槽に接続しないでください。
- 便槽が一杯になり溢み取りが増えます。
- 陶器は割れ物です。施工前に運送破損の確認及び施工後に破損がないかを点検してください。
- 凍結や結露の恐れがあるときは、必要に応じて対策を行ってください。
- 水運配管は、しっかり固定してください。
- 水撃作用(ウォーターハンマー)の原因となります。施工後、漏水がないことを点検してください。

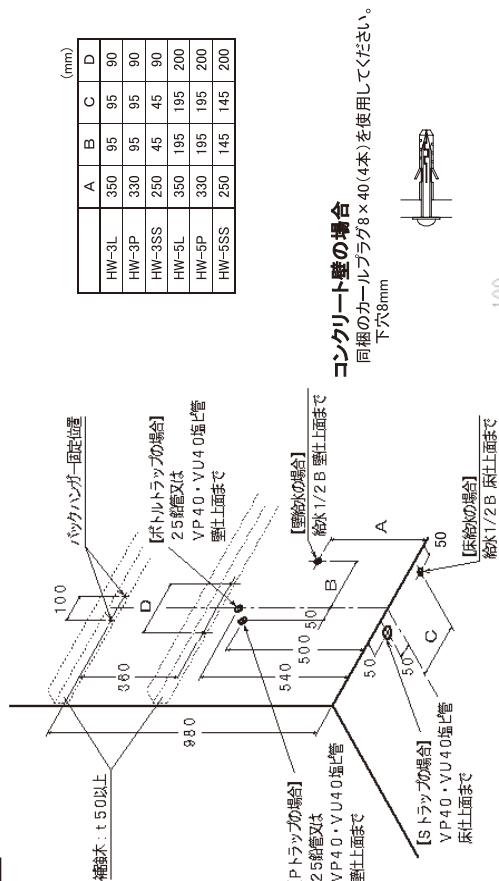


給水圧力 0.03～0.75MPa



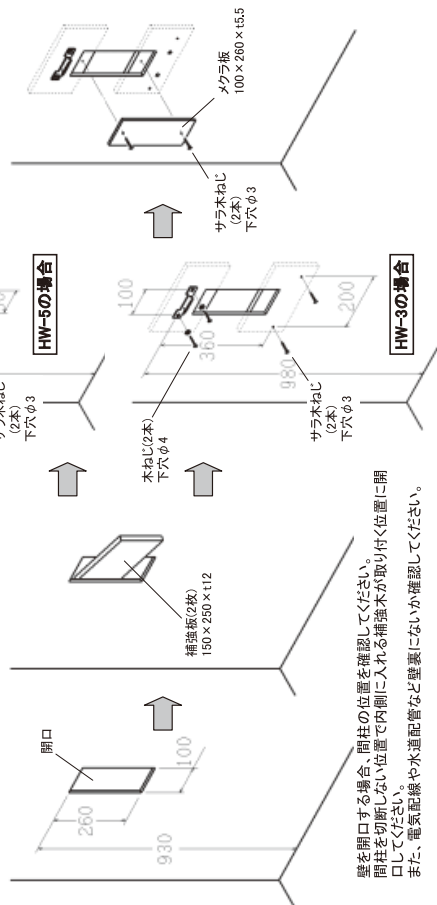
施工の手順

1 給排水管及び取付位置決め



改造の場合

石膏ボードなど下地壁に木ねじ固定できないときや壁に補強が必要などときは次の手順で行ってください。
(補強板、メクラ板、サラ木ねじ：同梱)

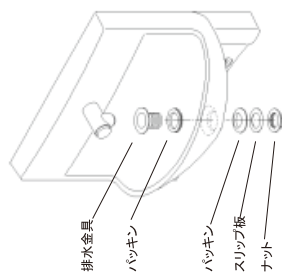


2 給水管内の掃除

手洗器を取り付ける前に水道配管内のゴミや砂等を完全に洗い流してください。
手洗器裏配管の防露・凍結対策は必要に応じて現場で行ってください。

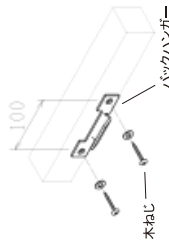
3 排水金具の取り付け

手洗器に排水金具を取り付けてください。



4 手洗器の取り付け

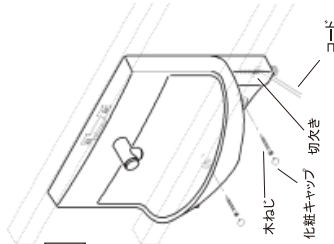
木ねじの下穴φ4を開け、バックハンガーを所定の位置に水平に木ねじで取り付けてください。



コンクリート壁の場合、カーブルプラグ8×40(VCP840)を別途ご用意ください。下穴φ8

手洗器が水平になるようにバックハンガーに引っ掛けてください。

ここからは「止水栓の取り付け」を原配管し配管の接続を確認した後に行ってください。
下部の2ヶ所取付穴の位置をけがき、手洗器を一度外して、けがき位置に下穴φ4を開けてください。



再び、手洗器を水平になるようにバックハンガーに引っ掛け、木ねじで固定し、化粧キャップを取り付けてください。

コンクリート壁の場合、カーブルプラグ8×40(VCP840)を別途ご用意ください。下穴φ8

【センサー式の場合】

背面の配線コードを手洗器下部右の切欠きから出してください。

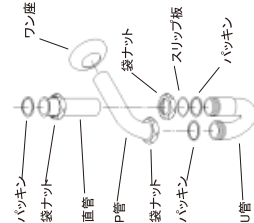
5 排水管の取り付け

直管を必要な長さにカットし、排水トラップを仮配管してから袋ナットを締め付けてください。

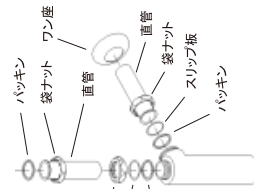
【壁排水の場合】

25鉛管との接続はハンダ付けしてください。
排水配管が塩ビ管の場合は市販の排水アダプターで接続してください。

【Pトラップの場合】

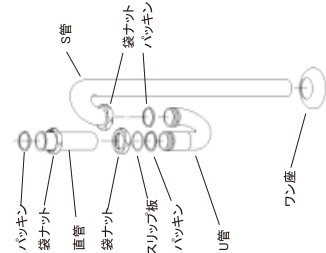


【ボルトトラップの場合】



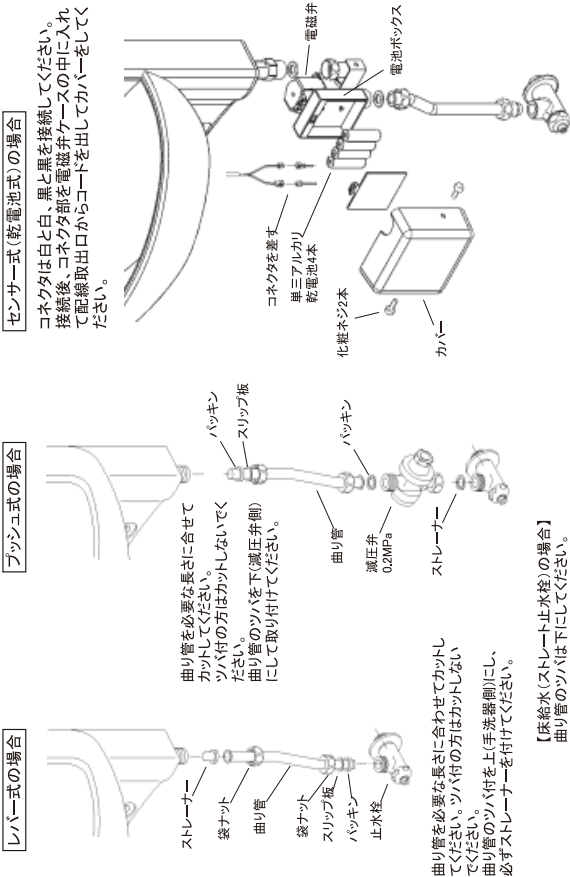
【床排水(Sトラップ)の場合】

排水配管が塩ビ管の場合は市販の排水アダプターで接続してください。



6 止水栓の取り付け

止水栓のねじ部にシールテープ等のシール材を巻いて給水管にねじ込んでください。

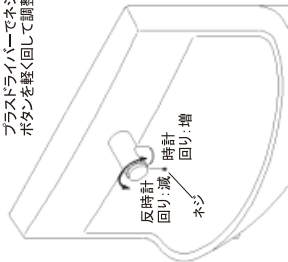


7 調整と点検

取り付け完了後、止水栓をゆっくり開き止水栓を操作して水を出してください。
水量が多いときは、止水栓を締めてください。
止水栓、排水トラップなど各部漏水の有無やゴミ詰りを点検してください。
ゴミ詰りの場合は、ストレーナーを点検してください。

プッシュ式の吐水時間調整

プラスチックライバーでネジを少し押し、ボタンを軽く回して調整してください。



(注意) 水が止まらないとき
汚れた水が流れた場合、内部のゴミ詰りを起こし水が止まらないことがあります。そのときは、分解清掃してください。
特にストレーナー、ピンと小穴をきれいにしてください。

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1 TEL 092-521-1800

改装部品ジャバラセット

施工説明書

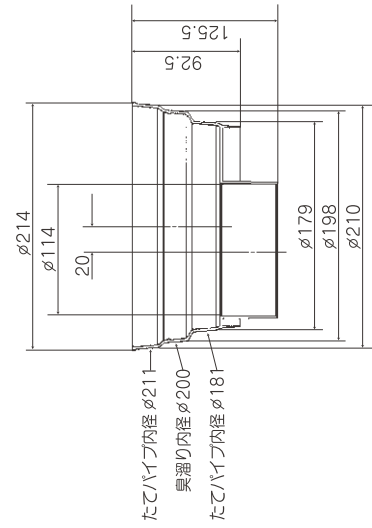
BCV-24

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

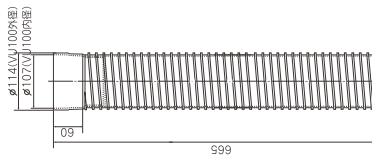
この説明書をよく読んで正しく施工してください。

部品寸法

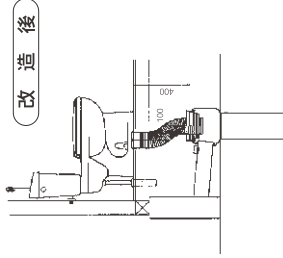
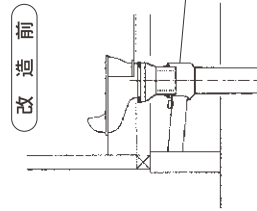
改装用ソケットB



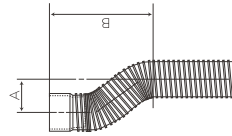
改装用ジャバラ管



施工例



既設の臭突は、配管内の空気抜き役目しますので、廃してください。

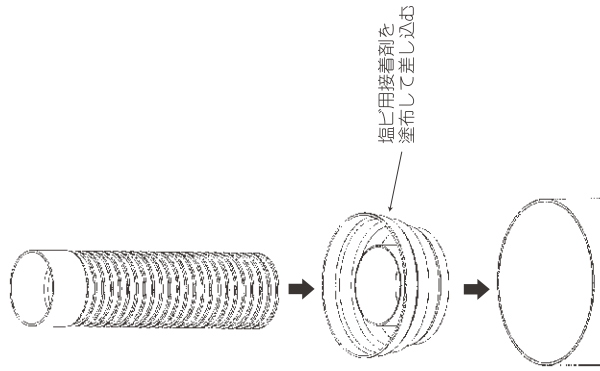


ジャバラ管曲がり寸法表

A寸法	B寸法
50	250
100	300
150	340
200	370
250	410
300	450

施工の手順

- 1 接着せずに仮組みしてください。そのとき、便器と同梱の床フランジも使ってください。
ジャバラ管の長さ、改装用ソケットBの取付箇所(臭溜りまたは、たてパイプ)を決めてください。
※改装用ソケットBは臭い溜りの中へ入れて取り付けられます。
- 2 ジャバラ管に必要な長さに切断してください。
[注意] ジャバラ管の抜け防止のため、改装用ソケットBに100mm程度差し込むようにしてください。
- 3 改装用ソケットBを臭溜りまたは、たてパイプに接着取付してください。



【便器のフラッパーの開閉が悪い場合】
臭突を外して配管内の空気が密閉されると、フラッパーの開閉が悪くなったり、フラッパーを開けた瞬間に下から空気が上がることがあります。
そのときは、臭突を設けてください。臭溜りを取り付けると臭突が接続できます。



Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
TEL 092(521)1800

改装部品ジャバラセット

施工説明書

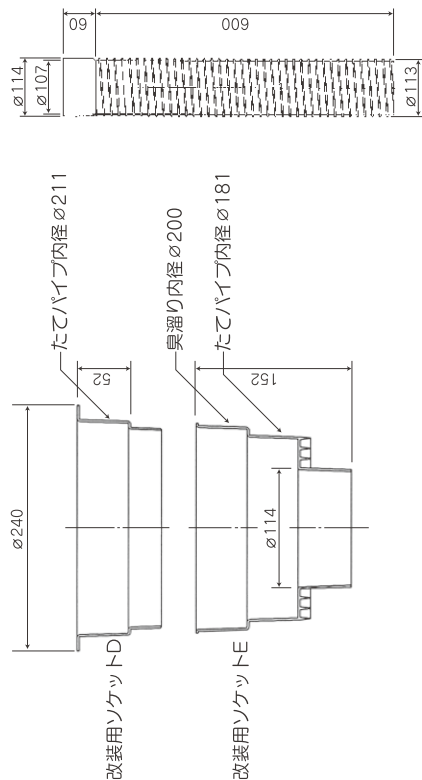
BCV-25

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

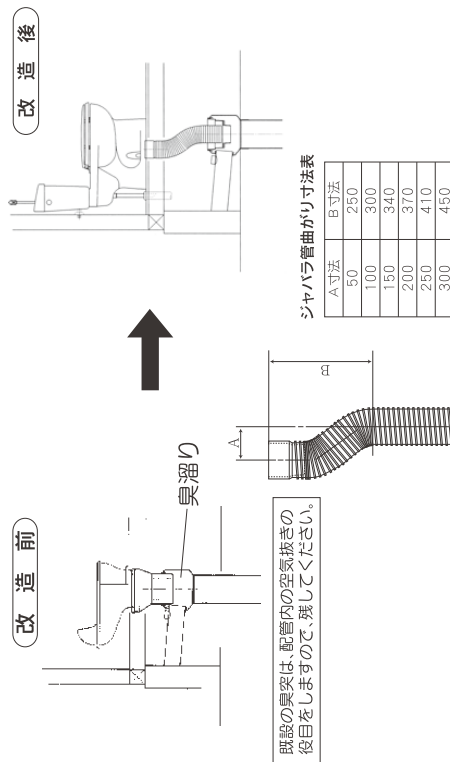
この説明書をよく読んで正しく施工してください。

部品寸法

改装用ジャバラ管

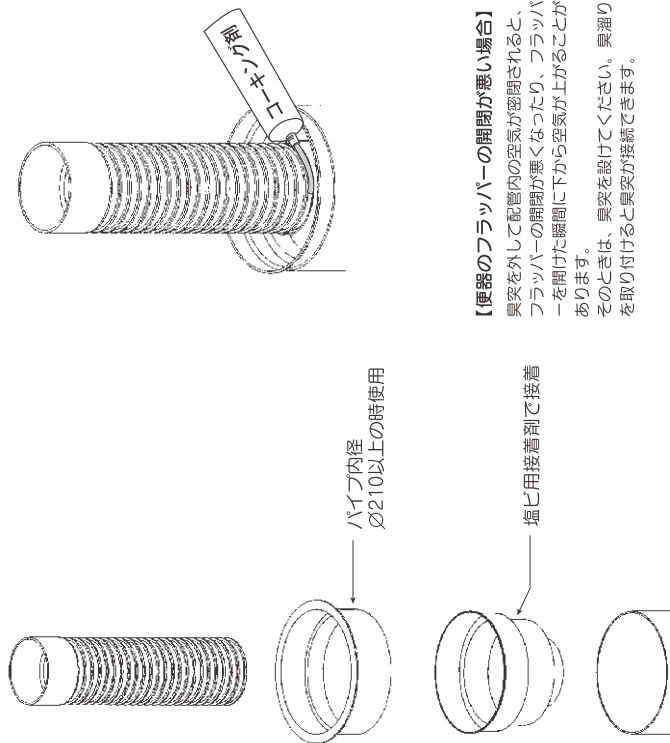


施工例



施工の手順

- 1 接着せずに仮組みしてください。そのとき、便器に同梱の床フランジも使ってください。
【注意】 ジャバラ管の長さ、改装用ソケットの取付箇所(臭溜りまたは、たてパイプ)を決めてください。
- 2 ジャバラ管を必要な長さに切断してください。
【注意】 ジャバラ管の抜け防止のため、改装用ソケットに100mm 程度差し込むようにしてください。
- 3 改装用ソケットを臭溜りまたは、たてパイプに接着取付してください。
- 4 改装用ソケットにジャバラ管を差し込んでください。
【注意】 ジャバラ管と改装用ソケットの間を必ずコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。
行わないと、臭気の原因となります。
- 5 便器に同梱の床フランジを取り付けるとき、床フランジとソケット(ジャバラ管)の間をコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。臭気の原因となります。



【便器のフラッパーの開閉が悪い場合】
臭突を外して配管内の空気が密閉されると、フラッパーの開閉が悪くなったり、フラッパーを開けた瞬間に下から空気が上がることがあります。
そのときは、臭突を設けてください。臭溜りを取り付けると臭突が接続できます。



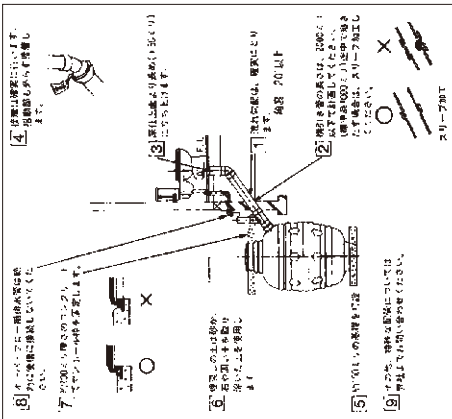
Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社 営業部 福岡市中央区白金1-13-1
〒810-0012 TEL 092(521)1800

便槽施工上の注意事項

施工上の注意

1. 埋設場所の確認
(1) 地下湧水がないか
(2) 重や重物が定着しないか
(3) 車や重物が定着しないか
(4) 基礎下にないか
2. 配管勾配より埋設深さの確認
(1) 配管勾配より埋設深さを確認してください。
(2) 配管勾配より埋設深さを確認してください。
(3) 配管勾配より埋設深さを確認してください。
(4) 配管勾配より埋設深さを確認してください。

施工のポイント



配管組立の注意

- 組立作業の前に、槽の水平面および槽中に異物が落ちていることを確認してください。
- 配管を接続し、槽本体に取り付け、長さおよび取り付け角度を確認合印してください。
- 接続部分に隙間が生じていると、接続効果が得られず、漏水の原因になります。必ず布できれいに拭き取ってください。
- 接続部分は「ヘラ」等で必ず両面に均等に引きつけてください。樹脂ビニル用接着剤は速乾性ですので、作業を迅速に行ってください。
- 導入口を使用しない場合は、キャップを取りはずし、接続部分を布拭きキヤップを装着してください。
- 基礎の穴(導入口パイプを通した箇所)をモルタルで補修し導入口パイプを確実に固定してください。
- 埋め戻しの際は接続箇所が確実に固まってから行ってください。
- 槽本体の上に100mmの厚さでコンクリートを敷き、マンホールの枠を確実に止めてください。
- 槽の中に半分以上の水を入れて、埋め戻し土砂が落ちつき固まるまで槽本体の浮き上りを防止してください。

使用上の注意

- タバコの火を投げ込まないでください。
- 有機溶剤系の洗剤、殺虫剤、芳香剤はパイプを浸しますので使用しないでください。
- 槽内汲み取り後は曲リパイプ内に1リットル程度の水を入れてください。(無臭トイレ)
- ご使用前に取扱説明書をご一読ください。

配管上の注意

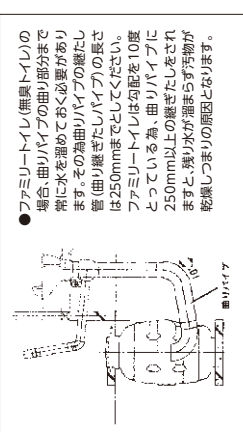
- 施工にあたっては、「施工説明書」に従ってください。
- 施工説明書の内容と異なる施工をされますと建物の建築確認がおりない場合がありますので十分ご注意ください。
- 配管材料は、JIS K 6741に準じた硬質塩ビ管としてください。
 - 内径 150mm (外径 160mm) の 2mm 以上 (プロローベ手摺 1.6mm 以上) 排気管 (臭気管) 1.5mm 以上 (プロローベ手摺 1.2mm 以上) のパイプを使用してください。
 - 導入口が長くなる場合、導入口の長さは 1500mm 以内で接続してください。
 - 接続部分のエルボの使用は避けてください。
 - 下配の場合は、必ず臭突を設置してください。
 - ① 汚水たて管の長さが 1.5m 以上になる場合 (2 階配管等)
 - ② 小便器を取り付ける場合
 - 排気管の先端には、排気トップ (排気風、ベンチレーター) を取り付け、その下端は窓や換気口の開口部の上部から 600mm 以上の高さに取り付けてください。
 - 汚水、排気管の接続部は確実に接続し、十分な耐久性及び気密性を保つよう施工してください。工事完了後は約 1000mm の水を流し、配管からの漏水がないか通水検査を確認してください。
 - 無臭トイレの曲リパイプの延長は、2500mm 以上にならないように、計画してください。(フアミリートイレ)
- ※ その他、特殊な配管については、弊社までお問い合わせください。

※寒冷地対策

- 特に寒気のきびしい所で、導入口が屋外配管になる場合は、立管上部の曲り部分が凍結することがあります。保温断熱材等での保温対策も実施してください。
- 便槽は、凍結深度以下になるよう深埋してください。但し、深埋に際しては、「便槽設置上の注意」を参照してください。
- 積雪地域では、大雪量の使用をおすすめします。

- 導入口、導入口短管の管径は、呼び径 100mm 以上にしてください。
- 導入口の管長 (実長) は、2m 以内、勾配 20 以上にしてください。
- エルボの個数は、極力少なくしてください。
- 施工する場合、まず各部分の確認をおこない仮組立寸法を十分チェックしてから接着作業にかけてください。
- 接着剤の塗布部分が汚れてしまうと接着効果が得られず漏水の原因になりますので必ず布で拭き取ってください。
- 接着剤はヘラ等で必ず導入口、差し込み口両面に均一に引き伸ばし作業を迅速に行ってください。

■タンク埋設上の注意



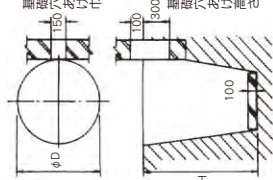
簡易水洗トイレ専用便槽NV-R 工事説明書

1 位置決めと穴掘り

便槽と便器との配置を決め第1図のように、円形の穴をほります。穴の底に厚み100mm程度コンクリートを水平に打ってください。

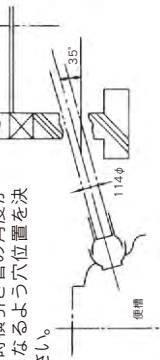
●埋め込み寸法

型式	L (mm)	D (mm)	H (mm)
500	1300	1200	1200
600	1450	1350	1350
800	1570	1450	1450
1000	1600	1600	1600



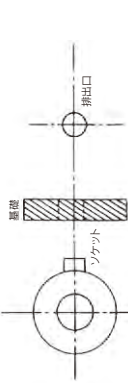
2 横引き管貫通のための基礎穴あけ

横引き管の通路に基礎がある場合、基礎に穴をあけます。その時横引き管の角度が35度になるよう穴位置を決めて下さい。



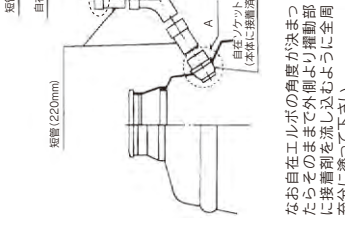
3 便槽の据えつけ

便槽本体を穴の中へおろし、ソケットの方向が便器の排出口の中心に一致するように槽を水平に保ちながら、位置を決めます。



4 ワイ、横引き管、短管の接続

ワイ (220mm S付き短管を現場で接着して下さい) 横引き管 (650mm) 自在エルボ、短管 (300mm) を自在ソケット (本体に接着済) に仮接続し、便器との位置を確認して必要な所に印をつけ切断します。短管の長さも同様にして切断します。
短管の寸法は、簡易水洗便器洋式、和式により異なりますので注意して下さい。仮接続した時よりも、接着剤を塗って接続した時の方が若干深く入りますから寸法に注意して下さい。



5 埋めもどし

便槽及び横引き管部は、直接石等硬い異物が当たらないように注意して、軟い土で周囲を固め、掘り土をもどしてゆきます。便槽と横引き管の下側にも十分土がはいるよう注意して下さい。また横引き管には力がかからないようにして下さい。(埋もどしは出来れば砂を使用して下さい。)

6 仕上げ

全部の部品を接続し終ると、便槽の上にマンホール蓋をはめ周囲を厚さ100mm程度にコンクリートで固めて仕上げます。地盤の軟弱な所や地下水の高いところに設置される場合は、施工が終ったら、槽の1/2程度まで水を入れて槽の浮上りを防止して下さい。短管には、簡易水洗便器を取付けるまで、セメント・モルタル・レンガなどが入らないようにカバーをかかして下さい。

7 注意事項

- 工事は専門工事店におまかせ下さい。
 - 工事説明書通り工事をして下さい。
 - 工事前に槽に割れないか、部品の不足がないか確認して下さい。
 - 接続部分はよれをよくふきとり接着剤を両方に十分付けて下さい。
 - 便器取り付け前に横引き管内の異物を全部取り除いて下さい。
- 注) 施工する前に水張り検査を必ずして下さい。
便室内に注意書を貼って下さい。

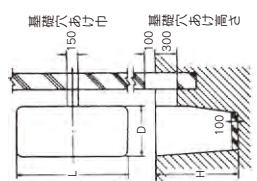
簡易水洗トイレ専用便槽VE-R 工事説明書

1 位置決めと穴掘り

便槽と便器との配置を決め第1図のように、長方形の穴をほります。穴の底に厚み100mm程度コンクリートを水平に打ってください。

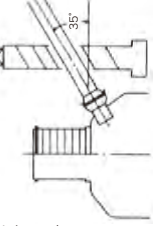
●埋め込み寸法

型式	L (mm)	D (mm)	H (mm)
600	1,550	900	1,180
800	1,850	900	1,180
1000	2,300	900	1,180



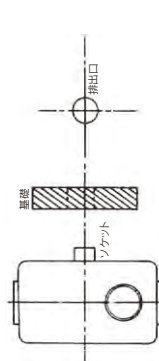
2 横引き管貫通のための基礎穴あけ

横引き管の通路に基礎がある場合、基礎に穴をあけます。その時横引き管の角度が35度になるよう穴位置を決めて下さい。



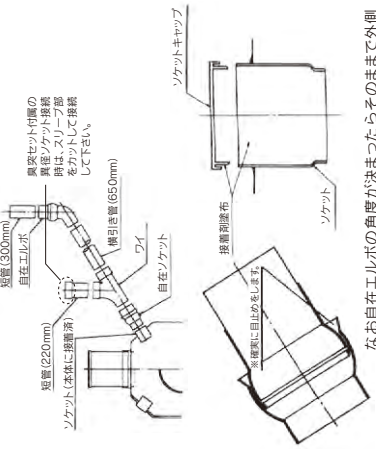
3 便槽の据えつけ

便槽本体を穴の中へおろし、ソケットの方向が便器の排出口の中心に一致するように槽を水平に保ちながら、位置を決めます。



4 ワイ、横引き管、短管の接続

自在ソケット、ワイ (220mm S付き短管を臭突管接続方向へ現場で接着して下さい)、横引き管 (650mm)、自在エルボ、短管 (300mm) をソケット (本体に接着済) に仮接続し、便器との位置を確認して必要な所に印をつけ切断します。短管の長さも同様にして切断します。
短管の寸法は、簡易水洗便器洋式、和式により異なりますので注意して下さい。仮接続した時よりも、接着剤を塗って接続した時の方が若干深く入りますから寸法に注意して下さい。



なお自在エルボの角度が決まったらそのまま外側より揺動部に接着剤を流し込むように至周充分に塗って下さい。
ソケットを使用しない箇所は、ソケットキャップを取りはずし、接着剤を塗布しソケットに接続して下さい。

5 埋めもどし

便槽及び横引き管部は、直接石等硬い異物が当たらないように注意して、軟い土で周囲を固め、掘り土をもどしてゆきます。便槽と横引き管の下側にも十分土がはいるよう注意して下さい。また横引き管には力がかからないようにして下さい。(埋もどしは出来れば砂を使用して下さい。)

6 仕上げ

全部の部品を接続し終ると、便槽の上にマンホール蓋をはめ周囲を厚さ100mm程度にコンクリートで固めて仕上げます。地盤の軟弱な所や地下水の高いところに設置される場合は、施工が終ったら、槽の1/2程度まで水を入れて槽の浮上りを防止して下さい。短管には、簡易水洗便器を取付けるまで、セメント・モルタル・レンガなどが入らないようにカバーをかかして下さい。

7 注意事項

- 工事は専門工事店におまかせ下さい。
 - 工事説明書通り工事をして下さい。
 - 工事前に槽に割れないか部品の不足がないか確認して下さい。
 - 接続部分はよれをよくふきとり接着剤を、両方に十分付けて下さい。
 - 便器取り付け前に横引き管内の異物を全部取り除いて下さい。
- 注) 施工する前に水張り検査を必ずして下さい。
便室内に注意書を貼って下さい。

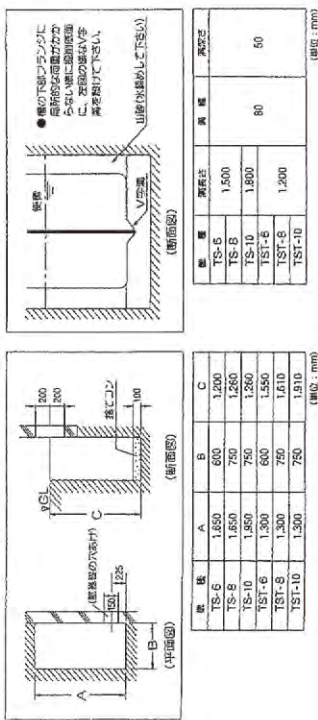
施工手順（標準施工）

1 外観検査

工事に入る前に、槽の外観に搬送中の衝撃等による亀裂等がないか充分に確認してください。

2 掘削・基礎打ち

- ・便槽設置場所を選定したら、下表に示す法でできる限り基礎に近づけて掘削を行ってください。
- ・掘削穴の底に約100mm程度の松コンクリート基礎を打設してください。



ポイント

- ・掘削土は、埋戻しを考慮して石膏の混った部分と良質の土の部分を区別しておいてください。
- ・湧き水のある場合は、ポンプ等を用いて排水しながら作業してください。

必ず確認してください

- ・掘削土の傾斜角度が90°以上になるように掘削深さを決定してください。
- ・掘削面に土が崩れ落ちている場合は取り除いてください。
- ・松コンクリートのレベル、水平、深さを確認してください。

3 便槽の据付

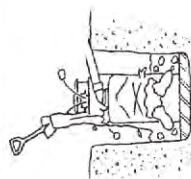
- ・導入管位置を確認して、便槽をゆっくりと据え付けてください。据え付け時に、槽本体に衝撃等が加わると破損等します。
- ・便槽据え付け後、水準器で便槽本体の水平を確認してください。

必ず確認してください

- ・コンクリート上に石や小石、木材、ゴミ等がないことを確認してから据え付けてください。

4 水張りおよび埋戻し

槽本体を安定させるため、槽内に水張りを行ってください。また同時に、槽外への湧き水検査を行ってください。埋戻しは、土砂がマンホール、シケット部から便槽の中に入らないようにし、埋戻し土は石ころなどが混入しない砂質土を使用して行ってください。埋戻し中は、水締めを行ってください。



ポイント

- ・特に、槽体下部の側面は隙間ができないように充分水締めを行ってください。
- ・埋戻し時に重機のパケツなど槽に当てたり、高いところから埋戻しの土を落とさないでください。

5 配管の仮組み

配管の仮組み作業の前に、便槽の据え付けの水平および槽内に異物が落ちていないかを確認してください。
配管部品を仮組みし、長さおよび、角度を確認（含マーク）してください。
※自在エルゴには、「便器側」「便器側」の2種類があるので下図のように配置してください。



ポイント

各差し込み部分は接着剤を塗布した場合は、仮組み時より深く入りませうにご注意ください。

必ず確認してください

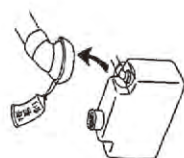
導入管の傾斜角度が30°以上あることを確認してください。

6 配管の接着

- ・接着剤を塗布する前に必ず布等で接着部分をきれいに拭き取ってください。
- ・接着剤の導入量（塗布量）は、モルタルで補修し、導入管を確実に固定してください。
- ・接着剤はパイプ側、継手側の接着部分の両面に均等に塗布してください。
- また、差し込みから差し込む場合は接着部分が戻らないように保持してください。

必ず確認してください

自在エルゴの可動部（側面）にも接着剤を塗り込んで固定およびコーキングを行ってください。



7 仕上げ作業

- ・接着剤が固まってから、残りの埋戻しと突き固めを行い、地盤が安定してから上版コンクリートを打ってください。
- ・基礎の導入管貫通部は、モルタルで補修し、導入管を確実に固定してください。
- ・便槽の上部に約100mmの厚みでコンクリートを打設してください。コンクリート上面は±100mmとし、雨水が便槽内に浸入しないように水勾配をとって仕上げてください。
- ・便槽には半分以上水を溜めた状態にし、周囲の地盤が安定するまで便槽の浮上を防止してください。

必ず確認してください

- ・工事完了後は約10 Lの水を溜し、配管からの漏水がないか漏水検査を確認してください。
- ・便器取付を別の日に行う場合は、便器との接続パイプの上部に、異物が落ち込まないように設備をかばせておいてください。異物が落ち込むと「配管つまり」等の原因となります。

8 竣工検査

- ・設置工事完了後は、下記の工事竣工チェックリストで検査確認を行ってください。

チェック項目		結果
1	パイプ接続部、自在エルゴ可動部は確実に接着されているか。	
2	導入管等が基礎等に当たり、配管に無理な力が加わっていないか。	
3	便槽内やパイプ内に異物が入っていないか。	
4	便槽とコンクリートの上部に、設備をかばぶ異物が入らないようにしているか。	
5	工事完了後の漏水検査で水漏れはないか。	
6	便槽内に半分以上水を溜めて浮上防止をおこなったか。	

9 引き渡し

- ・お客様に取扱説明書と正しい使用方法や注意事項を説明して引き継ぎを行ってください。
- ・お客様へ便槽の組み取り業者に連絡するようお願いください。



Daiwa Kasei

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白糸 1-13-1
TEL 092 (521) 1800

便槽TF型 施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語及び明記の説明

警告 守らないと、火災や重症を負うことがあります。
注意 守らないと、火災や重症を負うことがあります。怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。
「禁止」「してはいけません。」「遵守」「指示通りしてください。」「

注意

埋め戻し土には砂質土のものを使い、石ころや異物が混入しないようにしてください。	埋め戻し工事の後、槽周辺に重機等で侵入しないようにしてください。
石や異物により槽本体に破損を生ずる恐れがあります。	槽本体に破損を生ずる恐れがあります。
水の溜まるような場所への設置は避けてください。	
便槽に水が浸入して汲み取り量が増えます。	

警告・注意

工事中は必要な時以外はマンホールなどの蓋を必ず閉めてください。 マンホール・点検口などのひび割れ、破損などを発見したら、直ちに修理してください	据付工事に際して穴を掘った周辺には防護柵を作り関係者以外は立ち入らないようにしてください。
マンホール・点検口からの転落事故の原因となります。	転落事故の原因となります。

警告・注意

工事の際、素手で本体に触れないでください。	槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。
思わぬ怪我をすることがあります。	槽が陥没したり、槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。
槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には立ち入らないようにしてください。	据付作業後には、槽本体に直接乗らないように足場板等を使用してください。
槽本体の落下による傷害・事故の生ずる恐れがあります。	直接乗ると滑りやすい為転落事故の生ずる恐れがあります。

ポイント

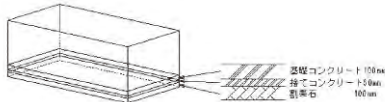
・据削土は埋め戻しを考慮して石等の混ざった部分と良質の土の部分を区別しておいてください。
・湧水のある場合はポンプ等で強制排水しながら作業してください。

必ず確認してください

・据削面に突った石や異物のある場合は取り除いてください。

3.基礎打ち

・据削終了後、底部に割栗石を敷き詰めて十分突き固め隙間に砂利を敷きランマ等で転圧してください。
・その上に捨てコンクリートを打ち、木ゴテ等で水平に仕上げてください。
・据削が深すぎた場合は捨てコンクリートの厚みで調整してください。
・捨てコンクリートの上に墨だしし、型枠取り付け、配筋を行い、基礎コンクリートを打設してください。
・打ち込み前に捨てコンクリート上の異物を取り除き散水してください。



必ず確認してください

・コンクリートのレベル、深さは施工計画に基づき正確に確認してください。
・コンクリートが完全に硬化するまで養生してください(夏季:2日程度、冬季4日程度)

4.便槽の据付

基礎コンクリート上を通り芯、槽の据付位置等を墨だします。
便槽の方向を確認して、ゆっくりと基礎コンクリート上に据え付けます。
吊り下げ据え付け時には落下事故や重機の旋回範囲に十分注意してください。

必ず確認してください

・基礎コンクリート上に小石等の異物がないことを確認してください。
・槽を吊り下ろしの際、本体を引きずったり、ぶつけたり、衝撃を与えないでください。

5.便槽の水平確認

便槽の水平を水準器等で十分に水平を確認してください。
傾きのある場合は再度、基礎コンクリートの水平を出し直してください。
砂等での調整は行わないでください。

6.水張り及び埋め戻し

槽本体の安定と、漏水検査の為、槽内に水張りを行ってください。
埋め戻しは本体のマンホールやソケット部から土砂が槽内に入らないように養生して行ってください。
埋め戻し土は石や異物の混入のない砂質土を使用して散水・水締めしながら行ってください。

施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

・設置場所は地盤強度:長期許容耐力5.0t以上保持していることを確認してください。
・設置場所はトイレとできるだけ最短距離で汲み取りの容易な場所を選定してください。
・屋内や床下等は避けてください。
・設置場所は槽本体の搬入、残土搬出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。

●特殊埋設工事の場合

次のような状況で設置する場合は特殊埋設工事となります。

・土かぶり1000mm以上の深埋めの場合
土かぶりは1000mmまでです。これより深く埋設する場合は土圧や地下水圧がかからないように防水・ビツ工を行ってください。
その他にも
・車庫内に設置する場合
・大きな荷重のかかる場所に設置する場合(崖下、交通量の多い道路の近く、建屋基礎近く等)
・湧水及び地下水位の高い場合
・海岸より200メートル以内にたたり潮の干満の影響のある場合
・積雪地、寒冷地に設置する場合 等は弊社までお問い合わせください。

●製品、部品の確認

・施工前に必ず梱包内容を確認してください。
槽本体 (1基)、(槽本体同梱部品:施工説明書)

●別途にご用意していただくもの

・セメント、砂、砂利、割栗石、D-13鉄筋(基礎コンクリート、上部コンクリート打設、埋戻工用)
・塩ビ配管 VU100、同継手類・塩ビ接着剤

●必要な工具

・スコップ、ツルハシ等の掘削工具もしくは重機
・スケール、水準器、トランシットレベル等の測定工具

施工手順

1.外観検査

工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がないか十分に確認してください。
工場出荷時には製品検査を十分に行っていますが搬送中の衝撃等でも亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。

2.据削

槽本体の設置場所を選定したら、下表に示す寸法で掘削を行ってください。
下表の寸法は標準埋設深さでの寸法となります。配管の起点の管底によって可変いたしますので参照の上、決定してください。



	TF-800	TF-1000	TF-1500	TF-2000
L	1800	2200	2900	3300
W	1200	1200	1400	1400
H	1340	1340	1490	1490

必ず確認してください

・埋め戻し土に異物等の混入のないよう確認してください。

7.配管接続

付属の配管部品で接続図面に従い、便器と便槽の配管を接続してください。
配管の勾配、横引き管の長さは図面を参考に検討してください。

自在ソケット、エルボの摺動部は配管接続後に必ず、接着剤等を流し込み固定してください。

必ず確認してください

・自在ソケット、エルボ等の摺動部は接着剤等で固定してください

8.上部コンクリート打ち

残りの埋め戻しと突きかためを行い、地盤が十分に安定してから上部のコンクリートを打設してください。コンクリート上面はGL+20ミリとしてマンホールからの土砂の浸入がないようにしてください。

9.引渡し

・検査完了後、設置者に正しい使用方法や注意事項を説明してください。

便槽TRG型 施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語及び明記の概略

警告 守らないと、火災や重症を負うことがあります。
注意 守らないと、火災や重症を負うことがあります。怪我をしり家財に損害を与えることがあります。
「禁止」「してはいけません。」「
「遵守」「指示通りしてください。」「

注意	
埋め戻し土には砂土質の物を使い、石ころや異物が混入しないようにしてください。	埋め戻し工事の後、槽周辺に重機等で侵入しないようにしてください。
石や異物により槽本体に破損を生ずる恐れがあります。	槽本体に破損を生ずる恐れがあります。
水の溜まるような場所への設置は避けてください。	
便槽に水が浸入して汲み取り量が増えます。	

警告・注意	
工事中は必要な時以外はマンホールなどの蓋を必ず閉めてください。 マンホール・点検口などのひび割れ、破損などを発見したら、直ちに取り替えてください	掘付工事に際して穴を掘った周辺には防護柵を作り関係者以外は立ち入らないようにしてください。
マンホール・点検口からの転落事故の原因となります。	転落事故の原因となります。

警告・注意	
工事の際、素手で本体に触れないでください。	槽本体の掘付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。
思わぬ怪我をすることがあります。	槽が陥没したり、槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。
槽の吊り下げ、掘付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には立ち入らないようにしてください。	掘付作業後には、槽本体に直接乗らないように足場板等を使用してください。
槽本体の落下による傷害・事故の生ずる恐れがあります。	直接乗ると滑りやすい為転落事故の生ずる恐れがあります。

ポイント

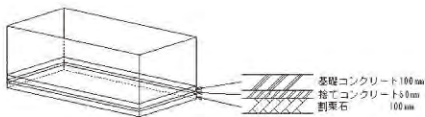
- 掘削土は埋め戻しを考慮して石等の混ざった部分と良質の土の部分を区別しておいてください。
- 湧水のある場合はポンプ等で強制排水しながら作業してください。

必ず確認してください

- 掘削面に突った石や異物のある場合は取り除いてください。

3.基礎打ち

- 掘削終了後、底部に割栗石を敷き詰めて十分突き固め隙間に砂利を敷きランマ等で転圧してください。
- その上に捨てコンクリートを打ち、木ゴテ等で水平に仕上げてください。
- 掘削が深すぎた場合は捨てコンクリートの厚みで調整してください。
- 捨てコンクリートの上に墨だしし、型枠取り付け、配筋を行い、基礎コンクリートを打設してください。
- 打ち込み前に捨てコンクリート上の異物を取り除き散水してください。

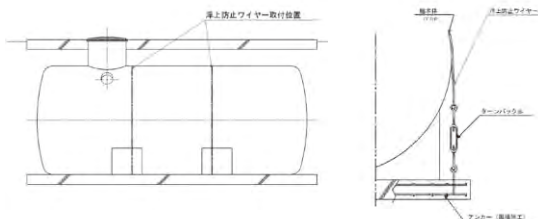


必ず確認してください

- コンクリートのレベル、深さは施工計画に基づき正確に確認してください。
- コンクリートが完全に硬化するまで養生してください(夏季:2日程度、冬季4日程度)

※掘削時に地下湧水が見られる場合は便槽の浮上防止工事を行ってください

浮上防止工事施工例



施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- 設置場所は地盤強度:長期許容耐力5.0t以上保持していることを確認してください。
- 設置場所はトイレとできるだけ最短距離で汲み取りの容易な場所を選定してください。
- 屋内や床下等は避けてください。
- 設置場所は槽本体の搬入、残土搬出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。

●特殊埋設工事の場合

次のような場所に設置する場合は特殊埋設工事となります。

- 嵩上げソケット300mm以上使用する深埋めの場合
- 車庫内に設置する場合
- 大きな荷重のかかる場所に設置する場合(崖下、交通量の多い道路の近く、建屋基礎近く等)
- 湧水及び地下水位の高い場合
- 海岸より200メートル以内にあたり潮の干満の影響のある場合
- 積雪地、寒冷地に設置する場合

●製品、部品の確認

- 施工前に必ず梱包内容を確認してください。
- 槽本体 (1基)、(槽本体同梱部品:施工説明書)

●別途にご用意していただくもの

- セメント、砂、砂利、割栗石、D-13鉄筋 基礎コンクリート、上部コンクリート打設、埋戻し工事
- 塩ビ配管 VU100、同継手類
- 塩ビ接着剤

●必要な工具

- スコップ、ツルハン等の掘削工具もしくは重機
- スケール、水準器、トランシットレベル等の測定工具
- 左官ゴテ、水掻き用ホースリール

施工手順

1.外観検査

工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がないか十分に確認してください。

工場出荷時には製品検査を十分に行っていますが搬送中の衝撃等でも亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。

2.掘削

槽本体の設置場所を選定したら、下表に示す寸法で掘削を行ってください。

下表の寸法は標準埋設深さでの寸法となります。配管の起点の管底によって可変いたしますので参照の上、決定してください。



	TRG-2500		TRG-3000	
	本体	掘削寸法	本体	掘削寸法
L	2700	3300	3500	4100
W	1100	1700	1100	1700
H	1350	1600	1350	1600

4.便槽の掘付

基礎コンクリート上に通り芯、槽の掘付位置等を墨だしします。

便槽の方向を確認して、ゆっくりと基礎コンクリート上に掘え付けます。

吊り下げ掘え付け時には落下事故や重機の旋回範囲に十分注意してください。

必ず確認してください

- 基礎コンクリート上に小石等の異物がないことを確認してください。
- 槽を吊り下ろしの際、本体を引きずったり、ぶついたり、衝撃を与えたりしないでください。

5.便槽の水平確認

便槽の水平を水準器等で十分に水平を確認してください。

傾きのある場合は再度、基礎コンクリートの水平を出し直するようにしてください。

砂等での調整は行わないでください。

6.水張り及び埋め戻し

槽本体の安定と、漏水検査の為、槽内に水張りを行ってください。

埋め戻しは本体のマンホールやソケット部から土砂が槽内に入らないように養生して行ってください。

埋め戻し土は石や異物の混入のない砂質土を使用し散水・水締めしながら行ってください。

必ず確認してください

- 埋め戻し土に異物等の混入のないよう確認してください。

7.配管接続

配管部品で接続図面に従い、便器と便槽の配管を接続してください。

配管の勾配、横引き管の長さは図面を参考に検討してください。

自在ソケット、エルボの摺動部は配管接続後に必ず、接着剤等を流し込み固定してください。

必ず確認してください

- 自在ソケット、エルボ等の摺動部は接着剤等で固定してください。

8.上部コンクリート打ち

残りの埋め戻しと突きかためを行い、地盤が十分に安定してから上部のコンクリートを打設してください。

コンクリート上面はGL+20ミリとしてマンホールからの土砂の浸入がないようにしてください。

9.引渡し

- 検査完了後、設置者に正しい使用方法や注意事項を説明してください。

FRP 浴槽 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。
ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- ⚠ **警告** ……守らないと、重傷を負うことがあります。
- ⊘ ……「してはいけません」(一般的な禁止記号)
- ❗ ……「指示通りにしなさい」(一般的な行動指示記号)

⚠ 警告

幼児の浴室内事故に注意してください。

事前防止のため、風呂フタの上に幼児が乗らないように注意してください。
また、幼児の手のとどかないところに足をかけ、入浴時以外は幼児がひとりで浴室に入らないように施錠する旨を伝えてください。



風呂フタの上に乗ったり、手をのりたりしないでください。
風呂フタの破損や外れによりケガをしたり、お湯によりケガをする恐れがあります。



浴槽内のグリップやアームレストに足をかけないでください。(グリップ取付タイプのみ)
浴槽に入る際や出る時、浴槽内のグリップに足をかけると、すべりやすく危険です。絶対にグリップには足をかけないでください。



入浴中に排水栓を抜かないでください。
排水口に指や髪を等かきこむことで、思わぬケガをする恐れがあります。



このようなこともご注意ください

軟質塩ビ製品(柔らかいゴム状の塩ビ)の使用は避けてください。
ビニールホースなどを長時間浴槽に放置すると表面に艶がなくなったり、塩ビ製品の色が移ったりすることがあります。
風呂フタはPP(ポリプロピレン)製、ABS製を使用して下さい。



24時間バス装置は使用しないで下さい。
浴槽表面の荒れや変色の恐れがあります。

お湯の沸かし過ぎや空焚きはしないでください。
浴槽や風呂釜の寿命を短くする原因となります。



風呂釜2穴タイプ不可

2穴式自然循環風呂釜、高温追い炊き釜、高温遮断湯給湯機、貯湯式電気温水機は使用を避けてください。

お手入れのときは酸性・アルカリ性の薬品類や漂白剤は使用しないでください。
入浴のときは硫黄分を含む入浴剤や温泉湯は使用しないでください。
排水器や浴槽表面をいためる原因となります。



浴槽に強い衝撃を与えないでください。
硬いものを落としたり、ぶつけたりすると、傷が生じることがあります。



お年寄りや身体の不自由な方が使用される場合は、すりばり取り付け等により、安全を確保してください。

浴槽やタオルは、水に濡れさせずべっ、やすくなりやすので、十分に注意してください。



熱湯を直接入れないでください。
冷えきった浴槽に直接熱湯を入れると浴槽の表裏をいためる原因となります。(80℃以上不可)



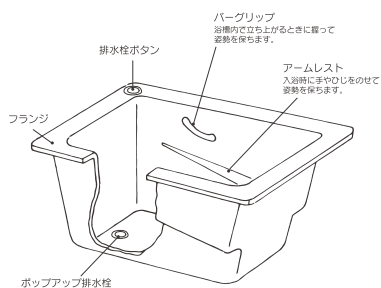
排水栓はクサリを持って抜かないでください。
排水時、排水栓のクサリを引いて排水すると、クサリを傷め、切れることがあります。



浴槽内に鉄製のものを放置したり、タバコの火等を置かないでください。
浴槽表面にしらけを生じたり、こげあがりがつく恐れがあります。



各部の名称とその役目



※排水栓はクサリ付ゴム栓式の場合もあります。
※バグリップ、アームレストが無いタイプがあります。

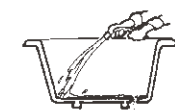
お手入れのしかた

中性洗剤、または石けんをスポンジが柔らかい布につけて洗ってください。
洗浄後は水でよく流し、水気をふきとってください。(水アカ付着防止の為)

酸性・アルカリ性洗剤及び漂白剤、クレンザー、みがき粉など粒子の粗い洗剤や磨き剤などは使用しないでください。

浴槽の底部にたまったゴミや鉄粉は、よく洗い流してください。

水道水・月水等には微量の鉄粉などが含まれ、こわらに浴槽に付着するとサビが発生することがあります。
このような「もらいサビ(浴槽表面のサビ)」が生じた場合は、塩酸がき粉を布につけて落してください。



ご使用方法

浴槽にお湯や水を入れるとき

■排水栓を確実にしめてください。

■風呂釜を使用する場合。

① お湯(水)は必ず上の給湯口より10cm以上入れてください。
水位が足りない場合、お湯の循環が悪くなり、浴槽や風呂釜をいためる原因となります。
(風呂釜等用の引当書をお読みください)

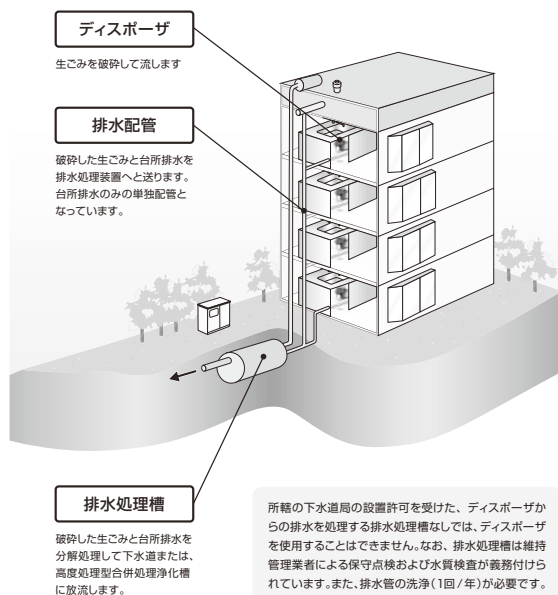


■給湯器を使用する場合。

① 予め水を少し溜めてから湯を入れてください。
直接お湯を入れると浴槽の表面をいためる原因となります。

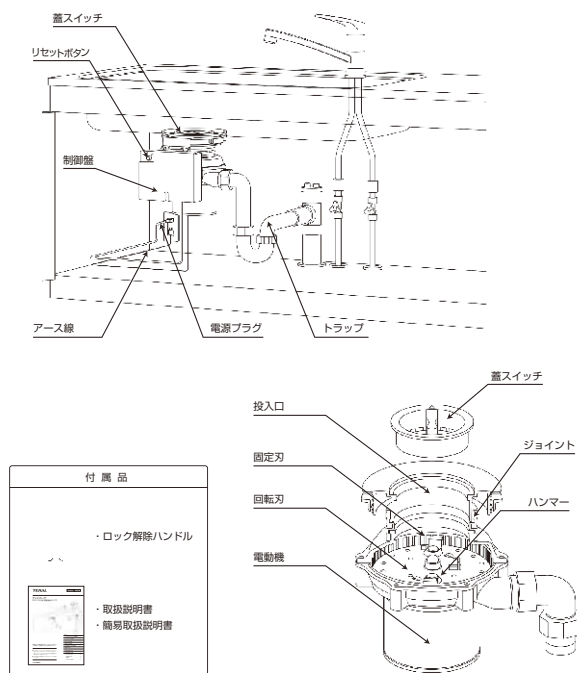


1. ディスポーザシステムの概要



2. ディスポーザの構成

各部の名称



3. 安全上のご注意

●安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、ご使用にあたっては記載事項をお守りください。

表示の意味

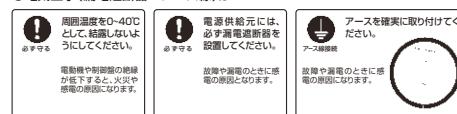
表 示	意 味
	警告 「取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。
	注意 「取扱を誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明

表 示	意 味
	禁止 禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示 指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	分解しないでください。
	電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

●電気工事(漏電遮断器・アース線)は



※漏電遮断器・アース工事は、電気工事に依頼してください。(有料)

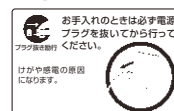
●電源プラグや電源コードは



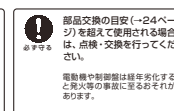
●本体は



●お手入れのときは



●メンテナンスは



注意

●運転前後、運転中は



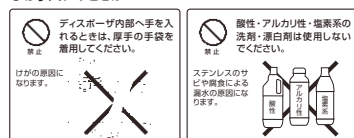
●本体・蓋スイッチは



●温度に注意



●お手入れのときは

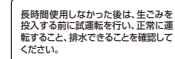
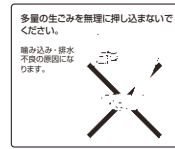
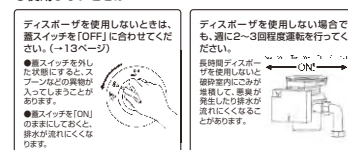


4.使用上のご注意

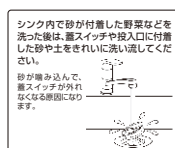
●運転するときは



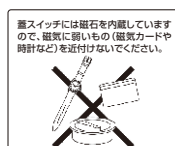
●使用しないときは



●洗いのあとは

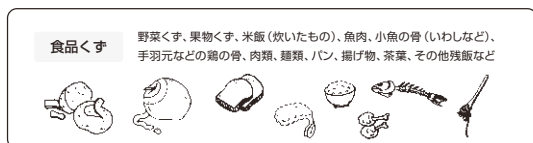


●蓋スイッチには



5.投入物についてのご注意

投入してよいもの



処理にくいもの

以下の生ごみはディスポーザに投入できますが、処理されにくく破砕室内や排水配管内に残ることがあります。



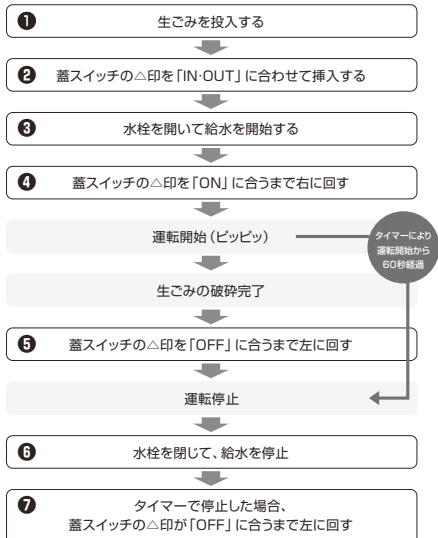
投入してはいけないもの

下記の物を投入すると、ディスポーザを破損したり破砕できずに内部に残ります。

種類	品名例	投入すると発生する不具合
金属類	スプーン、フォーク、王冠など	回転刃の損傷や動作不良など、ディスポーザの故障の原因となります。
ガラス類	コップ、ビン、破片など	
陶器類	お皿、茶碗、箸置きなど	
かたい生ごみ	カニ類の殻、鯛など大きな魚の骨、かぼちゃ・柿・桃などの固い種、牛・豚・鳥の大きな骨など	破砕されずディスポーザ内部に残ります。
多量の魚や鶏の生皮	生魚の皮、鶏の皮、タコ・イカ丸ごとなど	
強い繊維質のもの	竹の子の皮、パイナップルの芯・皮、とうもろこしの皮、栗の皮、玉ねぎの皮、多量(両手一杯程度)の枝豆の鞘、生花、花の茎など	ディスポーザで破砕されても、排水配管内に堆積して詰まりの原因になります。
貝殻類	カキ、サザエ、アサリ、シジミなど	
高温のもの	熱湯、油、熱いカレーなど	ディスポーザや配管を傷めます。
油、薬品類	多量のマヨネーズ、多量の油、多量の酸・アルカリ性洗剤	ディスポーザ本体や配管を劣化させ、排水処理槽での処理を妨げます。
食品くず以外	割り箸、爪楊枝、ガム、プラスチック、ゴム、紙、ビニール袋、ラップ、アルミホイル、発泡スチロール、トレイ、キッチンペーパー、キッチンタオル、ティッシュペーパー、針金、石、砂、タバコの吸い殻など	ディスポーザ内部に残ったり、排水配管内に堆積して詰まりを引き起こす原因となります。

6. 運転のしかた

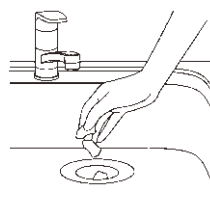
ディスポーザ運転のフロー



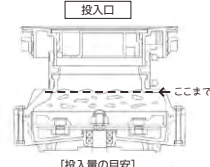
警告

生ゴミの詰め込みすぎ、又は異物の噛み込みにより、運転が停止することがあります。この時、過負荷保護装置が作動し、「ビッピッ、ビッピッ…」というブザー音で知らせてくれます。このブザー音が鳴ったら、蓋の「△」印をOFFの位置まで回して止めてください。噛み込み解除の方法については「15頁“噛み込み解除の仕方”」を参照してください。

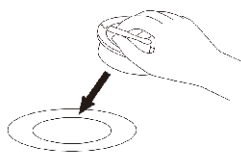
1 ディスポーザに生ごみを投入してください。



- このとき生ごみを多量に押し込まないようにしてください。下図の投入量の目安をご確認ください。
- 大きい生ごみはあらかじめ3cm角程度に小さく切ってから投入してください。
- ディスポーザでは処理できないものがあります。8ページの投入してはいけないものをよくご確認ください。
- 単一生ごみを多量（両手一杯程度）に投入すると排水配管の詰まりの原因になることがあります。

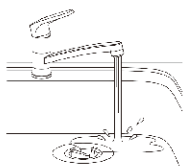


2 投入口に蓋スイッチを挿入してください。



- 蓋スイッチの△印を、投入口の「IN-OUT」の位置に合わせて挿入します。

3 水栓を開いて水を流し始めてください。

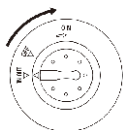


- 水量の目安は、親指の太さ程度（毎分8リットル）です。

注意

ディスポーザ運転時に水を流さない、または水量が少ない場合、ディスポーザ内部に生ごみが残って異臭の原因となったり、排水配管内に堆積して詰まりの原因となります。

4 水を流し始めて5秒程度経ってから、蓋スイッチを右に回して、「ON」にしてください。



- 蓋スイッチの△印が「ON」の位置に合うまで回すと、「ビッピッ」とブザーが鳴ってディスポーザの運転が開始します。
- 運転を開始すると、シンク内の蓋スイッチの上に水が溜まって、生ごみを破砕する音を漏れにくくします。

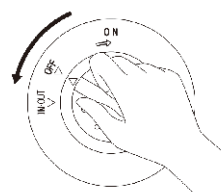
注意

運転中に金属音や非常に大きな音がした場合は、ただちに蓋スイッチを「OFF」の位置に合うまで左に回して、運転を停止してください。

注意

過負荷保護装置が頻りに働くような使用はしないでください。故障の原因になります。

5 生ごみを破砕する音が聞こえなくなったら、蓋スイッチを左に回して「OFF」にしてください。



- 蓋スイッチの△印を「OFF」の位置まで回さなくても、約1分間で運転を自動停止します。「ビッピッ」とブザーが鳴り、停止したことをお知らせします。
- ディスポーザ停止後、破砕室内に生ごみが残っている場合は、氷を5～6個程度投入して運転すると処理されやすくなります。

警告

回転が完全に停止するまで、蓋スイッチを外して投入口へ手を入れないでください。けがの恐れがあります。

6 ディスポーザ停止後10秒程度経ってから、水栓を閉じて水を止めてください。

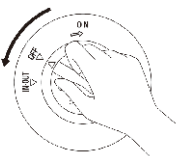


- 排水配管内に破砕した生ごみが堆積するのを防ぐために、運転停止後しばらく追い水をしてください。

注意

ディスポーザ運転停止直後に本体を触らないでください。連続して運転した場合、表面が熱くなっていることがあります。

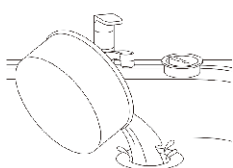
7 ディスポーザを使用しないときは、蓋スイッチの△印を「OFF」の位置にあわせてください。



⚠ 注意

蓋スイッチを外した状態にしておくと、スプーンなど異物が落下してしまう恐れがあります。

8 週に2～3回程度、洗い桶・鍋などに溜めた水を一気に流してください。排水配管を洗浄する効果があります。



- 特に卵の殻を処理した後に流すと効果的です。
- 旅行などで長期間留守にされる際、お出かけの前にも溜めた水を一気に流してください。

⚠ 注意

溜め水を流す際は、ディスポーザの蓋スイッチを外してください。溜め水を流した後は、破砕室内に異物が落下していないことを確認して、蓋スイッチの△印を「OFF」の位置に合わせて挿入してください。

7.お手入れのしかた

異物の取り出し方

ディスポーザの破砕室内に異物（投入してはいけないもの→8ページ）が入ってしまった場合、必ず下記の手順で取り除いてください。そのままディスポーザを運転してしまいますと噛み込みや配管の詰まりなど、不具合の原因になります。

1



ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。

⚠ 警告

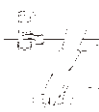
異物の取り出し作業時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。

2



投入口から蓋スイッチを外してください。

3



厚手のゴム手袋などをして、投入口に手を入れて取り出してください。

⚠ 注意

投入口から破砕室内部へ手を入れるときは、必ず厚手のゴム手袋などを着用してください。けがの原因になります。

4



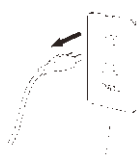
ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

噛み込み解除の仕方

破砕中に、生ごみの詰め込みすぎやスプーンなどの異物により噛み込みが発生した場合、過負荷保護装置が作動してディスポーザが停止します。この場合、「ビビビッ、ビビビッ…」というブザー音（電子音）でお知らせします。下記の手順で噛み込みを解除してください。

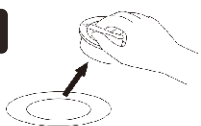
1



ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

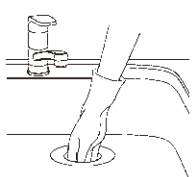
コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。

2



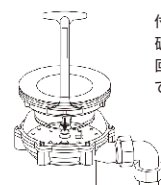
投入口から蓋スイッチを外してください。

3



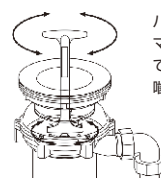
厚手のゴム手袋などをして、投入口に手を入れて破砕室内部の生ごみをできるだけ取り出してください。

4



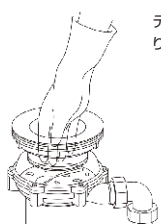
付属のロック解除ハンドルを投入口から破砕室内に差し込み、ハンドルの凹部を回転刃の中心のナットに合わせて入れてください。

5



ハンドル先端の突起部を回転刃のハンマーに引っ掛けて、左右どちらかに回してください。回転刃が回るようになると噛み込みが解除されています。

6



ディスポーザの破砕室内部の異物を取り除いてください。（14ページ参照）

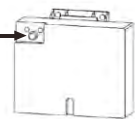
7.お手入れのしかた

7



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

8

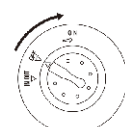


ディスポーザの制御ボックスにある過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。
※「ピー」とブザー音が鳴って過負荷保護装置が解除されます。



警告 リセットボタンを押したまま運転しないでください。電動機の焼損の原因となります。

9



投入口に蓋スイッチを挿入して右に回し、ディスポーザが運転することを確認してください。

10



再度、生ごみのみを投入し運転を行ってください。

17

ディスポーザ本体内部のお手入れ

ディスポーザは生ごみを処理する機械です。破砕室内に生ごみの破片等が残ったまま放置しますと悪臭の原因となりますので、下記の手順で定期的（週に2～3回程度）にお手入れを行ってください。

氷洗浄

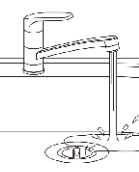
1



氷（キューブアイスなど）を5～6個、投入してください。

※このとき氷と一緒に台所用中性洗剤・レモン汁・食酢などを数滴、破砕室内へ投入するとより効果的です。

2



水を流しながらディスポーザの運転を行ってください。

ディスポーザで細かく砕かれた水がシャベット状になって、破砕室内に付着した汚れを洗い流します。

18

7.お手入れのしかた

「氷洗浄」によるお手入れを行ってもなお、においや汚れが気になる場合は、下記の手順で内部をおそうじしてください。

1

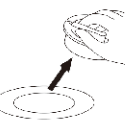


ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。
コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。



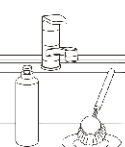
警告 内部の洗浄をする時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。

2



蓋スイッチを投入口から外してください。

3



柄の付いたブラシ等に台所用中性洗剤をつけてディスポーザ内部を擦り洗いしてください。



注意 内部に手を入れるときは、必ず厚手のゴム手袋などを着用してください。けがの原因になります。

19

4



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

その他

●水漏れにより電動機や制御盤が濡れた形跡がないか、週に1回程度目視確認を行ってください。



警告 電動機や制御盤の絶縁が劣化した状態で使用されますと、発火等の事故に至るおそれがあります。

●ディスポーザ本体（外側）、制御盤の汚れは、かたく絞った布で拭いてください。



警告 電動機、制御盤は濡らさないでください。漏電・感電の原因になります。



注意 台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

●ディスポーザを使用しないで、生ごみを可燃ごみとして出される場合も、週に1回程度ディスポーザを運転してください。破砕室内に入ったごみが堆積して通水路を塞ぎ、水が流れにくくなることがあります。

破砕室内の回転刃や固定刃などの部品はステンレス製ですが、破砕した生ごみの破片や異物が付着したまま放置しますと、黄ばみや汚れがこびりついてしまうことがありますが、ディスポーザの性能上、全く影響はありません。

20

8.故障の原因と対策

ディスポーザをご使用中に異常が生じた際は、この章をご覧になり処置方法を試してください。
それでも直らないときは、コールセンター（連絡先は 23 ページ参照）へご相談ください。

症 状	原 因	処 置
ディスポーザが動かない	蓋が確実に入っていない。	蓋スイッチの△印を「IN-OUT」に合わせて入れ直し、「ON」の位置まで右に回してください。
	生ごみの詰め込みすぎ、または異物が噛み込んで、過負荷保護装置が作動している。	噛み込みを解除して、リセットボタンを押してください。（→15～17ページ）
	電源プラグが抜けている。	ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	分電盤内の漏電遮断器、またはディスポーザへの分岐ブレーカーが落ちている。	漏電遮断器、またはディスポーザへの分岐ブレーカーを上げて、「入」にしてください。
	漏電している。	使用を中止して、コールセンターへご相談ください。
運転中に異常振動、異常音がある。	金 属 類 や ガ ラ ス 類、 プ ラ スチックなどの異物が投入されている。	異物を取り除いてください。（→14ページ）
	生のタコやイカなど、処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。（→7ページ）
	強い異物の噛み込みにより、回転刃が変形している。	回転刃の交換が必要です。コールセンターへご相談ください。
生ごみが破砕室内に残る。	投入できない生ごみ、または処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	投入できない生ごみは取り除き、処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。

ブザーの音(ビビビッ、ビビビッ…)が鳴り止まない。	過負荷保護装置が作動しています。	蓋スイッチを「OFF」の位置に戻してブザーを止めてください。その後、噛み込んでいたものを取り除いてリセットボタンを押してください。（→15～17ページ）
ブザーの音(ビービービー)が鳴り止まない。(リセットボタンを押してもブザー音が鳴り止まない。)	電動機の焼損保護装置が作動しています。	電動機が熱くなっておりますので、ディスポーザには触れずに30分程度放置し、その後、運転を行ってください。
ディスポーザを使用しないと、シンク内の水が流れにくい。	ディスポーザの中に生ごみが溜まったままになっている。	ディスポーザの運転を行い、生ごみを処理してください。
	ディスポーザを長期間使用していないため、シンク内にこみが溜まっている。	ディスポーザを長期間使用しない場合でも、週に1回程度運転してください。
シンク内に水が溜まって、まったく排水されない。	ディスポーザの中に生ごみが溜まったままになっている。	ディスポーザの運転を行い、生ごみを処理してください。
	強い繊維質の生ごみや貝殻類など、投入してはいけないものを破砕して、ディスポーザ内、または排水配管内に詰まっている。	コールセンターへご相談ください。
ディスポーザ側面の電動機上部から水が漏れている。	軸封部からの水漏れです。	パッキン、軸封部品などは消耗部品です。コールセンターへご相談ください。この状態で使用を続けると、本体の故障の原因になります。
シンク接続部、トラップから水が漏れている。	パッキンが劣化している。	パッキンの交換が必要です。コールセンターへご相談ください。

ディスポーザの仕様

機 種	DSP-75T
運 転 方 式	蓋スイッチ型バッチ式
取 扱 液 質	水道水(0～40℃)
設 置 場 所	流し台シンク下
設 置 方 式	吊下式
粉 砕 方 法	ハンマーミル方式
粉 砕 室 容 積	約0.85リットル
保 護 装 置	過負荷保護装置(手動復旧式) スイッチ切忘れ防止回路 マグネット式蓋スイッチ
電 動 機 型 式	コンデンサ型単相誘導電動機
使 用 電 源	単相100V、50Hz/60Hz兼用
極 数	4極
定 格 消 費 電 力	419W/430W (50Hz/60Hz)
定 格 電 流	4.9A/4.4A (50Hz/60Hz)
定 時 間	5分
色	本体部：黒色、電動機部：灰色
概 算 質 量	6.6kg

- 過負荷保護装置・・・・・・・・・ 異物の噛み込んだときや、生ごみを詰め込み過ぎたときに作動し、電動機の焼損を防ぎます。
- スイッチ 切り忘れ防止回路・・・・・・ 蓋スイッチを「OFF」にしなくても、運転開始から1分後に自動停止し、長時間運転し続けられないようになっています。

雨水槽 RT型

お客様用
取扱説明書

- ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 本製品は、必要に応じて取り出せるところに大切に保管してください。また、紛失された場合は、当社までご連絡ください。
- 伝達時に破損される場合は、本製品を次の入庫の方に必ずお渡しください。

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。
ご使用前に、よくお読みの上正しくお使いください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

警告

守らないと、火災や重傷を負うことがあります。

注意

守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。



「してはいけません」 (一般的な禁止記号)



「指示通りにしなさい」 (一般的な行動指示記号)

警告

本製品は設置装置を備えておりません。取用へは用いないでください。 (トイレ洗浄水、排水、洗濯のみに使用) 河川、湖沼の水を流入させないでください。

注意

槽本体に埃や、衝撃を与えないでください。マンホールは必要な時以外、明けないでください。

屋根、雨トイは定期的に清掃してください。 (半年1回) 流入部ストレーナーは定期的に清掃してください。 (月1回)

洗濯槽内は定期的に清掃してください。 (年1回) 本体の材質は定期的に洗浄してください。 (年1回)

ポンプの取水口は定期的に行ってください。 (月1回) 槽内にゴミ、葉草、異物を入れないでください。

ポンプの電源を切らないでください。 電源プラグはがたつきのないよう確実に差し込み、埃等は常にふきとってください。

ポンプを分解したり改造したりしないでください。 ポンプの電源は防水コンセントにしてください。

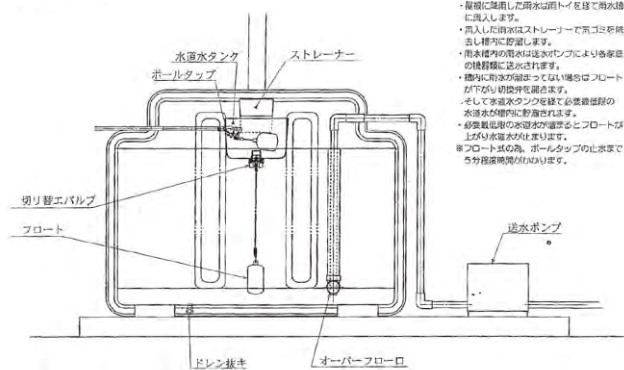
雷や火災の危険があります。

Daiwa Kasei

雨水槽のしくみ・名称・役目

雨水槽は各家庭の雨トイから雨水を採取し、トイレ洗浄水・飲水用水等に再利用するための装置です。
ご使用の際は、処理能力を発揮するために雨水槽のしくみをよくご理解のうえ、本書の注意事項にしたがって、正しく使用してください。

◆雨水槽概略図



◆雨水槽のしくみ

- ・屋根に設置した雨水は雨トイを経て雨水槽に流入します。
- ・流入した雨水はストレーナーでゴミを除去し槽内に貯留します。
- ・雨水槽内の水位は浮き球がポンプにより各家庭の給排水に送られます。
- ・槽内にゴミが溜まると浮き球がフロートが下がりポンプが作動します。
- ・そして各家庭のポンプを通じて必要量の給排水が槽内に貯留されます。
- ・必要量の給排水が溜まるとフロートが上がりポンプが停止します。
- ・フロート式の為、ボールタップの止水まで5分程度時間がかかります。

◆送水ポンプ

使用上の注意事項

ご使用の際 放流水の水質を悪化させるおそれがありますので、次のことをお守りください。

本製品は設置装置を備えておりません。取用、手洗等は用いないでください。 河川、湖沼の水を流入させないでください。

設置場所を汚らぬようお守りください。 水質が悪化し、機器の故障等につながります。

各部の定期的なメンテナンスを行ってください。

これを怠りますと故障の原因となります。 定期的なメンテナンスを行ってください。

槽本体の周辺

槽本体、ポンプ周辺にものを置いたり、建物を設けたりしないでください。

メンテナンスの妨げになります。 事故の恐れがあります。

槽内に葉草や異物を入れないでください。 上に乗ったり、衝撃を与えないでください。

処理能力オーバーし放流水の水質が悪化するおそれがあります。 事故の恐れがあります。

◆雨水槽概略図

箇所	頻度	内容	箇所	頻度	内容
屋根	半年1回	清掃、ゴミ除去	水道水タンク	3月1回	清掃
雨トイ	半年1回		ボールタップ	3月1回	清掃
ストレーナー	月1回	葉草・ゴミ除去	送水ポンプ	3月1回	点検、呼称投入
槽本体	半年1回	清掃、ドレン抜き	各機器類	月1回	清掃
ポンプ取水部	月1回	清掃			

◆故障かなと思ったら

現象	原因
水が出ない	槽内に水が入っている ポンプ停止している 電源が入っていない 呼び水が入っていない ストレーナーが詰まっている
槽内に水が入っていない	水道給水がでない 水道元栓が閉まっている ボールタップストレーナー詰まり フロートが下がっていない (引っかかり) 切換弁シール部固着
水道水が止まらない	ボールタップ開き直し 槽本体の漏水 ボールタップゴミ詰まり 切換弁シール部ゴミ詰まり フロートが上がない (引っかかり)
雨水が入らない	雨トイ、流入ストレーナーのゴミ詰まり
水質が悪い	槽内の沈着物溜まりすぎ

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないように安全にお使いいただくための注意事項を挙げております。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。

用語および記号の説明

	警告	守らないと、火災や重傷を負うことがあります。		禁止	禁止を示す記号です。
	注意	守らないと、けがをしたり家財に損害を与えることがあります。		必ず実行	必ず行うことを示す記号です。



禁止

- 電源プラグ(アダプター)をぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。
- 電源プラグ(アダプター)を水につけたり、水をかけたりしないでください。
火災や故障の原因となります。
- 電源プラグ(アダプター)のコードに以下のようなことはしないでください。
 - ・重い物を載せたり、挟み込んだりすること
 - ・加工や破損、傷つけたりすること
 - ・無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねること感電や火災の原因となります。
- この取扱説明書以外の改造や修理はしないでください。
特に電気回路の分解修理は危険です。火災や感電、故障や漏水の原因となります。
- 便器の中にタバコの吸ガラを捨ててはいけません。
火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。
- 浴室や洗面に水滴が出る湿気の多い場所では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。
- 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うじ殺し、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- トイレスタンブの洗剤は使用しないでください。
ゴムの変形や洗浄力の低下の原因となります。
- 便器の中に熱湯をかけないでください。
ゴムの変形や洗浄力の低下の原因となります。
- 便フタや便座を背もたれや就台として使ったり、衝撃を加えるような開閉はしないでください。
便フタや便座が割れてケガの原因となります。
- 簡易水洗便器は、汲み取り式です。便器の容量を確認の上、汲み取ってください。
使用している便器の容量と通称の汲み取り量をお読みの上、正月や急な使用量が多いときは、便器が一杯になっていないかを点検し早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。
- 長期使用しないときは、止水栓を閉めて水抜きをしてください。
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。
- 幼児、お年寄り、身体の不自由な方が使用するとき、周りの方が常に注意をしてください。
- 便器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。
破損でけがをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。
- オーバーフロー配管は絶対に便槽に接続しないでください。
便槽があふれる恐れがあります。

お手入れのしかた ▶ P6

凍結の恐れがあるとき/水抜き ▶ P14

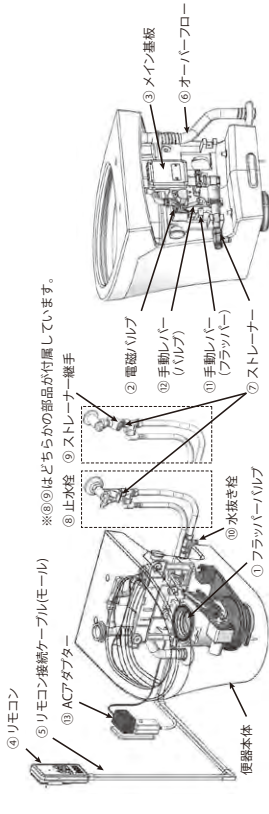


必ず実行

- AC100Vに接続して使用してください。
火災や故障の原因となります。
- 電源プラグ(アダプター)は、
 - ・コードを持って抜かないでください。
 - ・指示まで確実に差し込んでください。
 - ・差込み部とコンセントは、定期的にホコリを取り除いてください。
火災や感電の原因となります。
- 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
- 資格のない人が電気工事をすることは法的に認められていません。
- 便器設置部の床面は、水平にしてください。
- 便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。また、洗浄力が弱くなる恐れがあります。
- 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。
- オーバーフロー配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを付ける等の防臭対策をしてください。
但し、凍結の恐れのある場所ではトラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して施工してください。
- オーバーフロー用排水は、塩ビ管VU40又はVP30で必ず配管してください。
オーバーフロー用排水の内径が20mmより小さいと便器が故障して給水が止まらないうちに排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
- 施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。
漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
- 上水道を使用してください。
井戸水や地下水は、機器不良の原因になりますので使わないでください。保証対象外となります。
- 給水(水道)は、下記の給水条件の範囲で使用してください。
 - ・給水条件
 - ・最低必要水圧: 0.15MPa (流動時)
 - ・最高水圧: 0.75MPa (静止時)
 - ・給水温度: 40℃以下流量不足は洗浄力が悪くなり、水圧が強いと機器の故障の原因となります。
- 凍結の恐れがあるときは、ハルビの水抜きを行ってください。
水抜き栓を閉めて完全に水を抜いてください。
または、室内暖房など適切な処置を行ってください。
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。
- 温水洗浄便座を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。
- 洗浄ガン使用の場合、使用後は必ず洗浄ガン止水栓を閉めてください。
洗浄ガンのホースを無理に引っぱったり、ねじったり、曲げたり、傷つけたら、傷つけたらしないでください。洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。
- 製品を持ち上げるときは便器本体を持ってください。
部品がはずれ、故障やけがの原因となります。
- 直射日光が当たらないようにしてください。
センサーが誤動作したり、プラスチック部が変色することがあります。
- 床に便器を埋め込まないでください。
修理できなくなります。

凍結の恐れがあるとき/水抜き ▶ P14

各部の名称とその役割



①	フラッパーバルブ	汚物の排出弁と水を溜めて便槽からの臭気を遮断する役目をします。このバルブは、モーターによって開閉します。
②	電磁バルブ	設定した洗浄水を流す役目をします。
③	メイン基板	リモコンからの信号を受け取ります。また、便器本体の設定ができます。
④	リモコン	ボタンを押すと所定の動作を行います。また、自動洗浄の設定ができます。
⑤	リモコン接続ケーブル(モール)	リモコンとメイン基板を有線接続することで、リモコンの乾電池が不要になります。
⑥	オーバーフロー	電磁バルブが故障や凍結して便器への水が止まらなくなったり、屋外へ排水する役目をします。
⑦	ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除いてバルブのゴミ詰りを防ぐ役目をします。2ヶ所あります。
⑧	ストレーナー	便器の元栓の役目をします。ストレーナーを付きます。※品番GR-S5のみ付属しています。
⑨	ストレーナー	止水栓にストレーナーを追加します。※品番GR-S5には付属しておりません。
⑩	水抜き栓	便器バルブ内の水を抜くことができます。
⑪	手動レバー(フラッパー)	手動でフラッパーバルブを開き、排水することができます。
⑫	手動レバー(バルブ)	手動で電磁バルブを開き、洗浄水を流すことができます。
⑬	ACアダプター	交流を直流に変えます。

ご使用前の準備と確認

ご使用前に

- 便器を取り付けて最初にご使用されるときは、次のことを確認してください。
- 止水栓が開いていますか。
 - 通電していますか。

電源の接続

電源のACアダプターが接続されているのを確認ください。
通電すると、フラッパーが1回開閉して通電したことをお知らせします。

メイン基板の取付・取外 ▶P12

便座などの使用方法

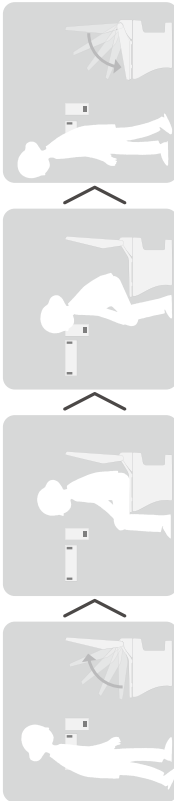
温水洗浄便座など、それぞれについている説明書をよく読んでご使用ください。

注意 便座の交換方法は、各便座の取扱説明書をご確認ください。
便座を交換する際、便器を設置した状態での交換が難しい場合は一度便座を外して行ってください。

ご使用方法

便器の使い方

■ 便器自動洗浄ONの場合（洗浄便座DCW-EA24Aを設置時の動作）



便座に座って用を足してください。
この時、前洗浄をONにしている場合、前洗浄が流れます。

自動開閉付き便座の場合、しばらくして便フタが自動で開閉します。
ご使用後、便座が濡れたときは洗浄水が流れます。

■ 便器自動洗浄OFFの場合

リモコンで操作してください。

6秒以下	洗浄しません
6秒～30秒	小洗浄
30秒以上	大洗浄

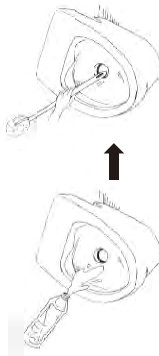
便座から立ち上がり洗浄するまでの時間は、工場出荷時1秒に設定しています。

注意

- 必要以上に水を使わないでください。
便器から排出された洗浄水や汚水は、便座に溜まります。
必要以上に洗浄水を使ったり、便器から雑排水等を捨てるとその分汲み取り量が増えるのでご注意ください。
- 簡易水洗トイレの洗浄水量は500cc以下です。
少量の水でも確実に排水できるようにトイレト
ペーパーは溜水の中に捨ててください。

停電や災害の時

水が溜まっていない場合はベットボルトなどで補水し、先端がとがっていない棒状の棒でゆっくりと丁寧に押し込んでください。



水が溜まっていない場合は
ベットボルト等で補水
先端がとがっていない棒状の
棒でゆっくりと押し込んで排出

注意

強く押し下り、先端がとがったもので押すとフラッパーが傷つき、
水が溜まらなくなります。
停電や災害等の緊急時のみに行うようにしてください。

お手入れのしかた

便器のお手入れ

- ・中性洗剤で掃除をしてください。
- ・ボウル面が水を弾く場合、掃除することで改善されます。



便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。
汚れがひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ固く絞ってから拭いてください。
そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



フラッパー（排水弁）のお手入れ

フラッパーは専用ブラシと中性洗剤で週1～2回程度掃除してください。
特にゴム部品の先端と裏側はよく掃除をしてください。汚れていると水が漏れやすくなります。



■フラッパーの開き方

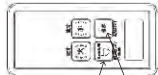
「排水弁開閉」ボタンを1回押すと排水弁が全開します。
全開している間に掃除をしてください。

もう1回押すと閉まります。

また、全開から3分経過すると、自動で閉じます。

■掃除の時の水の流し方

「排水」ボタンを押すと水だけが流れます。



ストレーナーの掃除

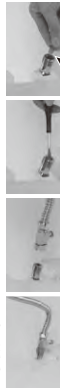
ハルパのゴミ溜りによる排水を防ぐため、給水口にストレーナーを付けています。
水の出口が塞がったときは、ゴミを取り除いてください。

※ストレーナーは2ヶ所あります。(P4参照)

※ストレーナーは、どちらか一つづつ付いています。



■水抜き栓のストレーナー



水抜き栓を外すとストレーナーがあります。
マイナスイオン発生部を取り出してください。

■ストレーナー継手の場合（標準品）



マイナスイオン発生部を使用して、ストレーナーを取り外してください。

■止水栓のストレーナーの場合



止水栓の下にあるストレーナーは、手で回すと取り外せます。

年に一度の清掃をおすすめします。

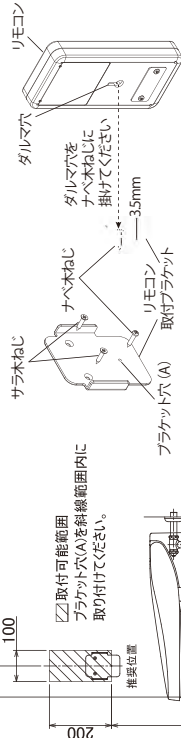
リモコン①取付位置

リモコン取付ブラケットを便座に座って右側の壁に取り付けてください。
左側の壁に取り付ける場合はスイッチ切替が必要です。 リモコン③自動洗浄の設定方法 ▶P8

！ 必ず実行 リモコンの取付位置が決まっています。周りに手すり等の障害物がないことを確認し、必ず取付範囲内に取付けてください。

リモコンで動かなくなったり、自動洗浄が誤動作する原因となります。

リモコン取付ブラケットを木ねじで壁に取り付けてください。



△ 注意

●現場環境により、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、リモコンボタンを押しても動作しないことがあります。
下のときは、**同梱のリモコン接続ケーブル（付属）**を使用してください。

・床や壁が黒又は暗い色のとき

・リモコンが施工取付範囲外になるとき（自動洗浄も使えません）

・リモコンの下にペーパーホルダーや手すりなど、物がある場合

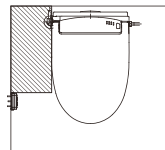
・壁から便器中心までの距離が400～450mm以外の寸法の場合

・ひとつのトイレブース内に複数台設置するとき（選別の可能性あります）

●壁から便器中心までの距離が450mmを超えると、自動洗浄が反応しない場合があります。その場合、リモコンの押しボタンで操作してください。

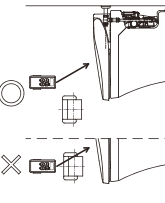
●DCM4031など便座本体右側に操作部がある場合、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなります。その場合、リモコン接続ケーブルを使用するか、左壁にリモコンを取り付けてください。

●斜線範囲内に掃除用具などを置かないでください。



禁止

●リモコンの下にペーパーホルダーや手すり、棚などを取付けないでください。矢印方向にセンサーが出ています。



便槽についての注意

！ 必ず実行

マンホールのフタは、必ず開けてください。
また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。
転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。

禁止

通常の埋設工事を行った便槽の上には、重などの重物をのせないでください。
車などがのる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。
便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。

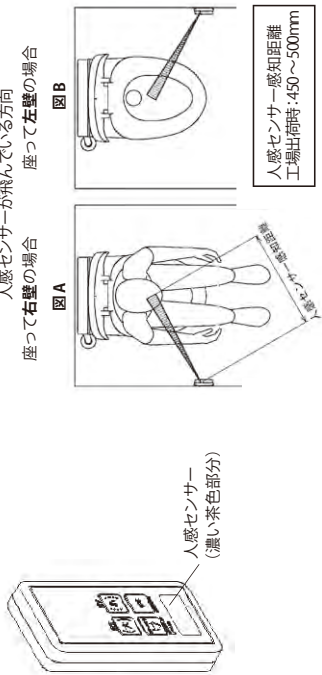
便槽の中へ薬品類、殺虫剤（うじ殺し含む）、洗剤、芳香剤等を投入しないでください。
便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

リモコン②自動洗浄の設定方法

自動洗浄にする場合は、下記の手順で設定を行ってください。

① 左右壁取付位置の確認

工場出荷時は、便座に座って右壁取付(図A)で設定しています。



② 左壁取付の切り替え

便座に座って左壁取付(図B)の場合、切り替えスイッチを左側に切り替えてください。



注意 スwitchを左右に切り替える場合は、確実に切り替えてください。センサーが反応しない恐れがあります。

リモコン③人感センサーのテストモード

人感センサーのテストモードによる感知距離の調整

壁から便器中心までの距離が400～450mmの場合、自動洗浄の人感センサー感知距離の調整は不要です。自動洗浄が正常に作動しないとき、テストモードにして調整ください。

① テストモードの入力方

リモコンの排水栓/閉ボタンを5秒以上同時押しするとテストモードに入ります。同時押しなので、排水栓/閉/開/排水栓/閉のどちらかが動作しますが、問題ありません。テストモードに入り、人感センサーが感知すると「電池切れ」赤ランプが点灯します。

② 人感センサー感知距離の確認と調整方法

白紙(44サイズ程度)を人感センサーの10cm程度前ところに貼って赤ランプが点灯することを確認してください。点灯しないときは、テストモードに入っていないか、自動洗浄切替スイッチがOFFになっています。

人感センサーは、右図のように斜め方向に出ています。

その方向の便器中心付近に白紙を当て前後に移動しながら赤ランプを見てください。

赤ランプが切れる場所が感知距離になります。

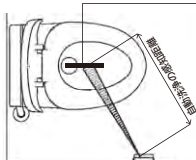
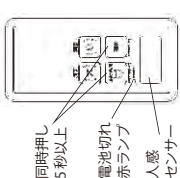
調整後、便座に座り上半身を動かして「電池切れ」赤ランプが点灯しているか確認してください。

テストモード中は、リモコンボタン操作はできません。

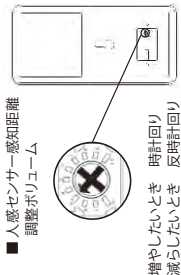
③ テストモードの解除方法

以下のいずれかの方法でできます。

- ・リモコンの排水栓/閉ボタンと排水栓/開ボタンを5秒以上同時押しする。
- ・5分以上経過すると、自動解除します。
- ・無線の場合、乾電池を外して入れ直す。
- ・有線の場合、有線ケーブルを抜く。



■ 人感センサー感知距離調整ボリウム



本製品は、精密機械につき使用環境によっては誤動作が生じることがあります。誤動作が生じないよう、取付前に必ず確認してください。

- 自動洗浄で誤動作がある場合、自動洗浄をOFFにしてご使用ください。
- 暗い色の上蓋のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しない場合があります。そのときは押しボタンで操作してください。
- 人感センサー感知距離範囲内に障害物がないようにしてください。
- トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、誤動作（誰もいないのに動く）することがあります。そのときは、窓をカーテンやブラインドなどで遮光するか自動洗浄をOFFにしてください。
- リモコン取付けの反対壁がタイルなど反射しやすい素材のときは、自動洗浄を「OFF」にしてください。
- 人感センサーの濃い茶色部分を構ったり汚したりしないでください。
- 水がかかると場所によっては設置しないでください。
- 人感センサーが感知したままの状態が長く、乾電池の消耗が早くなります。
- ドアの開閉で自動洗浄することがあります。そのときは、リモコンの取付位置や感知距離調整を行ってください。それでも解消しないときは、自動洗浄をOFFにして押しボタンで使用してください。

リモコン④電源接続

リモコン接続ケーブル(有線)を使用する場合

リモコン接続ケーブル(有線)を取り付けてください。乾電池は不要になります。
床や壁の色が暗い色の場合や所定の位置にリモコンを取り付けられない場合、リモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。但し、所定の位置にリモコンを取り付けられない場合は自動洗浄の有感センサーが反応しないため、自動洗浄OFFでご使用ください。

■リモコン接続ケーブル(有線)の取り付け方

リモコン



リモコン下部の差し込み口に、有線ケーブルを差し込みます。

メイン基板ケース



メイン基板ケースの差し込み口に、有線ケーブルを差し込みます。

■モールの使用方法



リモコン接続ケーブルを壁面に沿って配線し、図のようにモールで固定してください。モールはリモコン取付位置に合わせ、適切な長さにカットしてください。モールは内径 6mm 以上のものであれば、別メーカー品も使用可能です。

乾電池(無線)を使用する場合

付属の単三アルカリ乾電池4本を入れてください。リモコン接続ケーブル(有線)を使用する場合は、乾電池は不要です。

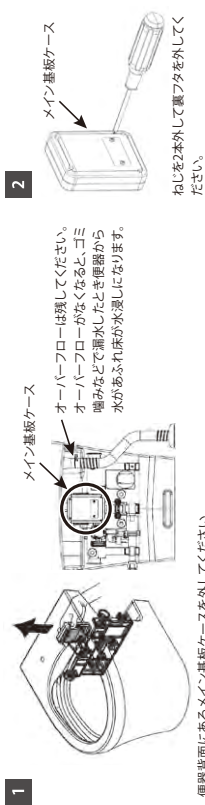


△ 注意

乾電池の(+) (-)を確認して正しく入れてください。
間違えて逆に入れると乾電池が液漏れしたり、破裂したりする恐れがあります。
新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
正しく入れないと、回路基板が故障する恐れがあります。

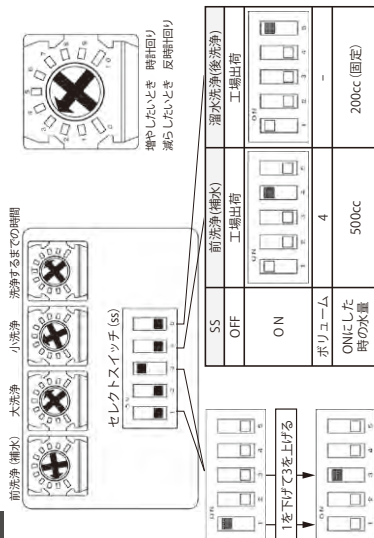
水洗便器への切り替え方法

下水道がきたとき、水洗便器に切り替えます。工場出荷時は、スイッチ切り替後「大洗浄5」になるよう設定しています。



便器背面にあるメイン基板ケースを外してください。
溝に掛けているので、少し持ち上げゆくり引き出してください。

3 セレクトスイッチを切り替えてください。



	ポリューム	水量
大洗浄	1	5,000cc
小洗浄	7	2,000cc
前洗浄	4	500cc

■洗浄水量のポリューム表

流水時(動水圧):0.2MPa以上 または、静止時(静水圧):0.25MPa以上

ポリューム	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大洗浄	4,670cc	5,000cc	5,360cc	5,980cc	6,350cc	6,800cc	7,450cc	8,050cc	8,510cc	9,240cc	9,240cc
小洗浄	1,070cc	1,160cc	1,340cc	1,440cc	1,550cc	1,740cc	1,910cc	2,000cc	2,240cc	2,380cc	2,400cc
前洗浄	0cc	130cc	310cc	420cc	500cc	580cc	720cc	830cc	980cc	1,080cc	1,100cc
後洗浄											200cc

流水時(動水圧):0.15~0.2MPa未満のとき、以下の設定にしてください。

ポリューム	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大洗浄	4,040cc	4,260cc	4,740cc	5,230cc	5,480cc	5,940cc	6,910cc	7,450cc	7,910cc	7,970cc	7,970cc
小洗浄	950cc	970cc	1,130cc	1,280cc	1,390cc	1,570cc	1,640cc	1,740cc	2,060cc	2,070cc	2,070cc
前洗浄	0cc	90cc	270cc	380cc	430cc	510cc	630cc	730cc	820cc	930cc	950cc
後洗浄											150cc

洗浄水量調整方法

洗浄するまでの時間設定、前洗浄（補水）と溜水洗浄（後洗浄）の設定

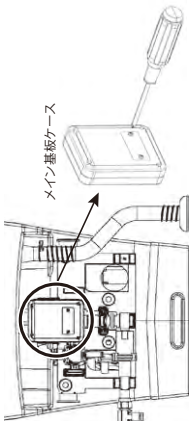
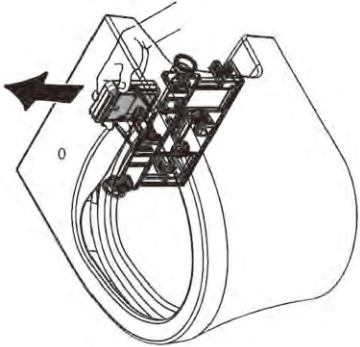
■ 水量調整初期設定

洗浄水量は、以下のように設定しています。（流水時（動水圧）が0.2MPa以上のとき）

	工場出荷時設定	
	ポリューム	水量
大洗浄	3	500cc
小洗浄	2	350cc
前洗浄	4	500cc

メイン基板の取付・取外

メイン基板はホルダーの溝に掛けていますので、上部にスライドすると取り外せます。
取り付けるときは、下方向にスライドさせ、カチッと音が鳴るまでホルダーに固定してください。



メイン基板は便器の裏側にあります。フタを開けるとスイッチがあります

■ 洗浄水量を増減したいとき

前洗浄（補水） 大洗浄 小洗浄 洗浄するまでの時間

セレクトスイッチ（SS）

増やしたいとき 時計回り
減らしたいとき 反時計回り

切り替える不可

SS	前洗浄（補水）	溜水洗浄（後洗浄）
OFF	工場出荷	工場出荷
ON	ON	ON
ポリューム	4	-
ONにした時の水量	500cc	200cc（固定）

⚠ 注意

必要以上に水を使わないでください。
簡易水洗トイレは少量の水で洗浄するため、便器に溜まる水は少なくついています。
便器から排出された洗浄水や汚水は、便器に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から漏れ水等を捨てるとその分汲み取り量が増えますのでご注意ください。



※溜水が分かりやすいように、着色しています。

■ 洗浄水量のポリューム表

流水時（動水圧）：0.2MPa以上 または、静止時（静水圧）：0.25MPa以上

工場出荷時											
ポリューム	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大洗浄	200cc	280cc	350cc	500cc	580cc	650cc	760cc	880cc	960cc	1,100cc	1,110cc
小洗浄	200cc	280cc	350cc	500cc	580cc	650cc	760cc	880cc	960cc	1,100cc	1,110cc
前洗浄	0cc	70cc	280cc	360cc	500cc	590cc	730cc	860cc	980cc	1,090cc	1,110cc
後洗浄						200cc					

流水時（動水圧）：0.15～0.2MPa未満のとき、以下の設定にしてください。

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大洗浄	前洗浄											
4	3	5										

■ 洗浄するまでの時間

立ち上ってから洗浄するまでの時間

ポリューム	洗浄するまでの時間
1	3秒
3	5秒
5	8秒
7	11秒
10	15秒

← 工場出荷時

■ 自動洗浄の動作

便座に座って

6秒以下	洗浄しません
6秒～30秒	小洗浄
30秒以上	大洗浄

⚠ 注意

「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。
その時は工場出荷時のポリュームに戻してください。

凍結の恐れがあるとき / 水抜き

トイレ室内が0℃以下になると、水が凍結して機器が破損する恐れがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。

室内暖房

トイレ室内を暖房してください。
温水洗浄便座については、付属の取扱説明書をご確認ください。

水抜き

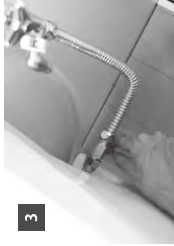
下記の手順で水抜きをしてください。



止水栓を閉める。



容器(コップ等)を用意する。



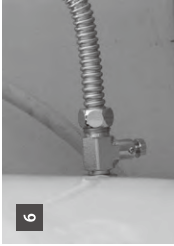
水抜き栓を開く。開けても水は出ません。



手動バレーバルブを持ち上げバルブを開く。開くと、水が出ます。



完全に水が抜けたことを確認してください。約1分かかります。



水抜き栓を閉める。

使用再開するときは、止水栓を全開にします。
通水後1回目の洗浄の際、配管内の空気が抜け大きな音が鳴りますが、異常ではありません。

凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

■ 便器が凍結した場合

40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。

■ 配管が凍結した場合

ドライヤー等で解凍してください。凍結破損することがあります。
解凍後、漏水する場合は、止水栓を締めてアフターメンテナンスを依頼してください。

長期間使用しないとき

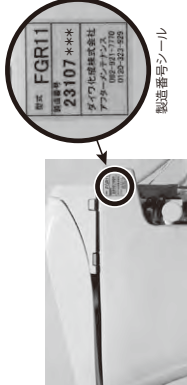
旅行や長期不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① 止水栓を閉め、水抜きをしてください。 [水抜き ▶ P14](#)
- ② アダプターをコンセントから抜いてください。

温水洗浄便座等は各々の説明書をお読みください。

メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保期間、製造打ち切り後6年です。
最低保期間経過後については、弊社までご相談ください。



製造番号シール

仕様

■ GR11便器の仕様（便座を除く）

製品寸法	幅375mm×奥行550mm×高さ370mm
排水芯	250mm以上
材質	便器本体:衛生陶器
定格電源	便器本体:交流100V、ACアダプター:6V/2.8A 無線使用時(リモコン:単3アルカリ乾電池×4本付)
電源コードの長さ	1.5m
給水条件	最低必要水压:0.15MPa(流動時) 最高水压:0.75MPa(静止時) 給水温度:40℃以下
周囲使用温度	0~40℃
重量	25.5kg
標準水量	小便:約350cc、大便:約500cc

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	断水している	近くの蛇口で水が流れるか確認してください
	止水栓が開まっている	止水栓を開いてください
	電源が繋がっていない	ACアダプターの接続を確認してください 電源に電気が来ているか確認してください
	ストレーナーのゴミ詰まり	ストレーナーの掃除をしてください 図 ▶
	リモコンの乾電池切れ	単3アルカリ乾電池4本を交換してください
水が止まらない	電磁バルブのゴミ詰まり	止水栓を開めメンテナンスを依頼してください
床に漏水	小便の飛び散り、もしくは漏水	床を拭いて小便かどろきの確認してください または漏水箇所を特定しメンテナンスへ依頼してください
汚物が排出しない	便器と便槽の配管詰まり	市販のバイブリーナー等で詰まりを取り除くか、 お買い上げ店又は専門業者に依頼してください
便器に水が溜まらない	フラップバーに汚物、尿石が付着している	フラップバーの掃除をしてください
フラップバーが正常に動作しない	ACアダプターの接続不良	ACアダプターを一度抜き差ししてフラップバーが動作するか確認してください
自動洗浄がきかない	リモコンの乾電池切れ	単3アルカリ乾電池4本を交換してください
	人感センサーが感知していない	リモコンが正しい位置に取り付いているか確認してください また正しい位置の場合、反応しないときがあります P7 ▶
リモコンのボタンがきかない	リモコンの乾電池切れ	単3アルカリ乾電池4本を交換してください
	リモコンセンサーが感知していない	リモコンが正しい位置に取り付いているか またはリモコン接続ケーブルを接続してください
	電源が入っていない	ACアダプターの接続を確認してください

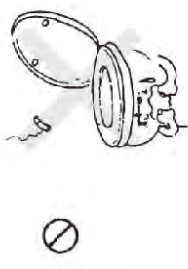
安全にお使いいただくために

用語および記号の説明

① 「指示通りにしなさい」
.....
(一般的な行動指示記号)

警告

煙器の中にタバコの吸ガラを捨てないでください。
火災や漏水の原因、煙器の破損やゴム、プラスチックの變形の原因となります。



注意

また、レバーハンドルの操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

手洗栓の金具を持って無理に動かさないでくだ
さい。



注意

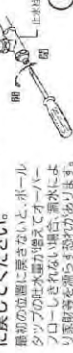
掃除には、中性洗剤以外使用しないでください。



便器やロータungkなど陶器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部は絶対に触らないでください。



止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず最初の位



長期間使用しないときは、止水栓

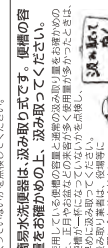


このようなくちでお願いいたします。

ロータリータンク内に物やゴミを入れないでください。
手洗器で雑巾等を洗ったり、泥まみれの手を洗わないでください。



ヵ月に1~2回は、ロータンのフタをあけて物やゴミが
ついでないかを占検してください。



ロータリータンク内に物やゴミを入れないでください。
手洗器で雑巾等を洗ったり、泥まみれの手を洗わないでください。



幼児、老人、身体のご不自由な方が使用する

便座・便フタカバーを普通便座、暖房便座に取り付けると倒れることがあります。その時は、便座カバーのみで使用するかどうかは、便座・便フタカバーの取付説明書をご覧ください。

便座のヒップをスライドさせて使座を少し手前に出して倒れにくくしてください。

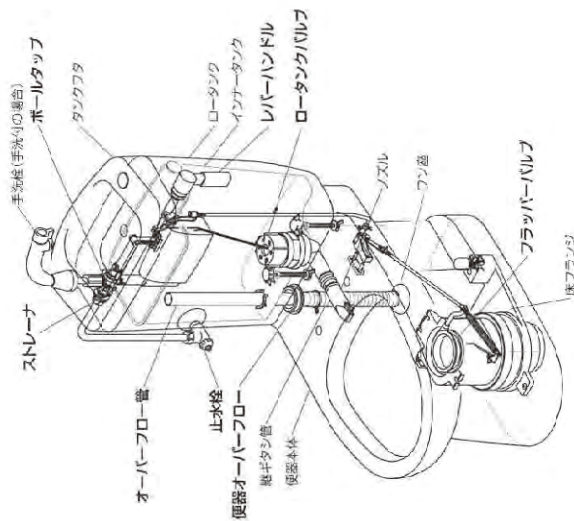
紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。



本水洗切替をされるときは、本水洗切替部品のセットの説明書をよく読んで行ってください。
事故や故障して漏水した場合、家財を濡らす原因となります。

して下さい。

各部の名称とその役割



フラップバルブ	汚物の排出弁と水を溜めて便槽からの臭気を遮断する役目をします。フラップバルブは、バネによって閉じられています。	オーバーフロー管	ボールタップが故障し、水が止まらなくなったとき、ここから屋外に排出する排水とオーバーフロー管を引き抜くことによりローダックの水を抜く役目をします。
ローダックバルブ	レバーハンドルを操作すると、バルブが開いて便器に水を流す役目をします。	便器オーバーフロー	ローダックバルブがゴミづまりや故障を起こし、便器への水が止まらなくなったとき、ここから屋外に排出する排水をします。
レバーハンドル	フラップバルブとローダックバルブを開閉する役目をします。手前に引くと、排出・洗浄をし、押すと便器に水を溜めます。	止水栓	便器の元栓の役目と水勢を調整する役目をします。ローダックへの水を止めるときはこの止水栓を締めてください。
ボールタップ	ローダックに水を溜める役目をします。一定の高さまで水が溜まると浮子の浮力でボールタップの弁を閉じ水を止めます。		
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除いてボールタップやローダックに水を送る役目をします。		

ご使用方法

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初にご使用されるときは、次のことを確認してください。
● 止水栓が閉まっているか。 ● ローダックに水が溜まっているか。

2 必要以上に水を使わないでください。

便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から排水水を捨てるとその分汲み取り料が増えますので、ご注意ください。

2 便器の使い方

■ 大便の場合

- ① 便フタを上げてください。
- ② 使用前に、レバーハンドルを1～2秒間押し、便器に水を溜めてください。
(補助水)
- ③ トイレシートペーパーを1枚敷いて使用すると、汚物の付着が少なくなります。
- ④ 便座に座ってご使用ください。

■ 女子小便の場合

- ① 便フタを上げてください。
(大便時と同じ)
- ② 便座に座ってご使用ください。
(大便時と同じ)
- ③ 使用後、レバーハンドルを1～2秒間引いてください。汚水が排出し、水が流れてきます。レバーハンドルは、手を添えて戻してください。

○ 排出・洗浄後、防臭のため便器に少し水が溜まります。

■ 男子小便の場合

- ① 便フタ・便座を両方上げて使用してください。
- ② 使用後、レバーハンドルを1～2秒間引いてください。汚水が排出し、水が流れてきます。レバーハンドルは、手を添えて戻してください。
(女子小便時と同じ)

○ 排出・洗浄後、防臭のため便器に少し水が溜まります。

3 手洗の使い方

手洗の水は自動的に出て止まりませんので、吐水栓レバーを開閉してご使用ください。



4 ご使用後に

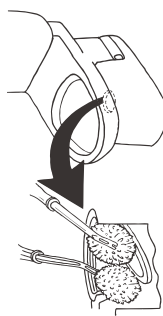
△ 注意 レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

① 暖房便座や温水洗浄便座付の場合は、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

お手入れのしかた

1 フラップバルブのお手入れ

フラップバルブは専用ブラシと中性洗剤で週1～2回程度、また、リップゴムの先端もよく掃除してください。汚れていると、水が溜まらなくなります。



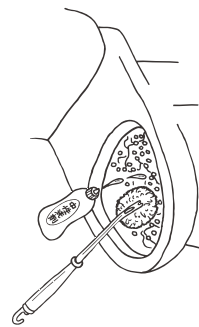
オプション



APH-527
CFお掃除ブラシ

2 便器のお手入れ

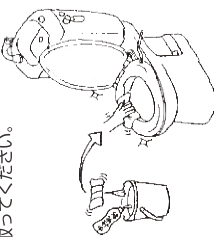
中性洗剤を使って掃除してください。



○レバーハンドルを押して便器に水を溜めて掃除すると大変便利です。

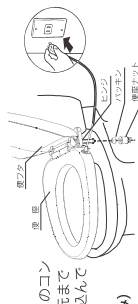
3 便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。
汚れのひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



便座の外し方・取り付け方

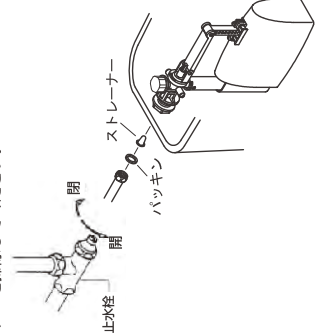
便器の便座取付穴に便座のヒンジのねじ部分を差し込み、便座をスライドさせて便器に合わせて、下からバックンを入れ、便座ナットを締め付けてください。
ヒンジと便器の間にバックンがあります。



(SW-7のみ)

4 ストレナーの掃除

器具にゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。ストレーナーが詰まるとロータングクへの給水状態が悪くなりますので、ロータングクへの給水が少ないときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

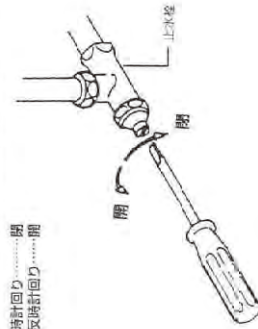
まず、故障・異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない、またはロータングクに水が溜まらない	断水している。 止水栓が閉まっている。 ストレーナーが目詰まりしている。	ロータングクのフタを開けて水が溜まっているかを確認してください。 止水栓を開けてください。 ストレーナーを掃除してください。 (5頁参照)
便器に水が溜まらない	フラップバルブに汚物、尿石が付着している。	フラップバルブの掃除をする。 (5頁参照)
便器への水が止まらない	ロータングクバルブのバルブシートバックンのゴミつまりまたは破。	①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②4～5回水を流してみてください。 ③面れば、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ④通らない場合は、「ロータングクバルブの点検」を行ってください。 (3頁参照)
ロータングク内の水が止まらない、またはボールタップから水が止まらない	ロータングクバルブのバックンのコニゴよりまたは破。 ボールタップのバックンが交換時期になっている。	①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②「ボールタップの点検」を行ってください。 (7頁参照)
床に水漏れしている	小便が飛び散っている。	床を乾いた雑巾等で拭き取り、小便がどうかを確認してください。 (7頁参照)
フラップバルブを開いても汚物を排出しない	便器が一杯になっている。 便器と便槽の間の配管詰まり。	便器のマンホールをあけて確認し、汲取り業者に依頼してください。 市販のバイコクリーナーやトイレ洗浄機等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。
フラップバルブが漏れない	レバーハンドル側ロータングク下の作動部(※)に粉を垂している。	粉を取り除いてください。
	ロッドの後端バックンが付いていない。	後端ピンを付けてください。 7頁の「ロッドの接続」を参照してください。
手洗の水が止まらない	コマのゴミ詰まり、亀、または、交換時期になっている。	①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②ゴミを取り除くか、市販のコマと交換してください。 「手洗台コマ交換」を参照してください。 (8頁参照)

○上記処置で直らない場合は、止水栓を閉めたままにしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。アフターサービスに修理を依頼される場合は、1頁をお読みください。
○処置や修理が終わるまでの間は、止水栓を開けたままにして、ご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、バケツ等で便器に直接流してください。

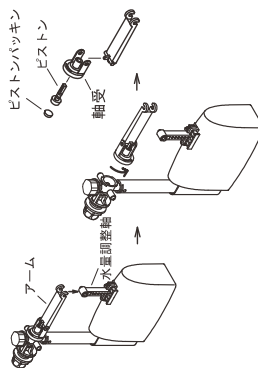
部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法



ボールタップの部品交換

- ① 止水栓を開めてください。
- ② 手洗栓付の場合は、手洗栓を外してください。
- ③ ロータンクの水抜きをあげてください。
- ④ ロータンクの水を少し抜いてください。
- ⑤ アームと水量調整軸を外してください。
- ⑥ 軸受を反時計回りに90度回転して抜いてください。
- ⑦ ピストンパッキンの交換の場合は、このままで交換してください。



リップゴムの交換

消耗品であるフラッパーのリップゴムは、使用の外さず上から交換できます。

- ① マイナスドライバーでリップゴムの押出をします。
- ② リップゴムの押出をします。
- ③ 古いリップゴムの押出をします。
- ④ リップゴムの押出をします。

このとき、リップゴムとリップゴムの間にゴミが挟まっていると漏水することがあります。

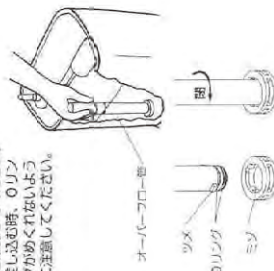
漏水した場合は、リップゴムとリップゴムの間にゴミが挟まっていると漏水することがあります。



ロータンクの水抜き

- ① 止水栓を開めてください。
- ② 手洗栓付の場合は、フタをずらしてください。
- ③ ロータンクの水抜きをあげてください。
- ④ ロータンクの水を少し抜いてください。
- ⑤ ロータンクの水を少し抜いてください。
- ⑥ ロータンクの水を少し抜いてください。
- ⑦ ロータンクの水を少し抜いてください。

(注) 差し込む時、Oリングがめくれかからないように注意してください。

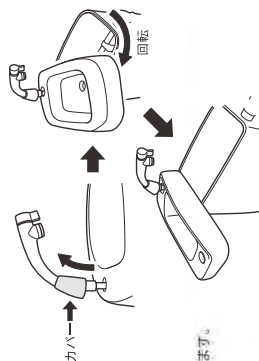


フタのずらし方 (手洗ありの場合)

- ① カバーを上に戻します。
- ② フタを少し持ち上げるように回転させながら手前にずらします。
- ③ フタが安定して乗るところに置いてください。

注意

- フタを開けたまま長時間放置しないでください。
- フタに物を置いたり、荷重をかけないでください。



部品の点検、交換のしかた

ロータンクバルブの点検、部品交換

- ① 止水栓を開めてください。(7頁参照)
- ② ロータンクの水抜きをあげてください。
- ③ ロータンクの水抜きをあげてください。(7頁参照)
- ④ バネ押上を反時計回りに回し持ち上げて外してください。その時、ボールタップの浮玉が邪魔な場合は、浮玉を外してから行ってください。
- ⑤ クサリを持って引き上げてください。
- ⑥ +ドライバーでネジを外して、バルブガイドを外してください。
- ⑦ バルブシートパッキンに傷やいたみ、ゴミがみがあるかを点検してください。
- ⑧ 傷やゴミがみがある場合は、裏返しにして使用してください。
- ⑨ いたんでいる場合は、部品交換してください。

組立は、逆の手順で行ってください。

手洗栓コマの交換

- ① 止水栓を開めてください。(7頁参照)
- ② ツマミを開いて水を抜いてください。
- ③ キャップを外し、+ドライバーでネジを外して、吐水栓レバーを外してください。
- ④ 自在スプーンでスピンドルボックスを回して外してください。
- ⑤ コマを取り出してください。
- ⑥ 傷やいたみ、ゴミがみがあるかを点検してください。
- ⑦ ゴミがみがある場合は、ゴミを取り除いてください。
- ⑧ 傷やいたみがある場合は、市販のコマと交換してください。

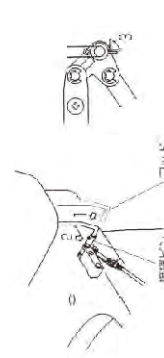
組立は、逆の手順で行ってください。

ロッドの接続

レバーハンドルのロータンク下部にロッドを割りピンで接続するところがあります。

もし、割りピンが付いていない場合は、代りに針金を使って接続してください。

接続しない、レバーハンドルを操作してもフラッパーバルブが開きません。



(注意) ・必ず、ロッドが抜けないことを確認してください。抜けると、作動不良となります。

注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

△注意 トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。

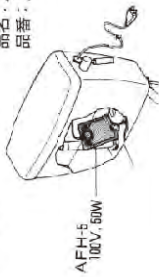
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 凍結防止ヒーターの利用

○別途凍結防止ヒーターをご利用いただき、ロータンク内に入れて凍結防止してください。

品名：凍結防止ヒーター

品番：AFH-5



- !** 説明書をよく読んでご使用ください。
- ・ヒーター部をロータンクの水に浸めてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 - ・使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。ロータンク内の水が暖まり、タンクフタの裏側から水滴が落ちることがあります。

○給水管や手洗栓には、市販の水凍結防止ヒーター（テープヒーター）を巻きつけてご使用ください。

2 水抜き

水抜き栓又は水抜き止止水栓を取り付けてください。

- (1) 水抜き栓又は水抜き止止水栓を開けてください。
- (2) 手洗付の場合は、手洗栓のハンドルを回して全開にしてください。
- (3) ロータンクの水抜きを行ってください。7頁参照
手洗付の場合は、7頁のフタのずらし方を参照してください。
- (4) 水抜き止止水栓の場合、止水栓から水を抜いてください。
- (5) 便器内に溜っている水もレバーハンドル操作をして排出してください。

3 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。

☆凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

- 便器、ロータンクが凍結した場合………40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので、ご注意ください。
- 給水管、手洗栓等が凍結した場合………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき

△注意 旅行など長期間不在のときや長期使用しないときは、次のことを行ってください。
行わないと、不許可に漏水等が起きた場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① 止水栓を開けてください。
(7頁参照)
- ② ロータンクの水抜きを元に戻してください。(7頁参照)
- ③ 再び使用する場合
a) ロータンクの水抜きを元に戻してください。(7頁参照)
b) 止水栓を開いてください。
(7頁参照)
- ④ ロータンクの中に水が溜まったことを確認してください。
暖房便座、温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



仕 様

外 観 寸 法	FZ500	FZ50T	FZ400	FZ40T	FZ300
重 量	幅360 ⁵⁾ 奥行780 ⁵⁾ 高さ875 ⁵⁾ 約40kg		幅380 ⁵⁾ 奥行730 ⁵⁾ 高さ875 ⁵⁾ 約38kg		幅380 ⁵⁾ 奥行712 ⁵⁾ 高さ795 ⁵⁾ 約24kg
材 質	便 器 本 体 陶器				
	ロータンク 陶器				
質 量	便 座 PP樹脂				PP樹脂
洗 浄 水 量	約350cc				
ロータンク容量	約10ℓ				約7ℓ

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

主な取替、修理部品	材 質	使 用 箇 所
リップゴム	ゴム	フラップバルブの水溜め部のパッキン
フラップディスク	プラスチック	フラップバルブの水溜め部の弁
バルブシートパッキン	ゴム	ロータンクバルブのパッキン
スピンドルパッキン	ゴム	ホルタップのパッキン

※保証期間経過後、および注意事項をお守りいただいただけなかった場合の修理は有料となります。

- 部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

水洗便器としての注意事項(本水洗に切り替えた場合)

FZ500・FZ400・FZ50T・FZ40Tは別売の本水洗切替部品セットAPH-Z71を使用することで水洗便器に改造できます。

節水のためにロータンク内にベントボルトやピンなどの異物を入れないでください。

内部金具に干渉して故障の原因となります。また、洗浄水量不足により、便器詰まり・汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ家財を濡らす原因となります。

便器に新聞紙・紙おむつ・ティッシュペーパー・生理用品等を流さないでください。必ずトイレトベーパーをご使用ください。

便器詰まり・汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ家財を濡らす原因となります。

トイレトベーパーの使いすぎにご注意ください。

大量のトイレトベーパーを一度に流すと詰まる場合があります。特に、ダブルのトイレトベーパーを使用し詰まる場合があります。その場合、シングルトイレトベーパーをお勧めします。また、その時はトイレトベーパーの使用量を少なくしてください。

便器が詰まった場合、市販の吸引器(ラバーカップ)を使って取り除いてください。また、詰まったままレバー操作して洗浄水を流さないでください。

便器が詰まったまま洗浄水を流すと、便器から汚水があふれ家財を濡らします。

凍結のおそれがある場合、室内暖房、水抜きなどを行ってください。

トラップが凍結割れすると家財を濡らす原因となります。また、トラップ内が部分的に凍結した場合、便器が詰まり便器からあふれ家財を濡らす原因となります。

便槽についての注意事項

△警告 マンホールのフタは、必ず閉めてください。
また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。
転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。

△注意 通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。車などごがかる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。
便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。

便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗剤等を投入しないでください。
便槽に変形、亀裂が発生して漏水して漏水の原因となります。

注意

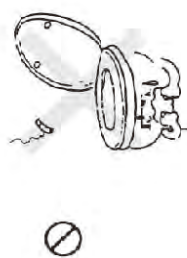
 **警告** 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。

 **注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。

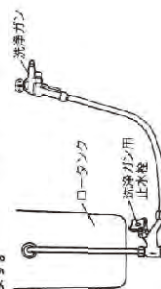
 してはいけません
(一般的な禁止記号)

 「指示通りにしなさい」
(一般的な行動指示記号)

便器の中にタバコの吸ガラを捨てないでください。



洗浄ガン使用後は、必ず元栓（洗浄ガン用止水栓）を閉めてください。



レバーハンドルは、手で静かに操作してください。
レバーハンドルに無理な力を加えたり、衝撃を与えたり、足で操作したりするとケガや故障の原因になりますので、手で静かに操作してください。



また、レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

更フタや便座、ロータンクを背もたれや踏台として使ったり、衝撃を加えないでください。ロータ更フタや便座が割れてケガの原因となります。ロータ更フタや便座から漏水して家財を濡らす原因となります。



手洗栓の金具を持って無理に動かさないでください。

手洗栓の根元が折れ、漏水の原因となります。



また、レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

市販の洗剤、薬品で便座やプラスチック製のロータンクなどのプラスチック部品が割れることがあります。

熟成や酸欠の双方がそろって初めて発生します。熟成や酸欠だけでは不足しません。また、ぬかのかわり方やプラスチックの袋質によって割れに至るまでの時間や箇所が異なります。すなわち、発力の多少や因事によって厚い層に割れや酸欠が起きるのです。こうした割れの要因は、市販の漬物に置いて異様に深刻な問題が潜んでいるのです。

掃除には、中性洗剤以外使用しないでください。



トイレ用または食器用の中性洗剤。次の様々な洗剤、薬品はプラスチック製品に使用して便所や便槽の取除の原因に絶対に対使用しないでください。

- ・酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤
- ・塩酸、クレンザー、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類
- ・ワジ殺し、殺虫剤、その他薬品

変器やロータックはど陶器にヒドが



入ったり、割れた場合、絶対に触らないでください。は損傷でケガをすることがありますので、早めに交換してください。

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず最初の位置



に戻してください。

長期間使用しないときは、止水栓



を閉めて、水抜きをして
ください。

お願いしたい。

一タンク内に物やゴミを入れないでください。
 手洗器で雑巾等を洗ったり、泥まみれの手を
 洗わないでください。



男湯は流し便所、浴衣取り式です。便槽の音が
をお知らせの上、浴衣を取ってください。
月立っているほど便所と浴室の取っ手を兼ねたものが
あります。

幼児、老人、身体のご不便な方が使用する
ときは、周りの方が常に注意を払ってあげてく
ださい。

「これさへ下はなすれば財藏に中の財便
に工口やはばるゝとの財藏三邊の財は、
世に下はなすゝて下はなすゝて下はなすゝて」

[illegible]

（一）たゞし、概然性に入らざるもの

紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。



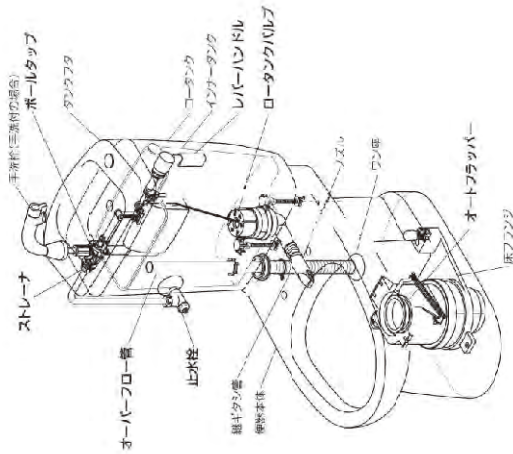
本水洗切管をいれるときは、本水洗切管部品
セットの説明書をよく読んで行ってください。
事故や故障して傷めた場合、費用を請求する原因になります。

断水時等一口タンクにバケツ等で直接水を入

るとき、ロータンク（外タンク）とインタンク（内タンク）の間に入れないようにして下さい。

※ 液に水着れます。

各部の名称とその役目



オートフラッシャー	汚物の排出時、オモリによるバラン スで展開します。	オートフラッシャー管	ボールタップが故障し、水が止ま らなくなったとき、ここから屋外 に排出する役目とオーバーフロー 管を引込抜くことによりロータン クの水を抜く役目をします。
ロータンクバルブ	レバーハンドルを操作すると、バ ルブが開いて便器に水を流す役目 をします。	止水栓	便器の元栓の役目と水栓を調整す る役目をします。 ロータンクへの水を止めることは この止水栓を開めてください。
レバーハンドル	ロータンクバルブを開閉する役目を します。		
ボールタップ	ロータンクに水を調める役目をし ます。一定の高さまで水が満ちる と汚水の浮力でボールタップの弁 を閉じ水を止めます。		
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除いて ボールタップやロータンクに水を 送る役目をします。		

ご使用方法

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初に使用されるときは、次のことを確認してください。
●止水栓が開いているか。

2 便器の使い方

必要以上に水を使わないでください。
便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から洗浄水等
を捨てるとその分込み取りが増えますので、ご注意ください。

■大便の場合

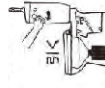
便フタを上げてください。



便座に座ってご使用ください。



使用後、レバーハンドルを1～2秒間引いてください。
水が流れてきます。

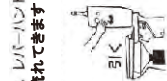


洗浄

■女子小便の場合

便フタを上げてください。

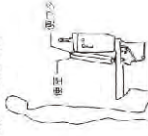
使用後、レバーハンドルを1～2秒間引いてください。
水が流れてきます。



洗浄

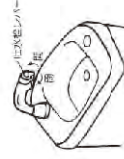
■男子小便の場合

便フタ・便座を両方上げて使用してください。
使用後、レバーハンドルを1～2秒間引いてください。
水が流れてきます。



3 手洗の使い方

手洗の水は自動的に出て止まりませんので、吐水性レバーを
閉閉してご使用ください。



4 ご使用後に

△注意 レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

① 満期便座や温水洗浄便座付の場合は、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

お手入れのしかた

1 フラップバルブのお手入れ

フラップバルブは専用ブラシと中性洗剤で週1〜2回程度、また、リップゴムの先端もよく磨き捨ててください。汚れていると、水が漏まらなくなります。



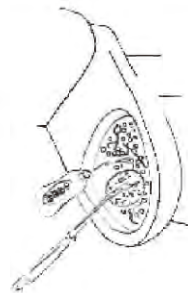
オプション



APH-527
CFお掃除ブラシ

2 便器のお手入れ

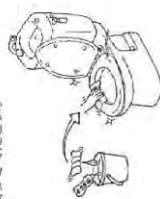
中性洗剤を使って掃除してください。



○レバーハンドルを押し、便器に水を溜めて掃除すると大変便利です。

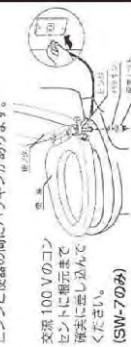
3 便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。
汚れのひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ、回く絞ってから拭いてください。そのあと必ず回く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤の残を取り除いてください。



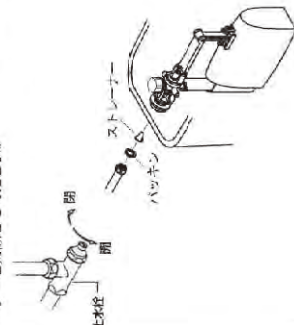
便座の外し方、取り付け方

便座の便器取付穴に便座のヒンジのねじ部分を差し込み、便座をスライドさせて便器に合わせ、下からバッキンを入れ、便座ナットを締め付けてください。
ヒンジと便器の間にバッキンがあります。



4 ストレナーの掃除

器内にゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。ストレーナーが詰まるとロータンクへの給水状態が悪くなりますので、ロータンクへの給水が少ないときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

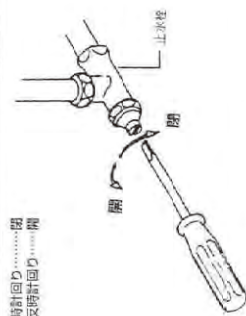
まず、故障・異常に気付いたらすぐに止水栓を開めてください。

現象	原因	処置方法
便器に水がはいり、またはロータンクに水が漏まらない	① 漏れている。 止水栓が閉まっています。 ストレーナーが目詰まりしている。	ロータンクのフタを開けて水が漏まっているかを確認してください。 止水栓を開いてください。(7頁参照) ストレーナーを掃除してください。(5頁参照)
便器への水が止まらない	① ロータンクバルブのバッキンがバッキンのゴミよりまわりまわっている。	① すぐに、止水栓を開めてください。 ② 4〜5回の開け閉めを繰り返して、様子を見てください。 ③ ②を繰り返しても、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ④ ③を繰り返しても、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ⑤ ロータンクバルブの点検、部品交換。(8頁参照)
ロータンクの水が止まらないうち、またはボールタップからの水が止まらないうち	① ロータンクバルブのバッキンがバッキンのゴミよりまわりまわっている。	① すぐに、止水栓を開めてください。 ② 4〜5回の開け閉めを繰り返して、様子を見てください。 ③ ②を繰り返しても、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ④ ③を繰り返しても、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ⑤ ロータンクバルブの点検、部品交換。(8頁参照)
床に水漏れしている。	① 小便が飛び散っている。	① すぐに、止水栓を開めてください。 ② ①を確認して、小便が飛び散っているかを確認してください。 ③ ②を確認しても、小便が飛び散っているかを確認してください。 ④ ③を確認しても、小便が飛び散っているかを確認してください。 ⑤ ロータンクバルブの点検、部品交換。(8頁参照)
フラップバルブを閉いても、汚物を排出しない。	① 便器が一杯になっている。 便器と便座の間の設置がずれている。	① 便器のシンボルをあげて確認し、汲取り業者に依頼してください。 ② 市販のハイブリッドクリーナーやトイレ洗浄剤等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。
便器の水が止まらないうち、またはボールタップからの水が止まらないうち	① 便器の水が止まらないうち、またはボールタップからの水が止まらないうち。	① すぐに、止水栓を開めてください。 ② ①を確認して、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ③ ②を確認しても、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ④ ③を確認しても、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ⑤ ロータンクバルブの点検、部品交換。(8頁参照)

○上記処置で直らない場合は、止水栓を開けたままにしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。アフターサービスに修理を依頼される場合は、11頁をお読みください。
○処置や修理が終わるまでの間は、止水栓を開けたままにして、ご使用をひかえてください。
やむを得ず使用する場合は、バケツ等で便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

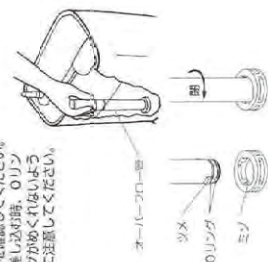
止水栓の開閉方法



時計回り……開
反時計回り……閉

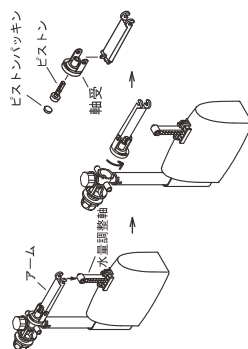
ロータングの水抜き

- ① 止水栓を開めてください。
- ② 手洗便付の場合は、フタをすらしってください。
- ③ ロータングのフタを回してください。
- ④ オーバーフロー管を回し、引き抜いてください。水の壁外に排出されます。
- ⑤ オーバーフロー管の取付は、ツメの位置を合せて差し込み、回してください。そのまま上に持ち上げて外れないことを確認してください。



ポータルタップの部品交換

- ① 止水栓を開めてください。
- ② 手洗便付の場合は、手洗栓を外してください。
- ③ ロータングの水を抜いてください。
- ④ ロータングの水を少し抜いてください。
- ⑤ アームと水量調整軸を外してください。
- ⑥ 軸受を反時計回りに90度回転して抜いてください。
- ⑦ ピストンパッキンの交換の場合は、このままで交換してください。

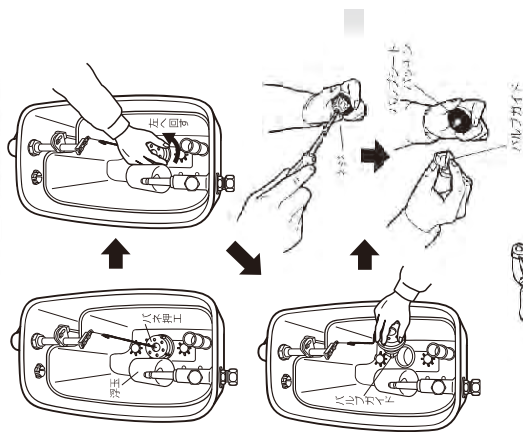


部品の点検、交換のしかた

ロータングバルブの点検、部品交換

- ① 止水栓を開めてください。(7頁参照)
- ② ロータングのフタをあけてください。
- ③ ロータングの水抜きをしてください。(7頁参照)
- ④ ハネ押工を反時計回りに回し持ち上げて外してください。その際、ポータルタップの浮玉が腐食の場合は、浮玉を外してから行ってください。
- ⑤ クサリを持って引き上げてください。
- ⑥ ナットライバーでネジを外して、バルブガイドを外してください。
- ⑦ バルブガイドに腐やいたみ、ゴミがみがないかを点検してください。腐返し、腐返しにして使用し、腐やいたみがある場合は、腐返しにして使用してください。
- ⑧ いんべいしている場合は、部品交換してください。

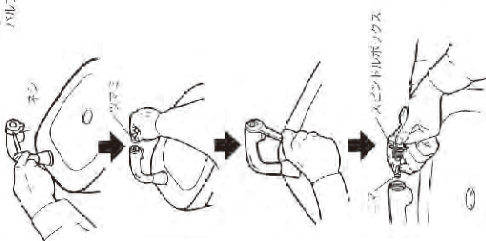
組立は、逆の手順で行ってください。



手洗栓 コマの交換

- ① 止水栓を開めてください。(7頁参照)
- ② ツマミを開いた水を抜いてください。
- ③ キャップを外し、ナットライバーでネジを外して、止水栓レバーを外してください。
- ④ 自在スリでスピンドルボックスを回して外してください。
- ⑤ コマを取り出してください。
- ⑥ 腐やいたみ、ゴミがみがないかを点検してください。
- ⑦ ゴミがみがある場合は、ゴミを取り除いてください。
- ⑧ 腐やいたみがある場合は、市販のコマと交換してください。

組立は、逆の手順で行ってください。



△注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

- △注意** トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。

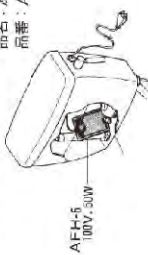
2 ロータンクの水抜き

7頁の「ロータンクの水抜き」を参照して、ロータンクの水を抜いてください。
また、便器内に溜まっている水もレバーハンドルを操作して排出してください。

3 凍結防止ヒーターの利用

○別添凍結防止ヒーターをご利用いただき、ロータンク内に入れて凍結防止してください。

品名：凍結防止ヒーター
品番：AFH-5



①説明書をよく読んでご使用ください。
・ヒーター部をロータンクの水に浸して、そこから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
・使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
・ロータンク内の水が凍まり、タンク内の水が凍結することがあります。

○給水管や手洗盆には、市販の水電線凍結防止ヒーター(テープヒーター)を巻いてご使用ください。

☆凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

○便器、ロータンクが凍結した場合………40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると部品が破損したり、プラスチックが
変形、変形しますので、ご注意ください。

○給水管、手洗盆等が凍結した場合………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき

- △注意** 旅行など長期間不在のときや長期間使用しないときは、次のことを行ってください。
行わないと、不在中に漏水等が起きた場合、水浸しになり財物を濡らす原因となります。

- ①止水栓を閉めてください。(7頁参照)
②ロータンクの水抜きをしてみてください。(7頁参照)
③ロータンクの水抜きを元に戻してください。(7頁参照)
④止水栓を開いてください。(7頁参照)
⑤ロータンクの中に水が溜まったことを確認してください。
⑥便器、手洗盆、水を洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

外観寸法	FA-5 FA-5T	FA-4 FA-4T	FA-3
重量	約40kg	約38kg	約24kg
便器本体	陶器		
ロータンク	陶器		
便座	PP樹脂		PP樹脂
洗浄水量	約350cc		
ロータンク容量	約100		約70

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

主な取替、修理部品	材質	使用箇所
フラップ・ディस्क	プラスチック	フラップ・バルブ
バルブ・シート・バックシン	ゴム	ロータンク・バルブのバックシン
スピンドル・バックシン	ゴム	ボールタップのバックシン

■部品の使用期間
補修用性能部品の最低使用期間は、製造打ち切り後6年です。
最低使用期間経過後については、当社までご相談ください。
※保証期間経過後、および注意事項をお守りいただかなかった場合の修理は有料となります。

水洗便器としての注意事項(本水洗に切り替えた場合)

FA-5 FA-4 は別売の本水洗切替部品セットAPHZ71を使用することで水洗便器に改造できます。
節水のためにロータンク内にベットのポットやビンなどの異物を入れないでください。
内部金具に干渉して故障の原因となります。また、洗浄水量不足により、便器詰まり・汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ、家財を濡らす原因となります。
便器に新聞紙・紙おむつ・ティッシュペーパー・生体用品等を流さないでください。必ずトイレトベ
ハーをご使用ください。
便器詰まり・汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ、家財を濡らす原因となります。
便器が詰まった場合、市販の吸引器(ラバーカップ)を使って取り除いてください。また、詰まった
まましバー操作して洗浄水を流さないでください。

便槽についての注意事項

△警告	マンホールのフタは、必ず閉めてください。 また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。 転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。
△注意	通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。車など どかの場合は、特殊工事が必要になりますので専門の工事業者にご相談ください。 便槽に圧力がかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。 便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗浄剤等を投入しないでください。 便槽に變形、亀裂が発生して漏水して漏水の原因となります。

簡易水洗便器 F8-DG 取扱説明書

電磁バルブ式・洗浄ガン付

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。
ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- △ 警告** 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。
- △ 注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
- 「してはいけません」
(一般的な禁止記号)
- 「指示通りにしないで」
(一般的な行動指示記号)
- 「風呂、シャワーなどの水場
で使用してはいけません」

△ 警告

便器の中にタバコの吸ガスを捨てないでください。
火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチックの変形の原因となります。

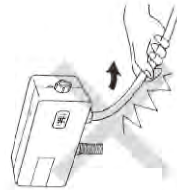


△ 注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓（洗浄ガン用止水栓）を開めてください。
洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。



洗浄ガンのホースを無理に引っばったり、ねじったり、曲げたり、傷つけたらしないでください。



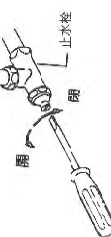
掃除には、中性洗剤以外使用しないでください。
トイレ用または食器用の中性洗剤を使用してください。
次の様な洗剤、薬品はプラスチック・ゴム部品が変形・変質して便器や便槽の故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
・酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤
・塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類
・ワジ殺し、殺虫剤、その他薬品



△ 注意

長期間使用しないときは、止水栓を開めて、水を抜きをしてください。

漏水したとき、家財を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「長期使用しないとき」を参照してください。



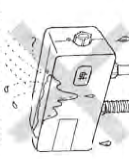
凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。

凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「凍結のおそれのあるとき」を参照してください。

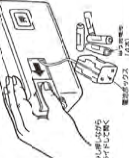


このようなこともご注意ください。

電磁バルブに水をかけないでください。
浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じると、浴室の通気の多い場所では使用しないでください。
また、乾電池が水に濡れると液漏れの原因になります。



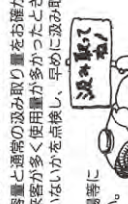
長年使用して水が出なくなったら、電磁バルブのアルカリ乾電池を交換してください。
電磁バルブは、アルカリ乾電池で動作します。乾電池が消耗したら水が出なくなりますので8頁を参照して交換してください。



電磁バルブの押しボタンは、軽く押して操作してください。
無理に強く押すと、故障の原因となります。



簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量をお確かめの上、汲み取ってください。
使用している便槽の容量と通常の汲み取り量をお確かめの上、正月やお祭など来客が多く使用量が多かったときは、便槽が一杯になっていないかを点検し、早めに汲み取ってください。



また、押しボタン操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。



紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。

ティッシュペーパーや回し紙（新聞紙、雑誌等）等は水に溶けにくいので、排水管が詰まる原因となりますので使用しないでください。また、生理用品等も便器へ捨てないでください。



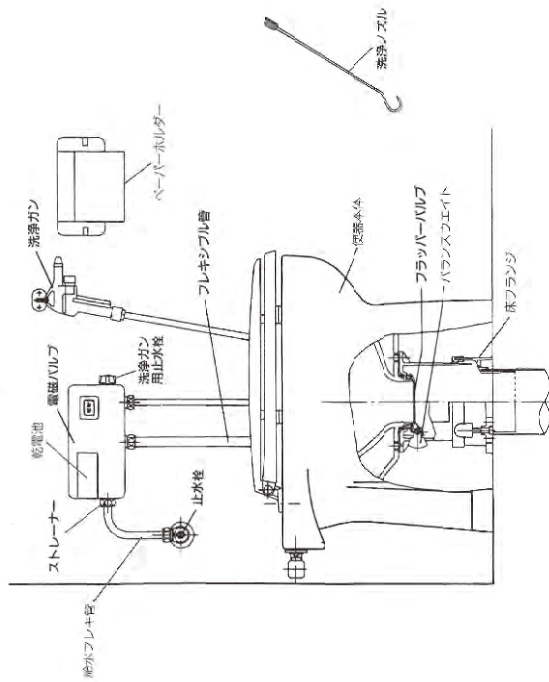
この便器には、使用水道圧があります。
使用水道圧範囲：1.5～7.0kgf/cm²

水道圧0.4～1.5kgf/cm²でも使用できますが、便器の洗浄力が多少弱くなります。特に家庭用ポンプを使用されている、ポンプから便器までの距離が遠かったり、他の配管を開いたりした場合に水道圧が低くなります。そのときは、洗浄ガンを使用してください。また、水道圧7.0kgf/cm²以上では器具の破損や故障の原因となります。

幼児、老人、身体のご不自由な方が使用すると、そば、周りの方が常に注意をしてあげてください。

便器の中に熱湯をかけないでください。
プラスチックやゴムが変形して故障の原因となります。

各部の名称とその役割



フラップバルブ	汚物の排出弁と便槽からの臭気を遮断する役目をします。フラップバルブは、オモリのバランサーで開閉します。	洗淨ガン用止水栓	洗淨ガンの元栓の役目をします。時計回り：開、反時計回り：閉。洗淨ガン使用後は必ず閉めてください。
電磁バルブ	押しボタンを押すと、電磁弁が開いて洗淨水が流す役目をします。また、これは基板を内蔵していて乾電池で作動します。	止水栓	便器の元栓の役目と水勢を調整する役目をします。水を止めるときは、この止水栓を開けてください。
洗淨ガン	洗淨水だけでは流れにくい汚物やトイレットペーパーをこれで流す役目と掃除の時、洗淨ノズルを取り付けて使用する役目をします。	乾電池	基板で制御して電磁弁を作動させる役目をします。単3アルカリ乾電池×4本を使用しています。
洗淨ノズル	洗淨ガンの先端に取り付けてフラップバルブの裏等を掃除する役目をします。	フレキシブル管	電磁バルブから出た水はここを通って便器に流れます。
ストレーナー	水溜り内のゴミや砂を取り除いて電磁バルブに水を送る役目をします。		

ご使用方法

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初に「ご使用される」ときは、「止水栓が開いている」ことを確認してください。

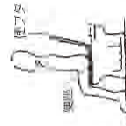
2 便器の使い方

必要以上に水を使わないでください。
便器から排出された洗淨水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗淨水を使ったり、便器から雑排水等を流すとその分ゴミ取り料が増えますので、ご注意ください。

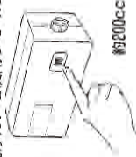
3 洗淨ガンの使い方

■大便・女子小便の場合

①便フタを上げ、便座に座って使用してください。



②使用後、電磁バルブの押しボタンを軽く押してください。洗淨水が流れてきます。洗淨水だけでは汚物やトイレットペーパーが流れないときは、洗淨ガンを使用してください。



■男子小便の場合

①便フタ・便座を両方上げて使用してください。

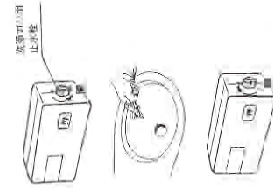


②使用後、電磁バルブの押しボタンを軽く押してください。洗淨水が流れてきます。



4 ご使用後に

- ①洗淨ガン用止水栓を反時計回りに回して開けてください。
- ②洗淨ガンを持ってください。
- ③洗淨面をめかけ、押しボタンを押して洗淨してください。
- ④洗淨ガン使用後は、必ず洗淨ガン用止水栓を開めてください。
- ⑤洗淨ガンを一度立ち上げて水を抜いた後、元に戻してください。



5 ご使用後に

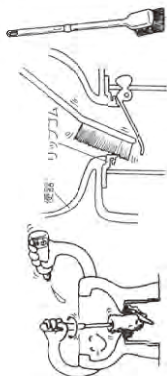
△注意 押しボタン操作後、洗淨水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

①暖房便座や温水洗淨便座付の場合は、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

お手入れのしかた

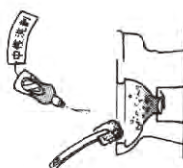
1 フラッパーバルブのお手入れ

特に、フラッパーバルブの弁とゴム部分は、汚物が付着しやすいため、市販のトイレ用ブラシ（ナイロン製毛ブラシ）で、1週間に1～2回程度は掃除をしてください。



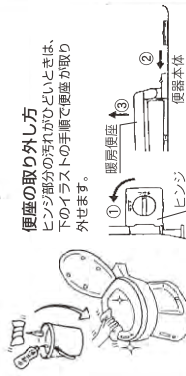
2 便器のお手入れ

中性洗剤を使ってスポンジが柔らかい布で掃除してください。



3 便座のお手入れ

柔らかい布で拭きしてください。汚れのひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で拭き拭きして洗剤を拭き取ってください。



4 電磁バルブのお手入れ

柔らかい布で拭きしてください。汚れのひどいときは、柔らかい布を100倍程度に薄めた中性洗剤につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で拭き拭きして洗剤を拭き取ってください。



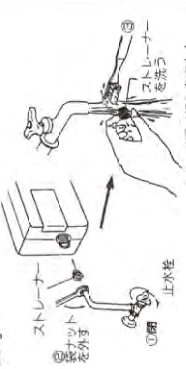
5 金具のお手入れ

金具はステンレスやメッキをしています、放っておくとサビが生じます。柔らかい布で拭いてください。



6 ストレナーの掃除

電磁バルブにゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。電磁バルブの押しボタンを押しても洗浄水の出が悪いときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



お手入れのしかた

7 洗浄ガン、洗浄ノズルでのお手入れ

フラッパーの裏面や回転部分に汚物が付着すると、フラッパーのパランスがずれたり、フラッパーの開き放しや開かなくなる原因となります。洗浄ガンと洗浄ノズルを使って週に1～2回程度掃除してください。

① 洗浄ノズルを洗浄ガンの先端にねじ込んでください。



② 洗浄ガン止水栓を反時計回りに回して開いてください。



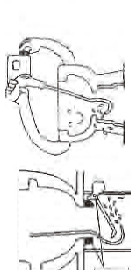
③ 洗浄ノズルの先端でフラッパーを半分程度開いてください。



④ フラッパーの裏面や根元、リップゴムの裏をきれいに洗浄してください。



⑤ 掃除が終わったら、洗浄ガン止水栓を開めてから洗浄ノズルを外し、洗浄ガンを一度空打ちして水を抜いて元に戻してください。

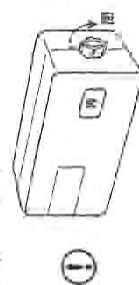


(注意)

洗浄ガンのボタンを押すとノズルの先端から水が出ますので、水がかからないように注意してください。

△注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓(洗浄ガン止水栓)を開めてください。洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。



故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障・異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

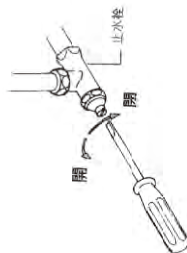
現象	原因	処置方法
便器に水が出ない。	断水している。	近くの蛇口の水を確認してください。
	止水栓が閉まっている。	止水栓を開いてください。(8頁参照)
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。(5頁参照)
	乾電池が切れている。	単3アルカリ乾電池を交換してください。(8頁参照)
	電磁バルブ内の配線が接続されていません。	配線を接続してください。(8頁参照)
便器への水が止まらないうえ、便器へ水が溢れ出ている。	乾電池が1～2個向きに付いている。	①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②8頁を参照して正しく乾電池を取り付けてください。
床に水漏れしている。	小便が飛び散っている。	床を乾いた雑巾等で拭き取り、小便がどろろかを確認してください。
フラットバーバルブを開いて湯・汚物を排出しない。	便器が一杯になっている。	便器のマンホールを空けて確認し、取りの業者依頼してください。
	便器と便器の間の配管詰まり。	市販のパイプブリーダー・サトイシ洗浄機等で詰まりを取り除くが、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。(5頁参照)
フラットバーが閉まらなくなっている。	フラットバーの裏面や回転部分にゴミが付着している。	洗浄ガンと洗浄ノズルで掃除をしてください。(5頁参照)
	重量の大きい排気扇(臭気ファン)を取り付けている。	排気扇の電源プラグをコンセントから抜いて使用しないが、または、排気扇を重量700g以下(当社標準)のものに取り替えてください。
フラットバーが開かない。	フラットバーの裏面や回転部分にゴミが付着している。	洗浄ガンと洗浄ノズルで掃除をしてください。(5頁参照)
洗浄した後に大きな音がする。	ウォーターハンマー	便器の洗浄に影響のない程度に止水栓を絞ってください。 (1)まず、止水栓を完全に閉めてください。 ②次に、止水栓を1回転ずつ開いて電磁バルブの押しボタンを押し、便器の洗浄を確認しながら調整してください。 または、別途ウォーターハンマー防止器(設備-A PH-23)をご利用ください。

- 上記処置で直らない場合は、止水栓を開けたままにしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。アフターサービスに修理を依頼される場合は、11頁をお読みください。
- 処置や修理が終わるまでの間は、止水栓を開けたままにして、ご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、バケツ等で便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

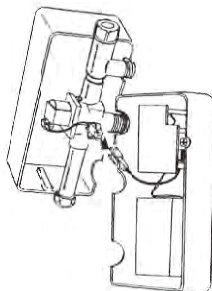
止水栓の開閉方法

時計回り……………開
反時計回り……………閉



電磁バルブ内の配線の接続

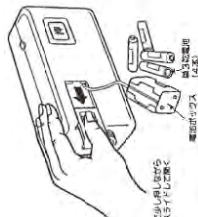
電磁バルブ内の基板と電磁弁の配線を接続します。接続しないと、押しボタンを押しても水が出ません。



乾電池の交換

- 付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしていますので、確認してください。
- ①左にスライドして電池フタを開けてください。
 - ②電池ボックスを手前に引き出してください。
 - ③単3アルカリ乾電池が4本とも(+)と(−)が間違っていないかを確認してください。

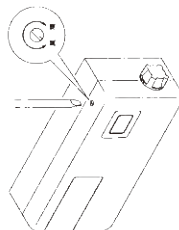
(注意)
・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池を混ぜて使用しないでください。
・乾電池の(+)と(−)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、はれつする恐れがあります。
また、便器への水が放出しなくなることがあります。



洗浄水量の調節

電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り……………増
反時計回り……………減



(注意)
ドライバーで強く押し込み、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。

⚠注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

△注意 トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。

2 電磁バルブの水抜き

電磁バルブの水抜きを次の手順で行ってください。

- ①止水栓を閉めてください。
- ②電磁バルブの押しボタンを2～3回押しして水抜きしてください。
- ③洗浄ガンのボタンを2～3回押しして水抜きしてください。

3 凍結防止ヒーターの利用

給水管等は、市販の水凍結防止ヒーター(テープヒーター)を巻きつけてご使用ください。

☆凍結した場合

- まず、トイレ室内を暖めてください。
- 便器が凍結した場合……………40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると便器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので、ご注意ください。
 - 電磁バルブが凍結した場合……………トイレ室内を暖めて解凍してください。
 - 洗浄ガンが凍結した場合……………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。
 - 給水管が凍結した場合……………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき

△注意 旅行など長期間不在のときや長期間使用しないときは、次のことを行ってください。
行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ①止水栓を閉めてください。(8頁参照)
 - ②電磁バルブの押しボタンを押しして水抜きをしてください。
 - ③洗浄ガンのボタンを押しして水抜きをしてください。
 - ④洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
- 再び使用する場合
- ①止水栓を開いてください。(8頁参照)

 暖房便座、温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

外 観 寸 法	幅：355 ^{mm} 、奥行：520 ^{mm} 、高さ：425 ^{mm}
重 量	約24kg
材 質	便器本体：陶器 便座：ABS樹脂 電磁バルブ：ABS樹脂、青銅銅物、他
洗 浄 水 量	約200cc～300cc
水 量 調 整	水量調整ねじ付 0.5～5秒タイマー調整
使用 水 通 圧	1.5～7.0kgf/cm ²
電 源	単3アルカリ乾電池×4本

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。
単3アルカリ乾電池×4本 …… 乾電池は1年を目安に交換してください。(8頁参照)

※保証期間経過後、および注意事項をお守りいただけなかった場合の修理は有料となります。

■部品の保有期間

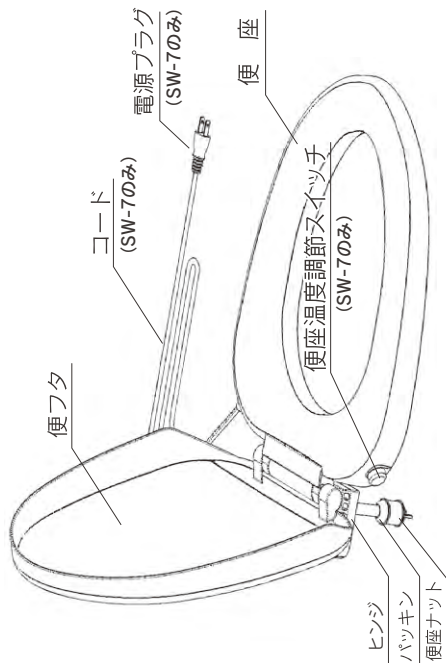
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

便槽についての注意事項

△警告	マンホールのフタは、必ず閉めてください。 また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。 転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせてください。
△注意	通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。 車などがのる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。 便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。 便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗剤、芳香剤等を投入しないでください。 便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

2

各部の名称

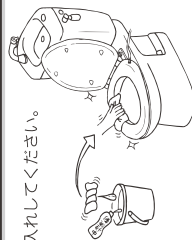


お手入れのしかた

最初に、必ずスイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてお手入れしてください。

便座、便フタのお手入れ

固く絞った柔らかい布で水拭きしてください。
 汚れのひどいときは、柔らかい布を100倍程度に薄めた食器用中性洗剤につけ、堅く絞ってから拭いてください。
 そのあと必ず堅く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



故障・異常の見分け方と処置方法 (SW-7のみ)

まず、故障・異常に気付いたら次の事をお確かめのうえすぐに電源を「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

現象	原因	処置方法
便座が暖まらない。	電源プラグが差し込まれていない。	電源プラグを差し込む。
	スイッチが「切」になっている。	スイッチを入れる。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーを入れる。
	停電している。	他の電気器具で確認する。

！こんな時は特に注意

- 便座が破損(割れ等)しているとき
- コードや電源プラグが腐んでいるとき
- ショートして焦げた跡があるとき
- 便座が異常に熱いとき
- 便座が暖まらないとき

⚠警告

上記処置でも直らない場合やこれ以外の故障・異常のときは、スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いて、直ちにお買い上げ店または当社アフターサービスまで修理を依頼してください。そのまま使用すると感電やけかの原因となります。

長期使用しないとき (SW-7のみ)

⚠注意

旅行など長期間不在のときや長期間使用しないときはスイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 予期せぬ事故が起きた場合、火災の原因となります。

仕様 (SW-7のみ)

定格	交流100V-50W 50Hz/60Hz	本体材質	PP樹脂
表面温度	調整範囲 切・約25℃～45℃	周囲使用温度	0℃～40℃
安全装置	温度ヒューズ76℃ 断線保護機能	寸法 (mm)	幅388×奥行515×高さ65
電源コード長さ	1m	重量	2kg

ストールル小便秘器 GT-5 (中型)・3 (小型)・2 (幼児用) 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげておきます。使用前に、この説明書をよくお読みください。

小便槽の中にタビの吸付物をつけないでください。
小便槽が詰まって汚水があふれ床を濡らしたり、小便秘器の破損やゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。

構造は中性洗剤以外使用しないでください。
構造は、アルカリ性洗剤、漂白剤、塩酸、シンナー、ベンジン、シンナー、油、うがい剤、殺菌剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

長期間使用しないときは、止水栓を閉めてください。
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。
凍結による破損や漏水し、家財を濡らす原因となります。

電磁バルブ式の場合、押しボタンは強く押してください。
また、操作後、汚水が止まることを確認してください。

電磁バルブ式とセンサー式の場合、バルブに水をかけないでください。
バルブが故障したり乾電池が液漏れする恐れがあります。

センサー式の場合、センサー部にタビを押し付けたり、汚したキズ付けたりしないでください。
誤動作して水が放出しになります。

簡易水洗として使用する場合は、便槽の容量を超過の上、汲み取ってください。
使用回数が多くなり、便槽が一掃にならないで汚い水を点検し、早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。

所定の使用水道圧範囲内でご使用ください。
器具の故障や水の放出の原因となります。

ご使用方法

フラッシュバルブ式

水量調整
水量調節
反時計回り増
止水栓
止水栓を水の勢いを調整してください。
特に汚水が小便秘器から外に飛び出すときは出ないように調整してください。

押しボタンを押すと、約1～2秒止水します。

【注意】
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、汚水がなくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

電磁バルブ式

水量調整
水量調節
反時計回り増
止水栓
止水栓を水の勢いを調整してください。
特に汚水が小便秘器から外に飛び出すときは出ないように調整してください。

押しボタンを押すと、約1～2秒止水します。

【注意】
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、汚水がなくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

センサー式

水量調整
水量調節
反時計回り増
止水栓
止水栓を水の勢いを調整してください。
特に汚水が小便秘器から外に飛び出すときは出ないように調整してください。

押しボタンを押すと、約1～2秒止水します。

【注意】
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、汚水がなくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

各部の名称とその役目

水栓金具
フラッシュバルブ式、電磁バルブ式、センサー（自動）式、カラン式があります。

ノズル
汚水を排水します。

目皿
目皿と封水して臭気を防ぎます。

トラップ
封水して臭気を防ぎます。
取替え可能です。

小便器本体
床フランジ

お手入れ

便槽のお手入れ
中性洗剤を使って掃除してください。

金具のお手入れ
金具は、放っておくとサビたり汚れたりします。柔らかい布で拭いてください。金具の表面をキズつけるものは使用しないでください。

プラスチックのお手入れ
電磁バルブ式やセンサー式、自動水栓などのプラスチック部のお手入れには、柔らかい布で拭いてください。中性洗剤で拭き、その後よく拭き取ってください。

センサーのお手入れ
センサーは、柔らかい布で乾拭きしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	止水栓が閉まっている ホタンを連続して押している ストレーナーの掃除 乾電池切れ（電磁バルブ・センサー式の場合） センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続していない（電磁バルブ・センサー式の場合） センサー式の場合は、早く立ち去っている。	止水栓を開く 5秒以上間隔を空けて押すようにする ストレーナーの掃除 乾電池が切れると、電磁バルブ式はLEDランプ点滅、センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続 センサーの前に7秒以上立ってください。
水が止まらない	水圧が低い（フラッシュバルブ式の場合） 小穴詰り 乾電池が＋－逆についている（電磁バルブ式の場合） バルブのバネのゴミ詰り 排水トラップの詰り、汚れ	0.04MPa以下の場合、カラン式にしてください。 分解掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 正しく乾電池を取り付ける 分解掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 目皿とトラップの交換
汚水を排水しない 臭気かする	小便の飛び散り 水響作用（ウォーターハンマー） 洗浄後に大きな音がする	床を拭いて小便かどうかの確認 洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る 水道配管の固定が少ないと発生しやすいため点検する

1

システムバス

F R O P 浴槽

水処理システム

簡易水洗トイレ

便槽

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	止水栓が閉まっている ホタンを連続して押している ストレーナーの掃除 乾電池切れ（電磁バルブ・センサー式の場合） センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続していない（電磁バルブ・センサー式の場合） センサー式の場合は、早く立ち去っている。	止水栓を開く 5秒以上間隔を空けて押すようにする ストレーナーの掃除 乾電池が切れると、電磁バルブ式はLEDランプ点滅、センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続 センサーの前に7秒以上立ってください。
水が止まらない	水圧が低い（フラッシュバルブ式の場合） 小穴詰り 乾電池が＋－逆についている（電磁バルブ式の場合） バルブのバネのゴミ詰り 排水トラップの詰り、汚れ	0.04MPa以下の場合、カラン式にしてください。 分解掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 正しく乾電池を取り付ける 分解掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 目皿とトラップの交換
汚水を排水しない 臭気かする	小便の飛び散り 水響作用（ウォーターハンマー） 洗浄後に大きな音がする	床を拭いて小便かどうかの確認 洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る 水道配管の固定が少ないと発生しやすいため点検する

部品の点検、交換のしかた

乾電池の交換方法 電磁バルブ式
左右のネジを外してバルブケースを開き、新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

乾電池の交換方法 センサー式
（＋）ドラバでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出して、新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

【注意】
乾電池を交換する際は、乾電池の向きを間違えないでください。
乾電池の（＋）（－）を間違えて正しく入れないで、間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり故障する恐れがあります。
マンガン乾電池でも使用できますが、寿命が短くなりますので、交換の目安は1～2年。

仕様

品名	ストールル小便秘器/中型	ストールル小便秘器/小型	ストール小便秘器/幼児用
品番	GT-5FJ	GT-5DS	GT-2SS
水栓のタイプ	GT-5DS	GT-5SS	GT-3SS
本体の材質	プラスチック	プラスチック	プラスチック
本体の大きさ	幅380×奥行380×高さ920	幅380×奥行380×高さ920	幅380×奥行380×高さ920
排水構造	トラップ付	トラップ付	トラップ付
電源	単3アルカリ乾電池	単3アルカリ乾電池	単3アルカリ乾電池

2

和風簡易水洗便器 JZ J8-DG 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。
ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明	
△ 警告	守らないと、火災や重傷を負うことがあります。
△ 注意	守らないと、ケガをしたり、破損したり、故障の原因になります。
⊘	「してはいけません」(一般的な禁止記号)
ⓘ	「指示通りにしないでください」(一般的な行動指示記号)

△ 警告	便器の中にタバコの吸殻を捨てないでください。 火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチックの変形の原因となります。
⊘	

△ 注意	
洗浄ガン使用後は、必ず元栓(洗浄ガン用止水栓)を開めてください。 洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。 ⓘ	洗浄ガンに垂ったり、つかまったりしないでください。 接続部から漏水した場合、家財を濡らす原因となります。(JZ) ⊘
ハンドルは、手で静かに操作してください。 ハンドルに無理な力を加えたり、衝撃を与えたり、足を操作したりするとケガや故障の原因になりますので、手で静かに操作してください。 ⓘ また、レバー・ハンドルの操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。	手洗管の金具を持って無理に動かさないでください。 手洗管の根元が折れ、漏水の原因となります。(JZ) ⊘
掃除には、中性洗剤以外使用しないでください。 トイレ用または家庭用の中性洗剤を使用してください。 次の様な洗剤、薬品はプラスチック・ゴム部品が変形、変質して便器や便槽の破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。 ・酸性、アルカリ性の洗浄剤、漂白剤 ・塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類 ・ワックス、殺虫剤、その他薬品 ⊘	投げ込み式、置くだけ等の洗浄剤、芳香剤は使用しないでください。 便器やロータンクのプラスチック・ゴム部品が変形、変質して、故障の原因となります。 ⊘

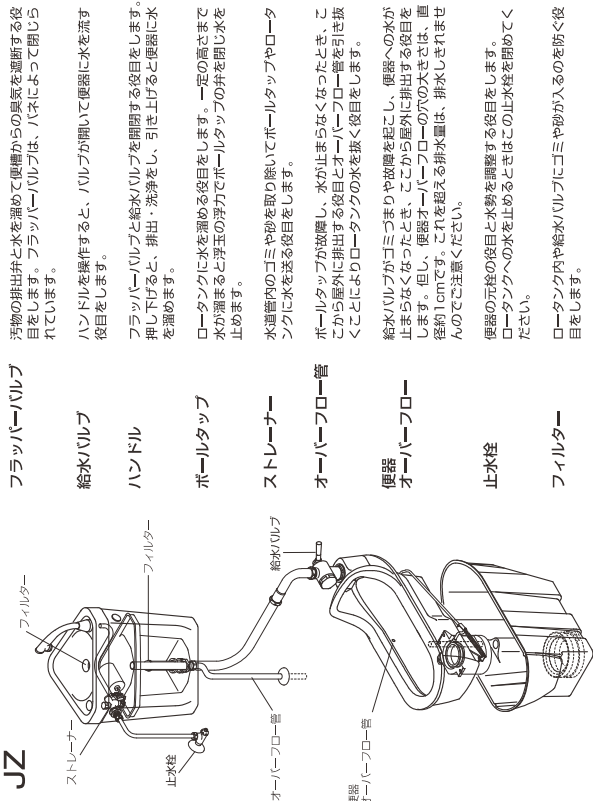
1

△ 注意	
長期間使用しないときは、止水栓を開めて、水抜きをしてください。 凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。 凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。 詳しくは、9頁の「凍結のおおのれのあるぞ」を参照してください。 ⓘ	凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。 凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。 詳しくは、9頁の「凍結のおおのれのあるぞ」を参照してください。 ⓘ
ロータンク内に物やゴミを入れないでください。 ロータンクの中に物やゴミが入るとそれが便水バルブにかみ込み便器へ水が流れ続け、便器オーバーフローで排水しきれない場合は便器から水が溢れて床が水浸しになります。 1か月に1〜2回は、ロータンクのフタをあけて物やゴミが入っていないかを点検してください。 ⊘	このようなおことでもご注意ください。 手洗器で雑巾等を洗ったり、泥まみれの手を洗わないでください。 給水バルブにゴミや砂がこみ込み、漏水の原因となります。また、排水等でロータンクに水を補給するときに、きれいな水を入れてください。(JZ) ⊘
電磁バルブに水をかけないでください。 浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。 電磁バルブが故障します。 また、乾電池が原因で、電磁バルブが故障する原因となります。 ⊘	長年使用して水が出なくなったら、電磁バルブのアルカリ乾電池を交換してください。 電磁バルブは、アルカリ乾電池で動作します。乾電池が消耗したら水が出なくなりますので8頁を参照して交換してください。(J8-DG) ⓘ
電磁バルブの押しボタンは、軽く押して操作してください。 無理に強く押すと、故障の原因となります。(J8-DG) ⓘ	簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量をお確かめの上、汲み取ってください。 使用している便槽の容量と通常の汲み取り量をお確かめの上、正月やお盆など来客が多く使用量が多かったときは、便槽が一杯になっていないかを点検し、早めに汲み取ってください。 汲み取り業者は、役場等にお問い合わせください。 ⓘ
紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。 ティッシュペーパーや固い紙(新聞紙、雑誌等)等は水に溶けにくいので、排水管が詰まる原因となりますので使用しないでください。また、生理用品等も便器へ捨てないでください。 ⊘	この便器には、使用水道圧があります。 使用水道圧範囲：1.5〜7.0kgf/cm² 水道圧 0.4〜1.5kgf/cm²でも使用できますが、便器の洗浄力が多量に低下します。特に家庭用ポンプを使用していて、ポンプから便器までの距離が遠かったり、他の蛇口を開いたりした場合に水道圧が低くなり、便器の洗浄力が多量に低下します。そのときは、洗浄ガンを使用してください。また、水道圧 7.0kgf/cm²以上では器具の破損や故障の原因となります。(J8-DG) ⊘
幼児、老人、身体のご不自由な方が使用するとき、周囲の方が常に注意をしてあげてください。	

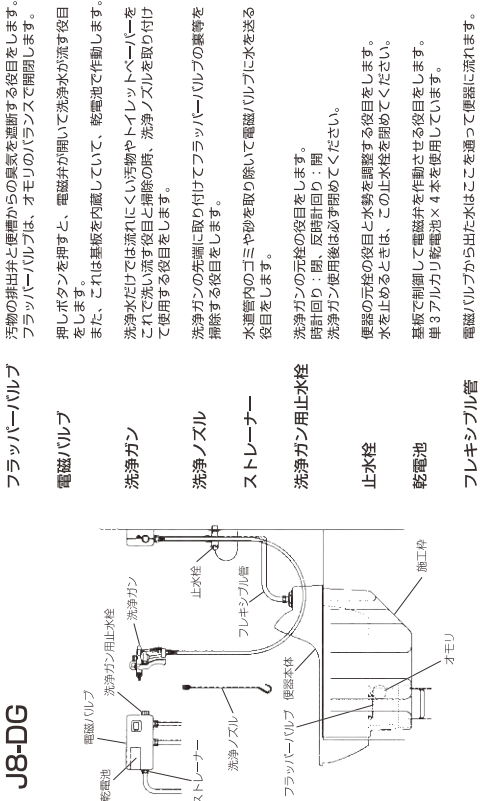
2

各部の名称とその役割

JZ



J8-DG



ご使用方法

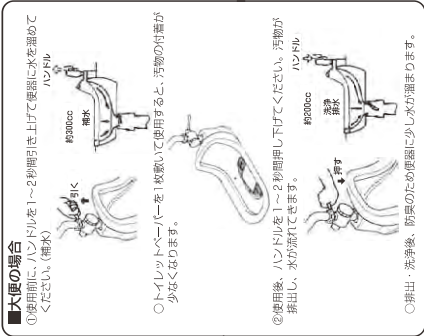
JZ

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初にご使用されるときは、次のことを確認してください。

- 止水栓が開いているか。
- ロータックに水が溜まっているか。

2 便器の使い方



3 ご使用後に

△注意 レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

J8-DG

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初にご使用されるときは、「止水栓が開いている」ことを確認してください。

2 便器の使い方

使用後、電磁バルブの押しボタンを軽く押してください。

洗浄水が流れてきます。

洗浄水だけでは汚物やトイレットペーパーが流れないときは、洗浄ガンを使用してください。

3 洗浄ガンの使い方

- ①洗浄ガン用止水栓を反時計回りに回して開いてください。
- ②洗浄ガンを持ってください。
- ③洗浄面をゆがけ、押しボタンを押して洗浄してください。
- ④洗浄ガン使用後は、必ず洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
- ⑤洗浄ガンを一度空打ちして水を抜いた後、元に戻してください。

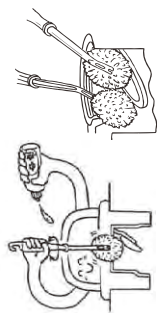
○ 必要以上に水を使わないでください。

便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から雑排水等を捨てるとその分飲み取り量が増えますので、ご注意ください。

お手入れのしかた

1 フラッパーバルブのお手入れ

特に、フラッパーバルブの弁とゴム部分は、汚物が付着しやすいため、掃除をしないと漏水の原因となります。市販のトイレ用ブラシ（ナイロン製毛ブラシ）で、1週間に1～2回程度は掃除をしてください。



2 便器のお手入れ

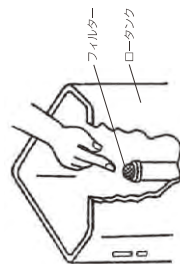
中性洗剤を使ってスポンジが柔らかい布で掃除してください。



○ハンドルを引き上げて、便器に水を溜めて掃除すると大変便利です。

3 タンクフィルターの掃除

便器への水の出方が悪いときは、フィルターの掃除をしてください。



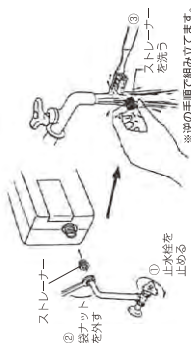
4 電磁バルブのお手入れ

柔らかい布で拭き取ってください。汚れのひどいときは、柔らかい布を100倍程度に薄めた中性洗剤につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



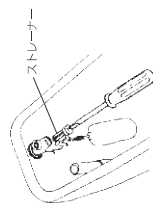
5 ストレナーの掃除

器具にゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。流液が悪いときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



6 ストレナーの掃除

器具にゴミや異物が入らないように、ボールタップにストレーナーを付けています。ストレーナーが詰まるとロータンクへの給水状態が悪くなりますので、ロータンクへの給水が少ないときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



お手入れのしかた

J8-DG

7 洗浄ガン、洗浄ノズルでのお手入れ

フラッパーの裏面や作動部分に汚物が付着すると、フラッパーのバランスが悪くなり、フラッパーの開き放しや開かなくなる原因となります。洗浄ガンと洗浄ノズルを使って週に1～2回程度掃除してください。

① 洗浄ノズルを洗浄ガンの先端にねじ込んでください。



② 洗浄ガン用止水栓を反時計回りに回して開いてください。



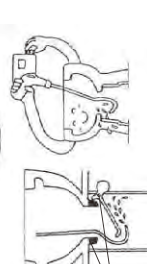
③ 洗浄ノズルの先端でフラッパーを半分程度開いてください。



④ フラッパーの裏面や根元、リップゴムの裏をきれいに洗浄してください。



⑤ 掃除が終わったら、洗浄ガン用止水栓を閉めてから洗浄ノズルを外し、洗浄ガンを一度空打ちして水を抜いて元に戻してください。



この部分も洗浄してください

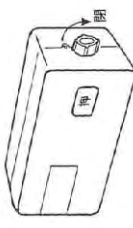
(注意)

洗浄ガンのボタンを押すとノズルの先端から水が出ますので、水がつかないように注意してください。

⚠ 注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓(洗浄ガン用止水栓)を閉めてください。

洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を漏らす原因となります。



①

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障・異常に気付いたらすぐに止水栓を開めてください。

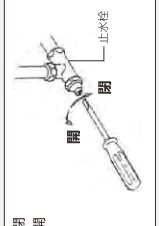
現象	原因	処置方法
便器に水が出ない、または ロータックに水が溜まらない	ロータックのフタを開け 水が溜まっているかを 確認してください。	近くの蛇口の水を確認してください。 (8 頁参照)
便器に水が溜まらない、 または、排水が止まらない	ストレーナーが目詰まりしている。 フィルタが目詰まりしている。 フラッパバルブに汚物、尿石 が付着している。	止水栓を開いてください。(8 頁参照) ストレーナーを掃除してください。(5 頁参照) フィルタの掃除をしてください。(5 頁参照) フラッパバルブの掃除をする。(5 頁参照)
便器への水が止まらない。	給水バルブのバシッドパツ キンのゴミつまりまたは、 給水バルブのバシッドパツ キンの交換時期になっている。	①すぐに、止水栓を開めてください。 ②4～5 回水洗操作してみてください。 ③直れば、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ④直らない場合は、アフターサービスをお願いします。
ロータック内の水が止まら ない、または、ボールタップ からの水が止まらない。 手洗の水が止まらない。	ボールタップのバックシンが交換 時期になっている。	①すぐに、止水栓を開めてください。 ②「ボールタップの点検」を行ってください。 (8 頁参照)
床に水濡れしている。	小便が飛び散っている。	床を乾いた雑巾等で拭き取り、小便かどうかを確認してください。
フラッパバルブを開いて も汚物を排出しない。	便槽が一杯になっている。 便器と便槽の間の配管詰まり。	便槽のマンホールをあげて確認し、及取り業者に依頼してください。 市販のバイブクリナーやトイレ洗浄機等で詰まりを取り除くか、 お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない。	断水している。	近くの蛇口の水を確認してください。
止水栓が開まらない。	止水栓が開まっている。	止水栓を開いてください。(8 頁参照)
ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。(5 頁参照)
乾電池が切れている。	乾電池が切れている。	単 3 アルカリ乾電池を交換してください。(8 頁参照)
電磁バルブ内の配管が接続され ていない。	電磁バルブ内の配管が接続され ていない。	配管を確認してください。
便器への水が止まらない。	乾電池が＋－逆向きに付いてい る。	①すぐに、止水栓を開めてください。 ②8 頁を参照して正しく乾電池を取り付けてください。
床に水濡れしている。	小便が飛び散っている。	床を乾いた雑巾等で拭き取り、小便かどうかを確認してください。
フラッパバルブを開いて 汚物を排出しない。	便槽が一杯になっている。 便器と便槽の間の配管詰まり。	便槽のマンホールをあげて確認し、及取り業者に依頼してください。 市販のバイブクリナーやトイレ洗浄機等で詰まりを取り除くか、お買 い上げ店又は専門業者に連絡してください。
フラッパが開き放しになっ ている。	フラッパの裏面や作動部分に 汚物が付着している。	洗浄ガンと洗浄ノズルで掃除をしてください。(8 頁参照)
フラッパが開かない。	風量の大きい排気扇(臭気ファン) を取り付けている。	排気扇の電源プラグをコンセントから抜いて使用しないか、または、排 気扇を風量 450q/min 以下 (当社排気扇) のものに取替えてください。
フラッパが開かない。	フラッパの裏面や作動部分に 汚物が付着している。	洗浄ガンと洗浄ノズルで掃除をしてください。(8 頁参照)
洗浄した後に大きな音がある。	ウォーターハンマー	便器の洗浄に影響のない程度に止水栓を締めてください。 ①まず、止水栓を完全に閉めてください。 ②次に、止水栓を 1/4 回転づつ開いては電磁バルブの押しボタンを押し、 便器の洗浄を確認しながら調整してください。または、別途ウォータ ーハンマー防止器をご利用ください。

○上記処置で直らない場合は、**止水栓を開めたまま**にしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡く
ださい。アフターサービスに修理を依頼される場合は、11 頁をお読みください。
○処置や修理が終わるまでの間は、**止水栓を開けたまま**にして、ご使用をひかえてください。
やむを得ず使用する場合は、バシッド等便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法

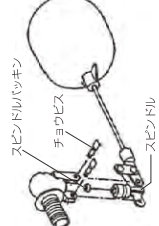


時計回り………閉
反時計回り………開

ロータックの水抜き

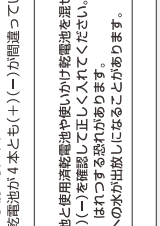
①止水栓を開めてください。
②ロータックのフタをあけてください。
③オーバーフロー管を反時計回りに一杯回し、引き抜いてく
ださい。水が屋外に排出されます。
④オーバーフロー管の取付は、ツメの位置を合せて差し込み、
時計回りに一杯回してください。そのまま上に持ち上げて
外れないことを確認してください。
(注)差し込み時、Oリングがめくれないように注意してくだ
さい。

ボールタップの点検、部品交換



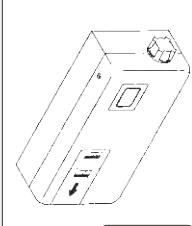
①止水栓を開めてください。
②ロータックのフタをあけてください。
③ロータックの水を少し抜いてください。
④ラジオペンチでチョウビス(2 本)を外してください。
⑤スピンドルを抜き取ってください。
⑥スピンドルバックシンに傷やいたみがないかを点検してくだ
さい。
⑦スピンドルバックシンに傷やいたみがある場合は、部品交換
してください。

止水栓の開閉方法



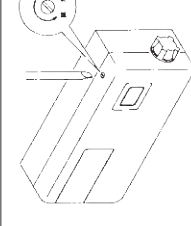
時計回り………閉
反時計回り………開

乾電池の交換



付属の単 3 アルカリ乾電池 × 4 本をセットしていますので、確認してください。
①左にスライドして電池フタを開けてください。
②電池ボックスを事前に引き出してください。
③単 3 アルカリ乾電池が 4 本とも (+) (-) が間違っていないかを確認してください。
(注意)
・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池を混ぜて使用しないでください。
・乾電池の (+) (-) を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液
漏れしたり、はれつする恐れがあります。
また、便器への水が放出になることがあります。

洗浄水量の調節



電磁バルブの水量は 200 cc/回にしていますが、設置場所の水道圧
で洗浄水量が変わりますので、水量の多いと少ないときは調節
してください。
時計回り : 増
反時計回り : 減
(注意)
ドライバで強く押したり、回し過ぎると調節ねじが破損します
ので、軽く回してください。

△ 注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

- △ 注意** トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 室内暖房

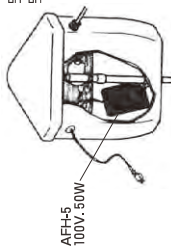
トイレ室内を暖房してください。

2 ロータンクの水抜き (JZ)

8頁の「ロータンの水抜き」を参照して、ロータンの水を抜いてください。
また、便器内に溜まっている水もハンドルを操作して排出してください。

3 凍結防止ヒーターの利用

○別途凍結防止ヒーターをご利用いただき、ロータン内に入れて凍結防止してください。(JZ)



○給水管、洗浄管や手洗管には、市販の水道凍結防止ヒーター(テープヒーター)を巻きつけてご使用ください。

☆凍結した場合

- まず、トイレ室内を暖めてください。
○便器、ロータンが凍結した場合………40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので、ご注意ください。
○給水バルブ、洗浄管、給水管、手洗管等が凍結した場合 (JZ)
………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。
○電磁バルブが凍結した場合………トイレ室内を暖めて解凍してください。(J8-DG)
○洗浄ガンが凍結した場合………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。(J8-DG)

長期間使用しないとき

- △ 注意** 旅行など長期間不在のときや長期間使用しないときは、次のことを行ってください。
行わないと、不仕様に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。
①止水栓を閉めてください。(8頁参照)
②ロータンの水抜きをしてください。(8頁参照)
再び使用する場合
①ロータンの水抜きを元に戻してください。(8頁参照)
②止水栓を開いてください。(8頁参照)
③ロータンの中に水が溜まったことを確認してください。



凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

JZ

外観寸法	便器本体：(幅275×奥行415×高さ177) ロータンク：(幅300×奥行300×高さ480)(455)
重量	約35kg
材質	便器本体：陶器 ロータンク：陶器
洗浄水量	小便時：約200cc(大便時：約500cc)
ロータンク容量	約50

仕様

J8-DG

外観寸法	幅：275 ¹⁾ 、奥行：674 ¹⁾ 、高さ：177 ¹⁾
重量	約22kg
材質	便器本体、陶器 電磁バルブ、ABS樹脂、青銅線棒、他
洗浄水量	約200cc～300cc
水量調整	水量調整リューム付 0.5～6秒タイマー調整
使用水道圧	1.5～7.0 kgf/cm ²
電源	単3アルカリ乾電池×4本

消耗部品の取り替え、修理 JZ

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

主な取替、修理部品	材質	使用箇所
リップゴム	ゴム	フラップバルブの水漏れ部のパッキン
フラップバディスク	プラスチック	フラップバルブの水漏れ部の弁
バルブスタートパッキン	ゴム	給水バルブのパッキン
スピンドルパッキン	ゴム	ボールタップのパッキン

消耗部品の取り替え、修理 J8-DG

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

単3アルカリ乾電池×4本………乾電池は1年を目安に交換してください。(8頁参照)

※保証期間経過後、および注意事項をお守りいただけなかった場合の修理は有料となります。

■部品の保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

便槽についての注意事項

△ 警告

マンホールのフタは、必ず閉めてください。
また、ロック機構のあるものは、必ずロックしてください。
転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせてください。

△ 注意

通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。
車などがのる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。

便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。

便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗剤、芳香剤等を投入しないでください。

便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

和風簡易水洗便器 JT 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

便槽の中にタビの腐ガスを検出しないください。
レバー・ハンドルに異変がないか確認し、衝撃を与えたり、足で操作したりし、水垢や排水の原因、便槽の破損やゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。

掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
洗剤、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うしろ製、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

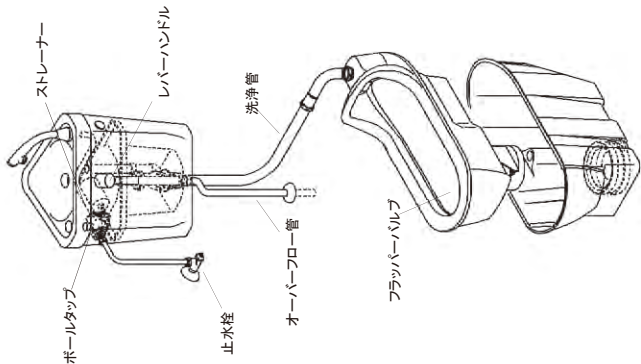
ロータック内に物やゴミを入れないでください。
ロータックの中に物やゴミを入れるとバルブにかみ込み水が止まらなくなり、便槽があふれることがあります。

投げ込み式、重くだけ等の洗剤、芳香剤は使用しないでください。
便器やロータックのプラスチック・ゴム部品が変形、変質して故障の原因となります。

簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量を確認の上、汲み取ってください。
使用している便槽の容量と通常の汲み取り量を把握のため、正月やお盆など使用量が多いときは、便槽が一杯にならないかを点検し早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。

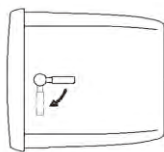
凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜き、凍結防止ヒーターの利用などを行ってください。
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。

各部の名称とその役割



フラップバルブ	汚物の排出弁と便槽からの臭気を遮断する役目をします。このバルブは、オモリのバランスで開閉します。
レバーハンドル	操作すると、水が流れます。
ポールタップ	ロータックのゴミを吸める役目をします。
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除く役目をします。
オーバーフロー管	ポールタップが故障し、水が止まらなくなるとき、ここから屋外へ排出する役目とオーバーフロー管を引抜くことでロータックの水を抜く役目をします。
止水栓	便槽の元栓の役目と水勢調整の役目をします。水が止まらないときは、この止水栓を閉めてください。

ご使用方法



レバーハンドルを時計回りに回してください。
洗浄水が流れ止まります。

【注意】
必要以上に水を使わないでください。便槽の汲み取り量が増えます。

洗浄水量調整方法



クサリ(ポリチェーナー)の長さを変えることで洗浄水量を調整します。フックとクサリの引っ掛け位置を下げることで水量が増えます。

【注意】
洗浄水量を減らすと引っ掛け位置を上にするので便槽の洗浄が悪くなります。

お手入れ

便器、フラップバルブのお手入れ 便器、フラップバルブはトイレブラシと中性洗剤をよくこすり洗いしてください。洗剤で週1〜2回程度、またリップゴムの先端もよく掃除してください。	便器のお手入れ 中性洗剤を使ってスポンジか柔らかい布で掃除してください。	ストレーナーの掃除 ポールタップのゴミを取り除くため、ストレーナーを取り外して掃除してください。
--	--	--



故障・異常の見分け方と処置方法

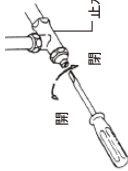
まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない	断水している。	近くの蛇口で確認してください。
ロータックに水が溜らない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く
便器への水が止まらない	ストレーナーのゴミ詰り	ストレーナーの掃除
ロータック内の水又はポールタップの水が止まらない	フロート弁のゴミ詰り	止水栓を閉め、フロート弁にゴミ詰りがないかの確認
手洗の水が止まらない	ボールタップのスピンドルバッキン又はキス、交換時期になっている	止水栓を締め、ボールタップの点検を行ってください
床に漏水	小便の飛び取り	直らないときはアフターサービス依頼してください
汚物が排出しない	便槽が一杯になっている	床を拭いて小便かどうかの確認
フラップバルブが開きっぱなし	便槽と便槽の配管詰まり	便槽のマンホールを開けて確認し汲み取り業者に依頼
フラップバルブが開かない	フラップバルブの裏や回転部分に汚れが付着している	市販のハイクリーナー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼
フラップバルブが閉まらない	フラップバルブの裏や回転部分に汚れが付着している	市販のハイクリーナー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼
フラップバルブが閉まらない	フラップバルブの裏や回転部分に汚れが付着している	市販のハイクリーナー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼

上記処置で直らない場合は、止水栓を閉めてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。直るまでは、止水栓を閉めたままにし、ご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、バケツ等で水を流してください。

部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法

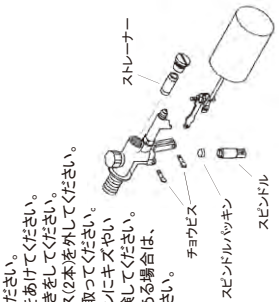


ロータックの水抜き

- ① 止水栓を閉めてください。
- ② ロータックのフタをあけてください。
- ③ オーバーフロー管を反時計回りに回し、ツメの位置を合わせて引き抜いてください。水が屋外に排出されます。
- ④ オーバーフロー管を取り付けは、ツメの位置を合わせて差し込み、時計回りに回してください。そのま上に持ち上げて外れないことを確認してください。

ボールタップの点検、部品交換

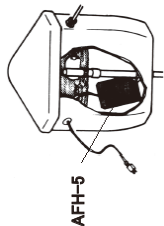
- ① 止水栓を閉めてください。
- ② ロータックのフタをあけてください。
- ③ ロータックの水抜きをしてください。
- ④ ペンチでチョウビス(2本)を外してください。
- ⑤ スピンドルを抜き取ってください。
- ⑥ スピンドルバッキンにキスや、たみがながか点検してください。
- ⑦ キスやいたみがある場合は、部品交換してください。



凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1. 室内暖房
トイレ室内を暖房してください。
2. ロータンクの排水
止水栓を閉め、ロータンク内のオーバーフロー管を引き抜いて水を抜いてください。
3. 凍結防止ヒーターの利用
○ ロータンクは、オプションのロータンク用凍結防止ヒーターを使用してください。



凍結防止ヒーターの説明書をよく読んで使用してください。
ヒーター部を水に浸めてから電源プラグをコンセントに差し込みてください。
使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 給水管は、水道凍結防止ヒーターを巻き付けてください。
- 凍結した場合
- まず、トイレ室内を暖めてください。
 - 便器、ロータンクが凍結した場合
…40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に温めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので注意してください。
 - 給水管が凍結した場合
…お湯に浸した雑巾等をあて解凍してください。
凍結破損することありますので、解凍後、漏水する場合はアフターメンテナンスを依頼してください。

便槽についての注意事項

警告	マンホールのフタは、必ず開めてください。 また、ロック機構のあるものは必ずロックしてください。 経路事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。
注意	通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。 車などがのる場合は特殊工事が必要となりますので、専門の工事業者に相談してください。 便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れての転落事故の原因となります。 便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗剤、芳香剤等を入れないでください。 便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

長期間使用しないとき

旅行や長期不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① フラッシュバルブ用止水栓を閉めてください。
- ② 洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
- ③ フラッシュバルブと洗浄ガンの水抜きをしてください。

再び使用するとき、フラッシュバルブ用止水栓を開いてください。
暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等は各々の説明書をお読みください。

仕様

外觀寸法	便器本体	幅: 275 ^h 、奥行: 674 ^h 、高さ: 177 ^h _h
	ロータンク	幅: 300 ^h 、奥行: 300 ^h 、高さ: 480 ^h (455 ^h)
重量		約35kg
材質		便器本体: 衛生陶器
洗浄水量		約350cc
ロータンク容量		インナータンク付: 約5 ^h 、無: 約15 ^h

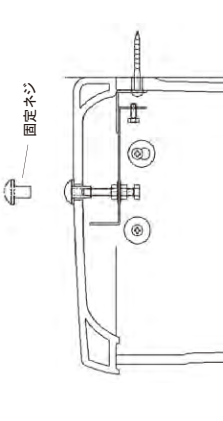
メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

主な取替、修理部品	材質	使用箇所
フロート弁	ゴム	ロータンクバルブのバックシン
スピンドルバルブ	ゴム	ボールタップのバックシン

タンクフタ固定式の外し方

プラスチックで固定ネジを外してからタンクフタを外してください。



幼児用簡易水洗便器 FC7 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のような安全にお使いいただくための注意事項をあげております。
ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、アルコール、ベンジン、シンナー類、うがい薬、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

柔らかい掃除ブラシを使用してください。
便器の中を掃除するブラシは、毛の硬い柔らかいブラシを使用しないでください。APH-927にお掃除ブラシをご利用ください。

長期間使用しないときは、止水栓を閉めてください。
漏水したとき、濡らす原因となります。

凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。
凍結による破損で漏水し、濡らす原因となります。

レバーハンドルは軽く回してください。
無理に回すと、故障の原因になります。

レバーハンドル操作後、洗浄水が止まることを確認してください。
水が出つ放しになると、便槽が溢れます。

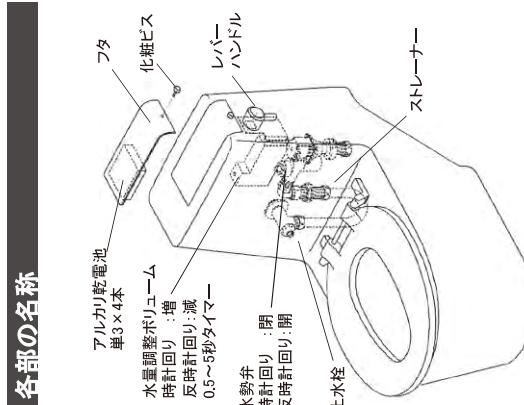
電磁バルブに水をかけないでください。
バルブが破損したり乾電池が漏れれば危険があります。

水が出なくなったらアルカリ乾電池を交換してください。
この便器は、電磁バルブをアルカリ乾電池で動作します。

仕様

外 観	寸 法	幅380×奥行380×高さ920
洗 淨 水 量	約200cc	
材 質	本体、強化プラスチック	

各部の名称



アルカリ乾電池 単3×4本

水量調整ボリューム

時計回り：増反時計回り：減

0.5～5秒タイマー

水勢弁

時計回り：閉反時計回り：開

止水栓

フタ

化粧ビス

レバーハンドル

ストレーナー

ご使用方法

- ご使用前に**
便器を取り付けて最初にご使用されるときは、止水栓が開いているかを確認してください。
- 便器の使い方**
使用後、レバーハンドルを事前に約90度引いて「力チャリ」と音がすると洗浄水が流れ設定した止水時間で止まります。

お手入れ

便器のお手入れ
便器の中は、中性洗剤を使ってキズの入らない柔らかいブラシを使用してください。

ストレーナーの掃除
電磁バルブゴミや異物が入らないようストレーナーを付けています。洗浄水の出が悪いときは、止水栓を開めてからストレーナを掃除してください。

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

ダイヤラムパックン	電磁バルブの開閉パックン
アルカリ乾電池	単3×4本

■新品の保有期間
消耗部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

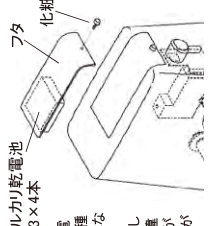
まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。	
現象	原因
水が出ない	止水栓が閉まっている ストレーナーのゴミ詰り 電池切れ 配線が外れている 断水
水が止まらない	乾電池が+-逆についている 小穴詰り バルブのバッキンゴミ詰り
汚水を排水しない	便槽が一杯になっている 便器と便槽の間の配管詰り
床に漏水	小便の飛び散り フラッパが閉かかない フラッパの裏面や回廊部分に汚物が付着している
フラッパが開かない	フラッパの裏面や回廊部分に汚物が付着している
フラッパが閉かかない	風量の大きい排気扇(臭気ファン)が取り付いている
洗浄後に大きな音がする	水圧の高い場所ではウォーターハンマー(水撃作用)が発生することがあります

上記処置で直らない場合は、止水栓を閉めたままにしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。
処置や修理が終わるまでの間は、止水栓を閉めたままにしてご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、ハケツ等便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

乾電池の交換方法

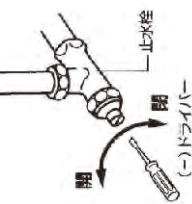
化粧ビスを外し、フタを開け、フタの裏にある電池ボックスを開け、アルカリ乾電池を交換してください。(交換の目安：1年)



〈注意〉

- 新しい乾電池、使用済乾電池、使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池の(+) (-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり破裂する恐れがあります。
- マンガン乾電池でも使用できますが、寿命が短くなりますので使用しないでください。

止水栓の開閉方法



凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、凍結して器具が破損する恐れがあります。
室内暖房をしてください。

凍結した場合
トイレ室内を暖房して徐々に融凍をかけないでください。
凍結部に直接熱湯をかけないでください。

長期間使用しないとき

長期間不要のときや長期間使用しないときは、次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合水浸しになる原因となります。

- 止水栓を閉めてください。
- レバーハンドル操作を一回行い、水が止まっていることを確認してください。
- 再び使用する場合
- 止水栓を開けてください。
- レバーハンドル操作を一回行い、水が出ることを確認してください。

凍結防止ヒーターや暖房器具等の電気製品をご使用の場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。

壁掛式手洗器

HW-3・5

L レバー式

P プッシュ式

SS センサー式

お客様用

取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 本書は、必要に応じてすぐに取り出せるように大切に保管してください。
- 転居時に残される場合は、本書を次の入居の方に必ずお渡しください。

目次	ページ
安全にお使いいただくために	1
各部の名称とその役目	1
ご使用方法	2
お手入れ	2
故障・異常の見分け方と処置方法	2
水量調整方法(プッシュ式の場合)	3
部品の点検、交換のしかた	3
仕様	3
アフターサービスと保証	4

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための
注意事項をあげておきます。
ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使
いください。

掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベン
ジン、シンナー類、うし殺し、殺虫剤、その他薬品は、部品が
変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しな
いでください。

長期間使用しないときは、止水栓を閉めてください。
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを
行ってください。
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。

センサー式の場合、電磁弁・乾電池部に水をかけない
でください。
火災や感電の原因となり、また電磁ババルブが故障したり乾電
池が液漏れする恐れがあります。

センサー式の場合、センサー部レンズにタバコを押し
付けたり、汚したりしないでください。
誤動作して水が放出しになります。

各部の名称とその役目

水栓金具

プッシュ(自閉)式、
レバー(手動)式、
センサー(自動)式
があります。

トランプ

封水して臭気を防ぎます。
壁排水と排水水があります。

止水栓

手洗器の元栓の役目します。
ストレーナーや泡沫器の掃除を
するとき閉めて行ってください。
壁給水と排水水があります。

本体

泡沫器

ストレーナー

ご使用方法

プッシュ式

押す

ボタンを押すと、吐水し自動で止水しま
す。

レバー式

閉

開

反時計回りに約90度レバーを回すと吐
水し、手動で時計回りに回して止水して
ください。

センサー式

手をかざす

水栓の下に手をかざすと吐水し手を離
すと止水します。

お手入れ

泡沫器の掃除

泡沫器の水を作る泡沫器にはアミが入っていま
す。ゴミが詰まりやすいので水の出方が悪く
なったときは外して掃除をしてください。

ストレーナーの掃除

水栓にゴミや異物が入らないように止水栓の
上にストレーナーを付けています。ストレー
ナーが詰まると水の出が悪くなりますので、そ
のときはストレーナーを掃除してください。

器具のお手入れ

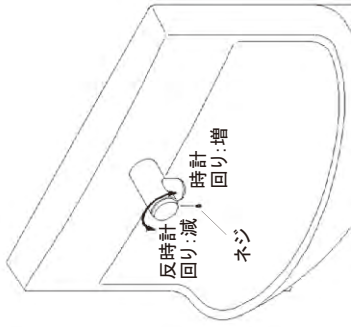
器具はメッキしていますが、放っておくとサビたり汚れ
たりします。柔らかい布で拭いてください。
落ちないときは水拭きしてください。
器具の表面をキズつけるものは使用しないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く
	ストレーナーのゴミ詰り	ストレーナーの掃除
	泡沫器のゴミ詰り	泡沫器の掃除
	乾電池切れ(センサー式の場合)	電池切れになるとLED点滅、乾電池の交換
	断水	—
	停電(センサー式AC100V電源の場合)	—
水が止まらない	小穴のゴミ詰り(プッシュ式の場合)	止水栓を閉めてお置上げ店又は当社アフターサービスへ 修理を依頼してください。
吐水量が少ない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く
	ストレーナーのゴミ詰り	ストレーナーの掃除
	泡沫器のゴミ詰り	泡沫器の掃除
	水圧が低い(プッシュ式の場合)	数回操作してお使いいただく水量調整をしてください。
吐水量が多い	—	止水栓を絞る。
音が出る	ウォーターハンマー	水運配管の固定を増してしっかりと固定する。 止水栓を絞る。

吐水時間調整方法(プッシュ式の場合)

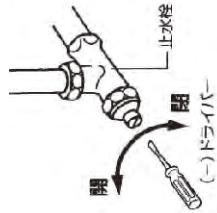


プラスチックドライバーでネジを外し、押しボタンを軽く回して調整してください。

注) 吐水時間を短くするとき、止水栓を絞ると吐水時間が長くなる場合があります。絞りすぎないよう止水栓を調整してください

部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法

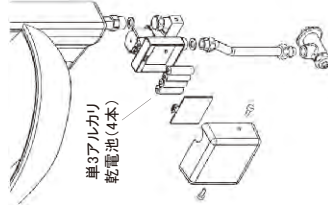


乾電池の交換方法 (センサー式の場合)

LEDが点滅すると、電池切れです。乾電池を交換してください。

- ・新しい乾電池、使用済乾電池、使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池の(+) (-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり破裂する恐れがあります。
- ・マニガン乾電池でも使用できますが、寿命が短くなりますので使用しないでください。

使用頻度が多く乾電池の交換が頻繁な場合、別売のACアダプタをご利用ください。但しAC100Vのコンセントが必要です。



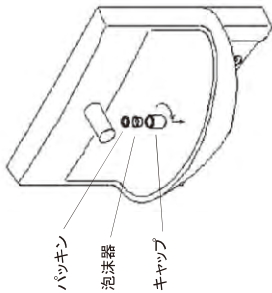
仕様

品名	壁付手洗器/スタンダードタイプ(中型)	壁付手洗器/コンパクトタイプ(小型)
品番	HW-5L HW-5P HW-5SS	HW-3L HW-3P HW-3SS
水栓のタイプ	レバー式	プッシュ式
取付の種類	センサー式	センサー式
本体の材質	壁掛け式	壁掛け式
本体の大きさ	幅450×奥行200×高さ410	幅250×奥行200×高さ410
本体の重量	9.5kg	8kg
排水金具	PTラップ(壁排水)	STラップ(床排水)
止水栓	壁給水	床給水
電源	-	-
乾電池タイプ	-	-
乾電池タイプ	-	-

手洗器 HW-5SS HW-3SS センサー感知距離の調整方法

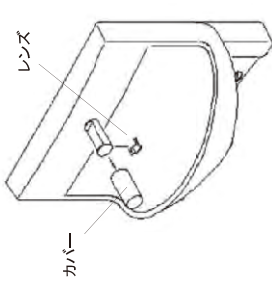
日光を受けたりすると、センサーが誤作動を起こしたり、感知しにくくなります。水が勝手に出たり、手をかざしても水が出ない場合があります。そのようなときは、下記の手順に従ってセンサー感知距離の調整を行ってください。

① キャップを時計回りに手回して外す。外れないときは、キズが付かないように布等でキャップを覆ってプライヤーで回す。



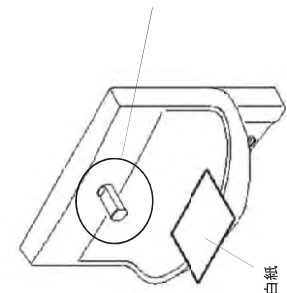
バックピン
泡沫器
キャップ

② カバーを外す。レンズも外れます。



レンズ
カバー

③ 白紙を当てて吐水させながら、小さな＋ドライバーで感知距離調整ボリュームを回して調整してください。



白紙



感知距離調整ボリューム	
時計回り	長くなる
反時計回り	短くなる

工場出荷時はメモリを5に設定しています。

④ 逆の手順で組み立ててください。

注) キャップを回して組み付けるとき、ねじを合わせて回してください。
ねじを斜めに組み付けると、漏水します。

洗浄ガン 取扱説明書

このたびは、洗浄ガンをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
本製品は便器の洗浄用として使用するものです。



A26008
洗浄ガン



APH-19
洗浄ガン (U字ノズル付)



APH-19-2
洗浄ガン (ガンのみ)



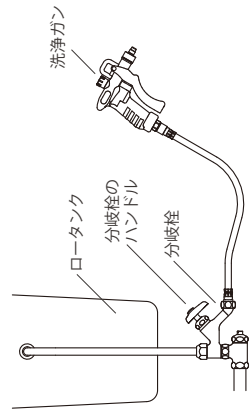
APH-19-1
洗浄ガン (U字ノズル無)



APH-19-3
洗浄ガン
(ストレーtronグノズル付)

□ 安全にお使いいただくために

洗浄ガン使用後は、必ず分岐栓のハンドル
を閉めてください。
洗浄ガンが破損し漏水した場合、
家財を濡らす原因となります。
分岐栓が確実に止水していることを確認し
てください。ゴミ噛みなどで分岐栓から漏
水があると、洗浄ガンに水圧がかかり、凍
結破損する恐れがあります。



洗浄ガンのホースを無理に引っ張ったり
ねじったり、曲げたり、傷つけたりしな
いでください。漏水して家財を濡らす原
因となります。



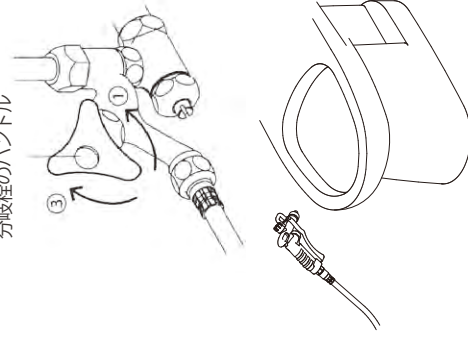
水道圧 0.7MPa 以上の場所では
使用しないでください。
漏水して家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるときは、破損防止のため
分岐栓のハンドルを閉めてトリガーを押し
て洗浄ガン内の水抜きをしてください。

□ トイレ使用後の洗浄に使用するとき

ご 使 用 方 法

分岐栓のハンドル

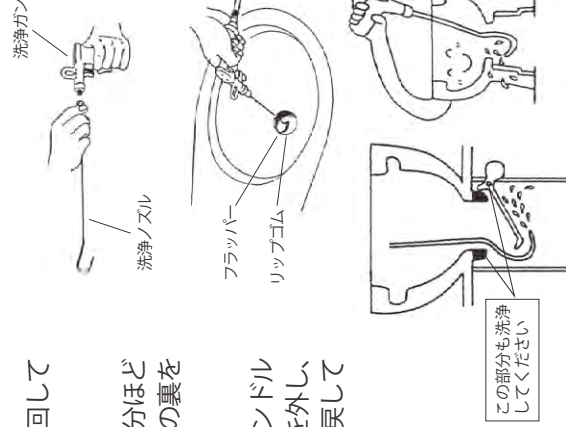


- ① 分岐栓のハンドルを反時計回りに回して
開いてください。
- ② 洗浄ガンのトリガーを押して洗浄してくだ
さい。
- ③ 使用後は、必ず分岐栓のハンドルを閉め
てください。
- ④ 洗浄ガンを一度空打ちして水抜きをした
あと、もとに戻してください。

□ 便器の掃除に使用するとき

ご 使 用 方 法

- ① 洗浄ノズルを洗浄ガンの先端にねじ込
んでください。
- ② 分岐栓のハンドルを反時計回りに回して
開いてください。
- ③ 洗浄ノズル先端でフラップを半分ほど
開いて、裏面や根本、リップゴムの裏を
きれいに洗浄してください。
- ④ 掃除が終わったら、必ず分岐栓のハンドル
を閉め、洗浄ガンから洗浄ノズルを外し、
洗浄ガンの水抜きしてからもとに戻して
ください。

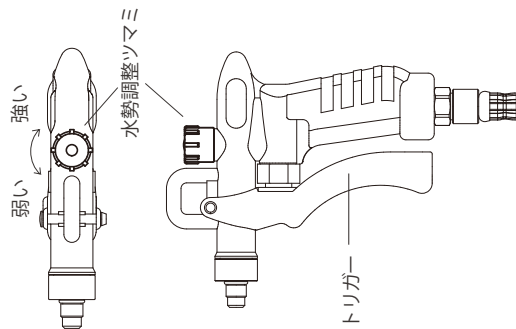


〔注 意〕 洗浄ガンのトリガーを押すと
ノズルの先端から水が出ますので、水が
かからないように注意してください。

この部分も洗浄
してください

□ 使い方とオプションについて

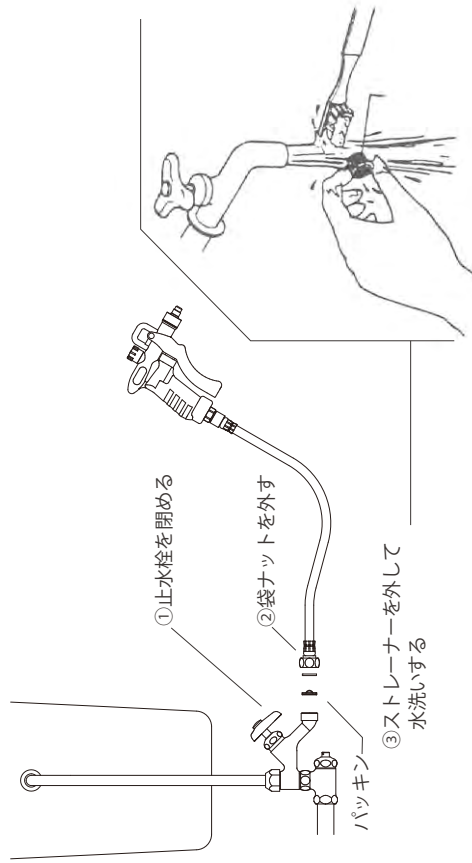
で使用されるところの水圧に合わせて、
水勢の調節を行ってください。
水勢は、時計回りに回すと強く、
反時計回りに回すと弱く調節することが
できます。



ストレーティングノズル

□ お手入れ方法

洗浄ガンの中にゴミや異物が入らないように、ストレーナーを付属しています。
洗浄ガンの水の出が悪いときは、次の要領で掃除してください。

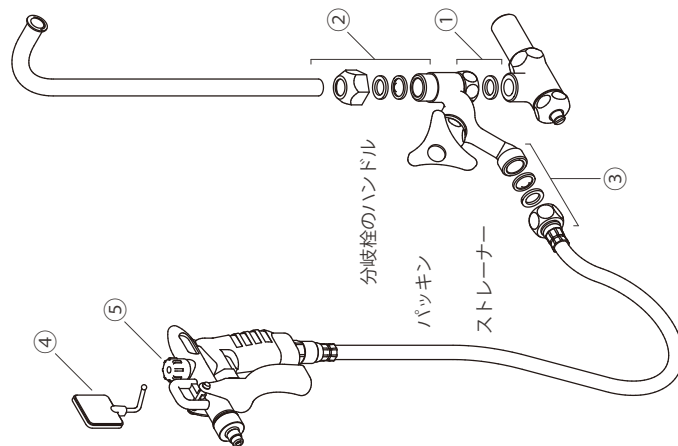


□ 特に注意していただくこと

接続部からの漏水がないことを確認してください。
漏水すると、床が水浸しとなります。

□ 取付方法

- ① 止水栓に分岐栓を取り付ける。
- ② 給水し管を必要な長さに切って分岐栓とボールタップに接続する。
- ③ 洗浄ガンに分岐栓に接続する。
- ④ 洗浄ガンをつっかけるフックを適切な場所に取り付ける。
- ⑤ 止水栓と分岐栓のハンドルを開き、漏水の有無や洗浄ガンのトリガーを押して異常の有無を点検する。
洗浄ガンの水の出方が強いときは、水勢調節ソマミを絞って調節する。



※水栓が電磁弁レブ式の場合は、電磁弁レブの説明書をお読みください。

本書は、必要なときにすぐに取り出せるところに大切に保管してください。
また、紛失された場合は、当社までご請求ください。

販売

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金 1-13-1

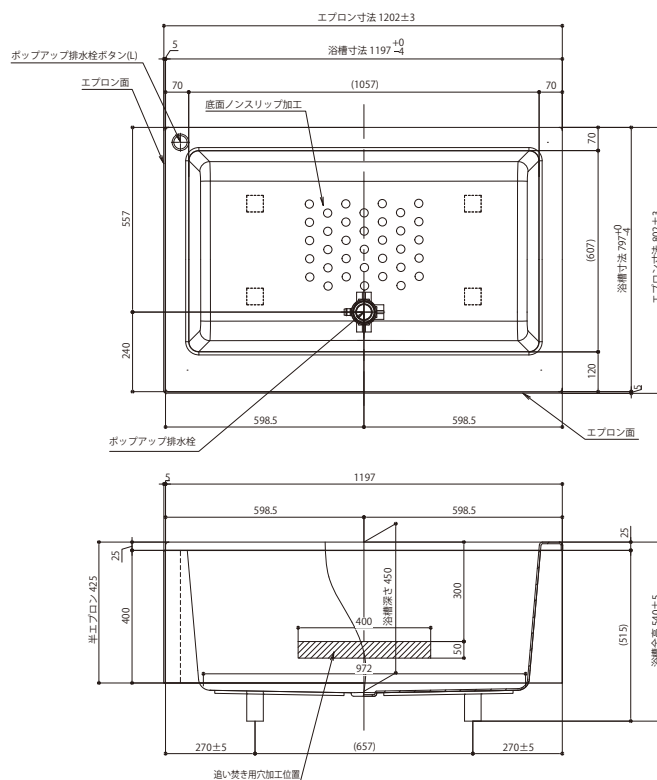
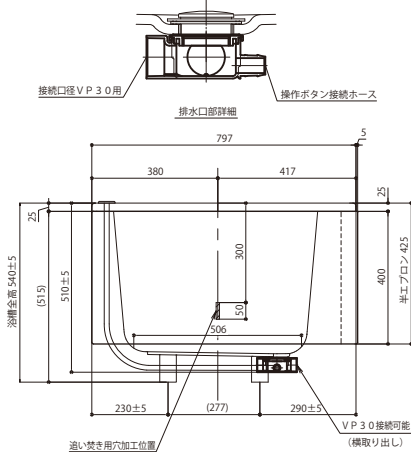
TEL 092 (521) 1800

1502 A66142

FP-1280W ポップアップ栓L パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1280W-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	260L
重量	25kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ425mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

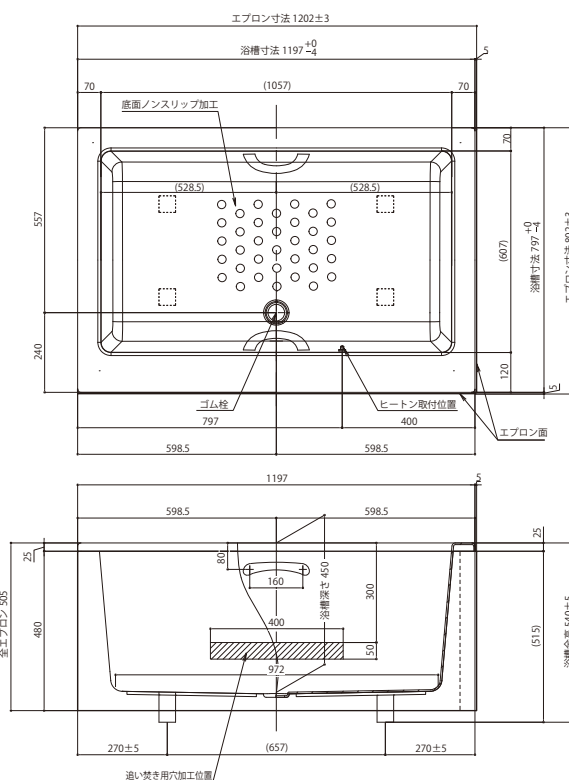
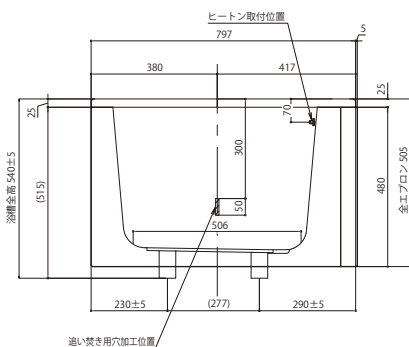


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1280W ゴム栓 パーグリップ付 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-1280WB
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	260L
重量	25kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ505mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

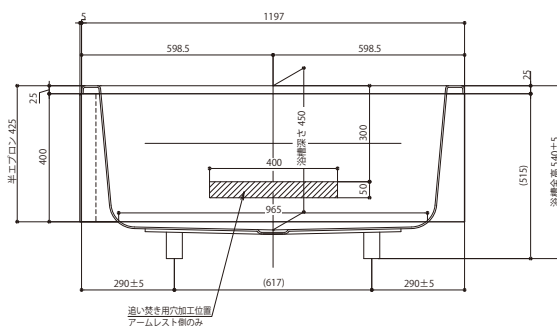
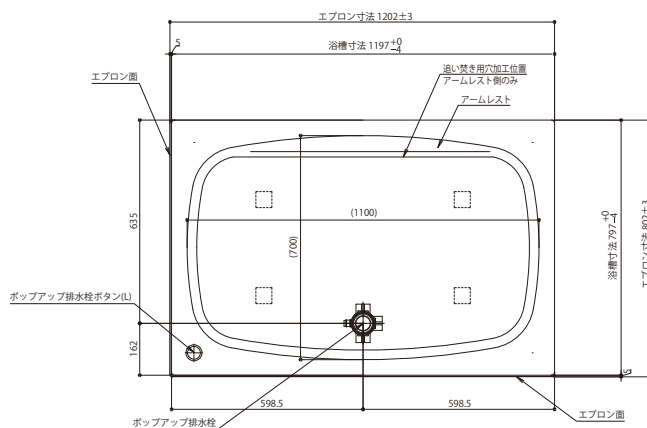
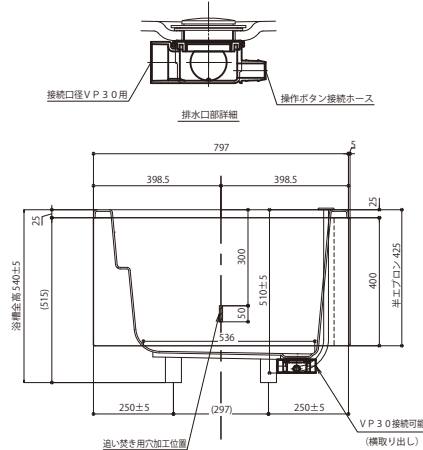


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1280 ポップアップ栓L パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1280-L
材質	FRP ホワイト (W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	240L
重量	24kg
排水仕様	ポップアップ排水栓 (間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ425mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)

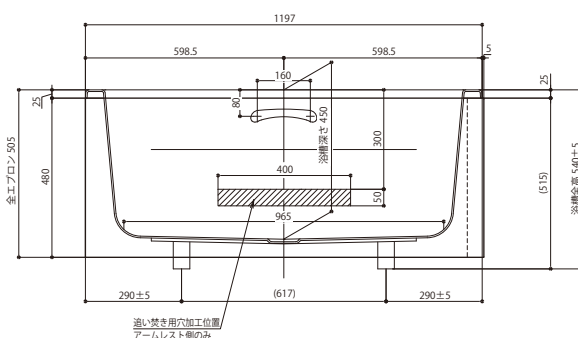
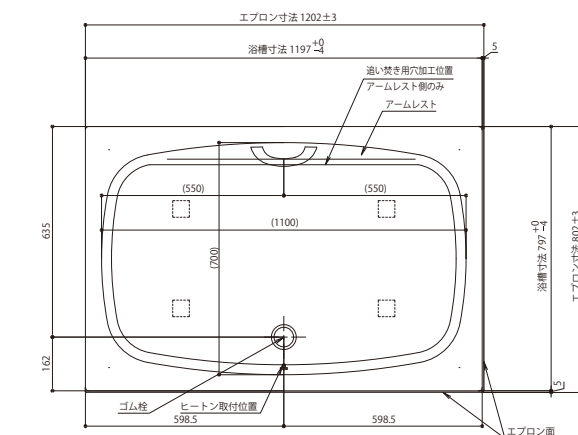
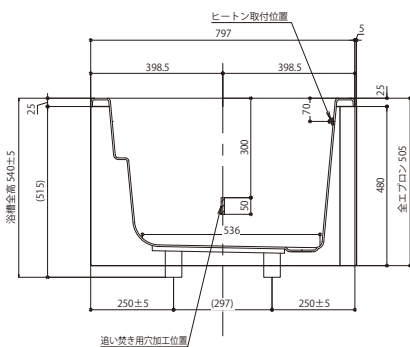


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す

FP-1280 ゴム栓 パーグリップ付 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1280B
材質	FRP ホワイト (W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	240L
重量	24kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ505mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)

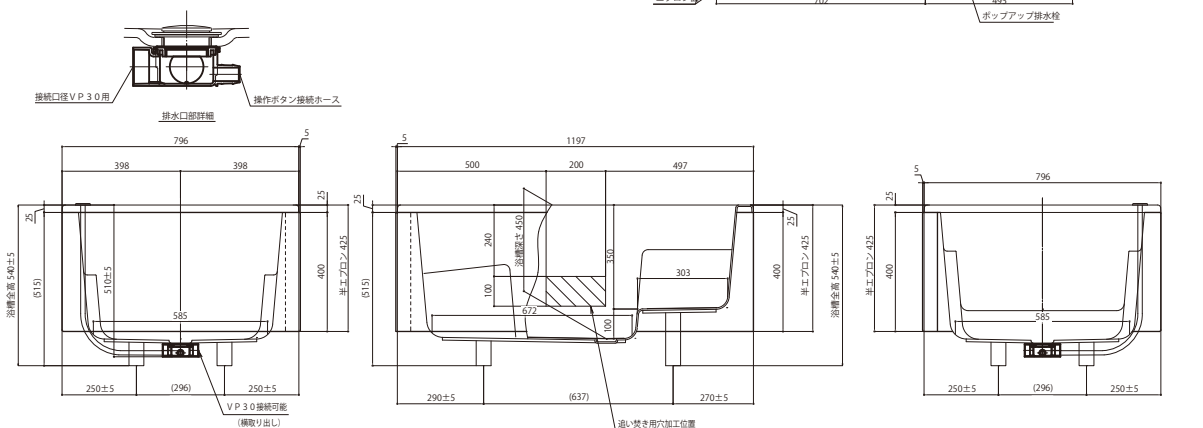


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す

FP-1280Y ポップアップ栓L パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1280Y-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行796mm×全高540mm
満水容量	230L
重量	23kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行801mm×高さ425mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

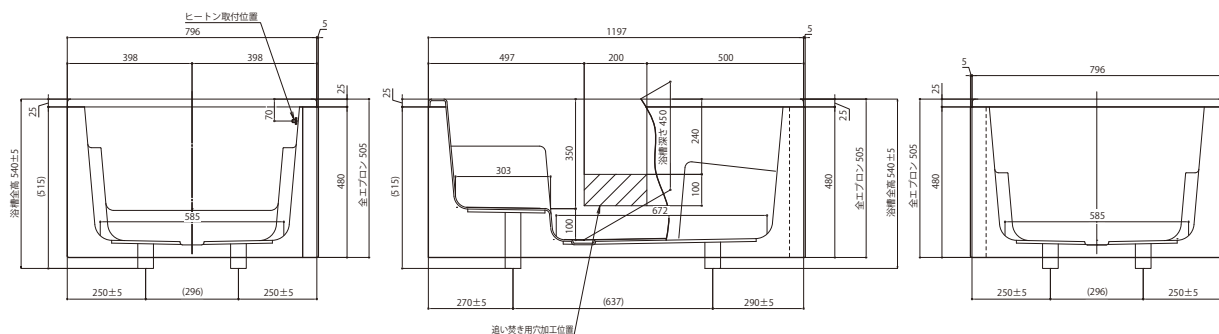


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1280Y ゴム栓 パーグリップ付 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-1280YB
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行796mm×全高540mm
満水容量	230L
重量	23kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行801mm×高さ505mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

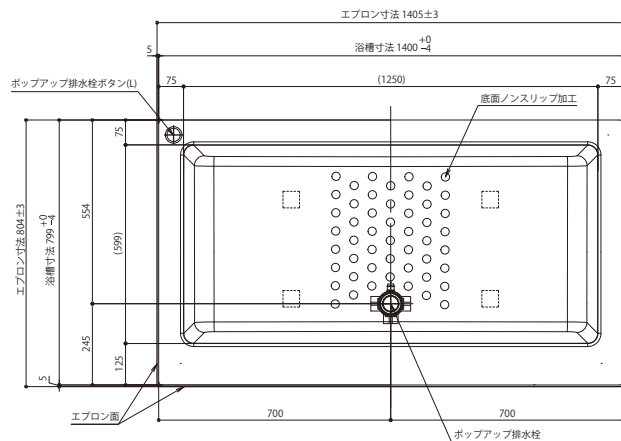
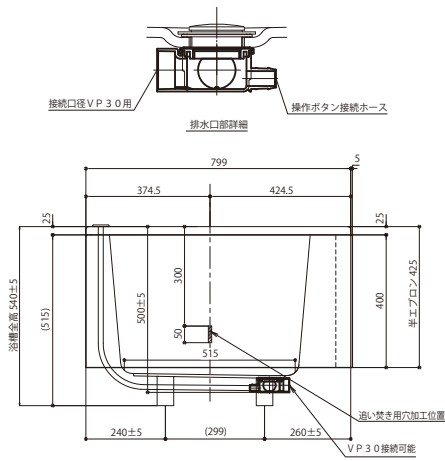


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1480W ポップアップ栓L パーグリッパなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1480W-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,400mm×奥行799mm×全高540mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2-1HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,405mm×奥行804mm×高さ425mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

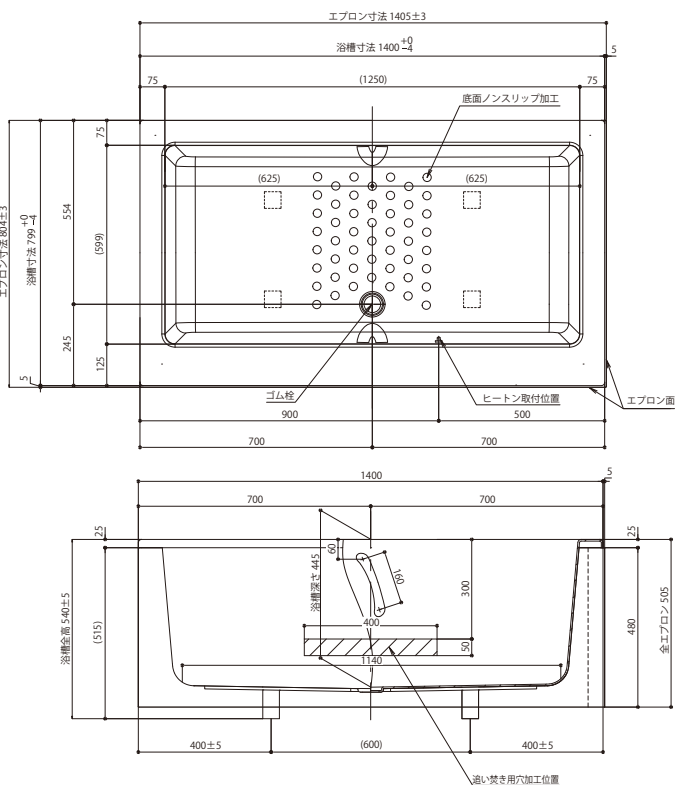
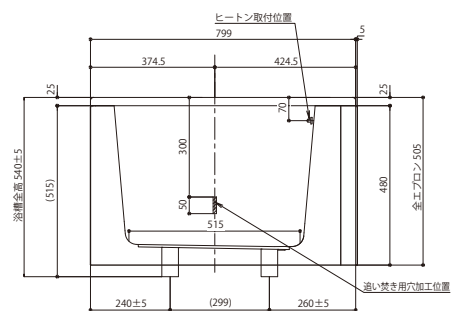


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1480W ゴム栓 パーグリッパ付 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1480WB
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,400mm×奥行799mm×全高540mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-1L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,405mm×奥行804mm×高さ505mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

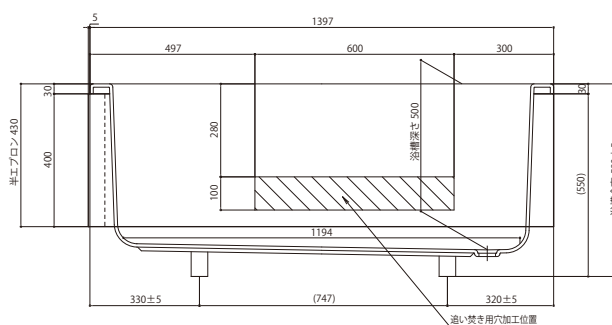
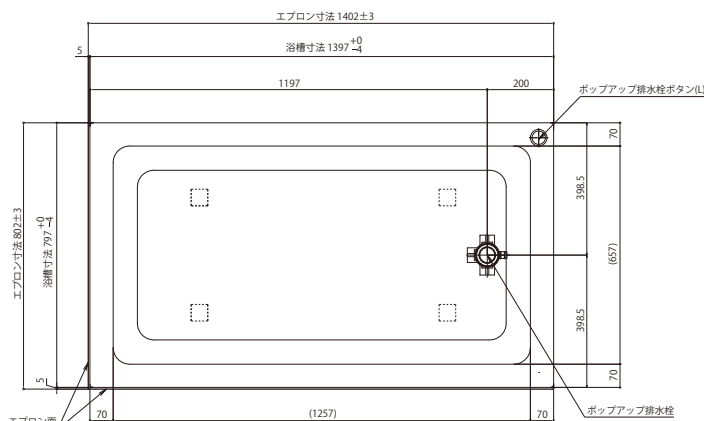
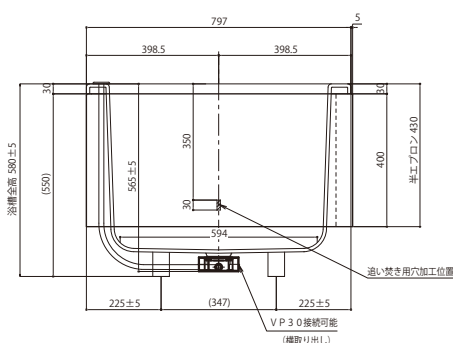
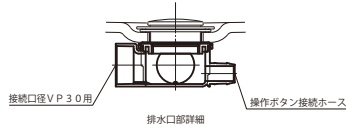


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1480 ポップアップ栓L パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1480-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,397mm×奥行797mm×全高580mm
満水容量	350L
重量	34kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2-1HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,402mm×奥行802mm×高さ430mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

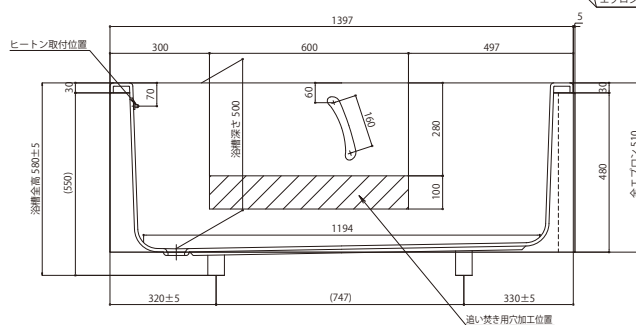
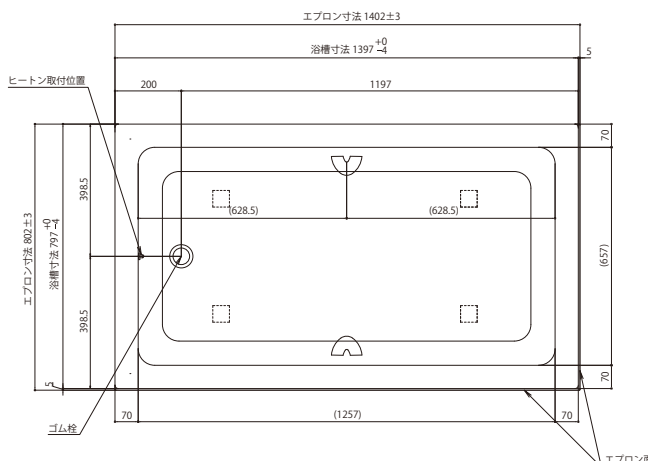
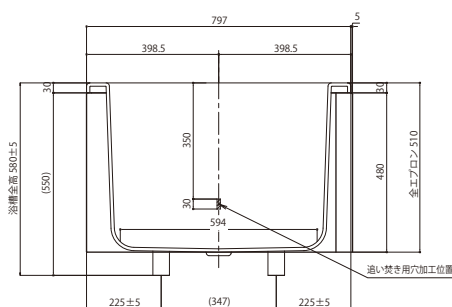


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1480 ゴム栓 パーグリップ付 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-1480B
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,397mm×奥行797mm×全高580mm
満水容量	350L
重量	34kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-1L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,402mm×奥行802mm×高さ510mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

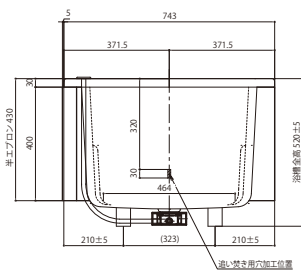
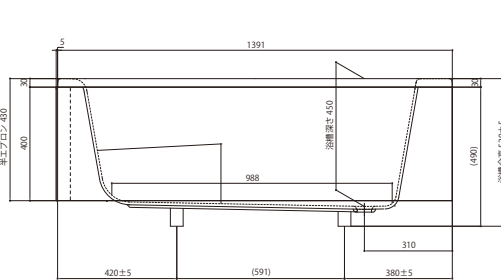
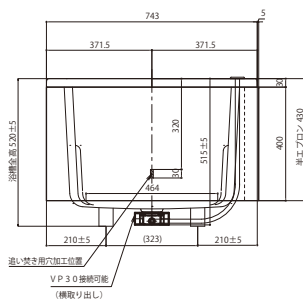
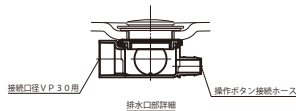


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1476 ポップアップ栓L バークリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品 番	FP-1476-L
材 質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,391mm×奥行743mm×全高520mm
満水容量	300L
重 量	30kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品 番	MEZ-2-1HR
材 質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,396mm×奥行748mm×高さ430mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚き是一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）



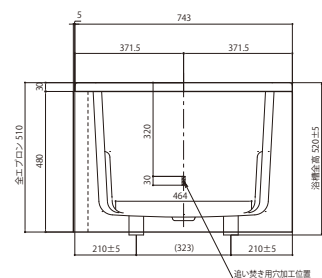
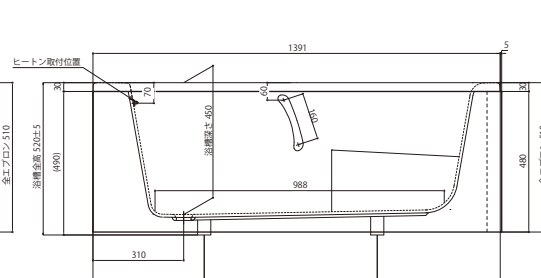
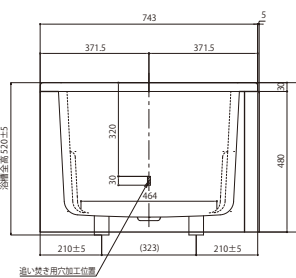
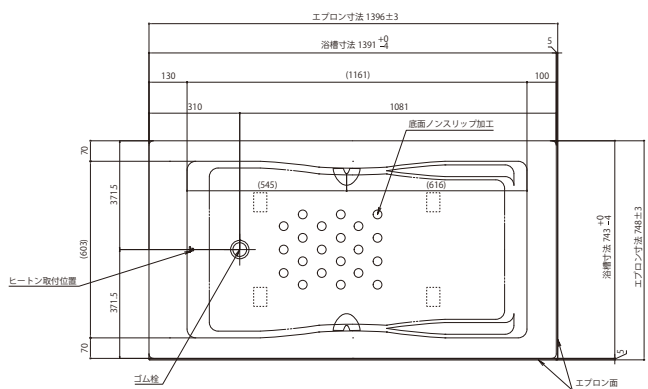
* は追い焚き用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す

FP-1476 ゴム栓 バージェリップ付 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-1476B
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,391mm×奥行743mm×全高520mm
満水容量	300L
重量	30kg
排水仕様	ゴム栓

エブロン	
品番	MEZ-2-1L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,396mm×奥行748mm×高さ510mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）

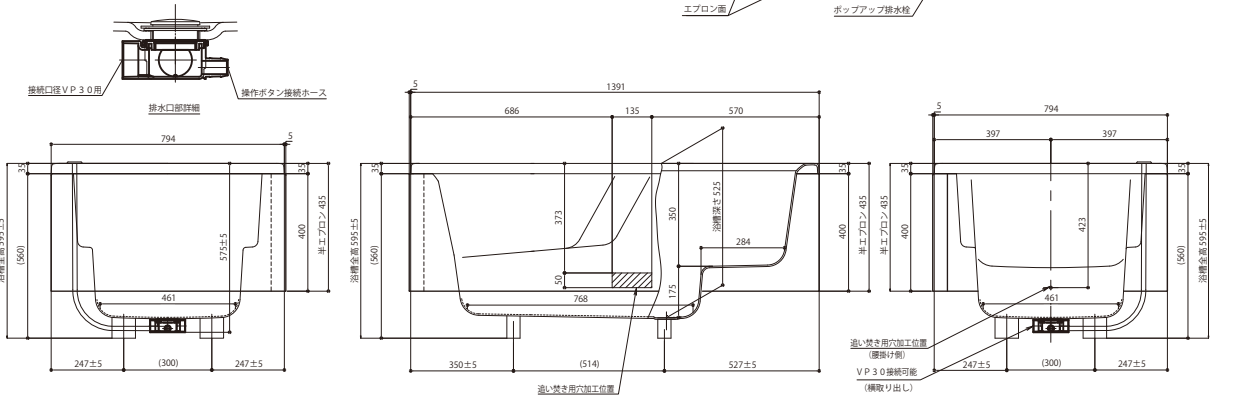


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
* は追いつき用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す

FP-1482 ポップアップ栓L バーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1482-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,391mm×奥行794mm×全高595mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,396mm×奥行799mm×高さ435mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

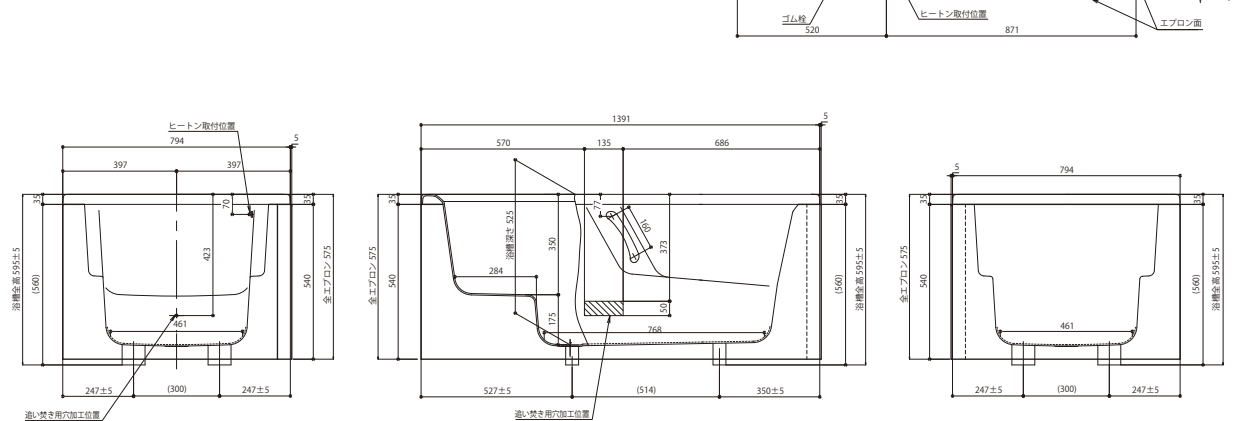


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
*は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1482 ゴム栓 バーグリップ付 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1482B
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,391mm×奥行794mm×全高595mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,396mm×奥行799mm×高さ575mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

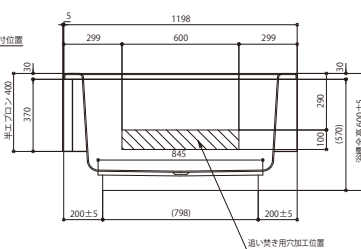
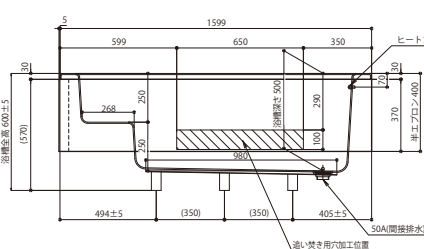
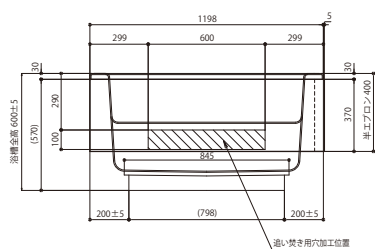
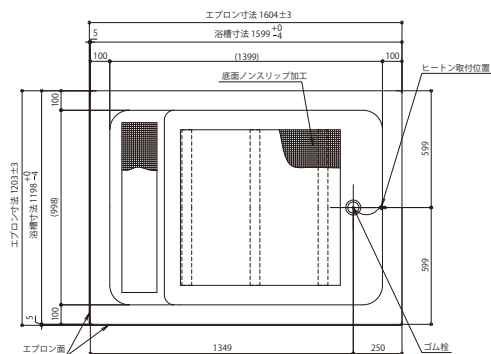


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
*は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1612 ゴム栓 パーグリッパなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1612
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,599mm×奥行1,198mm×全高600mm
満水容量	620L
重量	60kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-4HR
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅1,604mm×奥行1,203mm×高さ400mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）

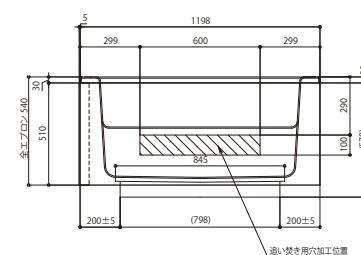
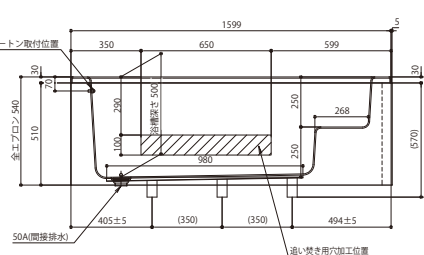
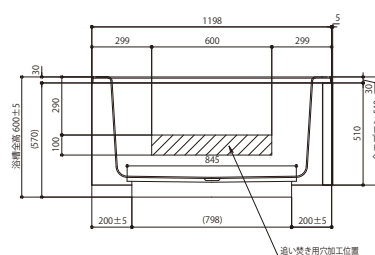
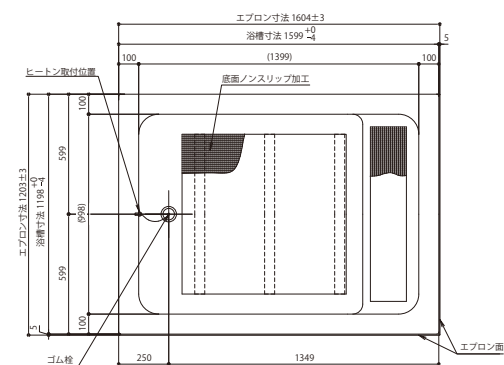


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す

FP-1612 ゴム栓 パーグリッパなし 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1612
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,599mm×奥行1,198mm×全高600mm
満水容量	620L
重量	60kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-4L
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅1,604mm×奥行1,203mm×高さ540mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）

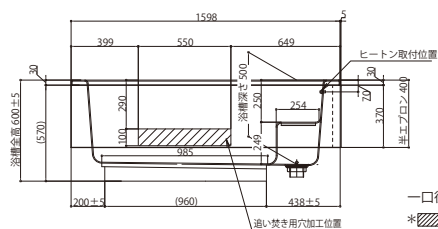


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す

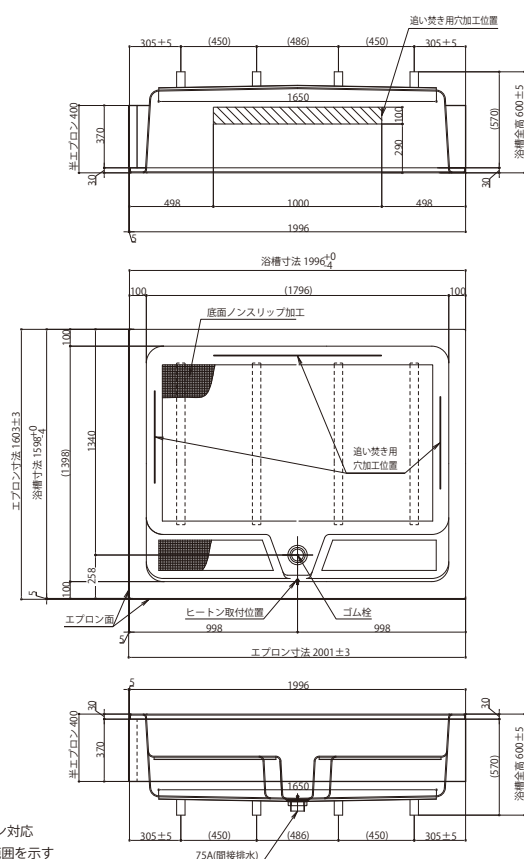
FP-2016 ゴム全 パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-2016
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,996mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,130L
重量	80kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-5HR
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,001mm×奥行1,603mm×高さ400mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）



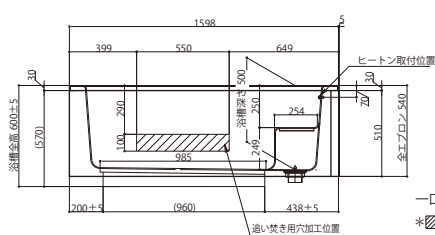
一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 * は追い焚き用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す



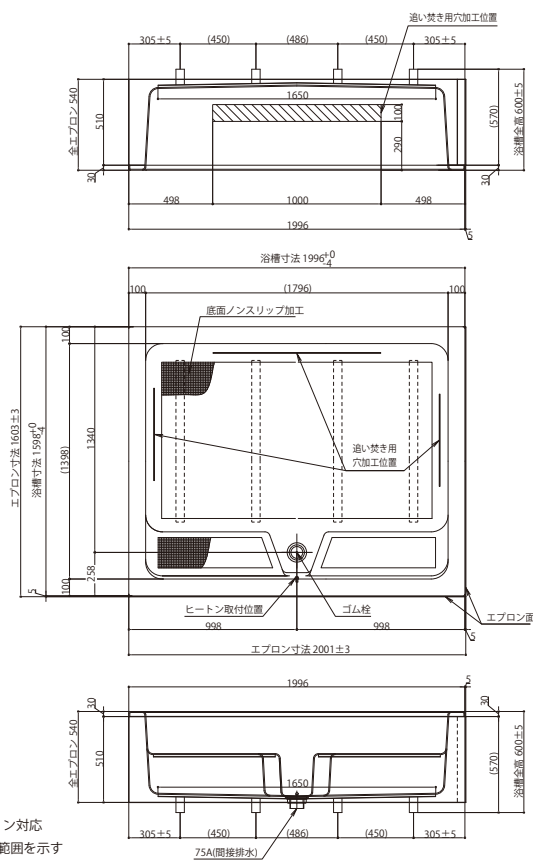
FP-2016 ゴム栓 パーグリップなし 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-2016
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,996mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,130L
重量	80kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-5L
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,001mm×奥行1,603mm×高さ540mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）



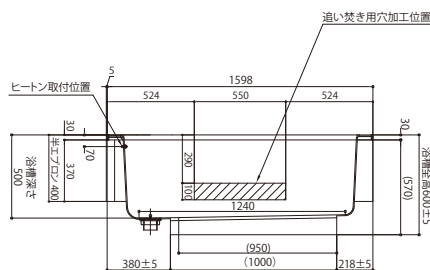
一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 * は追い焚き用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す



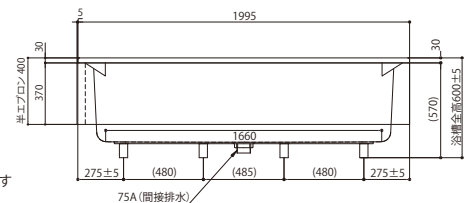
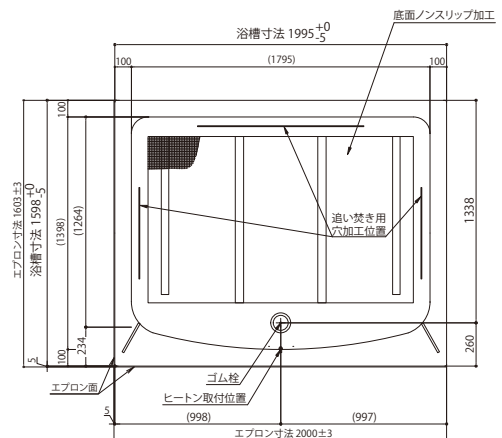
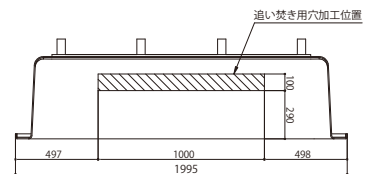
FP-2016N ゴム全 パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品 番	FP-2016N
材 質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,995mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,200L
重 量	80kg
排水仕様	ゴム栓 (間接排水仕様)
エプロン	
品 番	MEZ-2-5HR
材 質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,000mm×奥行1,603mm×高さ400mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)



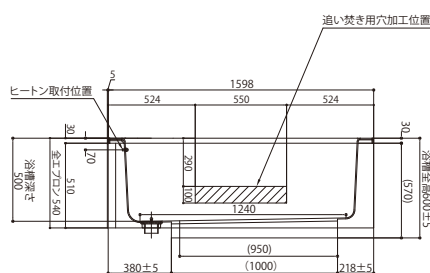
一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す



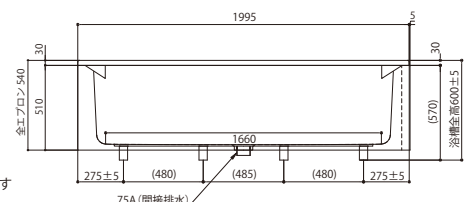
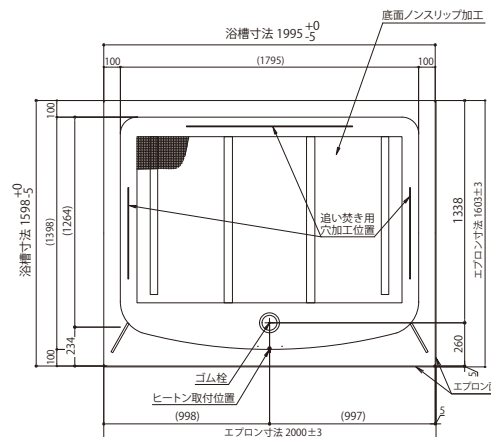
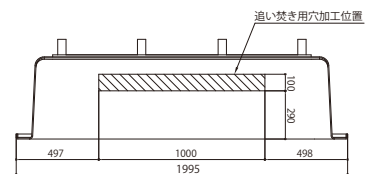
FP-2016N ゴム栓 パーグリップなし 2方全エプロンL

浴槽	
品 番	FP-2016N
材 質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,995mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,200L
重 量	80kg
排水仕様	ゴム栓 (間接排水仕様)
エプロン	
品 番	MEZ-2-5L
材 質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,000mm×奥行1,603mm×高さ540mm

※エプロン固定、点検口無し
 ※24時間風呂対応不可
 ※ゴム栓排水は直接排水不可
 ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)

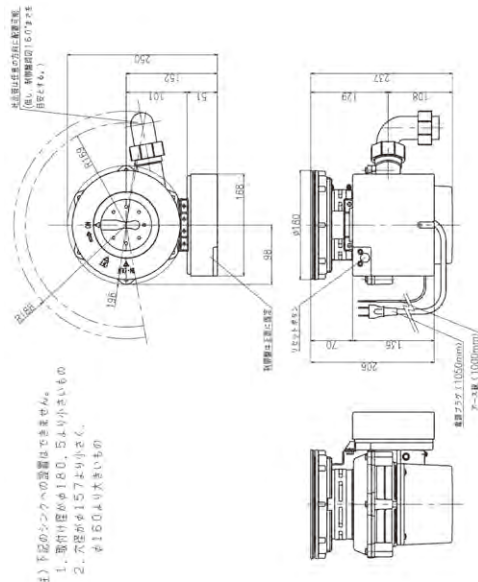


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す



DSP-75T

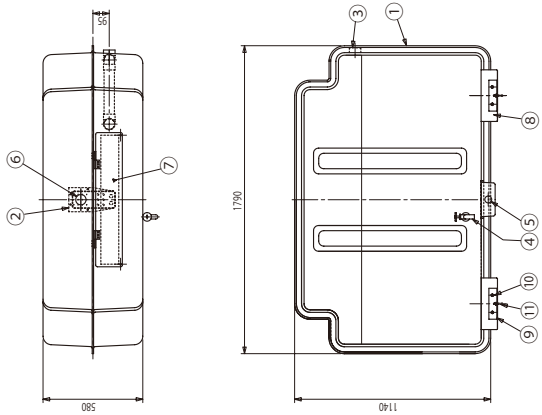
ディスボサー



機種	DSP-75T
運転方式	蓋スイッチ型/バッチ式
取扱液質	水道水 (0~40℃)
設置場所	流し台シンク下
設置方式	吊下型
粉碎方式	ハンマーミル方式
粉碎室容積	約0.85リットル
保護装置	過負荷保護装置 (手動復帰式) スイッチ対応防止回路 マグネット式蓋スイッチ
電動機形式	コンデンサ型単相誘導電動機
使用電源	単相100V、50Hz/60Hz兼用
電源容量	900VA
機種数	4機
定格消費電力	419W/430W (50Hz/60Hz)
定格電流	4.9A/4.4A (50Hz/60Hz)
定格	5分
色	本体部：黒色、電動機部：灰色
総質量	6.6kg

RTN-8B

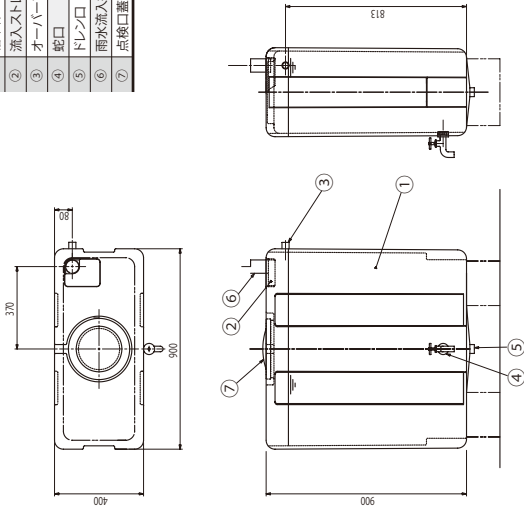
雨水槽 地上設置型 820ℓ
本体のみ 蛇口付



部品仕様	品名	材質・備考	数量
①	槽本体	GFRP	1
②	流入ストレーナー	FRP	1
③	オーバーフロー接続口	PVC 20A	1
④	蛇口		1
⑤	ドレン口	20A	1
⑥	雨水流入接続口	50A	1
⑦	点検口蓋	FRP	1
⑧	転倒防止脚	FRP	2
⑨	固定アングル	鉄製錆止塗装	4
⑩	ボルトM8*30		8
⑪	アンカーボルトM8*50		4

RTN-3B

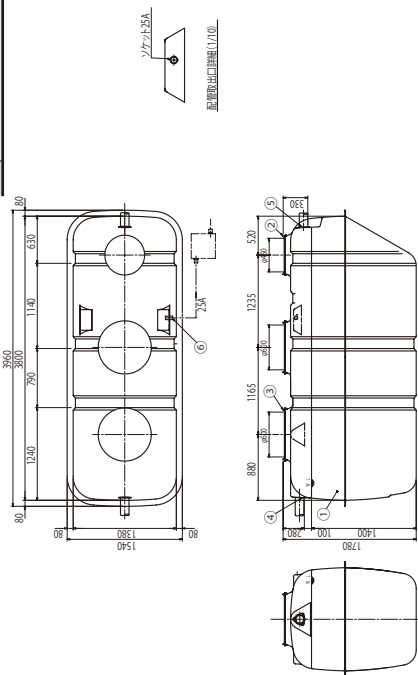
雨水槽 地上設置型 300ℓ
本体のみ 蛇口付



部品仕様	品名	材質・備考	数量
①	槽本体	PE	1
②	流入ストレーナー	PE	1
③	オーバーフロー接続口	PVC 20A	1
④	蛇口		1
⑤	ドレン口		1
⑥	雨水流入接続口	PE 50A	1
⑦	点検口蓋	PE	1

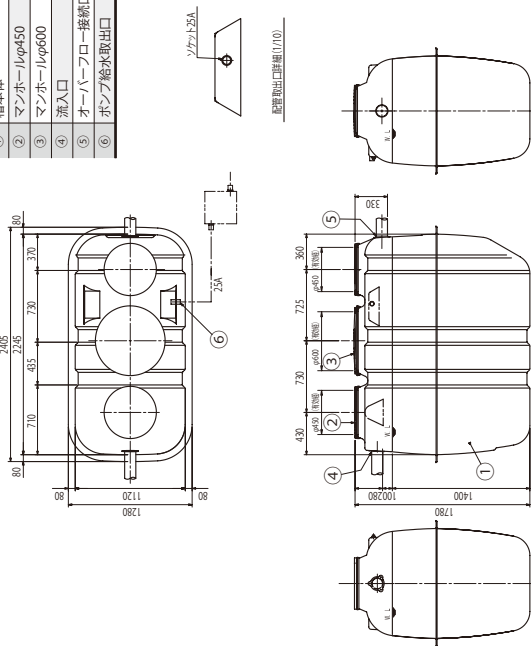
雨水槽 地下埋設型 5600ℓ
本体のみ

番号	品 名	材質・備考	数量
①	槽本体	FRP製	1
②	マンホールφ450	樹脂製 ロック式	1
③	マンホールφ600	樹脂製 ロック式	2
④	流入口	PVC 100A	1
⑤	オーバーフロー接続口	PVC 100A	1
⑥	ポンプ給水取出口	PVC 25A	1



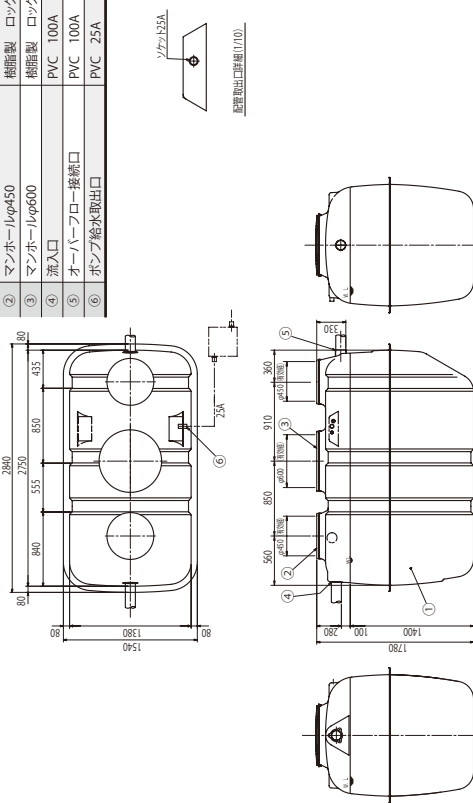
雨水槽 地下埋設型 2400ℓ
本体のみ

番号	品 名	材質・備考	数量
①	槽本体	FRP製	1
②	マンホールのp450	樹脂製 ロック式	2
③	マンホールのp600	樹脂製 ロック式	1
④	流入口	PVC 100A	1
⑤	オーバーフロー・接続口	PVC 100A	1
⑥	ポンプ給水取出口	PVC 25A	1



雨水槽 地下埋設型 4000ℓ
本体のみ

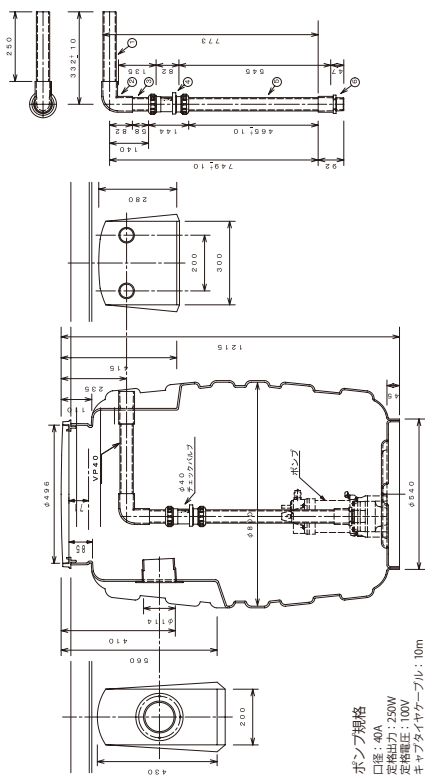
番号	品 名	材質・備考	数量
①	槽本体	FRP製	1
②	マンホールφ450	樹脂製 ロック式	2
③	マンホールφ600	樹脂製 ロック式	1
④	流入口	PVC 100A	1
⑤	オーバーフロー接続口	PVC 100A	1
⑥	ポンプ給水取出口	PVC 25A	1



DP-5S

放流ポンプ槽 500ℓ

No	部品名	切断寸法	数量	備 考
1	VP40	310mm	2	横管
2	TS40L		2	
3	VP40	135mm	2	縦管S
4	φ40チャッキ/ハルブ		2	
5	VP40	570mm	2	縦管L
6	TS40VS		2	



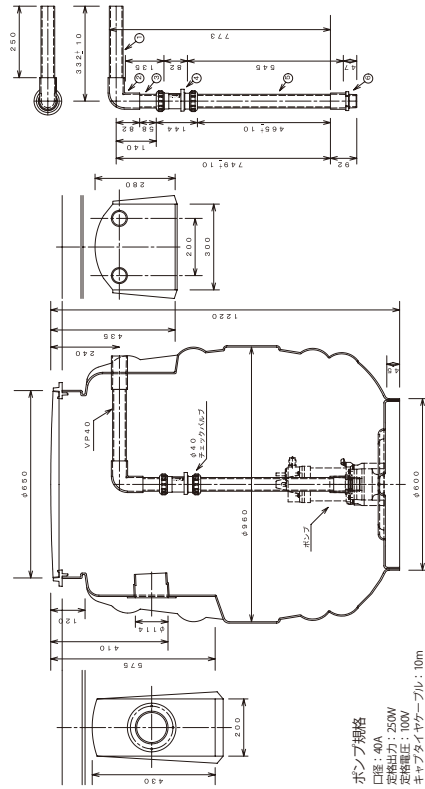
ポンプ規格

口径：40A
定格出力：250W
定格電圧：100V
キャブタイプ/ケーブル：10m

DP-7S

放流ポンプ槽 700ℓ

No	部品名	切断寸法	数量	備 考
1	VP40	310mm	2	横管
2	TS40L		2	
3	VP40	135mm	2	縦管S
4	φ40チャッキ/ハルブ		2	
5	VP40	570mm	2	縦管L
6	TS40VS		2	



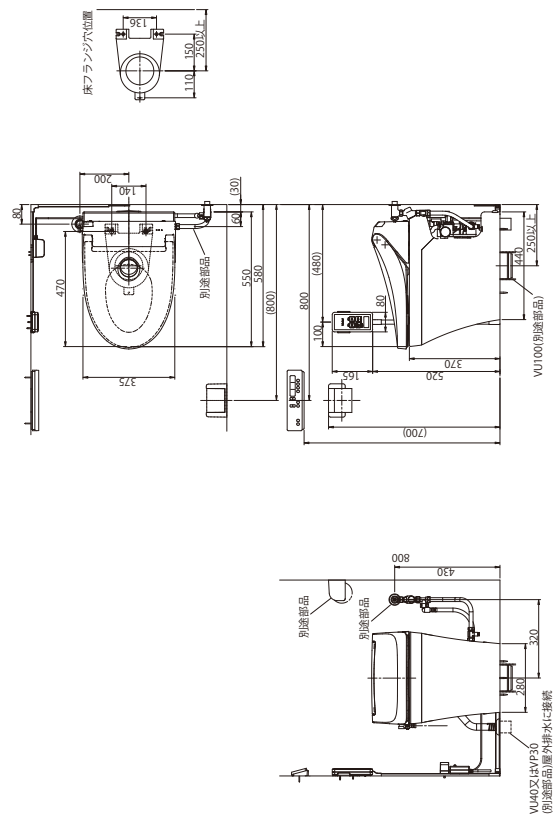
ポンプ規格

口径：40A
定格出力：250W
定格電圧：100V
キャブタイプ/ケーブル：10m

FGR-KA31

オート洗浄トイレ (簡易水流タイプ)
温水洗浄便座 (DCW-KA31) 付

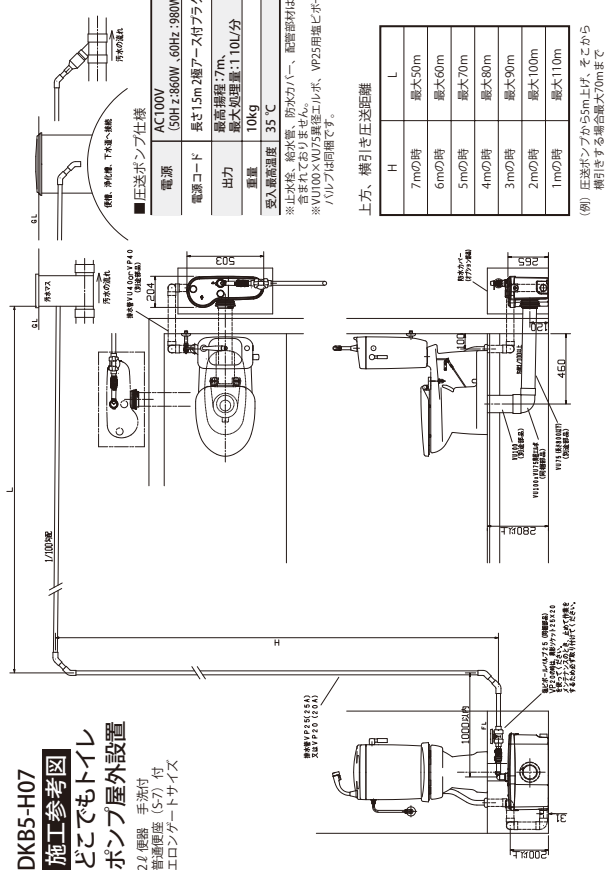
※ペーパーホルダー、給水管、配管部材は含まれておりません。



DKB5-H07

施工参考図 **どこでもトイレ** **ポンプ屋外設置**

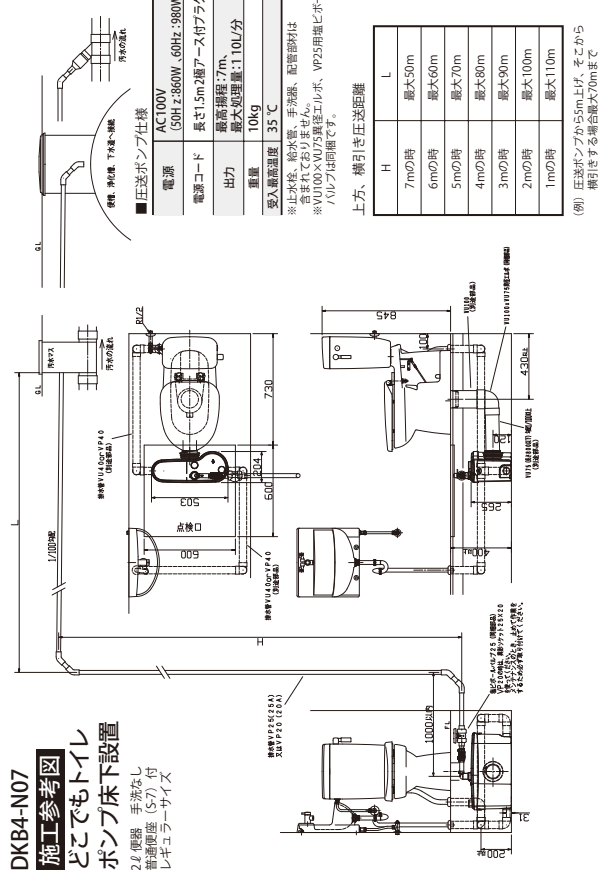
2ℓ 便器 手洗い付
普通便座 (S7) 付
エロンゲートサイズ



DKB4-N07

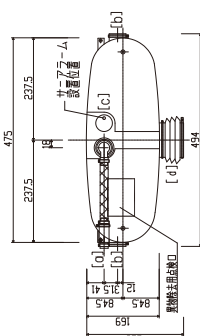
施工参考図 **どこでもトイレ** **ポンプ床下設置**

2ℓ 便器 手洗いなし
普通便座 (S7) 付
レギュラーサイズ



DAP-AC3

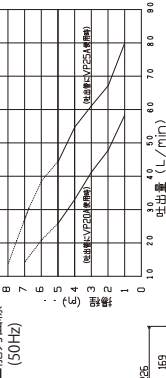
どこでも圧送ポンプ (トイレ用)



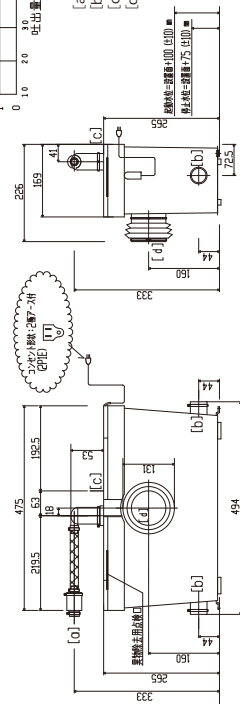
■仕様

定格電圧	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	380/460W
電源コード	長さ1.5m 2極アース付プラグ
能力	最大全揚程 7m 最大水平圧送距離 100m
質量	6.4kg
最高排水温度	35℃

■能力曲線 (50Hz)

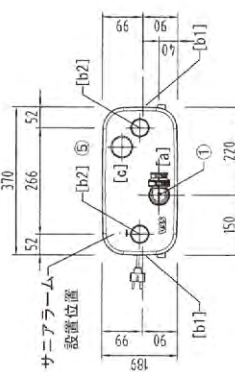


- [a] 吐出管接続口 (20/25mm)
- [b] 雑排水管接続口 (40mm)
- [c] サニタールーム設置位置
- [d] 汚水管接続口 (75mm)



DAP-SP

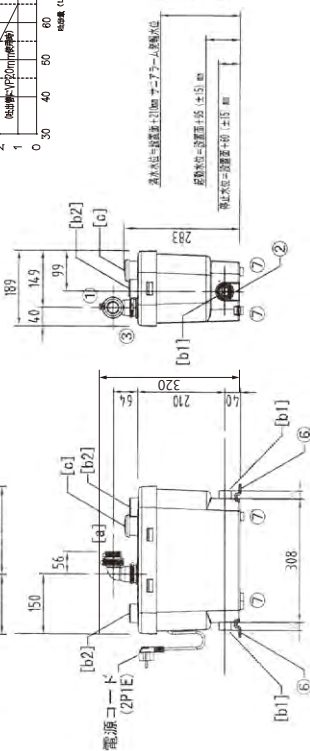
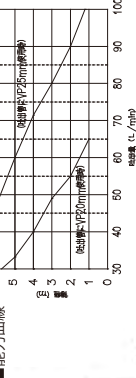
どこでも圧送ポンプ (雑排水用)



■仕様

定格電圧	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	380/460W
電源コード	長さ1.5m 2極アース付プラグ
能力	最大全揚程 6m 最大水平圧送距離 70m
質量	5.8kg
耐汚濁度	75℃で5分以上連続流入の限り

■能力曲線

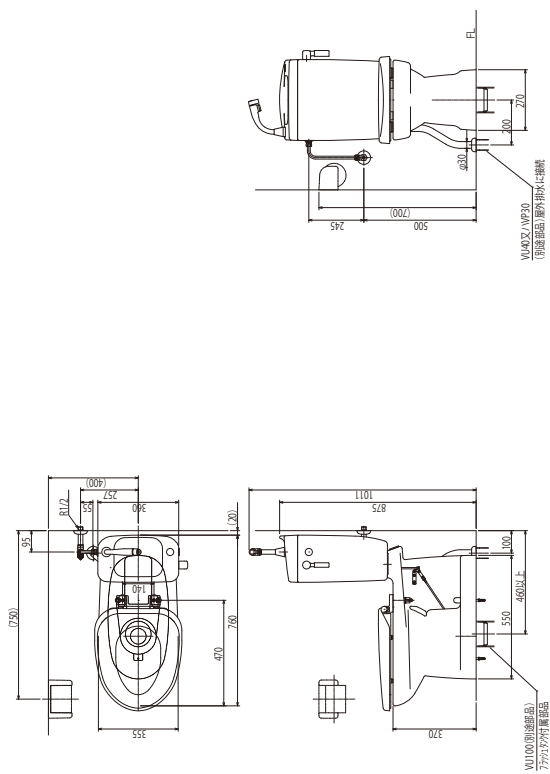


- [a] 吐出管接続口 (20/25mm)
- [b] 雑排水管接続口 (40mm)
- [c] サニタールーム設置位置
- [d] 汚水管接続口 (75mm)

※止水栓、給水栓、手洗器、配管部材は含まれておりません。
※VU100×WU75用接合エルボ、VP25用塩ビボールバルブは別売です。

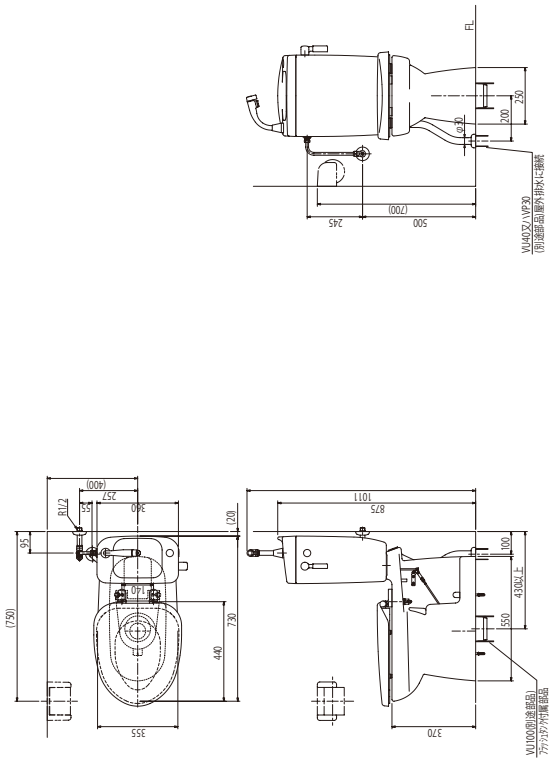
FZ500-H07

手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



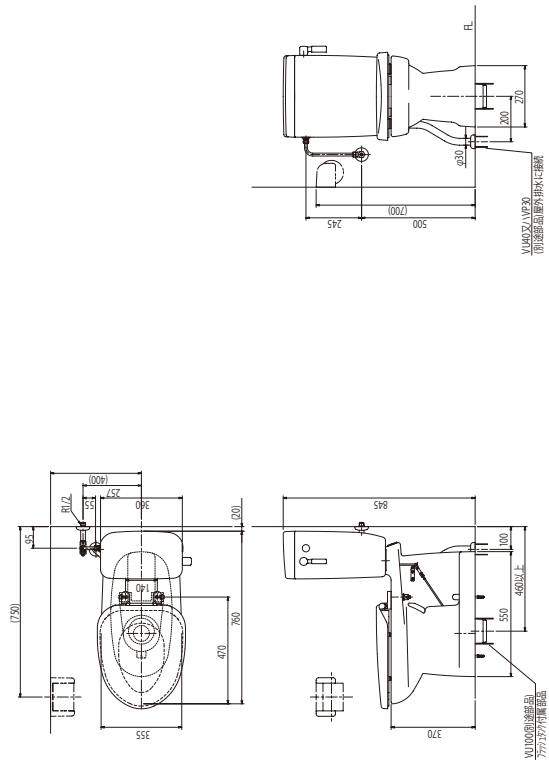
FZ400-H07

手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



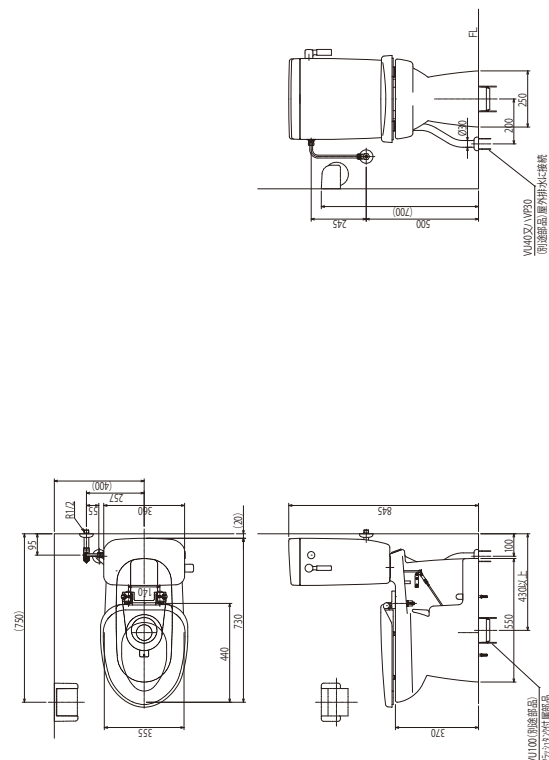
FZ500-N07

手洗なし 普通便座(57付) 陶器製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



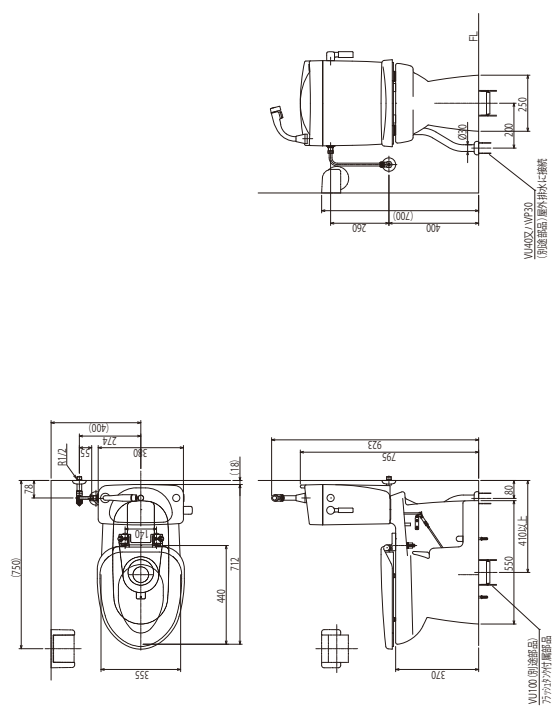
FZ400-N07

手洗なし 普通便座(57付) 陶器製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



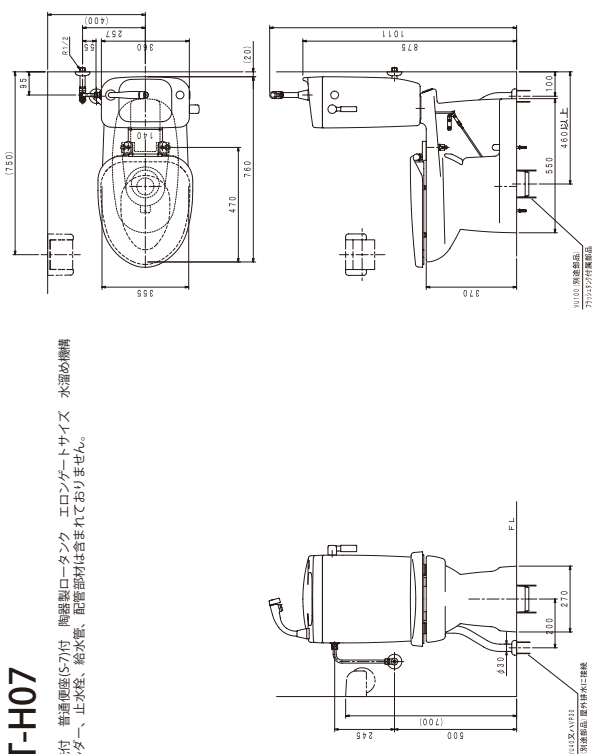
FZ300-H07

手洗付 普通便座(57付) 樹脂製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



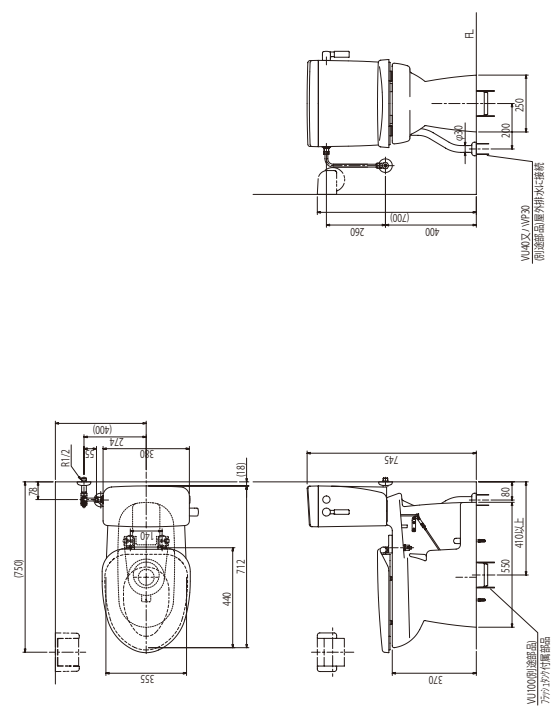
FZ50T-H07

定置洗浄 手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク エロンガードサイズ 水溜め機構
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



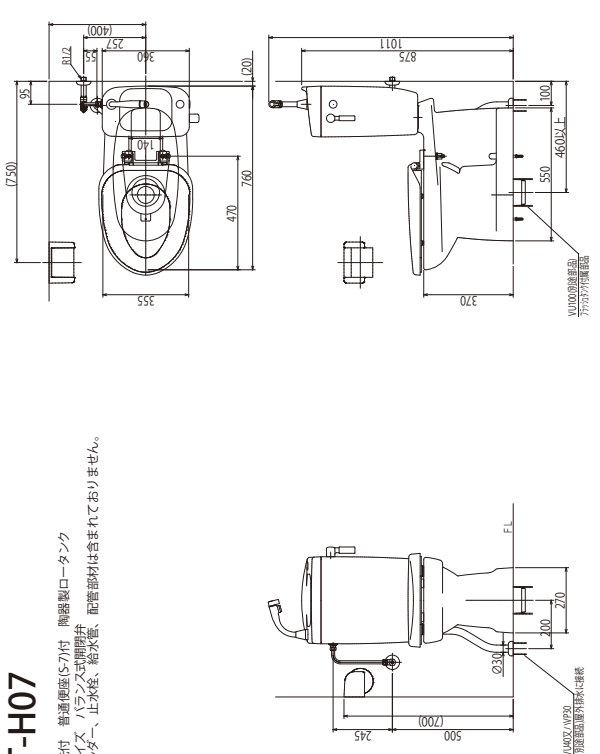
FZ300-N07

手洗なし 普通便座(57付) 樹脂製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



FA-5T-H07

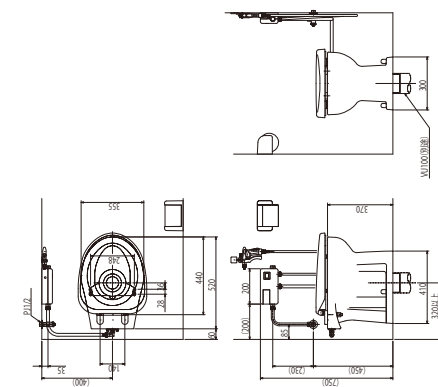
定置洗浄 手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク
エロンガードサイズ バランス式側開弁
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



F8-DG07

電磁バルブ式 洗浄ガン付 普通便座(S-7付)
バランス式開閉弁

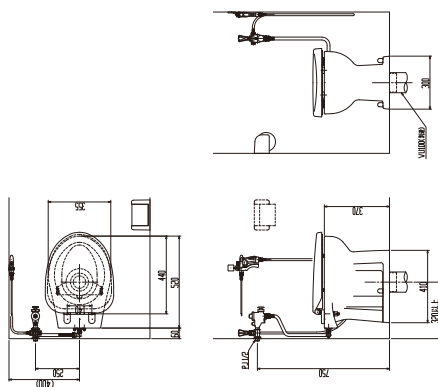
※設置部材は含まれておりません。
※ベーパーホルダー、アンクル止水栓、フレキ管は別販です。



F8-CF07

フラッシュバルブ式 洗浄ガン付 普通便座(S-7付)
バランス式開閉弁

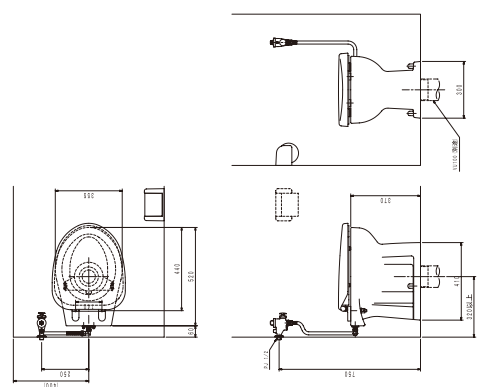
※設置部材は含まれておりません。
※ベーパーホルダーは別販です。



F8-CF07

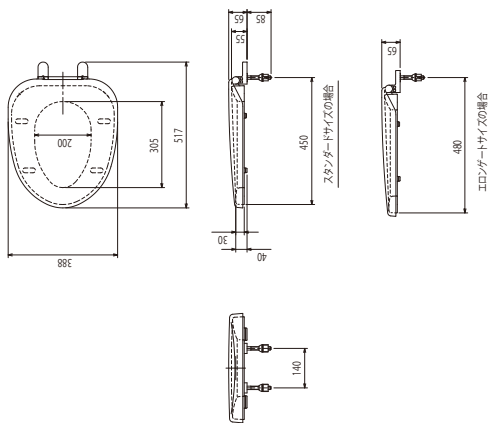
フラッシュバルブ式 洗浄ガンなし 普通便座(S-7付)
バランス式開閉弁

※設置部材は含まれておりません。
※ベーパーホルダーは別販です。



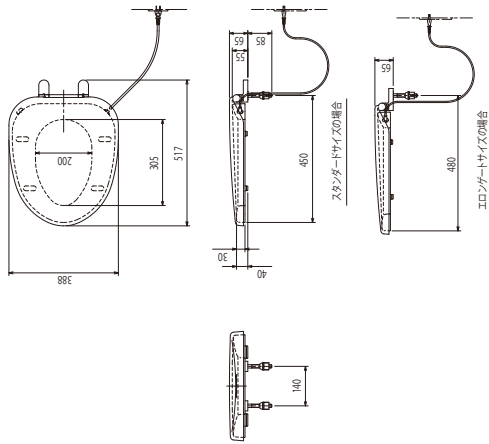
S-7

普通便座



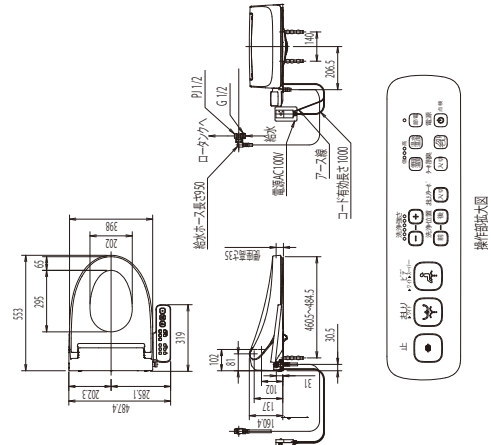
SW-7

暖房便座



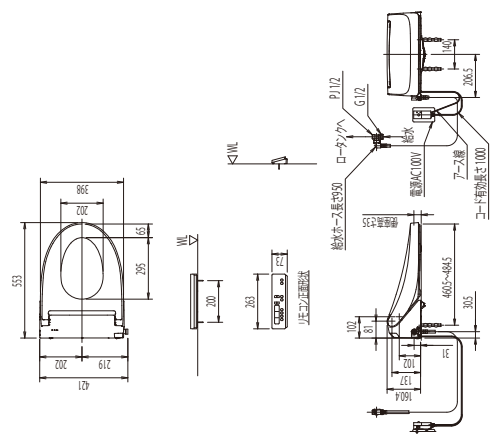
DCW-KB31

温水洗浄便座



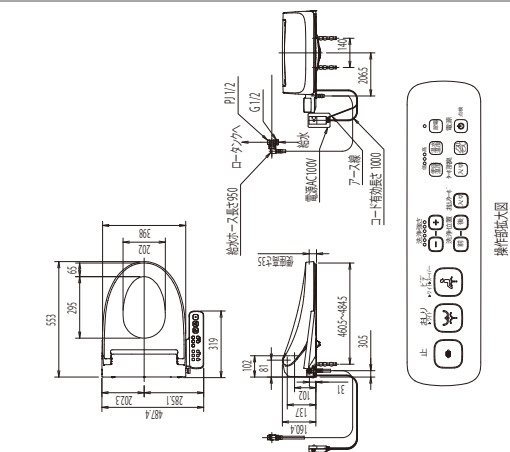
DCW-KA31

温水洗浄便座



DCW-KB32

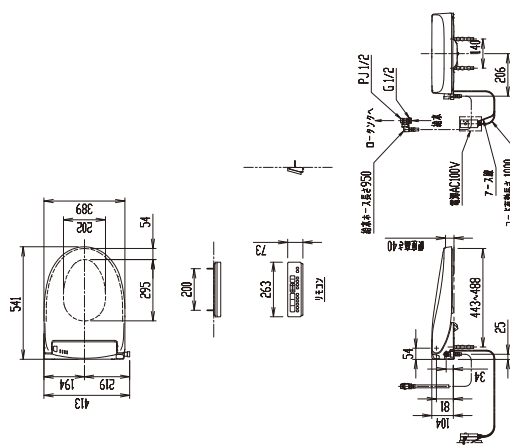
湯水洗浄便座



操作部拡大図

DCW-EA24A

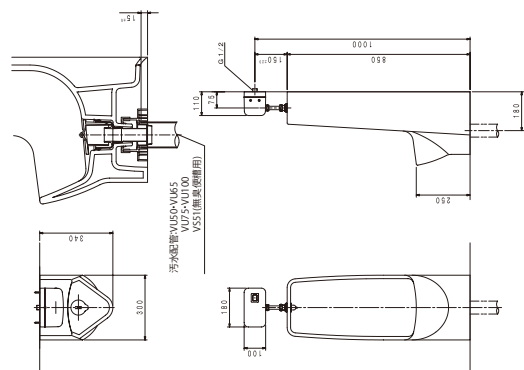
湯水洗浄便座



GT-3DS

ストロー小便器 (小型)
電磁バルブ式

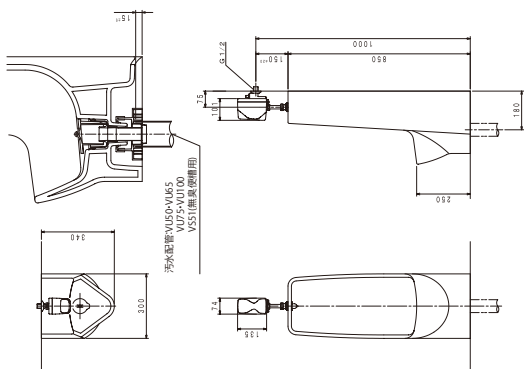
※配管部材は含まれておりません。



GT-3SS

ストロー小便器 (小型)
センサー式自動水栓

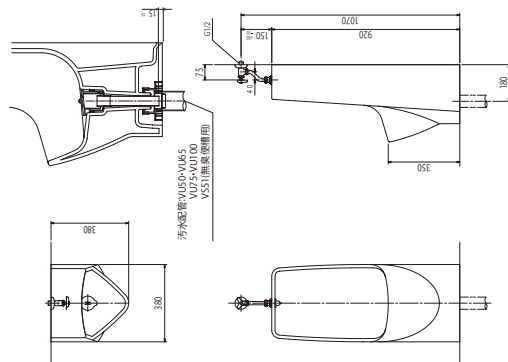
※配管部材は含まれておりません。



GT-5K

ストロー小便器 (中型) カラン式

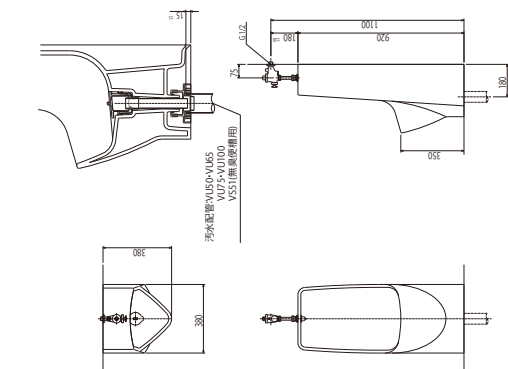
※配管部材は含まれておりません。



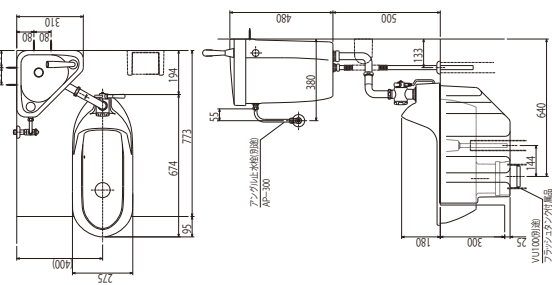
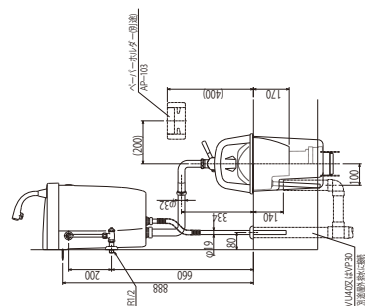
GT-5FJ

ストロー小便器 (中型) フラッシュバルブ式

※配管部材は含まれておりません。

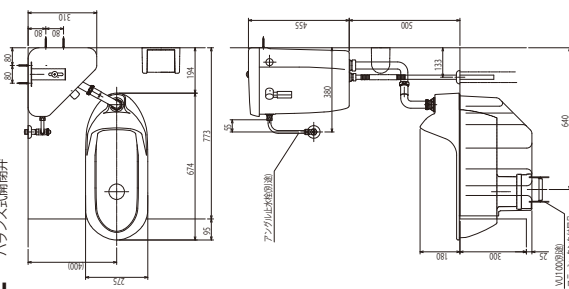


JZ-K

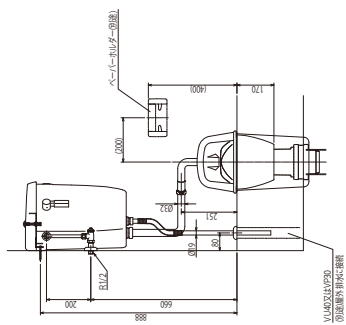
手洗付 陶器製隅付ロータンク
水溜め機構※図は兼用式です。
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。

JT-N-L

定量洗浄・手洗なし
バランス式開閉弁



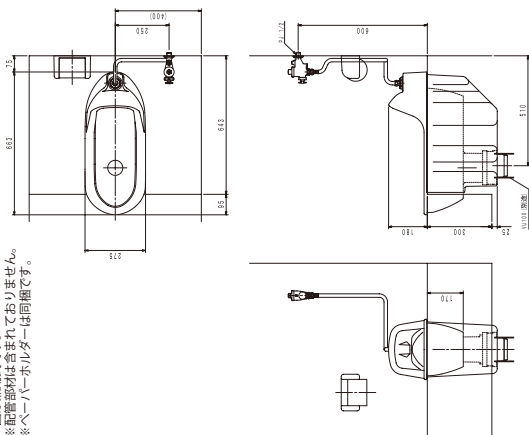
※図は兼用式です。
※ベーパーホルダー、上水栓、給水栓、配管部材は含まれておりません。



J8-CF

フラッシュバルブ式 洗浄ガンなし バランス式開閉弁

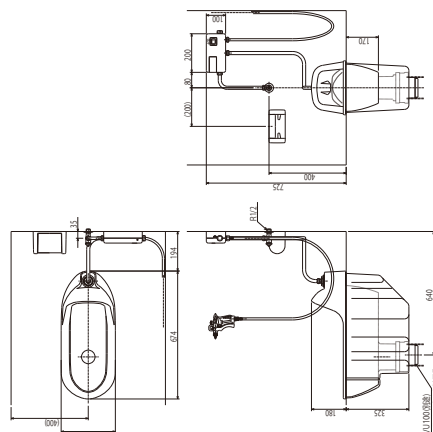
※図は兼用式です。
※配管部材は含まれておりません。
※ベーパーホルダーは別個です。



J8-DG

電磁バルブ式 洗浄ガン付 バランス式開閉弁

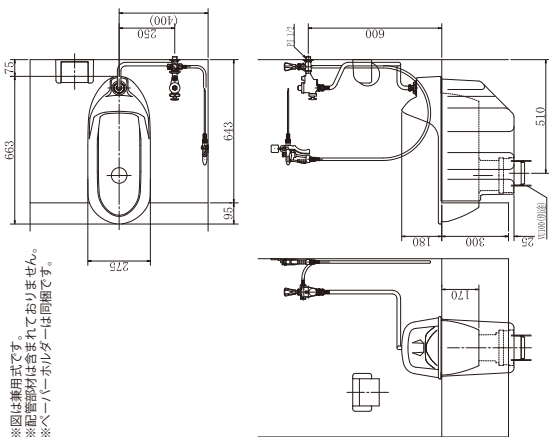
※図は平床式です。
※配管部材は含まれておりません。
※ベーパーホルダー、アングル止水栓、フレキ管は別個です。



J8-CFG

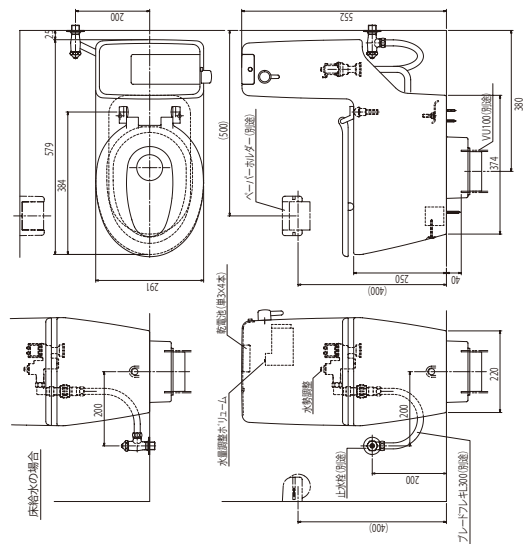
フラッシュバルブ式 洗浄ガン付 バランス式開閉弁

※図は兼用式です。
※配管部材は含まれておりません。
※ベーパーホルダーは別個です。

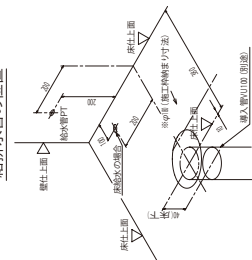


FC7

幼用洋風簡易水洗トイレ
普通便座付 樹脂製ロータンク バランス式開閉弁



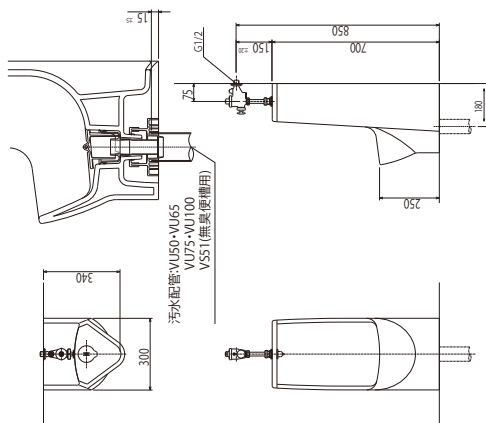
給排水管の位置



※ベーパーホルダー、止水栓、フレキ管、
配管部材は含まれておりません。

GT-2F

幼児用ストローバル小便器
フラッシュバルブ式



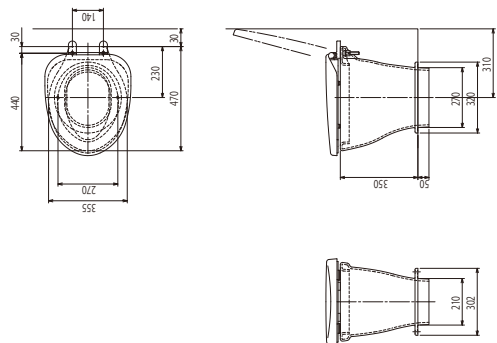
汚水配管VU50・VU65
VU75・VU100
VS51(無臭便槽用)

※配管部材は含まれておりません。

DC-166-07

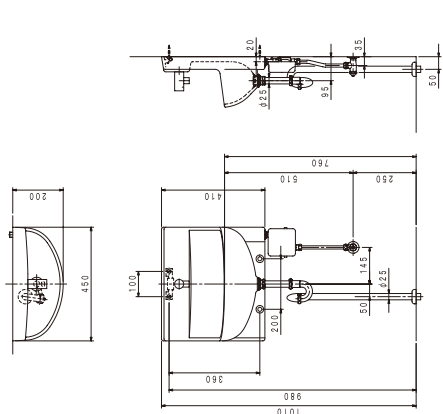
非水洗トイレ(腰掛式)
普通便座(S7)付

※配管部材は含まれておりません。



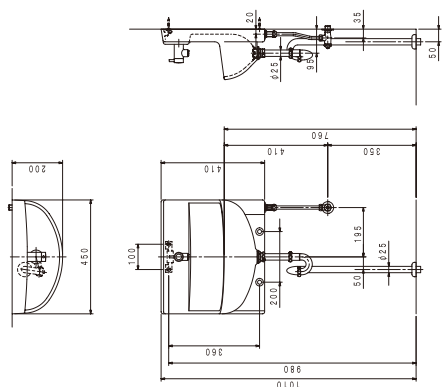
HW-5SS-S

壁掛手洗器(中型)
センサー自動水栓 ストラップ



HW-5L-S

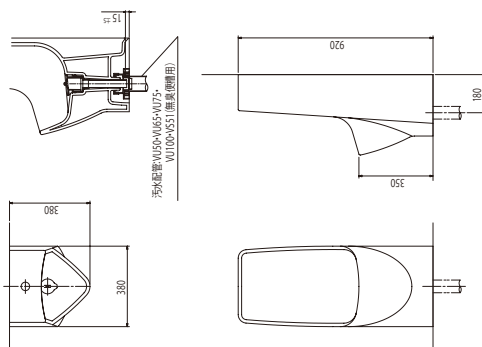
壁掛手洗器(中型)
レバー式 ストラップ



GU-5

非水洗小便器(中型)

※配管部材は含まれておりません。

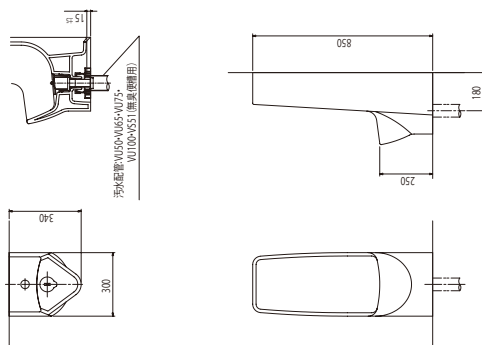


汚水配管VU50・VU65・VU75
VU100・VS51(無臭便槽用)

GU-3

非水洗小便器(小型)

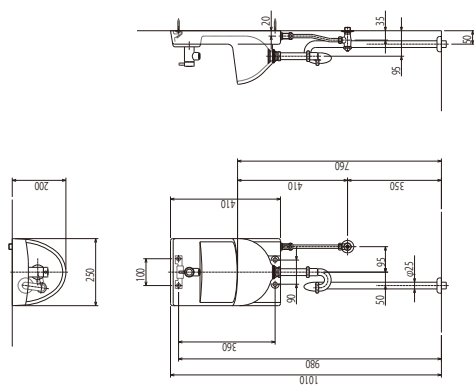
※配管部材は含まれておりません。



汚水配管VU50・VU65・VU75
VU100・VS51(無臭便槽用)

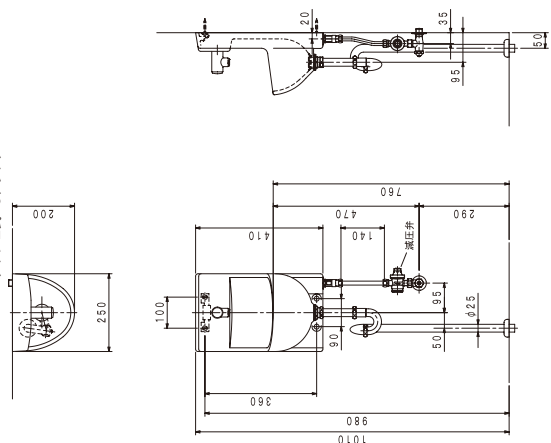
HW-3L-S

壁掛手洗器(小型)
レバー式 ストラップ



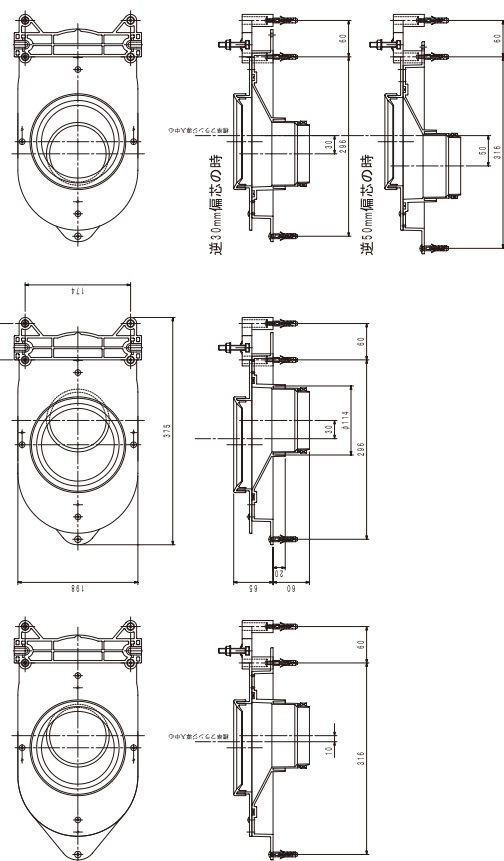
HW-3P-S

壁掛手洗器(小型)
プッシュ式 ストラップ



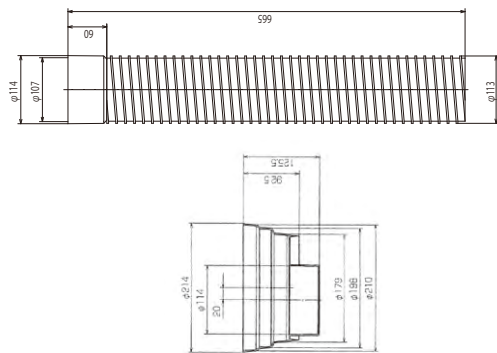
改造フレンジ13

10mm 齒の松俣



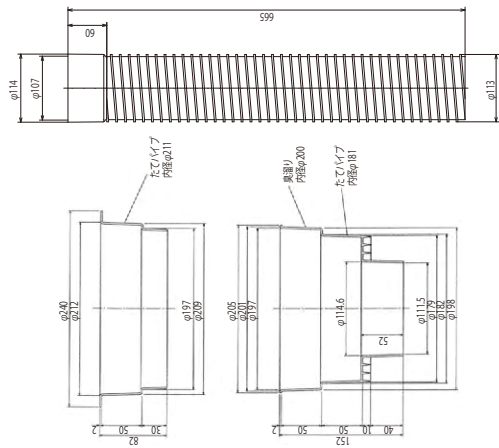
BCV24

改装部品ジャバラセットB
偏芯タイプ



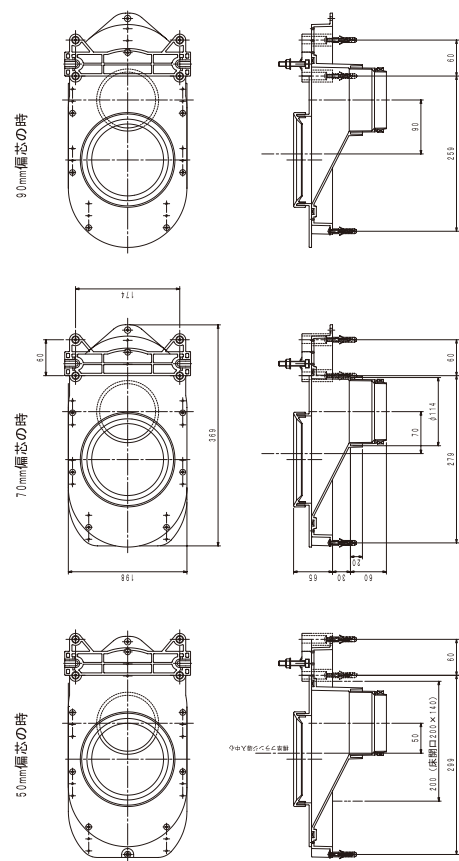
BCV25

改装部品ジャバラセットC
分割タイプ



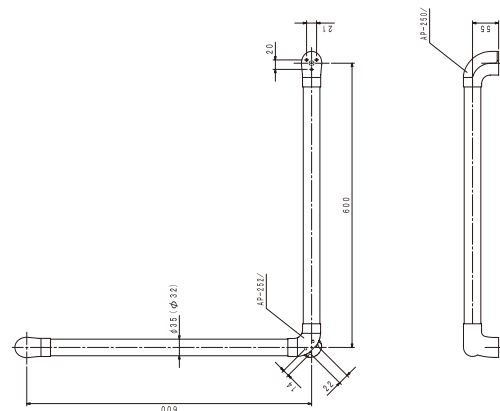
APH-Z81

改造フランチ579



AP-200

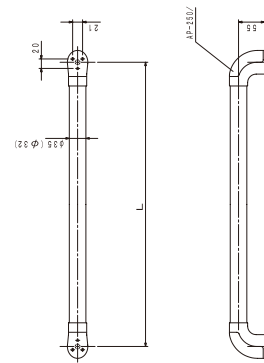
握りバー 木目L型



AP-210

握りバー 木目I型

品番	L
APH-210/400	400
APH-210/600	600
APH-210/800	800

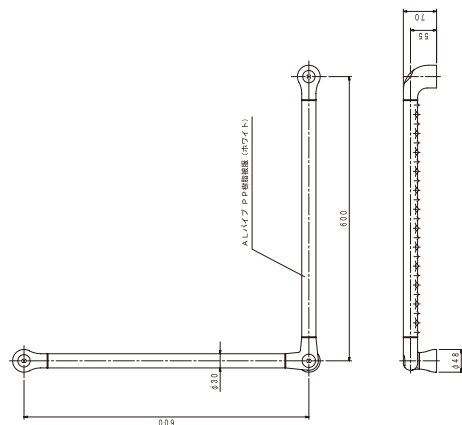


なベタツピングねじ4×40止め

なベタッピングねじ4×40 各3本止め

AP-201

振りバーL型 (Aタイプ)

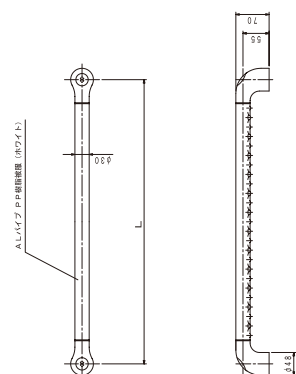


六角タッピングねじ6×60 3本止め

AP-211

振りバーI型 (Aタイプ)

品番	L
APH-211/400	400
APH-211/600	600
APH-211/800	800

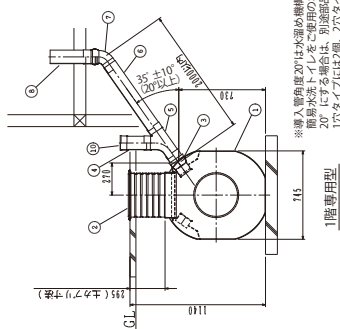
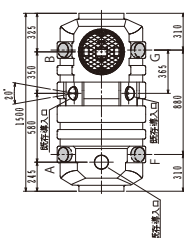


六角タッピングねじ6×60 2本止め

VE-R66

塩ビ標準便槽 650ℓ

※Kタイプ・W2タイプは追加導入口の加工位置を
A～Gから箇所を選んでください。
※Kタイプ・W2タイプは既存導入口+2箇所の穴が必要です。
それ以外のタイプは既存導入口のみとなります。



※導入口垂直角度20°は水漏れ機構タイプの
簡易水洗トイレをご使用の場合に限りです。
20° に対する場合は、別部品「10° フランジング100」が
1穴タイプには2個、2穴タイプには4個必要です。

■タイプ別 同梱部品一覧表

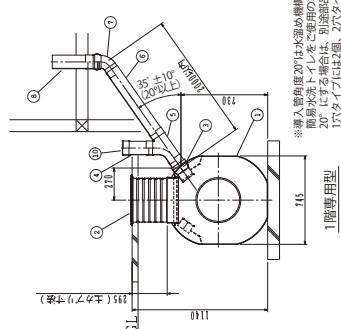
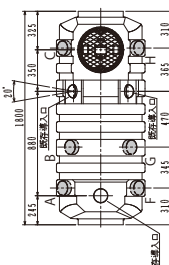
部材	品名	品番	1階専用 K	1階穴 W	2階穴 W2	2階専用 S
① 便本体	マナー/簡便3400/277(メー)	BK3400R	1	1	1	1
② マナー/簡便3400/277(メー)	BK3400R	BK3400R	1	1	1	1
③ 導入口自在/ケット107(R用)	B31403R	B31403R	1	2	3	2
④ 導入口短番5付L22	BUS100722	BUS100722	1	1	1	1
⑤ 導入口短番5付L22	BUS100722	BUS100722	1	1	1	1
⑥ 導入口短番5付L22	BUS100722	BUS100722	1	1	1	1
⑦ VU自在/エールポ(R用)	B31302R	B31302R	1	2	2	3
⑧ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑨ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑩ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑪ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑫ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑬ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑭ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑮ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑯ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑰ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑱ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑲ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑳ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉑ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉒ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉓ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉔ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉕ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉖ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉗ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉘ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉙ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉚ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉛ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉜ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉝ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉞ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉟ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊱ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊲ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊳ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊴ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊵ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊶ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊷ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊸ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊹ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊺ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊻ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊼ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊽ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊾ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊿ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2

※既存・追加導入口には上記部品とは別にキャップが付属します。

VE-R80

塩ビ標準便槽 820ℓ

※Kタイプ・W2タイプは追加導入口の加工位置を
A～Gから箇所を選んでください。
※Kタイプ・W2タイプは既存導入口+1箇所の穴が必要です。
それ以外のタイプは既存導入口のみとなります。



※導入口垂直角度20°は水漏れ機構タイプの
簡易水洗トイレをご使用の場合に限りです。
20° に対する場合は、別部品「10° フランジング100」が
1穴タイプには2個、2穴タイプには4個必要です。

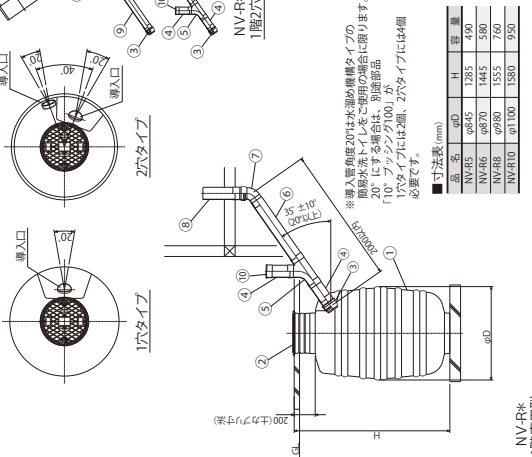
■タイプ別 同梱部品一覧表

部材	品名	品番	1階専用 K	1階穴 W	2階穴 W2	2階専用 S
① 便本体	マナー/簡便3400/277(メー)	BK3400R	1	1	1	1
② マナー/簡便3400/277(メー)	BK3400R	BK3400R	1	1	1	1
③ 導入口自在/ケット107(R用)	B31403R	B31403R	1	2	3	2
④ 導入口短番5付L22	BUS100722	BUS100722	1	1	1	1
⑤ 導入口短番5付L22	BUS100722	BUS100722	1	1	1	1
⑥ 導入口短番5付L22	BUS100722	BUS100722	1	1	1	1
⑦ VU自在/エールポ(R用)	B31302R	B31302R	1	2	2	3
⑧ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑨ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑩ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑪ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑫ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑬ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑭ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑮ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑯ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑰ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑱ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑲ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
⑳ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉑ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉒ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉓ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉔ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉕ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉖ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉗ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉘ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉙ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉚ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉛ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉜ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉝ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉞ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㉟ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊱ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊲ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊳ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊴ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊵ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊶ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊷ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊸ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊹ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊺ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊻ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊼ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊽ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊾ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2
㊿ 導入口短番130	BUS100750	BUS100750	1	2	3	2

※既存・追加導入口には上記部品とは別にキャップが付属します。

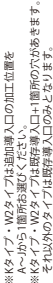
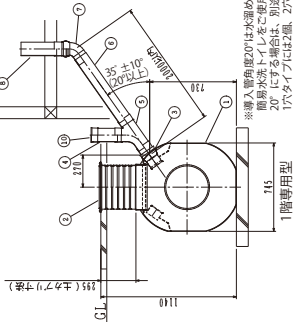
NV-R*

塩ビ標準便槽

NV-R*
1階専用型

寸法表(mm)		容量	
品名	φD	H	容量
NV-R5	φ845	1285	490
NV-R6	φ870	1445	580
NV-R8	φ980	1555	760
NV-R10	φ1000	1580	950

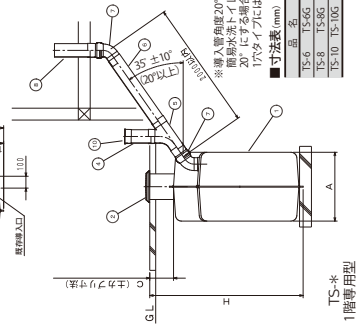
970 横型便槽 970 横型便槽

[illegible]

FRP薄型便槽

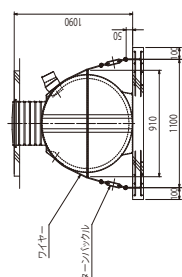
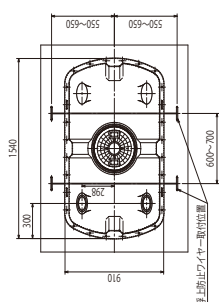


品名	品名	品名	11月 実績	12月 実績	12月 目標
① 標準仕様	② 標準仕様	③ 標準仕様	1	1	1
④ 標準仕様	⑤ 標準仕様	⑥ 標準仕様	1	1	1
⑦ 標準仕様	⑧ 標準仕様	⑨ 標準仕様	1	1	1
⑩ 標準仕様	⑪ 標準仕様	⑫ 標準仕様	1	1	1
⑬ 標準仕様	⑭ 標準仕様	⑮ 標準仕様	1	1	1
⑯ 標準仕様	⑰ 標準仕様	⑱ 標準仕様	1	1	1
⑲ 標準仕様	⑳ 標準仕様	㉑ 標準仕様	1	1	1
㉒ 標準仕様	㉓ 標準仕様	㉔ 標準仕様	1	1	1
㉕ 標準仕様	㉖ 標準仕様	㉗ 標準仕様	1	1	1
㉘ 標準仕様	㉙ 標準仕様	㉚ 標準仕様	1	1	1
㉛ 標準仕様	㉜ 標準仕様	㉝ 標準仕様	1	1	1
㉞ 標準仕様	㉟ 標準仕様	㊱ 標準仕様	1	1	1
㊲ 標準仕様	㊳ 標準仕様	㊴ 標準仕様	1	1	1
㊵ 標準仕様	㊶ 標準仕様	㊷ 標準仕様	1	1	1
㊸ 標準仕様	㊹ 標準仕様	㊺ 標準仕様	1	1	1
㊻ 標準仕様	㊼ 標準仕様	㊽ 標準仕様	1	1	1
㊾ 標準仕様	㊿ 標準仕様	㋀ 標準仕様	1	1	1
㋁ 標準仕様	㋂ 標準仕様	㋃ 標準仕様	1	1	1
㋄ 標準仕様	㋅ 標準仕様	㋆ 標準仕様	1	1	1
㋇ 標準仕様	㋈ 標準仕様	㋉ 標準仕様	1	1	1
㋊ 標準仕様	㋋ 標準仕様	㋌ 標準仕様	1	1	1
㋍ 標準仕様	㋎ 標準仕様	㋏ 標準仕様	1	1	1
㋐ 標準仕様	㋑ 標準仕様	㋒ 標準仕様	1	1	1
㋓ 標準仕様	㋔ 標準仕様	㋕ 標準仕様	1	1	1
㋖ 標準仕様	㋗ 標準仕様	㋘ 標準仕様	1	1	1
㋙ 標準仕様	㋚ 標準仕様	㋛ 標準仕様	1	1	1
㋜ 標準仕様	㋝ 標準仕様	㋞ 標準仕様	1	1	1
㋟ 標準仕様	㋠ 標準仕様	㋡ 標準仕様	1	1	1
㋢ 標準仕様	㋣ 標準仕様	㋤ 標準仕様	1	1	1
㋥ 標準仕様	㋦ 標準仕様	㋧ 標準仕様	1	1	1
㋨ 標準仕様	㋩ 標準仕様	㋪ 標準仕様	1	1	1
㋫ 標準仕様	㋬ 標準仕様	㋭ 標準仕様	1	1	1
㋮ 標準仕様	㋯ 標準仕様	㋰ 標準仕様	1	1	1
㋱ 標準仕様	㋲ 標準仕様	㋳ 標準仕様	1	1	1
㋴ 標準仕様	㋵ 標準仕様	㋶ 標準仕様	1	1	1
㋷ 標準仕様	㋸ 標準仕様	㋹ 標準仕様	1	1	1
㋺ 標準仕様	㋻ 標準仕様	㋼ 標準仕様	1	1	1
㋽ 標準仕様	㋾ 標準仕様	㋿ 標準仕様	1	1	1
㌀ 標準仕様	㌁ 標準仕様	㌂ 標準仕様	1	1	1
㌃ 標準仕様	㌄ 標準仕様	㌅ 標準仕様	1	1	1
㌆ 標準仕様	㌇ 標準仕様	㌈ 標準仕様	1	1	1
㌉ 標準仕様	㌊ 標準仕様	㌋ 標準仕様	1	1	1
㌌ 標準仕様	㌍ 標準仕様	㌎ 標準仕様	1	1	1
㌏ 標準仕様	㌐ 標準仕様	㌑ 標準仕様	1	1	1
㌒ 標準仕様	㌓ 標準仕様	㌔ 標準仕様	1	1	1
㌕ 標準仕様	㌖ 標準仕様	㌗ 標準仕様	1	1	1
㌘ 標準仕様	㌙ 標準仕様	㌚ 標準仕様	1	1	1
㌛ 標準仕様	㌜ 標準仕様	㌝ 標準仕様	1	1	1
㌞ 標準仕様	㌟ 標準仕様	㌠ 標準仕様	1	1	1
㌡ 標準仕様	㌢ 標準仕様	㌣ 標準仕様	1	1	1
㌤ 標準仕様	㌥ 標準仕様	㌦ 標準仕様	1	1	1
㌧ 標準仕様	㌨ 標準仕様	㌩ 標準仕様	1	1	1
㌪ 標準仕様	㌫ 標準仕様	㌬ 標準仕様	1	1	1
㌭ 標準仕様	㌮ 標準仕様	㌯ 標準仕様	1	1	1
㌰ 標準仕様	㌱ 標準仕様	㌲ 標準仕様	1	1	1
㌳ 標準仕様	㌴ 標準仕様	㌵ 標準仕様	1	1	1
㌶ 標準仕様	㌷ 標準仕様	㌸ 標準仕様	1	1	1
㌹ 標準仕様	㌺ 標準仕様	㌻ 標準仕様	1	1	1
㌼ 標準仕様	㌽ 標準仕様	㌾ 標準仕様	1	1	1
㌿ 標準仕様	㍀ 標準仕様	㍁ 標準仕様	1	1	1
㍂ 標準仕様	㍃ 標準仕様	㍄ 標準仕様	1	1	1
㍅ 標準仕様	㍆ 標準仕様	㍇ 標準仕様	1	1	1
㍈ 標準仕様	㍉ 標準仕様	㍊ 標準仕様	1	1	1
㍋ 標準仕様	㍌ 標準仕様	㍍ 標準仕様	1	1	1
㍎ 標準仕様	㍏ 標準仕様	㍐ 標準仕様	1	1	1
㍑ 標準仕様	㍒ 標準仕様	㍓ 標準仕様	1	1	1
㍔ 標準仕様	㍕ 標準仕様	㍖ 標準仕様	1	1	1
㍗ 標準仕様	㍘ 標準仕様	㍙ 標準仕様	1	1	1
㍚ 標準仕様	㍛ 標準仕様	㍜ 標準仕様	1	1	1
㍝ 標準仕様	㍞ 標準仕様	㍟ 標準仕様	1	1	1
㍠ 標準仕様	㍡ 標準仕様	㍢ 標準仕様	1	1	



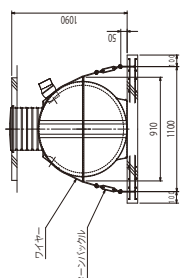
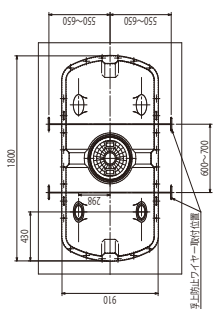
TF-800 施工参考図

浮上防止ワイヤー推奨位置



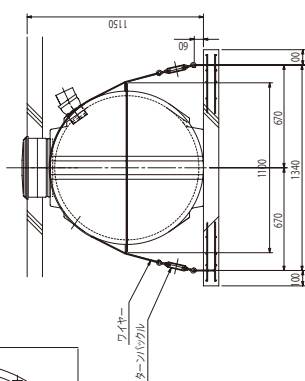
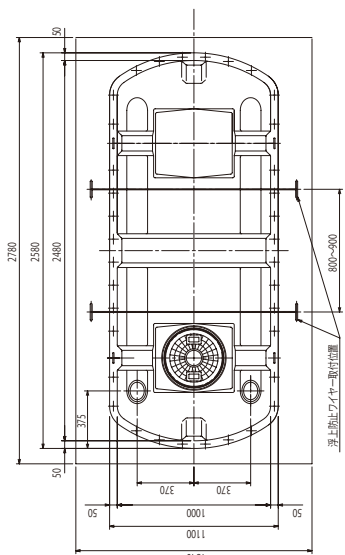
TF-1000 施工参考図

浮上防止ワイヤー推奨位置



TF-1500 施工参考図

浮上防止ワイヤー推奨位置



TF-2000 施工参考図

浮上防止ワイヤー推奨位置

